NTT

Netcommunity SYSTEM αNXⅡ type S / Netcommunity SYSTEM αNXⅡ type M

取扱説明書

技術基準適合認証品

このたびは、ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご利用にあたってのお願い
- 本書は、ネットコミュニティシステムαNXⅡ標準電話機18回線ボタンタイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P8）にしたがって消去願います。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作について簡易取扱説明書をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

⚠危険

●蓄電池は密閉空間には設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池は火気の近くには設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。蓄電池の損傷により、火災・感電の原因となることがあります。

- 電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しない。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 金属工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。

●蓄電池を改造または分解しないでください。蓄電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。蓄電池の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●蓄電池は定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。蓄電池の交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池を単体では充電しないでください。蓄電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

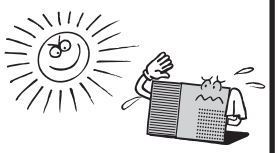
設置について

⚠警告

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置、電話機やモジュラージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



●主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

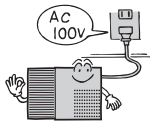
- 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- 主装置にテーブルクロスなどをかける。
- 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

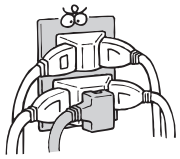
⚠警告

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。



●お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

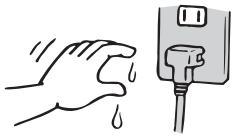
●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●お客様による主装置の電源コードおよび電話機までの配線の移動、取り外し、また、電話機の取り外しなどは、火災・感電の原因となることがあります。必ず当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



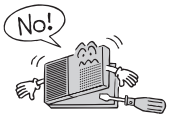
●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警告

●万一、主装置内部、電話機、モジュラージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機は修理に応じられない場合があります）。

●主装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



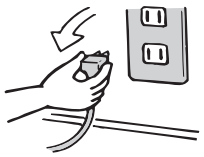
●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

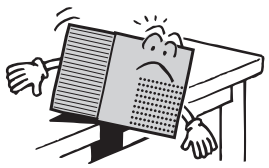
●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●主装置や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

●主装置や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

●電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●主装置や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- 他の内線電話機は使えません。
- ドアホンは使えません。
- 発信電話番号表示機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●IP電話機を新たに取り付けたあと、24時間以内に主装置の再起動を行う場合、IP電話機の再起動が必要となる場合があります。詳しくはサービス取扱所にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください／この取扱説明書の見かた

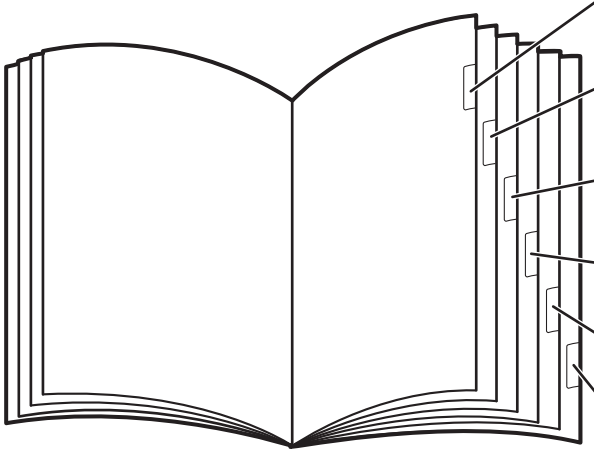
■廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

ただし、システムデータに保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去されたい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
発信履歴	P3-5を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P3-5を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P4-4を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P4-20を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P4-11を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P3-14を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 より便利に使う
1 ～ 2 章までの内容の他に、さまざまな多様な機能について説明しています。

4 いろいろな機能を登録・設定する
内線電話機の操作で行う登録や設定について説明しています。

5 オプションを使う
ドアホンなどのオプションをお使いのときの操作などを説明しています。

6 ご参考に
付属品などの説明、「故障かな？」と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

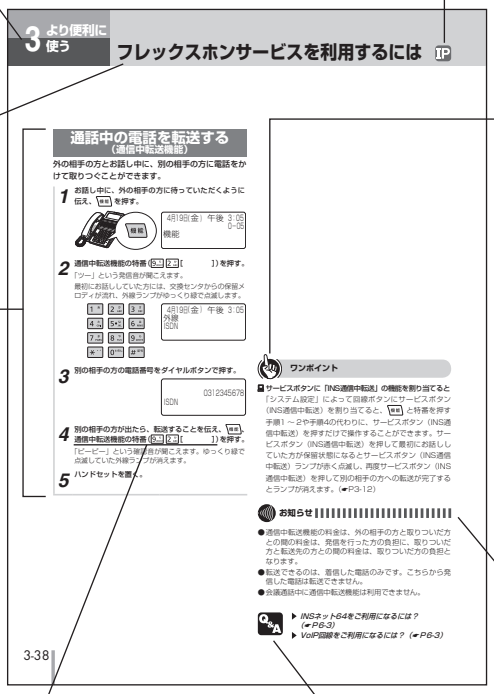
タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。
見出しの枠を次のように区別しています。

- ■：お買い求めいただいてすぐにご利用になれる機能
- □：「システム設定」によりご利用になれる機能

ガイダンス
（例）
［＜ダイヤリングサービスを行います。…
音声メールのガイダンスを示しています。

＜サンプル＞



IP電話機でのみお使いいただける機能に、このマークを付けています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。
次の3種類のマークで項目を区別しています。

- ●：お買い求めいただいてすぐにご利用いただける機能の補足説明
- 💻：「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明
- ○：その他の補足説明

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

Q&A 「6 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

特番（～用の特番）
機能、決□定などのあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。
特番は、「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。
〈例〉
通信中転送機能の特番（9 WXYZ 2 ABC [ ]）を押す。

お買い求め時の番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください..... 2
この取扱説明書の見かた..... 8

1 お使いになる前に

特　長..... 1-2
構成図..... 1-4
各部の名前..... 1-6
日付、時刻を合わせます..... 1-15
日付を設定する<システム一括設定>..... 1-15
時刻を設定する<システム一括設定>..... 1-16
音量を調節します..... 1-17
着信音量を調節する..... 1-17
スピーカ音量を調節する..... 1-17
ハンドセット受話音量を調節する..... 1-18

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）..... 2-2
ハンドセットを取りあげてかける..... 2-2
ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）..... 2-4
電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）..... 2-5
電話がかかってきたときは（外線着信）..... 2-6
相手の方に待っていただくには（保留）..... 2-8
保留する（共通保留）..... 2-8
他の電話機で取れないように保留する（個別保留）..... 2-8
ワンタッチボタンで電話をかけるには..... 2-10
ワンタッチボタンに登録する..... 2-10
ワンタッチボタンでかける..... 2-11
電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）..... 2-12
電話帳を登録する..... 2-12
文字を入力する..... 2-14
電話帳ダイヤルでかける..... 2-16
電話を取りつぐには（保留転送）..... 2-22
お話しを他の内線電話機に転送する..... 2-22
お話しを他の外線に転送する..... 2-24
内線でお話しするには（内線通話）..... 2-25
内線でお話しする（内線通話）..... 2-25
ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）..... 2-27
高音質での通話を利用するには..... 2-28
高音質モードで外線発信する..... 2-28
高音質モードで内線発信する..... 2-28
高音質での着信を受ける..... 2-28

3 より便利に使う

電話番号をメモしておくには（メモダイヤル）..... 3-2
時計・カレンダ表示でメモダイヤルを登録する..... 3-2
お話し中にメモダイヤルを登録する..... 3-2
メモダイヤルで電話をかける..... 3-3
履歴を使って電話をかけるには（発信／着信履歴発信）..... 3-4
空いている外線を選んで電話をかけるには（空き外線自動発信）..... 3-6
自動発信可能な外線の中から選んでかける（空き外線自動発信）..... 3-6
外線グループの中から選んでかける（外線群指定発信）..... 3-6
索線ボタンを使って電話をかけるには..... 3-7
索線ボタンを使ってかける..... 3-7
ハンズフリーで電話をかけるには（ハンズフリー通話）..... 3-8
ハンズフリーで電話をかける..... 3-8
ハンズフリーで電話を受ける..... 3-9
不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）..... 3-10
不在着信転送を登録する..... 3-10
不在着信転送を解除する..... 3-11
よく使う機能をワンタッチボタンで操作するには（サービスボタン）..... 3-12
サービスボタンの機能を変更する..... 3-12
転送電話を利用するには..... 3-14
転送電話の転送先リストを登録する..... 3-14
転送電話の対象とする回線を設定する..... 3-15
転送電話をセットする..... 3-16
その他の転送電話の活用..... 3-18
3人でお話しするには（会議通話）..... 3-19
外線通話中に口頭で内線を呼び、3人でお話しする..... 3-19
外線通話中に内線を呼び、3人でお話しする..... 3-20
発信元に自動コールバックするには..... 3-22
外出先からコールバックを利用して内線電話機と通話する（システム内線着信）..... 3-22
外出先からコールバックを利用して電話をかける（中継発信）..... 3-24
ご利用になれる各種ネットワークサービス..... 3-26
主なネットワークサービスの対応状況..... 3-26
主なINSネット64の対応状況..... 3-27
ひかり電話サービスの対応状況..... 3-30
キャッチホンサービスを利用するには..... 3-33
プッシュホンサービスを利用するには（DP→PB切替）..... 3-34
発信専用制御サービスを利用するには..... 3-35
発信専用制御を設定／解除する..... 3-35
フレックスホンサービスを利用するには..... 3-36
お話し中に別の相手の方とお話しする（通信中着信通知）..... 3-36
3人でお話しする（三者通話機能：ミキシングモード）..... 3-37

通話中の電話を転送する（通信中転送機能）..... 3-38
外からの電話を決められた相手の方に直接取りつぐ（着信転送機能）＜システム一括設定＞ 3-39
着信転送モードを設定する＜システム一括設定＞ 3-40
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには 3-41
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能 3-41
相手の方の電話番号を確認する..... 3-42
外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）..... 3-44
着信拒否サービスを利用するには..... 3-46
通話中に相手の方の電話番号を登録する 3-46
お話しが終わってから、着信履歴で登録する 3-46
非通知着信拒否サービスを利用するには..... 3-48
ボイスワープを利用するには 3-49
INSボイスワープの転送先電話番号を登録する ... 3-49
転送先リストを指定する 3-50
INSボイスワープの転送を開始／停止する..... 3-51
アドバンスト電話機を利用するには..... 3-52
テレビ電話通話をする 3-53
単体電話機を利用するには 3-56
電話をかける（外線発信）..... 3-56
電話を受ける（外線着信）..... 3-57
相手の方に待っていただく（保留）..... 3-57
電話帳を使って電話をかける 3-58
単体電話機でのいろいろな操作..... 3-59
音声メールを利用するには 3-60
音声メールを利用した便利な機能..... 3-60
留守番電話を利用するには 3-62
留守番電話の対象となる回線を設定する 3-62
留守番電話をセットする 3-63
その他の留守番電話の活用 3-65
録音内容を再生する..... 3-66
ボックス番号を指定して録音内容を再生する 3-68
他の人にメッセージを残すには 3-69
手動で通話を録音するには 3-70
お待たせメッセージを利用するには..... 3-71
外出先からの操作について 3-72
システムモードを利用するには 3-74
システムモードの利用..... 3-74
着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する..... 3-75
サービスをロックするには 3-76
サービスロック対象を設定する..... 3-76
サービスロックを起動する 3-77
サービスロックを解除する 3-77
簡易音声メールを利用するには 3-78
簡易音声メールをセットする 3-79
簡易音声メールを再生する 3-80
ecoモードを利用するには..... 3-81
ecoモードを手動で起動する..... 3-82
ecoモードを自動で起動する..... 3-82

4 いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）..... 4-2
電話機毎設定 4-4
システム一括設定..... 4-19
パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）..... 4-35
Web設定で行える登録・設定 4-36
主装置と接続してWeb設定を行う..... 4-40
電話機毎ユーザデータ項目の登録・設定..... 4-41
システム一括ユーザデータ項目の登録・設定 4-48
システム設定によりご利用になれる機能..... 4-57
発信..... 4-57
着信・応答 4-58
保留・転送 4-58
セキュリティサービス..... 4-58
その他..... 4-59
主装置ソフトウェアを更新するには..... 4-60
最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする 4-60
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする 4-61
遠隔保守を行うには..... 4-62

5 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット..... 5-2
ドアホンを利用するには 5-9
ドアホンからの呼び出しに応答する..... 5-9
ドアホンの周囲の音を聞く（ドアホンを呼び出す）..... 5-10
カメラドアホンを利用するには 5-11
カメラドアホンからの呼び出しに応答する 5-12
外の様子を確認する（カメラドアホンを呼び出す）..... 5-13
映像を録画する..... 5-13
映像を再生／削除／保護する 5-14
カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで応答する..... 5-15
セキュリティサービスを利用するには..... 5-16
セキュリティサービスの動作の流れ..... 5-17
外線の通報先を登録する 5-18
セキュリティサービスを起動する..... 5-20
セキュリティサービスを解除する..... 5-20
自動通報を受けたときは 5-21
外付けカメラを利用するには 5-23
外付けカメラの映像を確認する..... 5-23
外付けカメラの映像を録画する..... 5-24
外部スピーカで一斉放送するには..... 5-25
外部スピーカで一斉放送する 5-25
専用線をご利用になるには 5-26
システム間で内線通話する 5-26
別のシステムに外線通話を転送する..... 5-27

目　次

6 ご参考に

Q&A 6-2
登録・設定 6-2
電話帳 6-2
回線 6-3
保留／内線通話／保留転送 6-4
通話 6-4
表示 6-5
音声メール機能 6-5
その他 6-6
特番を使って操作するには 6-8
特番一覧 6-8
付属品などをご利用になるには 6-17
停電になったときは 6-18
電池交換が必要になったときは 6-19
メモリ保持電池の交換について 6-19
バックアップ電池の交換について 6-19
バックアップ電池警告表示をクリアするには 6-20
バックアップ電池警告表示をクリアする 6-20
こんな音がしたら 6-21
故障かな？と思ったら 6-22
パソコンを使って電話帳を編集するには 6-23
用語の説明 6-26
索　引 6-29
仕　様 6-35
保守サービスのご案内 6-36

1 お使いになる前に

特　長 1-2

構成図 1-4

各部の名前 1-6

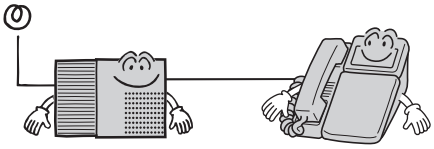
日付、時刻を合わせます 1-15

音量を調節します 1-17

特　長

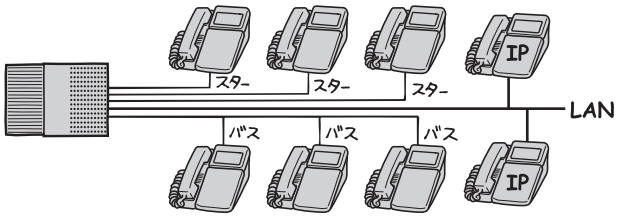
最大12回線で30台までの電話機を接続可能

ネットコミュニティシステムαNX typeS/typeMは、ビジネスの効率アップをサポートするSOHO ～中規模事業所向けのビジネスシステムです。typeSの主装置には最大10台、typeMなら最大30台の電話機を接続できます。



電話機の主装置への接続方法を3通りご用意

主装置から伸ばした1本の線に枝状に電話機を接続するバス型、主装置とそれぞれの電話機を直接接続するスター型、主装置とLAN接続されたネットワーク上にIP電話機を接続するLAN型の3通りの方法があります。



見やすい大型液晶ディスプレイ表示

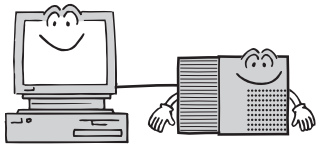
漢字も表示できる大型液晶ディスプレイです。現在の時刻や状態を確認したり、電話帳や発信履歴、着信履歴などをディスプレイに表示させて、簡単に電話をかけることができます。

簡単に行えるメニュー設定

電話機のディスプレイに表示されるメニューを操作して、さまざまな登録や設定が行えます。メニュー項目は、使い勝手に合わせて個々の電話機で登録・設定できる項目と、特定の電話機からのみ操作できるシステム共通の項目に分かれています。

パソコンを使って行えるWeb設定

LANで主装置にネットワーク接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステム共通の登録・設定が行えます。



IP電話機の利用

IPネットワーク上にIP電話機を接続することにより、音声とデータの回線を統合して、ネットワーク管理コストの低減をはかることができます。アドバンスト電話機やソフトフォン、メディアIP電話機を利用すると、映像を伴った通話も行えます。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した多彩な機能

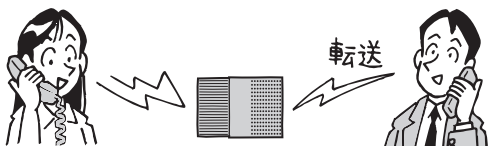
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になると、着信履歴を記録したり、相手の方によって着信先や着信音を変えるなど、発信電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。

便利に使える電話帳

内線電話機ごとに登録する個別電話帳と、複数の電話機で共有できる共通電話帳があります。電話帳を登録しておくと、発信時に電話番号を入力する手間を省けるだけでなく、電話帳グループごとに着信先を変えたり異なる着信音を鳴らすなど、いろいろな機能と組み合わせて便利にご利用いただけます。

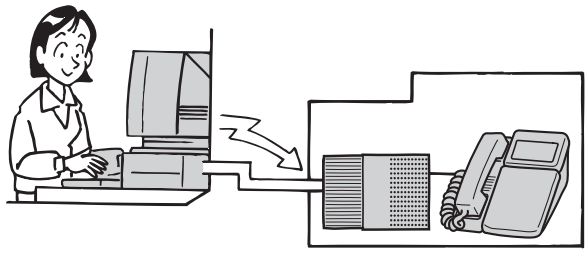
いろいろ使える転送機能

外出時や退社時などに転送をセットすると、かかってきた電話を携帯電話や自宅の電話などで受けることができます。
また、特定の方からの電話やダイヤルイン着信した電話を、あらかじめ登録した電話番号に常時転送させるように設定しておくこともできます。



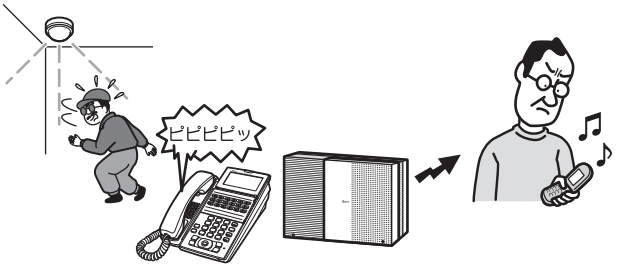
VoIP
IPネットワーク経由で音声情報を送受信するVoIP回線に対応しています。通信コストの削減が図れます。

電話回線を使った遠隔保守
電話回線を通じて、センタから各種データの設定・変更が行えます。(☛P4-62)



アラーム情報通知機能
システムの障害を検出すると、自動的にセンタに接続し障害情報を通知することができます。また、センタに対してE-Mailを送信してお知らせすることもできます。

セキュリティサービス機能
警戒センサが侵入者を検知したときに、外出先などへ自動的に通報したり、内線電話機から威嚇音を流したりすることができます。さらに、映像アダプタをご利用になることにより、映像の自動録画を設定することもできます。(☛P5-16)



必要に応じて接続できる多彩なオプション
さまざまなご利用形態に合わせて、ご希望のシステム構成ができるように多彩なオプションをご用意しています。(☛P5-2)

ビジネスフォンαクライアント収容
LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、ビジネスフォンαクライアントを内線電話機として使用することができます。

CTIサービスの利用
電話とパソコンを連動させるCTIサービスをご利用になれます。

音声メールの利用
音声メールをご利用になると、お話し中の通話内容を録音したり、不在のときに留守番電話で応答することができます。音声メールをご利用になるには、音声メールユニット（オプション）が必要です。

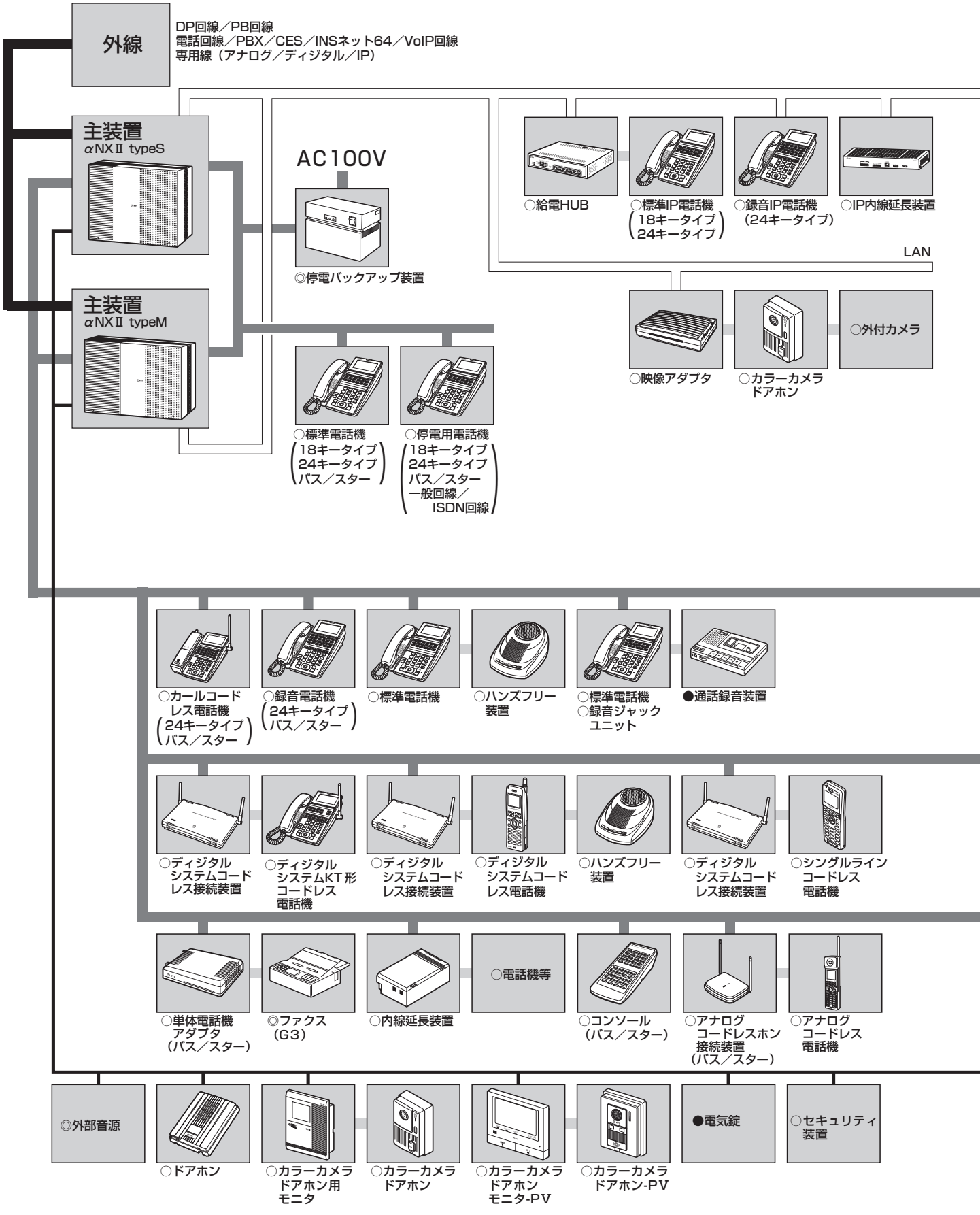
簡易音声メールの利用
簡易音声メールをご利用になると、手近な電話機から簡易留守番電話を利用することができます。簡易音声メールをご利用になるには、録音IP電話機（オプション）とシステム設定が必要です。(☛P3-78)

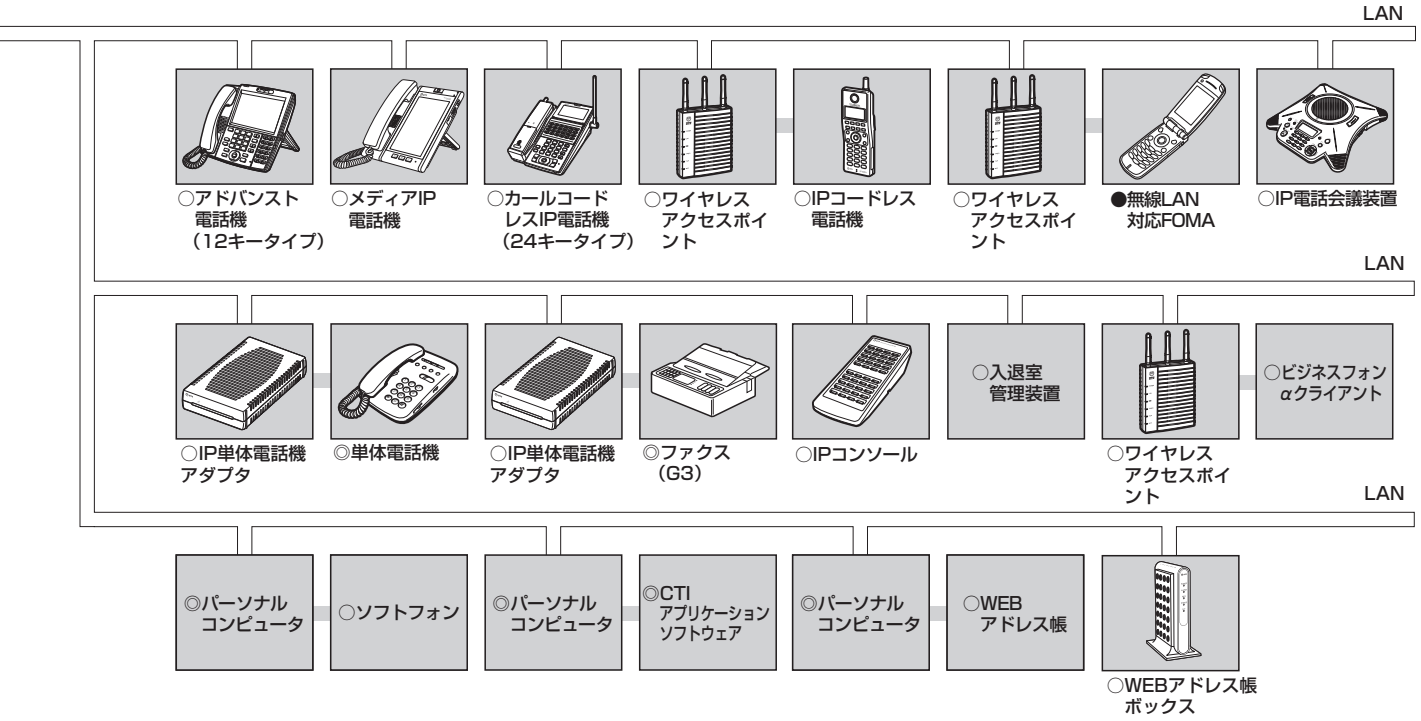
無線LAN対応FOMAの利用
LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、無線LAN対応FOMAを内線電話機として使用することができます。

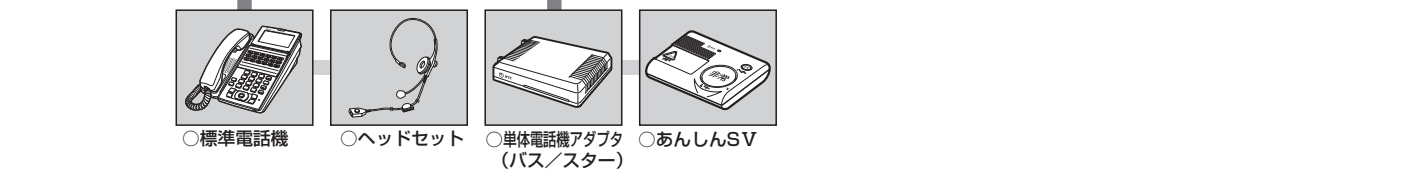
発信元への自動コールバック
特定の電話番号からの着信に対し、システムが自動的にコールバックする機能を利用すると、外出先からでも事業所（システム設置所）の料金負担で通話できます。(☛P3-22)

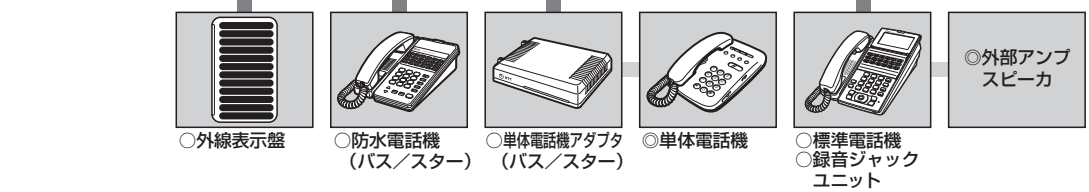
データコネクト通信機能
データコネクトサービスを利用して、ストレージ機器でファイルを受信することができます。
詳しくはアドバンスト電話機の取扱説明書を参照してください。

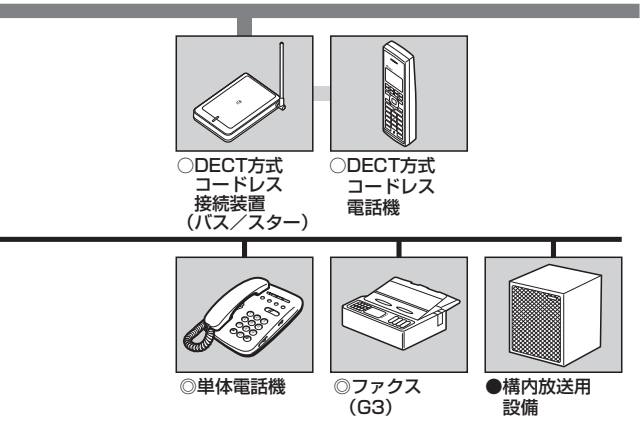
構成図


外線
DP回線／PB回線
電話回線／PBX／CES／INSネット64／VoIP回線
専用線（アナログ／ディジタル／IP）
主装置
αNXⅡ typeS
主装置
αNXⅡ typeM
AC100V
◎停電バックアップ装置
○給電HUB
○標準IP電話機
（18キータイプ
24キータイプ）
○録音IP電話機
（24キータイプ）
○IP内線延長装置
LAN
○映像アダプタ
○カラーカメラ
ドアホン
○外付カメラ
○標準電話機
（18キータイプ
24キータイプ
バス／スター）
○停電用電話機
（18キータイプ
24キータイプ
バス／スター
一般回線／
ISDN回線）
○カールコード
レス電話機
（24キータイプ
バス／スター）
○録音電話機
（24キータイプ
バス／スター）
○標準電話機
○ハンズフリー
装置
○標準電話機
○録音ジャック
ユニット
●通話録音装置
○ディジタル
システムコード
レス接続装置
○ディジタル
システムKT形
コードレス
電話機
○ディジタル
システムコード
レス接続装置
○ディジタル
システムコード
レス電話機
○ハンズフリー
装置
○ディジタル
システムコード
レス接続装置
○シングルライン
コードレス
電話機
○単体電話機
アダプタ
（バス／スター）
◎ファクス
（G3）
○内線延長装置
○電話機等
○コンソール
（バス／スター）
○アナログ
コードレスホン
接続装置
（バス／スター）
○アナログ
コードレス
電話機
◎外部音源
○ドアホン
○カラーカメラ
ドアホン用
モニタ
○カラーカメラ
ドアホン
○カラーカメラ
ドアホン
モニタ-PV
○カラーカメラ
ドアホン-PV
●電気錠
○セキュリティ
装置









ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。

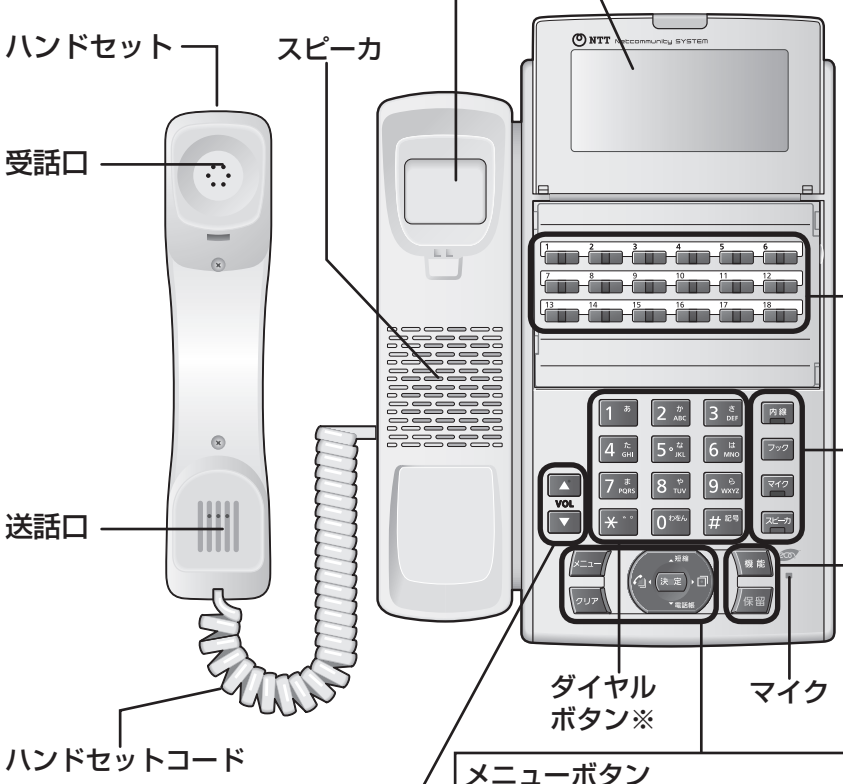
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

●：お客さまでご用意していただきます。

各部の名前

標準電話機（18キータイプ）

【前面】



回線ボタン
外線ボタンやワンタッチボタンを割り当てたり、サービスボタンなどの機能を設定することができます。

内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。

フックボタン
外へ再発信するときや、PBX回線で転送するときなどに使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままでハンズフリー通話をするときに使います。（☛P3-8）

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

機能ボタン
他のボタンと組み合わせていろいろな機能を登録するときや、文字の入力モードを切り替えるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

メニューボタン
メニュー設定を行うときや、操作メニューを表示するときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、1つ前の画面に戻るとき、メニュー設定を中止するときに使います。

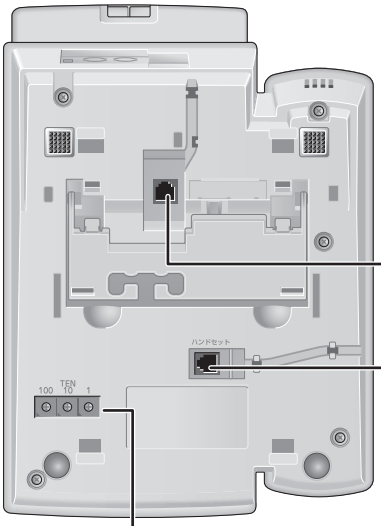
上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

- **上ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを上に移動するときや、電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **下ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを下に移動するときや、電話帳メニューを表示させるときなどに使います。
- **左ボタン、着信履歴ボタン※**
  カーソルを左に移動するときや、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **右ボタン、発信履歴ボタン※**
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

決定ボタン
選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

※：ダイヤルボタン 5・な、音量調節ボタンの ▲ の部分、左ボタン、右ボタンに突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【底面】



電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

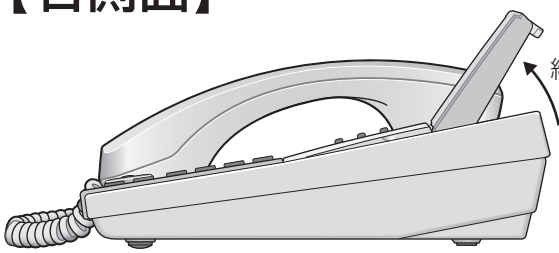
ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

STOP お願い

- 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります

【右側面】



ディスプレイ部分を起こすことができます。

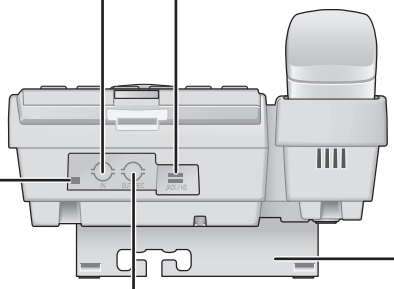
STOP お願い

- ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【背面】

入力端子差込口
音声会議装置等の出力端子を差し込みます。

入力切替スイッチ
音声ハンドセットから入力する場合と、外付けの入力装置を使う場合で切り替えます。



外部アンプ接続用コード通し口
外部アンプスピーカなどを接続するときに、ここから接続用コードを出します。

角度調節足

出力端子差込口
通話録音装置やテープデッキなどの録音装置を接続するときに使います。

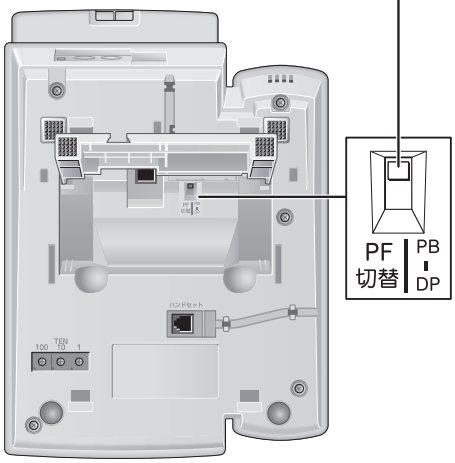
お知らせ

- 音声会議装置、通話録音装置、外部アンプスピーカなどを接続する場合は、録音ジャックユニット（オプション）が必要です。
- 音声会議装置を接続する場合は、入力切替スイッチを「JACK」に切り替えてください。

各部の名前

停電用電話機

【底面】



DP/PB切替スイッチ（一般回線停電電話機のみ）
停電用電話機のダイヤル種別を切り替えます（工事者が設定します。設定を変更すると停電時に使えなくなることがあります）。

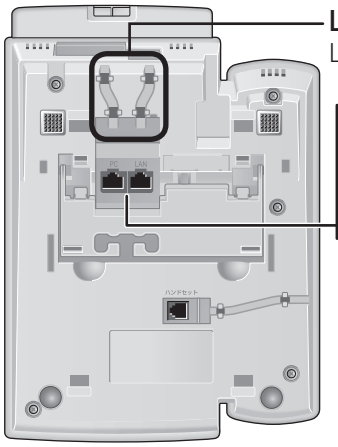
ワンポイント

○標準電話機と停電用電話機の違い
停電用電話機の外観は標準電話機と同じですが、底面にDP/PB切替スイッチがあります。
また、停電時に外から電話がかかってきたことを知らせるブザーが付いています。

○停電になったときは
バックアップ電池による動作ができなくなっても、自動的に停電用電話機に切り替わり、お使いになれます。
（☛P6-18）

IP標準電話機

【底面】



LANケーブル固定用溝
LANケーブルを溝に引っかけて固定します。

LANポート
LANケーブル（10BASE-T/100BASE-TX）を差し込み、給電HUBなどに接続します。

PCポート
パソコンを接続します。

ワンポイント

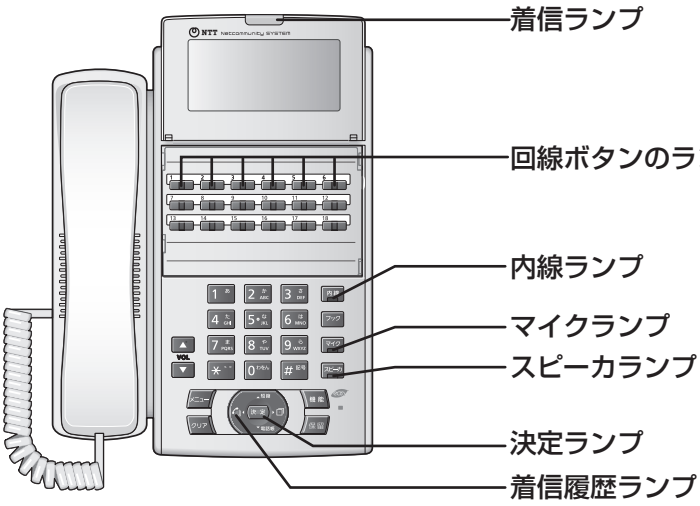
●標準電話機とIP標準電話機の違い
IP標準電話機の外観は標準電話機とほぼ同じですが、底面にLAN/PCポートがあります。

●IP標準電話機をお使いのときは
LANケーブル固定用溝にLANケーブルを固定しても電話機がぐらつく場合は、角度調節足を立ててお使いください。

お知らせ

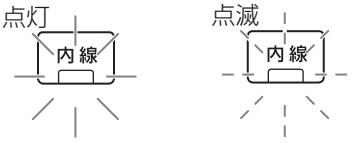
- 給電HUBを使用できないときは、電源アダプタ（オプション）を使用してください。
- IP標準電話機のPCポートに接続できるのは、1台のパソコンのみです。また、ソフトフォンは接続できません。

【ランプ表示】



■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて右のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態
着信ランプ	点滅※1	電話がかかってきたとき
外線ランプ（外線ボタン機能を割り当てられた回線ボタンのランプ）	点灯中、周期的に2回消える （緑）	自分の電話機でお話し中のとき
	点灯 （赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅 （緑）	外線通話が転送されているとき
	点滅 （赤）※2	電話がかかってきたとき
	遅い点滅 （赤）（約1秒周期）	他の内線電話機で保留中のとき
	周期的に2回点灯（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき かかってきた電話を留守番電話で応答中のとき
	遅い点滅 （赤）（約0.5秒周期）	ダイヤルイングループボタンで着信拒否しているとき※3
	遅い点滅 （緑）（約1秒周期）	フレックスホン起動中のとき
	点灯中、周期的に2回消える （赤）	転送電話／留守番電話の対象外線ボタンで、転送電話／留守番電話をセット中のとき
	遅い点滅 （緑）（約0.5秒周期）	かかってきた電話を留守番電話で応答中に相手の方の声をモニタしているとき
内線ランプ	点滅 （赤）	内線で呼び出されているとき
	点灯中、周期的に2回消える （緑）	自分の電話機で内線通話をしているとき
	周期的に2回点灯（緑）	自分の電話機で保留中のとき
マイクランプ	点灯 （赤）	マイクがオンのとき
決定ランプ	点灯 （赤）	通話を保留中で、転送できないとき
着信履歴ランプ	点灯 （赤）	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき
	周期的に2回点灯（赤）	着信履歴を確認していない不在着信があるとき
スピーカランプ	点灯 （赤）	スピーカを使用しているとき

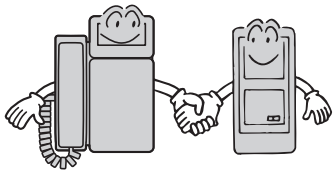
※1：個々の内線電話機で、共通／個別電話帳のグループ単位に点滅色を設定できます。（☛P4-5）
※2：保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります。
※3：外線ボタンには、ダイヤルイン番号または、ｉ・ナンバーを割り当てて「ダイヤルイングループボタン」として使用することができます。またダイヤルイングループボタンは複数の電話機で利用できます。

各部の名前

コンソール／ IPコンソール

特　長

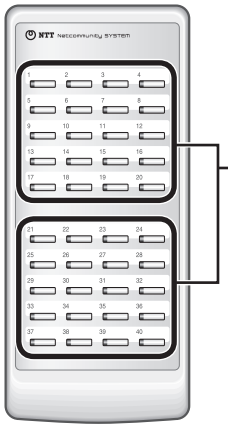
コンソール／ IPコンソールは、各主装置の内線電話機とペアを組んで使用するオプション装置です。コンソール／ IPコンソールの40個のワンタッチボタンは、ペアを組んでいる内線電話機のワンタッチボタンまたはサービスボタンと同じ働きのボタンとして使用することができます。



【前面】

ペア電話機
例：標準電話機（18回線ボタンタイプ）

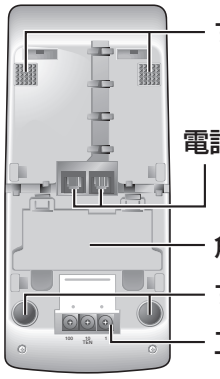
コンソール／ IPコンソール



ワンタッチボタン
ペア電話機のワンタッチボタンと同様に、あらかじめ登録した操作がワンタッチで行えます。

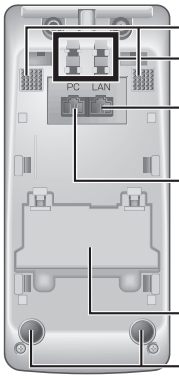
【底面】

コンソール



すべり止め
電話機コード差込口
角度調節足
すべり止め
工事者設定用スイッチ

IPコンソール



すべり止め
LANケーブル固定用溝
LANポート
LANケーブル（10BASE-T/100BASE-TX）を差し込み、給電HUBなどに接続します。
PCポート
パソコンを接続します。
角度調節足
すべり止め

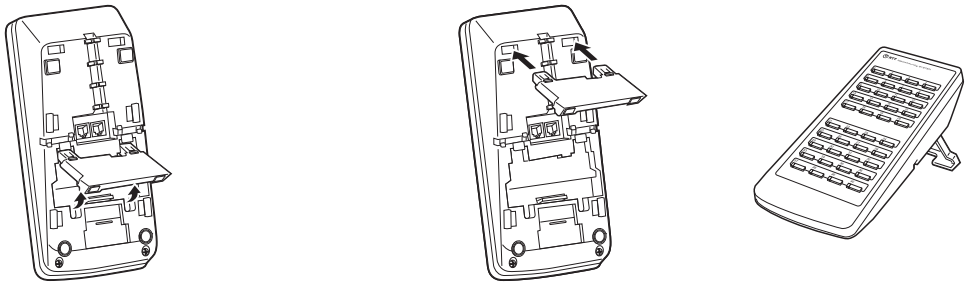
STOP お願い

- 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

ワンポイント

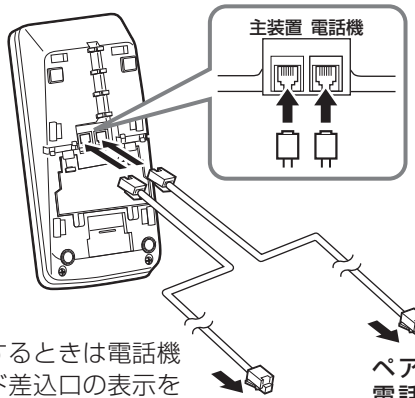
●コンソール／ IPコンソールの設置角度を調節するには

①底面から、角度調節足を外します。　②溝に角度調節足をはめこみます。



●コンソール（スター）を接続するには

電話機コードの接続先が主装置なのかペア電話機なのかを、下記の図を参考によく確認して間違えないように接続してください。



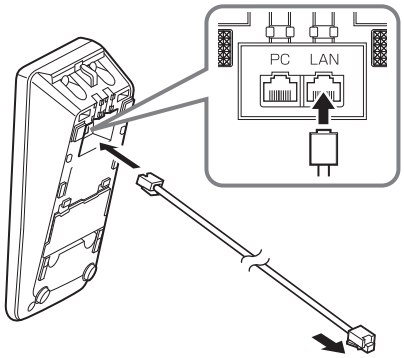
接続するときは電話機コード差込口の表示を確認して接続してください。

主装置側

ペア電話機の電話機コード差込口へ差し込む

● IPコンソールを接続するには

LANケーブル（10BASE/100BASE-TX）を使って、ペア電話機となるIP電話機と同一の給電HUBまたは専用ACアダプタに接続してください。



給電HUBまたは専用ACアダプタに接続する

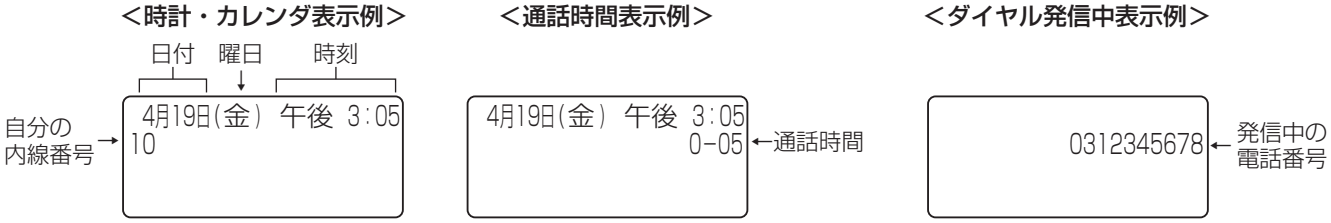
お知らせ

●IPコンソールのPCポートに接続できるのは、1台のパソコンのみです。また、ソフトフォンは接続できません。

各部の名前

【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ダイヤル回線をご利用の場合、プッシュ回線をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合、VoIP回線をご利用の場合で異なります。この取扱説明書では、ダイヤル回線をご利用の場合を例として説明しています。



■ディスプレイの表示例

待機中	4月19日(金) 午後 3:05 10	待機中のときに表示されます。
外線発信（DP回線）	4月19日(金) 午後 3:05 外線	ダイヤル回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（PB回線）	4月19日(金) 午後 3:05 外線 PB	プッシュ回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（ISDN回線）	4月19日(金) 午後 3:05 外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（VoIP回線）	4月19日(金) 午後 3:05 外線 VoIP	VoIP回線で外に電話をかけるときに表示されます。

外線通話（DP回線）	4月19日(金) 午後 3:05 0-05	ダイヤル回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（PB回線）	4月19日(金) 午後 3:05 0-05 PB	プッシュ回線で外の相手の方とお話し中のとき、またはPB信号が送出可能なときに表示されます。
外線通話（ISDN回線）	4月19日(金) 午後 3:05 0-05 ISDN PB	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（VoIP回線）	4月19日(金) 午後 3:05 0-05 VoIP PB	VoIP回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
キーパッド送出（ISDN回線）	4月19日(金) 午後 3:05 0-05 ISDN PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ	キーパッド送出（ISDN回線）が可能なときに表示されます。

ワンポイント

●ディスプレイの表示をクリアするには（表示クリア）

クリア を押すと、表示内容をクリアすることができます。ただし、ディスプレイにピクトグラム（PB、ISDN、不在着信転送など）表示中の場合は、ピクトグラムの表示はクリアされません。

○ディスプレイのバックライトを点灯させるには

ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯させておくほか、ボタン操作をしたときに点灯するように設定することもできます。（☛P4-17）

＜バックライト消灯＞

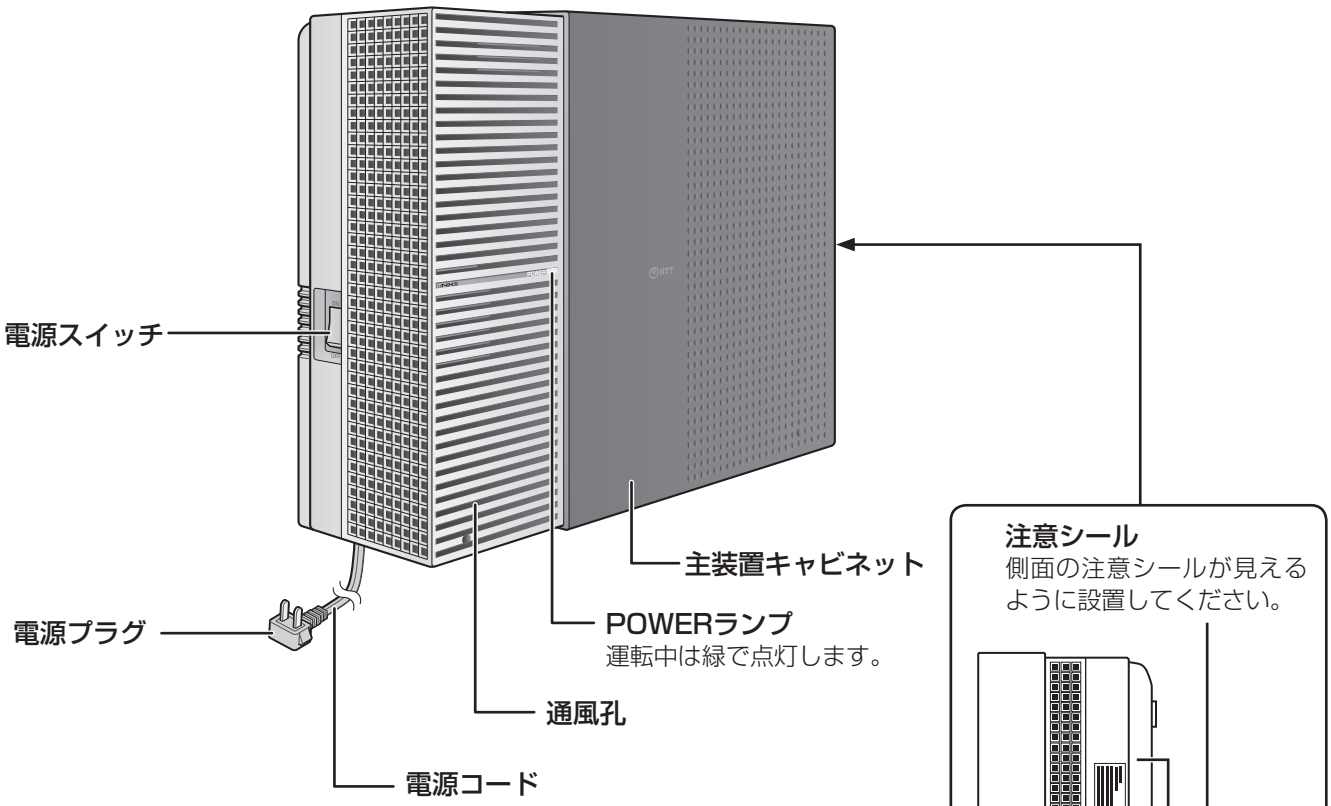
＜バックライト点灯＞

お知らせ

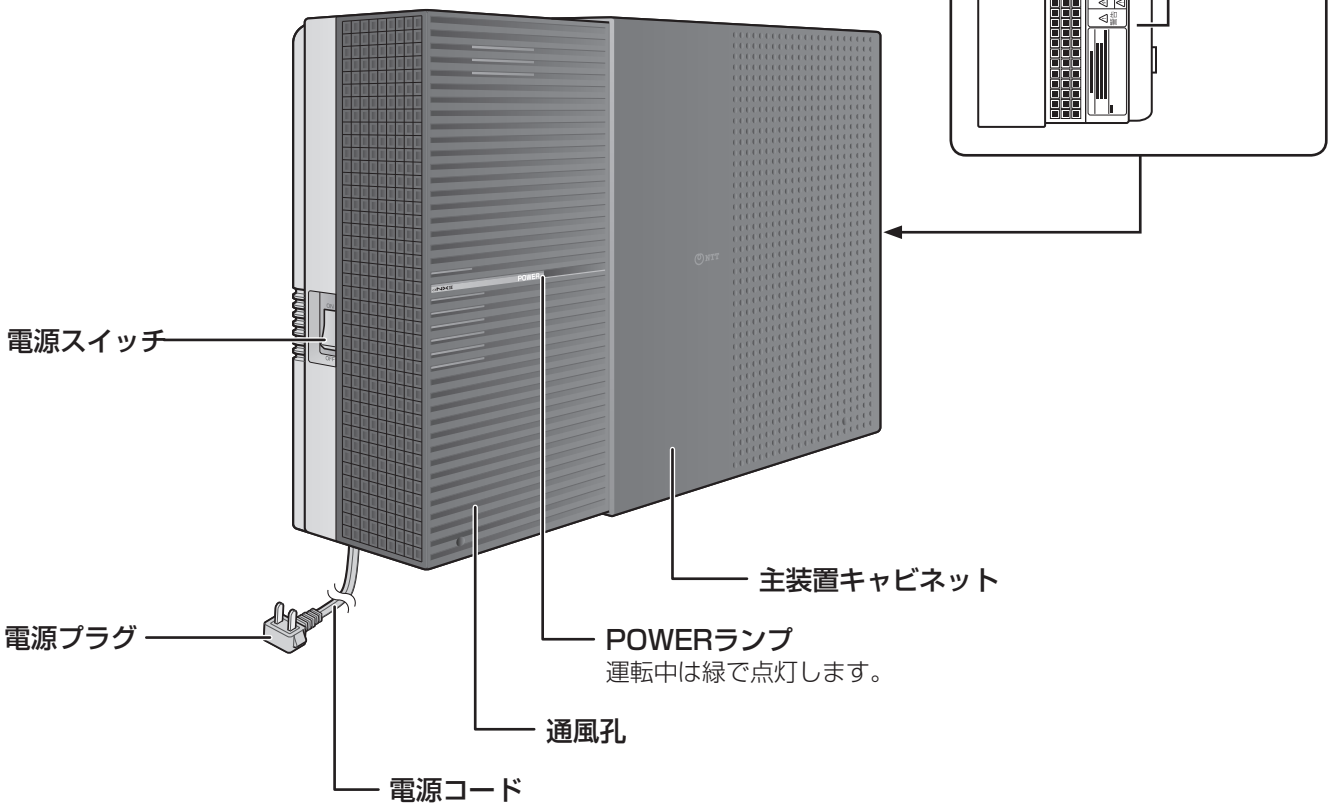
- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- 会議通話中にキーパッド送出はできません。
- ＊ を押した場合、ディスプレイには「＊」と表示されます。

各部の名前

主装置（typeS）



主装置（typeM）



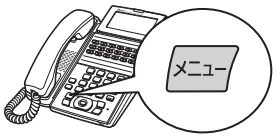
日付、時刻を合わせます

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）でメニュー設定を行い、年月日と時分を設定します。日付・時刻の設定は、他の電話機が外線を使用していないときに行ってください。なお、日付・時刻は、NTPサーバを使って自動設定できます。（☛P1-16）

日付を設定する <システム一括設定>

＜例＞2013年4月19日に合わせるとき

1 メニュー を押す。




```
1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決□定 を押す。

または 2 かABC を押します。

```
1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留
```

3 上下ボタンで「5：時計／アラーム」を選選択し、決□定 を押す。

または 5・なJKL を押します。

```
1:日付設定
2:時刻設定
3:ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ時刻設定
```

4 決□定 を押す。

または 1 あ を押します。

```
日付設定
▌ /  /
```

5 西暦の下2桁をダイヤルボタンで押す。

1 あ 3 さDEF

↑

西暦年（00 ～ 99）

```
日付設定
13/▌ /
```

6 月をダイヤルボタンで押す。

0わをん 4 たGHI

↑

月（01 ～ 12）

```
日付設定
13/04/▌
```

7 日をダイヤルボタンで押す。

1 あ 9 らWXYZ

↑

日（01 ～ 31）

```
日付設定
▌3/04/19
```

8 決□定 を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、日付が設定されます。

9 クリア を長く押す。

```
 4月19日(金)  午後  0:00
10
```

ワンポイント

●メニュー項目を選択するには

メニュー設定を行うときは、目的のメニュー項目を選択して手順4の画面のような設定画面を表示させます。上下ボタンと 決□定 でメニュー項目を選択する方法のほかに、ダイヤルボタンでメニュー番号を押す方法（例：2 かABC 5・なJKL 1 あ）があります。

お知らせ

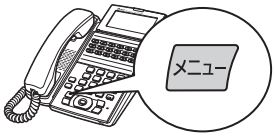
●他の人が外線を使用しているときは、内線電話機からの設定はできません。

日付、時刻を合わせます

時刻を設定する
＜システム一括設定＞

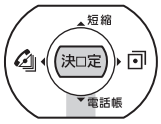
＜例＞午後3時5分に合わせるとき

1 メニュー を押す。



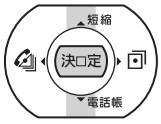
1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決□定 を押す。
または 2 か ABC を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「5：時計／アラーム」を選選択し、決□定 を押す。
または 5 な JKL を押します。



1:日付設定
2:時刻設定
3:ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ時刻設定

4 上下ボタンで「2:時刻設定」を選択し、決□定 を押す。
または 2 か ABC を押します。

時刻設定
▌：

5 時刻をダイヤルボタンで押す。

1 あ 5 な JKL
↑
時（00～23）
（24時間制）

0 わん 5 な JKL
↑
分（00～59）

時刻設定
▌5：05

6 決□定 を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、時刻が設定されます。

7 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

○日付・時刻を自動設定する

NTPサーバに定期的に時刻の問合せを行い、NTPサーバからの時刻情報をもとに日付・時刻を自動設定することができます。

お買い求め時は、自動設定しないように設定されています。メニュー設定やWeb設定、特番を使って、自動設定するように設定できます。（☛P4-24、P4-53、P6-15）

お知らせ

- 他の人が外線を使用しているときは、内線電話機からの設定はできません。
- 時刻表示に誤差が生じることがあります。この場合は、同様の操作で設定をやり直してください。
  なお、NTPサーバを使って日付・時刻を自動設定することで誤差を生じなくすることができます。
- NTPサーバの問合せ時刻に他の人が外線を使用しているときは、自動設定できません。翌日NTPサーバの問合せ時刻に改めて問合せが行われます。
- NTPサーバを使って日付・時刻を自動設定するにはインターネットの接続が必要です。

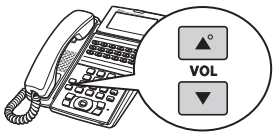
音量を調節します

着信音量を調節する

各内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

着信音量の設定状態が表示されます。




```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
着信音 <<<
```

▲ボタン ▼ボタン

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
着信音 <<
```

▲ボタン ▼ボタン

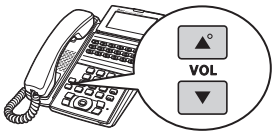
```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
着信音 <
```

スピーカ音量を調節する

各内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

スピーカ音量の設定状態が表示されます。




```
 4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
ｽﾋﾟｰｶ音 <<<<<<<<
```

▲ボタン ▼ボタン

```
 4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
ｽﾋﾟｰｶ音 <<<<
```

▲ボタン ▼ボタン

```
 4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
ｽﾋﾟｰｶ音 <
```

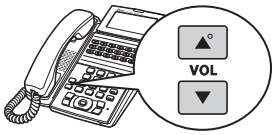
音量を調節します

ハンドセット受話音量を調節する

各内線電話機ごとに、ハンドセットでお話し中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 **お話し中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。**

受話音量の設定状態が表示されます。



4月19日(金) 午後 3:05
0-05
受話音 <<<<

▲ボタン ▼ボタン

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
受話音 <<<

▲ボタン ▼ボタン

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
受話音 <<

▲ボタン ▼ボタン

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
受話音 <

ワンポイント

●ハンドセット受話音量をさらに上げるには

ハンドセットからの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」への切り替えが行えます。明瞭モード内でも相手の方の声を7段階に調節できます。

①ハンドセットでお話し中に、▲ボタンを長く押す
明瞭モードに切り替わります。

②さらに大きくするときは▲ボタン（小さくするときは▼ボタン）を押す

明瞭モードの「<」（通常モードの「<<<」に相当）に切り替わる

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
受話増 <

③通常モードに戻すときは、▼ボタンを長く押す
通常モードに切り替わります。

サービスボタンに「受話音量増大」の機能を割り当てると

「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（受話音量増大）を割り当てると、サービスボタン（受話音量増大）を押すだけで、ハンドセット受話音量の明瞭モードと通常モードの切り替えができます。

サービスボタン（受話音量増大）を押して明瞭モードに切り替えるとサービスボタン（受話音量増大）ランプが赤く点灯し、再度サービスボタン（受話音量増大）を押して通常モードに切り替えるとランプが消えます。
（☛P3-12）

●音量が最大のときまたは最小のときは

最大のときに音量調節ボタンの▲を、最小のときに音量調節ボタンの▼を押しても音量は変わりません。

お知らせ

●明瞭モードに切り替えても、ハンドセットを置くか、スピーカ受話にすると通常の音量に戻ります。

●明瞭モードに切り替えると、通話中に「サー」という音が聞こえることがありますが、周囲の雑音も大きく聞こえるためです。故障ではありません。

⚠注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）..... 2-2

電話がかかってきたときは（外線着信）..... 2-6

相手の方に待っていただくには（保留）..... 2-8

ワンタッチボタンで電話をかけるには..... 2-10

電話帳を使って電話をかけるには
（電話帳ダイヤル）..... 2-12

電話を取りつぐには（保留転送）..... 2-22

内線でお話しするには（内線通話）..... 2-25

高音質での通話を利用するには 2-28

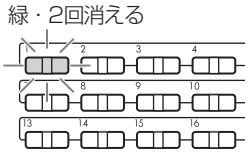
電話をかけるには　（外線発信）

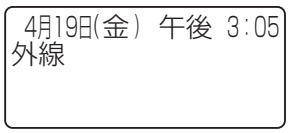
ハンドセットを取りあげてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法（オンフックダイヤル）、押した電話番号を確認してかける方法があります。天気予報や時報を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。

ハンドセットを取りあげてかける

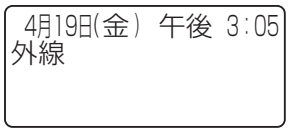
1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

「ツー」という発信音を確認してください。





2 **ハンドセットを取りあげる。**

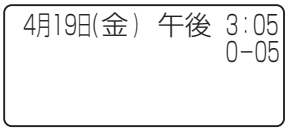


3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

電話番号が表示されます。

4 **相手の方が出たら、お話しする。**

通話時間が表示されます。



5 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

ワンポイント

●外線ランプが赤く点灯しているときは

他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号（0わをん［　　］）を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

外線ボタンの回線名称を確認するには

外線ボタンの回線名称は「システム設定」で12桁まで設定することができます。ハンドセットを置いたまま、機能、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線名称が表示されます。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。

●ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには

ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。

●続けて電話をかけるときは

次のどちらかの方法で、電話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。どちらの方法を使うかは「システム設定」で選択できます。

- フックボタンを押す
- 機能、フックボタンの順に押す

●お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）

ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

○長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようにするには

通話時間が一定時間を超えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☛P4-27）

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

●INSネット64で料金表示させるには（☛P4-25）

お知らせ

- 通話時間は最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。
- 外線への発信を規制することができます。（☛P4-21）
- 手順3でディスプレイ2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動し、さらに1桁押すごとに2桁目以降が1段目に移動します。
- ハンドセットを取りあげたとき、スピーカボタンを押したときには、オフフック外線発信設定（☛P4-6）によって次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

  オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。
  外線ボタンまたは内線ボタンを押した場合の動作は、ワンタッチ／プリセレクション設定により異なります。
  - 外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで発信できる（ワンタッチ捕捉）
  - 外線ボタンまたは内線ボタンに続きスピーカボタンを押して発信できる（プリセレクション）

  この取扱説明書では、オフフック内線捕捉および、ワンタッチ捕捉の状態で説明しています。

Q&A

▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P6-3）*
▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P6-3）*
▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

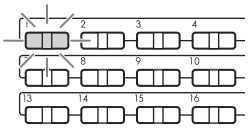
電話をかけるには　（外線発信）

ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）

1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

「ツー」という発信音を確認してください。

緑・2回消える



4月19日(金) 午後 3:05
外線

2 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

電話番号が表示されます。

0312345678

3 **相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。**

通話時間が表示されます。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05

4 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 通話時間は最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。
- 外線への発信を規制することができます。（☛P4-21）
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

ワンポイント

●外線ランプが赤く点灯しているときは

他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号（0 [　　]）を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

○外線ボタンを押したときの設定を変更するには（ワンタッチ／プリセレクション）

空いている外線ボタンを押したあと、スピーカボタンを押して外線を捕捉するプリセレクションサービスを利用するように設定を変更することができます。（☛P4-6）

●オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには

時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、オンフックダイヤルで電話をかけたあと、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときはスピーカボタンを押します。

外線ボタンの回線名称を確認するには

外線ボタンの回線名称は「システム設定」で12桁まで設定することができます。ハンドセットを置いたまま、機能、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線名称が表示されます。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。

●続けて電話をかけるときは

次のどちらかの方法で、電話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。どちらの方法を使うかは「システム設定」で選択できます。

- フックボタンを押す
- 機能、フックボタンの順に押す

○長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようにするには

通話時間が一定時間を超えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☛P4-27）

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

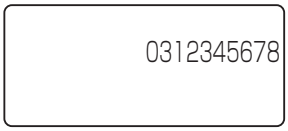
Q&A

- *INSネット64をご利用になるには？（☛P6-3）*
- *VoIP回線をご利用になるには？（☛P6-3）*
- *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

1 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

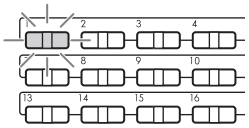
電話番号が表示されます。

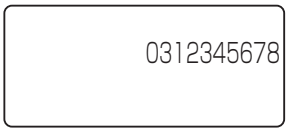


2 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

表示されている電話番号がダイヤルされます。

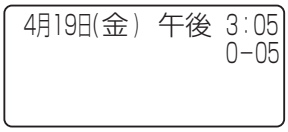
緑・2回消える





3 **相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。**

通話時間が表示されます。



4 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

ワンポイント

●番号を間違えて入力したときは

電話番号を入力したあとで クリア を押すと、最後に入力した文字が１文字ずつ削除されます。また、クリア を長く押すと、全桁削除されます。

●発信を中止するには

手順１のあと手順2を行わず、「プリセット読出タイマ」（☛P4-27）で設定されている時間が経過すると、時計・カレンダ表示に戻り、プリセットダイヤルが解除されます。

プリセットダイヤル利用の可否を設定するには

お買い求め時は、プリセットダイヤルで電話をかけることができるように設定されています。プリセットダイヤル利用の可否は、「システム設定」により電話機ごとに設定を変えられます。

○電話番号が表示されている秒数を変更するには

お買い求め時は、6秒間に設定されています。１～30秒の間で設定を変えることができます。（☛P4-27）

お知らせ

●手順2で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

●手順1の電話番号は32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。

●プリセットダイヤルを利用されている場合でも、プリセレクションサービスをご利用いただけます。

Q&A

▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P6-3）*
▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P6-3）*
▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

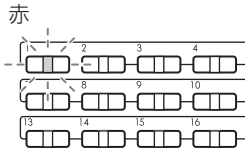
電話がかかってきたときは　（外線着信）

外から電話がかかってくると、着信音が鳴るように指定した電話機から着信音が聞こえ、着信ランプと外線ランプが点滅します。

1 **着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。**

4月19日(金)　午後　3:05

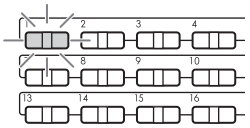
赤



電話帳グループごとに着信ランプの点滅色を変えるには（☛P2-7）

2 **ランプが点滅している外線ボタンを押す。**

緑・2回消える



4月19日(金)　午後　3:05

3 **ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。**

通話時間が表示されます。

4月19日(金)　午後　3:05
0-05

4 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

お知らせ

- 着信メロディをお使いのときでも信号音で鳴る場合があります。
- 外の相手の方とお話し中に、保留しないで他の外線ボタンを押すと電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 電話機ごとの設定により、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しないようにすることができます。（☛P4-8）
- 他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- 着信音は、外線着信、PBX/CES内線着信、メンバーズネットなどの種別ごとに異なる周期で鳴ります。

Q&A

- ▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P6-3）*
- ▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P6-3）*
- ▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*
- ▶ *迷惑電話を着信拒否するには（☛P6-7）*

ワンポイント

●着信ランプとは
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

○電話帳グループごとに着信ランプの点滅色を変えるには
電話帳グループによって、異なる色に点滅するように設定することができます。（☛P4-5）

○一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答警報）
一定時間内に応答しなかったときは、着信音が警報音に切り替わるように設定できます。（☛P4-22）

●外線または内線でお話し中に電話がかかってきたときは（通話中着信）
スピーカから通常より小さな音で着信音が聞こえます。

○電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには
電話機ごとに外線の着信音、内線の着信音の音色を切り替えることができます。（☛P4-7）

○電話帳グループごとに着信音を変えるには
電話帳グループによって異なる着信音が鳴るように設定することができます。（☛P4-19）

外からの電話を特定の電話機に着信させるには
ダイヤルインサービスやi・ナンバー、サブアドレス通知サービスをご利用になると、外からかける方のダイヤル操作によって呼び出す電話機を特定できます。（☛P3-44）サービスのご利用にはご契約および「システム設定」が必要です。

●ハンドセットを取りあげてから応答するには
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても応答できます。

●続けてかかってきた電話に応答するには
ハンドセットを取りあげたまま、ランプが点滅している外線ボタンを押すと応答できます。

●他の電話機に通話モニタを許可するには
お話し中に他の電話機に通話モニタを許可することができます。
①お話し中に 機能 を押す
②通話モニタの特番（7 7 [　　]）を押す（お話しを聞く内線電話機の外線ランプが点滅する）
③お話しを聞く内線電話機で、点滅している外線ボタンを押す
通話モニタの許可を中止するときは、＊ を押します。
※索線ボタンで通話モニタはできません。他の外線ボタンでの通話の場合にご利用ください。

●着信音が鳴る状態になっているかどうかを確認するには
外線着信音は、システムモード（☛P3-74）や外線着信鳴動設定（☛P4-7）、曜日毎鳴動モード設定（☛P4-8）などにより、時間帯によっては鳴らないように設定されていることがあります。
現在、外線着信音が鳴る状態になっているかどうかは、個々の内線電話機で確認できます。ハンドセットを置いたまま、機能、外線ボタンの順に押し、「ピッピッ」という確認音が聞こえたときは、外線着信音が鳴ります。ただし、着信中および通話中のときは、確認音が聞こえない場合があります。

相手の方に待っていただくには （保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留と、他の電話機では出られない個別保留があります。

保留する（共通保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

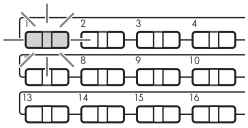
2 保留 を押して、ハンドセットを置く。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑・2回消える



4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
1-00

他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

2 機能 を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
機能

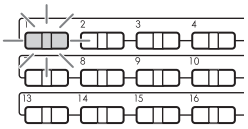
3 保留 を押して、ハンドセットを置く。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
他の電話機では、外線ランプが赤く点灯します。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

4 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑・2回消える



5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
1-00

ワンポイント

○保留忘れを防止するために

保留状態が一定時間続いたときに、電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。（☛P4-23）

保留警報音が鳴っても電話に出ないときは

「システム設定」により保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、自動的に電話が切れるように設定することができます。

保留メロディを電話機のスピーカから鳴らすには

「システム設定」により、スピーカからも保留メロディが流れるようにすることができます。（☛P4-58）

●個別保留の操作

機能、保留 を順に押す代わりに、内線ボタンまたはダイレクトボタンを押して個別保留にすることもできます。

○保留メロディを変えるには

保留メロディを選択することができます。（☛P4-23）

内線／外線の通話をパーク保留するには

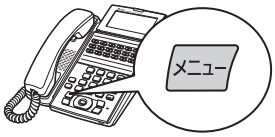
お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線／外線に応答できます。

ワンタッチボタンで電話をかけるには

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンによくかける相手の電話番号を登録しておくと、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンには32桁までの電話番号やボタン操作を、内線電話機ごとに登録できます。

ワンタッチボタンに登録する

1 メニューを押す。



1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決□定を押す。
または 1 あ を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

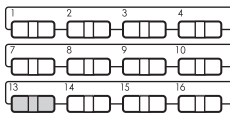
3 上下ボタンで「5：ワンタッチ」を選択し、決□定 を押す。
または 5・な JKL を押します。

1:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2:ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
3:ﾜﾝﾀｯﾁﾒﾓﾘ全削除

4 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを押下して
ください

5 登録するワンタッチボタンを押す。



登録するﾎﾞﾀﾝ?
SpLK987654321
ﾜﾝﾀｯﾁ押下で決定

すでにワンタッチボタンが登録されているときは、その内容が表示されます。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

登録するﾎﾞﾀﾝ?
0312345678
ﾜﾝﾀｯﾁ押下で決定

電話番号は32桁まで登録できます。

7 手順5で押したワンタッチボタンを押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチボタンが登録されます。
続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

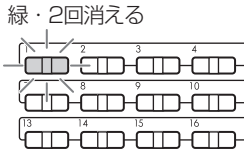
お知らせ

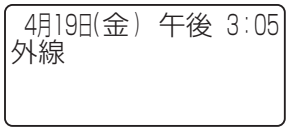
●スピーカボタンや回線ボタンを押すと、ボタンに対応した記号がディスプレイに表示されます。

ワンタッチボタンでかける

1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

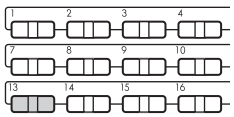
「ツー」という発信音を確認してください。

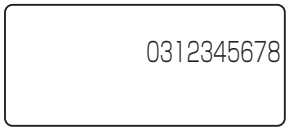




2 **ワンタッチボタンを押す。**

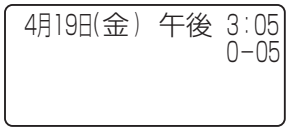
登録されている電話番号が表示されます。





3 **相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。**

通話時間が表示されます。



ワンポイント

●PBX（構内交換機）に収容されているときは
外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●PBX/CES回線に接続されているときは
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。外線発信番号を登録していない場合は、一般の電話番号に発信できなくなります。

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

Q&A
- *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*
- *ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P6-6）*

ワンポイント

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンは
どの回線ボタンにワンタッチボタンが割り当てられているかは、電話機のタイプやオプションのご利用状況によって異なります。また、ワンタッチボタンを割り当てる回線ボタンは、「システム設定」によって変更できます。お買い求め時には、ワンタッチボタンは次のボタンに割り当てられています。
typeS：5 ～ 24の回線ボタン
typeM：13 ～ 24の回線ボタン

●登録できるボタン操作は
ワンタッチボタンには、音量調節ボタン、ワンタッチボタンを除くすべてのボタン操作を登録することができます。1つのボタン操作を1桁と数え、32桁まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくと便利です。

●登録しているワンタッチボタンを確認するには
機能、ワンタッチボタンの順に押すと、登録内容が約6秒間表示されます。

●ワンタッチボタンに内線番号を登録するには
①手順1 ～ 5の操作を行う
②内線ボタンを押す
③登録する内線番号をダイヤルボタンで押す
④手順7 ～ 8の操作を行う

●ワンタッチボタンに電話帳ダイヤルを登録するには
①手順1 ～ 5の操作を行う
②短縮ボタンを押す
③登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押す
④手順7 ～ 8の操作を行う

●登録した内容を変更するには
最初から登録し直します。

●ワンタッチボタンの登録中の内容を1桁消去するには
手順6で クリア を2回押します。

○ワンタッチボタンの登録内容をすべて消去するには
ワンタッチボタンに登録した電話番号やボタン操作をまとめて消去することができます。（☛P4-11）

●システムに接続しているPBX、CESの内線へ発信するときは
相手先内線番号を登録します。

Q&A
- *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？（☛P6-2）*

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。個々の内線電話機ごとに登録できる個別電話帳の他に、すべての内線電話機で利用できる共通電話帳があります。また、電話帳1件につき、最大4つの電話番号を登録できます。登録は、外線通話中にも行えます。

電話帳を登録する

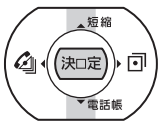
個別電話帳の登録はそれぞれの内線電話機で、共通電話帳の登録は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）で行います。

1 電話帳ボタンを長く（2 ～ 3秒）押す。

```
1:個別電話帳登録
2:共通電話帳登録
```

2 上下ボタンで「1：個別電話帳登録」または「2：共通電話帳登録」を選択し、決□定 を押す。

または 1 あ か 2 かABC を押します。




```
名称入力
[漢] 機能
```

3 名称を入力する。

「文字を入力する」（☛P2-14）を参照して名称を入力してください。

```
名称入力
鈴木
[漢] 機能
```

4 決□定 を押す。

漢字・かなモードで名称を入力した場合は、入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。

```
ﾌﾘｶﾞﾅ入力
ｽｽﾞｷ
[カナ] 機能
```

フリガナを変更する場合は、「文字を入力する」（☛P2-14）を参照して修正してください。

5 決□定 を押す。

```
名 鈴木
ｶﾅ ｽｽﾞｷ
(未登録)
◀▲▼▶ 登録 保留
```

6 決□定 を押す。

```
電話番号入力

ﾒﾆｭｰ
```

7 電話番号をダイヤルボタンで押す。

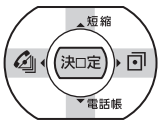
```
電話番号入力
045○○○XXXX
ﾒﾆｭｰ
```

8 決□定 を押す。

```
1:
2:
3:
◀▲▼▶
```

9 上下左右ボタンで登録したいアイコンを選択し、決□定 を押す。

または 1 あ ～ 8 やTUV を押します。




```
名 鈴木
ｶﾅ ｽｽﾞｷ
045○○○XXXX
◀▲▼▶ 登録 保留
```

選択できるアイコンは（☛P2-13）

10 複数の電話番号を登録する場合は、上下左右ボタンで「(未登録)」を選択し、決□定 を押す。

電話番号の登録を終了する場合は、手順12に進みます。

```
電話番号入力

ﾒﾆｭｰ
```

11 手順7 ～ 9を行う。

12 上下左右ボタンで「GR 指定なし」を選択し、決□定 を押す。

```
(未登録)
GR 指定なし
◀▲▼▶ 登録 保留
```

13 上下左右ボタンで登録先のグループを選択し、決□定 を押す。

または 0 わをん ～ 9 らWXYZ を押します。

```
(未登録)
GR ｸﾞﾙｰﾌﾟ2
◀▲▼▶ 登録 保留
```

14 保留 **を押す。**

空いている一番若いメモリ番号が3行目に表示されます。
メモリ番号を指定する場合は、メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

メモリ番号入力
000～799で指定
000

15 決定 **を押す。**

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番若いメモリ番号に登録されます。続けて登録するときは、手順16へ進みます。

メモリ番号 000
に登録されました
決定ボタンで
連続登録できます

16 決定 **を押す。**

手順2の画面に戻ります。手順3 ～ 15を繰り返すと、電話帳を続けて登録できます。
6秒以内に操作を行わなかったときは、待機状態に戻ります。

名称入力
[漢] 機能

ワンポイント

●電話帳に登録できる内容は

項　目	登録内容
名称	全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0 ～ 9、＊、＃）およびポーズを登録できる。最大4番号を登録できる
グループ	10のグループに分類できる
アイコン	8種類のアイコンから選択できる
メモリ番号	共通電話帳：000 ～ 799（「システム設定」によっては00 ～ 79） 個別電話帳：800 ～ 999（「システム設定」によっては80 ～ 99）
発信番号属性	「一般外線番号」または「PBX内線番号」のいずれかを選択できる。お買い求め時は「一般外線番号」に設定されている

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☛P4-20）

●登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、クリア を押します。

ワンポイント

● 選択できるアイコンは

番　号	アイコン	番　号	アイコン
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

●登録を中止するには

クリア を長く押すと、時計・カレンダ表示に戻ります。ただし、文字や数字の入力中は中止できません。

○発信番号属性を設定するには

電話番号入力画面で、次のように操作します。

①メニュー を押す

②上下ボタンで設定を選択し、決定 を押す

○グループ名を登録するには

「グループ0」～「グループ9」を、わかりやすい名称に変更できます。（☛P4-19）

○既存のメモリ番号に上書き登録するには

①手順14で上書きしたいメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定 を押す

②上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定 を押す

○個別電話帳を全件削除するには（☛P4-4）

○共通電話帳を全件削除するには（☛P4-20）

共通電話帳の全件削除は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

●登録されている電話帳を確認するには

①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）

②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定 を押す

③電話帳の詳細画面で内容を確認する

●携帯電話の電話帳を赤外線通信で登録するには

録音電話機／録音IP電話機の赤外線通信機能を利用して、携帯電話から受信した電話帳を1件（最大4番号）ずつ個別電話帳または共通電話帳に登録することができます。詳しくは、録音電話機／録音IP電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

●登録できる電話帳の件数は、お買い求め時には、共通電話帳はメモリ番号000 ～ 799の800件、個別電話帳は800 ～ 999の200件（ただし、共通電話帳とすべての内線電話機の個別電話帳を合わせて最大1400件）登録できるように設定されています。「システム設定」を変更すると、共通電話帳00 ～ 79と個別電話帳80 ～ 99を合わせて最大100件登録することができます。

Q&A

▶ *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？（☛P6-2）*
▶ *電話帳が登録できないときは？（☛P6-3）*

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

文字を入力する

〈例〉電話帳の名称登録画面で「鈴木」と入力する場合

1 文字が入力できる画面で、機能 を押して入力モードを切り替える。

ここでは［漢］と表示される漢字・かなモードで入力を行います。

名称入力
[漢] 機能

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押す。

「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。（☛P2-15）

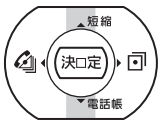
ここでは次のように押します。

①「す」：3 さ DEF を3回押す
②カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
③「す」：3 さ DEF を3回押す
④「゛」：＊ ゛゜ を1回押す
⑤「き」：2 か ABC を2回押す

名称入力
すず き
[漢] 機能

3 上下ボタンを押す。

変換候補が表示されます。



名称入力
鈴木
[漢] 機能

変換候補が複数あるときは、上下ボタンを押すごとに次の候補が表示されます。また、「す」や「すず」だけの変換候補を表示させたいときは、左右ボタンで変換候補を指定し、再度上下ボタンを押します。

4 決□定 を押す。

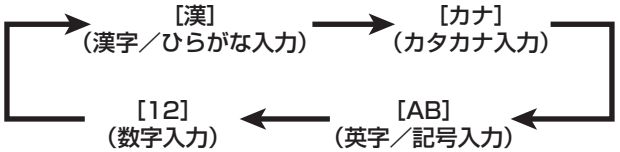
漢字が確定されます。

名称入力
鈴木
[漢] 機能

ワンポイント

●入力モードを切り替えるには

文字入力中に 機能 を押すと、入力モードが切り替わります。ただし、フリガナ入力のときは漢字・かなモードには切り替えられません。



●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには

右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

●入力した文字を消去するには

左右ボタンで消去する文字にカーソルを移動し、クリア を押します。カーソル位置に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消去されます。

●全角カタカナを入力するには

漢字・かなモードでひらがなを入力して上下ボタンを押し、全角カタカナに変換します。

ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ボタン		入力モード			
		漢字・かな（全角）	カナ	英字	数字
1 あ		あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｱｲｳｴｵ		1
2 か ABC		かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3 さ DEF		さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4 た GHI		たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5 な JKL		なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6 は MNO		はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7 ま PQRS		まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8 や TUV		やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ		らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0 わをん		わをんー	ﾜｦﾝｰ	ー	0
＊ ゛゜	入力行※1	゛゜	゛゜	ー	＊
# 記号		ー、。・！？@＆＃／：￥	@-#＊	.@_()-#＊	#
上下ボタン		入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	ー		
左ボタン	入力行※1	変換範囲指定（左移動）	ー		
	決定行※2	カーソルを左に移動			
右ボタン	入力行※1	・変換範囲指定（右移動） ・未決定文字の確定	カーソルを右に移動 入力中は確定となる		
	決定行※2	カーソルを右に移動			
決定		選択された漢字変換候補を決定	決定		
クリア		1文字消去または漢字変換キャンセル	1文字消去		
		文字が1つもないときは、前の画面に戻る			

※1：ディスプレイの3行目。漢字・かなモードで入力中の文字や変換中の文字が表示されます。

※2：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

電話帳ダイヤルでかける

個別電話帳と共通電話帳の区別なく電話帳を検索し、電話をかけます。検索は、フリガナ、グループ、行、メモリ番号のいずれかを使って行います。

■検索画面を表示する

1 **電話帳ボタンを押す。**

前回検索したときの検索画面が表示されます。

検索画面を切り替えるときは メニュー を押し、検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して 決□定 を押します。

2 **必要に応じて検索画面を切り替える。**

【フリガナ検索、メモリ番号検索、グループ検索の各画面から】

①メニュー を押す

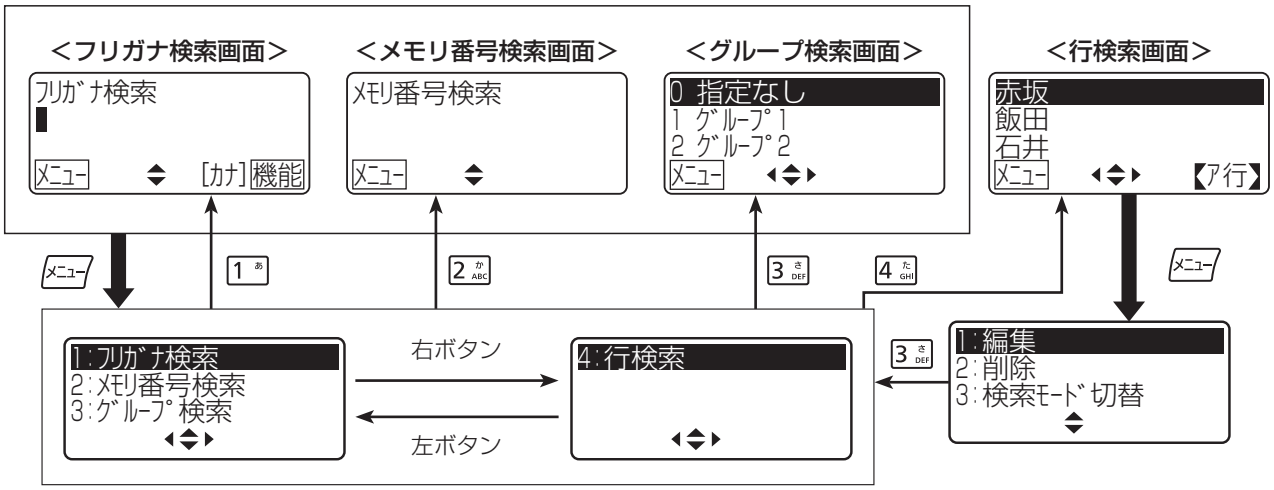
②検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して 決□定 を押す

【行検索画面から】

①メニュー を押す

②上下ボタンで「3：検索モード切替」を選択するか、3 さ DEF を押す

③検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して 決□定 を押す



■フリガナまたはグループで検索する

1 フリガナ検索画面またはグループ検索画面を表示する。(☛P2-16)

2 電話帳を検索し、目的の電話帳を選択する。

【フリガナ検索】

①電話帳に登録したフリガナを入力し、上下ボタンを押す

②上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する

＜電話帳一覧画面＞

※「ガイド表示する」の場合

【グループ検索】

①検索するグループの番号をダイヤルボタンで押す

②上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する

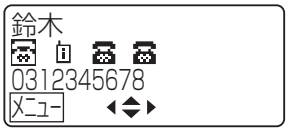
＜電話帳一覧画面＞

※「ガイド表示しない」の場合

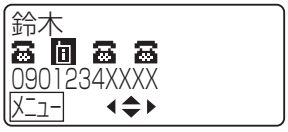
電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第１番号に発信する場合は、手順5に進みます。手順３～４の操作は不要です。

3 決□定 を押す。

＜電話帳詳細画面＞



4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。

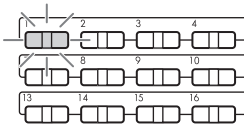


5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順2で電話帳を選択したあと、すぐに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第１番号で発信されます。

緑・2回消える



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

お知らせ

- 通話モニタ中（☛P2-7）、通話割り込みによる三者通話中（☛P2-24）、会議通話中（☛P3-19）は、電話帳の内容の確認は行えません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容の確認はできません。
- 電話帳一覧画面では、名称の五十音順に電話帳が表示されます。名称を登録していない場合はフリガナ、フリガナを登録していない場合は電話番号の順に表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。

Q&A

▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*
▶ *電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P6-6）*

（次ページへつづく）

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

ワンポイント

●フリガナ検索するときは

フリガナすべてを入力せずに、先頭の何文字かを入力するだけで検索できます。

●電話帳の詳細を確認するには

電話帳一覧画面で 決□定 を押すと、選択されている電話帳の詳細が表示されます。 クリア を長く押すか、電話帳詳細読出タイマ（☛P4-27）で設定されている秒数（お買い求め時：30秒）が経過すると、元の画面に戻ります。

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには

フリガナ検索またはグループ検索するには、「フリガナまたはグループで検索する」の手順1 ～ 2の操作を行うか、メニュー設定で電話帳検索（☛P4-4）を行います。メモリ番号検索する場合は、メニュー設定で電話帳検索（☛P4-4）を行います。

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには

電話帳に登録されている電話番号の前に、「184（電話番号を通知しない）」または「186（電話番号を通知する）」を付加してダイヤルするには、次のように操作します。

①電話帳を検索し、電話帳詳細画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）
②メニュー を押す
③上下ボタンで「1：184付与」または「2：186付与」を選択し、決□定 を押す
または 1 あ か 2 かABC を押します。
④外線ボタンを押す

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●登録されている電話帳を編集／削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。ただし、共通電話帳の編集／削除は、特定の内線電話機でのみ行えます。

〈電話帳の一覧画面から編集／削除する〉

①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）
②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
③メニュー を押す
④上下ボタンで「1：編集」または「2：削除」を選択し、決□定 を押す
または 1 あ か 2 かABC を押します。

〈電話帳の詳細画面から編集／削除する〉

①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）
②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、決□定 を押す
③メニュー を押す
④上下ボタンで「3：編集」または「4：削除」を選択し、決□定 を押す
または 3 さDEF か 4 たGHI を押します。

編集する場合は、このあと「電話帳を登録する」（☛P2-12）と同様の操作で内容を登録し直します。削除する場合は、このあと上下ボタンで「1：はい」を選択し、決□定 を押します。

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☛P4-20）

○個別電話帳を全件削除するには（☛P4-4）

○共通電話帳を全件削除するには（☛P4-20）

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

■行で検索する

名前の先頭文字の行から、目的の電話帳を検索します。

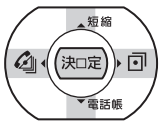
1 行検索画面を表示する。（☛P2-16）

2 左右ボタンで行を切り替える。

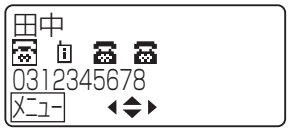
＜電話帳一覧画面＞

3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、(決□定)を押す。

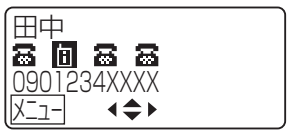
電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、(決□定) を押さずに手順5に進みます。



＜電話帳詳細画面＞



4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。

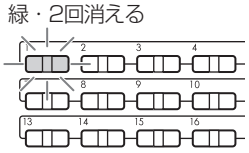


5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、(決□定) を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。

緑・2回消える



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

ワンポイント

○**電話帳ガイド表示について**

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☛P4-20）

お知らせ

- 通話モニタ中（☛P2-7）、通話割り込みによる三者通話中（☛P2-24）、会議通話中（☛P3-19）は、電話帳の内容の確認は行えません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容の確認はできません。
- 電話帳一覧画面では、名称の五十音順に電話帳が表示されます。名称を登録していない場合はフリガナが、名称とフリガナを登録していない場合は電話番号が表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。

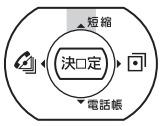
Q&A

▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*
▶ *電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P6-6）*

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

■メモリ番号で検索する

1 短縮ボタンを押す。

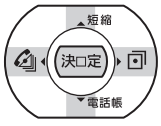


2 メモリ番号をダイヤルボタンで押す。

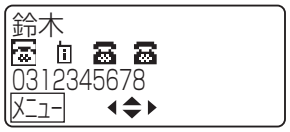
＜電話帳一覧画面＞

3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、決□定 を押す。

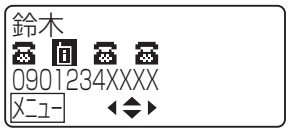
電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、決□定 を押さずに手順5に進みます。



＜電話帳詳細画面＞



4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。

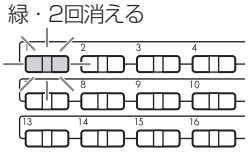


5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、決□定 を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。

緑・2回消える



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

お知らせ

- 通話モニタ中（☛P2-7）、通話割り込みによる三者通話中（☛P2-24）、会議通話中（☛P3-19）は、電話帳の内容の確認は行えません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容の確認はできません。
- 電話帳一覧画面では、名称を登録していない場合はフリガナが、名称とフリガナを登録していない場合は電話番号が表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。

Q&A

▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*
▶ *電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P6-6）*

ワンポイント

電話帳のメモリ番号は

共通電話帳はメモリ番号000 ～ 799（「システム設定」によっては00 ～ 79）、個別電話帳はメモリ番号800 ～ 999（「システム設定」によっては80 ～ 99）に登録されています。

●メモリ番号を全桁入力しないで検索すると

メモリ番号「999」まで使用できる場合（お買い求め時の設定）、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を百の位とするメモリ番号（例：「100」以上）の電話帳が検索できます。2桁（例：「12」）だけ入力すると、その数字を百および十の位とするメモリ番号（例：「120」以上）の電話帳が検索できます。

「システム設定」によってメモリ番号「99」までしか使用しないように設定している場合は、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を十の位とするメモリ番号（例：「10」以上）の電話帳が検索できます。

●検索方式の記憶機能を利用するには

電話帳検索には、電話帳ボタンを押して開始する方法や、短縮ボタンから開始するメモリ番号検索のほかに、メニューから開始する方法（☛P4-4）があります。このうち、電話帳ボタンまたは メニュー から開始した検索で使用した検索方式は、個々の電話機に記憶されます。前回と同じ方式を使用するには、電話帳ボタンを押して検索を開始します。前回と同じ検索画面が表示され、検索方式を選択し直す手間が省けます。

●電話帳ボタンを使ってメモリ番号検索をするには

①電話帳ボタンを押して検索画面を表示する（☛P2-16）

②手順2以降の操作を行う

●外線ボタンを押してから電話帳をメモリ番号で検索するには

①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す

②短縮ボタンを押す

③メモリ番号をダイヤルボタンで押す

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☛P4-20）

●電話帳の詳細を確認するには（☛P2-18）

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには（☛P2-18）

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには（☛P2-18）

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●登録されている電話帳を編集／削除するには（☛P2-18）

○個別電話帳を全件削除するには（☛P4-4）

○共通電話帳を全件削除するには（☛P4-20）

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

電話を取りつぐには　（保留転送）

他の内線電話機や他の外線に電話を取りつぐことができます。

お話しを他の内線電話機に転送する

外の相手の方とのお話しや内線通話を、他の内線電話機に取りつぎます。

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留 を押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

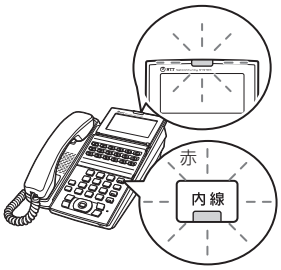
2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く。

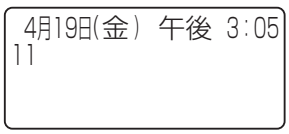
または 決定 を押して転送することもできます。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



3 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながるので、相手の方とお話しする。

ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）

共通保留（☛P2-8）の操作のあと、口頭で連絡してください。同じ外線ボタンを設定した電話機なら、ハンドセットを取りあげて外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。

●自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）

内線個別呼出をしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、[#記号] を押すと、自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

●別の電話機で応答するには（代理応答）

内線ボタン、[#記号]、グループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。グループ番号は次のとおりです。

[0わをん]　：自グループ
[1あ] ～ [6はMNO]　：他グループ（typeSは [1あ] ～ [3さDEF]）
[#記号]　：すべてのグループ

●呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）

呼び出す方の手順3で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置くか、(決□定) を押して、転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅して着信音が変わりますので、外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しください。

●呼び出される方が話し中か、または応答しないときは

外線ボタンを押すと、再び元の相手の方とお話しすることができます。

○内線の呼び出し方法を変えるには

内線で呼び出し中に [0わをん] を押すと、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

●音声呼出のときは

呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。

●PBX/CES回線で、ネットコミュニティシステムαNXⅡtypeS/typeM以外に接続された内線電話機に転送するには

次の方法で、PBX/CES回線の転送機能を使うことができます。

- 外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法
  ①お話し中にフックボタンを押す
  ②内線番号をダイヤルボタンで押す
  ③取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く

お知らせ

●「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
●転送先が保留転送制限されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。

電話を取りつぐには　（保留転送）

お話しを他の外線に転送する

外の相手の方とのお話しや内線電話を、他の外線に転送することができます。

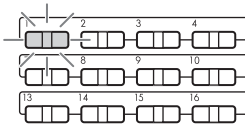
1 **お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留 を押す。**

相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 **空いている外線ボタンを押す。**

「ツー」という発信音を確認してください。

緑・2回消える



3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

電話番号が表示されます。

0312345678

4 **相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決□定 を押す。**

転送が完了します。
手順2で押した外線ボタンのランプが周期的に緑で2回点灯します。

5 **ハンドセットを置く。**

ワンポイント

外の相手の方を他の外線に転送するには

「システム設定」が必要です。

ハンドセットを置くと転送されるようにするには

「システム設定」により、手順4で 決□定 を押す操作を省略できます。電話を取りつぐことを伝えたら、ハンドセットを置くだけで転送できます。

○相手の方が応答しないまたはお話し中の場合は

保留中の外線ボタンを押すと、元の相手の方とのお話しに戻ります。別の転送先に転送するには、手順1から操作をやり直してください。

●三者会議通話をするには

外線を他の外線に転送したときは、通話に割り込んで3人でお話しすることができます。手順4で 決□定 を押して転送が完了したあと、内線ボタンを押して、機能、外線転送割込みの特番（5 な JKL 2 か ABC［　　］）の順に押すと、三者会議通話となります（4人目の追加はできません）。また、もう一度 決□定 を押すと、2外線の通話に戻ります。

お知らせ

●一般回線（アナログ回線）をご使用の場合、外線への転送を行うにはオプションの追装が必要です。

●転送先が保留転送制限されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないときがあります。また、最初にお話ししていた通話を保留したあとで外線の着信に応答したときなどには、決定ランプが点灯し、転送が行えません。

内線でお話しするには　（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

内線でお話しする（内線通話）

呼び出す方

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

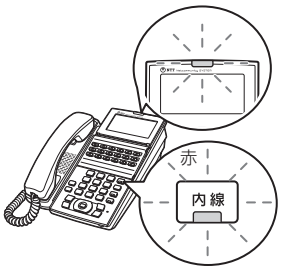
3 呼び出された方が応答したら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
10

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
11

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

（次ページへつづく）

内線でお話しするには　（内線通話）

ワンポイント

●着信ランプとは
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●ハンズフリーでお話しするには（☛P3-9）

●内線の呼び出し方法を変えるには
内線で呼び出し中に [0わをん] を押すと、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

●音声呼出のときは
呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。

●お話し中の方を呼び出すには
相手の方がお話し中のときに、[＊゛゜] を押します。
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

●ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）（☛P2-27）

●他の電話機のお話しに自分の電話機から割り込むには
他の電話機が外線または内線でお話し中に自分の電話機の操作でお話しに割り込み、三者通話ができます。
①内線ボタンを押す
②内線番号をダイヤルボタンで押す
③他の電話機がお話し中に [＊゛゜] を押す
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。
④[＊゛゜] を押す
⑤3人でお話しする

自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）
内線呼出をしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、呼び出し中に [#記号] を押すと、「システム設定」した自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

別の電話機で応答するには（代理応答）
内線ボタン、[#記号]、「システム設定」したグループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。
グループ番号は次のとおりです。
[0わをん]　　：自グループ
[1あ] ～ [6はMNO]：他グループ（typeSは [1あ] ～ [3さDEF]）
[#記号]　　：すべてのグループ

すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）
「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。
＜呼び出す方＞
①内線ボタンを押す
②一斉呼出の特番（[＊゛゜] [0わをん] [　　]）またはグループ呼出の特番（[＊゛゜] [1あ] ～ [＊゛゜] [9らWXYZ] [　　]）を押す
③相手の方が応答したらお話しする
＜呼び出される方＞
①ハンドセットを取りあげる
「ツーツー」という音を確認してください。
②一斉呼出応答の特番（[#記号] [8やTUV] [0わをん] [　　]）またはグループ呼出応答の特番（[#記号] [8やTUV] [1あ] ～ [#記号] [8やTUV] [9らWXYZ] [　　]）を押す
③相手の方とお話しする

内線の代表番号で呼び出すには
「システム設定」で内線代表呼び出し方式を順次呼または、一斉呼出しのどちらかを選択できます。
内線代表順次呼出：
呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。
内線代表一斉呼出：
呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内のすべての電話機を呼び出すことができます

ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）

1 音声呼出されると、確認音が鳴り、内線ランプが赤く点滅する。

2 マイクボタンを押す。

4月19日(金) 午後 3:05
11

3 電話機のマイクに向かってお話しする。

ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。

ワンポイント

●自動的に内線ハンズフリー応答するには

あらかじめマイクボタンを押して（マイクランプ点灯）おくと、音声呼出されたらスピーカから相手の方の声が聞こえます。そのまま電話機のマイクに向かってお話しください。

内線ハンズフリー応答中の確認音を消すには

内線ハンズフリー応答中には、「ピピ、ピピ」という確認音が聞こえます。「システム設定」によって、この確認音を消すことができます。

高音質での通話を利用するには

IP

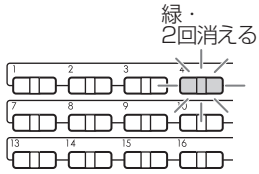
高音質通話に対応した電話機同士での外線通話や内線通話ができます。
外線との通話には、高音質通話を設定したVoIP回線を使用するので、サービスの利用契約とシステム設定が必要です。また、サービスボタン（高音質通話）を設定しておくと、高音質モードのON/OFFを切り替えたり、状態をランプ表示で確認できて便利です。

高音質モードで外線発信する

高音質での通話中は、サービスボタン（高音質通話）のランプが緑で点灯します。

1 外線ランプが消えていることを確認し、高音質通話が可能な外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。




```
 4月19日(金)  午後 3:05
外線
VoIP
```

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
                06○○○○XXXX
VoIP
```

3 ハンドセットを取りあげる。

```
                06○○○○XXXX
VoIP
```

4 相手の方が出たら、お話しする。

```
 4月19日(金)  午後 3:05
                   0-05
VoIP   PB
```

高音質モードで内線発信する

高音質通話に対応した内線電話機には、通常の内線発信操作（☛P2-25）で自動的に高音質発信されます。

高音質での着信を受ける

高音質通話に対応した電話機であれば、高音質でかかってきた電話にも通常音質の着信と同様の操作で受けることができます。高音質での通話中は、サービスボタン（高音質通話）のランプが緑で点灯します。電話を受ける前にサービスボタン（高音質通話）が消灯していた場合でも、高音質でかかってきた電話を受けると高音質での通話となり、ランプが緑で点灯します。

ワンポイント

●**高音質モードのON/OFFを確認するには**
サービスボタン（高音質通話）を設定しておくと、高音質モードのON/OFFをランプ表示で確認することができます。赤く点灯しているときは高音質での発信が可能であることを示し、消灯しているときは通常音質でしか発信できないことを示します。また、緑で点灯しているときは、高音質での通話中であることを示します。

●**高音質モードのON/OFFを切り替えるには**
待機中にサービスボタン（高音質通話）を押すと、ON/OFFが切り替わります。呼び出し中や通話中には切り替えができません。

●**高音質で発信しても高音質通話ができないときは**
高音質で発信しても、相手により高音質通話にならない場合があります。また、高音質通話が設定された回線がふさがっていたときは、通常の音質での発信となります。この場合、サービスボタン（高音質通話）ランプは消灯します。

●**PBX（構内交換機）に収容されているときは**
サービスボタン（高音質通話）が点灯している状態で、外線発信番号（0わをん［　　］）を押し、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

●**通常音質の電話を受けたときは**
電話機のサービスボタン（高音質通話）が赤く点灯している場合でも、通常音質の電話を受けたときは、高音質通話になりません。この場合、通話中はサービスボタン（高音質通話）が消灯します。

お知らせ

●高音質対象端末は、IP電話機、アドバンスト電話機、ソフトフォンです。
●外線通話で高音質通話をご利用になるには、フレッツ 光ネクスト等のブロードバンド回線の利用契約が必要です。
●VoIP回線利用時は、回線状況により通話途切れや通話遅延等が発生する場合があります。
●高音質モードでハンズフリー通話することもできますが、マイクやスピーカの性能により、音質が劣化する場合があります。
●高音質でかかってきた電話にコールバックする場合や、転送電話を起動したときは、通常の音質での発信となります。
●セキュリティ機能を利用した自動通報は、通常の音質での発信となります。
●以下の応答の場合は、高音質でかかってきても、通常音質での応答となります。
- 自動応答サービス応答
- お待たせメッセージでの応答
- 音声メールでの応答

●会議通話中は通常の音質での通話となります。
- 内線の高音質通話中に会議を招集した場合は、会議を終了しても高音質通話には戻りません。
- 外線の高音質通話中に会議を招集した場合は、会議を終了すると、外線との通話は高音質通話に戻ります。

●外線との高音質通話を保留または保留転送すると、高音質対象端末で応答したときは高音質通話が継続します。それ以外の端末で応答したときは通常の音質での通話になります。
●高音質通話中に通話割り込み、通話録音を行うと、モニタする音声は通常の音質での通話となります。なお、通常音質の通話になる際に、一瞬音声がとぎれることがあります。
●高音質通話中に通話モニタを行うと、高品質通話は継続しますが、モニタする音声は通常の音質となります。

Q&A ▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

MEMO

より便利に使う

電話番号をメモしておくには（メモダイヤル）..... 3-2
履歴を使って電話をかけるには
（発信／着信履歴発信）..... 3-4
空いている外線を選んで電話をかけるには
（空き外線自動発信）..... 3-6
索線ボタンを使って電話をかけるには..... 3-7
ハンズフリーで電話をかけるには
（ハンズフリー通話）..... 3-8
不在のときの電話を転送するには
（不在着信転送）..... 3-10
よく使う機能をワンタッチボタンで操作するには
（サービスボタン）..... 3-12
転送電話を利用するには 3-14
３人でお話しするには（会議通話）..... 3-19
発信元に自動コールバックするには 3-22
ご利用になれる各種ネットワークサービス 3-26
キャッチホンサービスを利用するには..... 3-33
プッシュホンサービスを利用するには
（DP→PB 切替）..... 3-34
発信専用制御サービスを利用するには..... 3-35
フレックスホンサービスを利用するには 3-36
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を
利用するには 3-41
外から特定の電話機を呼び出すには
（ダイヤルインサービス／ｉ・ナンバー／
サブアドレス通知サービス）..... 3-44
着信拒否サービスを利用するには 3-46
非通知着信拒否サービスを利用するには 3-48
ボイスワープを利用するには 3-49
アドバンスト電話機を利用するには 3-52
単体電話機を利用するには 3-56
音声メールを利用するには 3-60
留守番電話を利用するには 3-62
他の人にメッセージを残すには 3-69
手動で通話を録音するには 3-70
お待たせメッセージを利用するには 3-71
外出先からの操作について 3-72
システムモードを利用するには 3-74
サービスをロックするには 3-76
簡易音声メールを利用するには 3-78
eco モードを利用するには 3-81

3

電話番号をメモしておくには（メモダイヤル）

内線電話機に、電話番号を一時的に登録できます。外の相手の方とお話し中にメモダイヤルの登録もできます。メモした電話番号で、あとで簡単に電話をかけることができます。メモダイヤルには32桁の電話番号を登録できます。

時計・カレンダ表示でメモダイヤルを登録する

1 メモする電話番号をダイヤルボタンで押す。

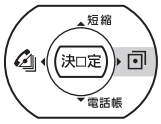
0451234567

2 機能 を押す。

機能　0451234567

3 発信履歴ボタンを押す。

メモダイヤルが登録されます。



ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ　0451234567

お話し中にメモダイヤルを登録する

1 外の相手の方とお話し中に、メモする電話番号をダイヤルボタンで押す。

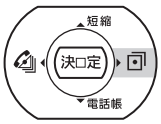
0451234567

2 機能 を押す。

機能　0451234567

3 発信履歴ボタンを押す。

メモダイヤルが登録されます。



ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ　0451234567

ワンポイント

●登録したメモダイヤルを確認するには

ハンドセットを置いたまま 機能、発信履歴ボタンの順に押すと、登録したメモダイヤルが表示されます。さらに外線ボタンを押すと、電話をかけることができます（プリセットダイヤル）。

●メモダイヤルの登録を消去するには

別のメモダイヤルを登録すると前回登録したメモダイヤルに上書きになります。

●いまかけた電話番号をメモダイヤルに登録するには

いまかけた電話番号（最大32桁）をメモダイヤルに登録すると、次からは簡単な操作で同じ相手にかけることができます。

①外線で相手の方を呼び出す

②相手の方を呼び出している間、または相手の方とお話し中のときに、手順2 ～ 3を行う

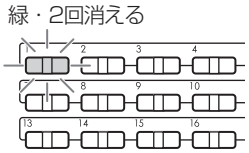
●一時的にダイヤル送出をしないようにするには

外線でお話し中に、機能、通話中PB信号送出停止の特番（＊ 9 ［　　］）の順に押すと、一時的にダイヤル送出を止めます。この機能を利用すると、お話し中にメモダイヤルを登録しても、ダイヤルパルス音、PB音で会話がじゃまされることはありません。なお、この機能は、電話を切る、転送、保留などの操作で解除されます。

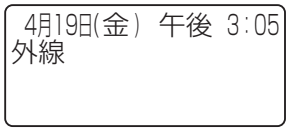
メモダイヤルで電話をかける

1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

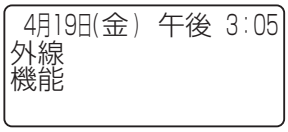
「ツー」という発信音を確認してください。



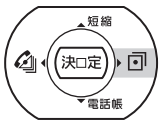
2 **ハンドセットを取りあげる。**



3 **機能 を押す。**



4 **発信履歴ボタンを押す。**



5 **相手の方が出たら、お話しする。**

お知らせ

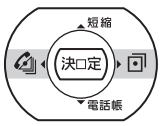
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- オンフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。

Q&A ▶ *メモダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）**（☛P6-6）*

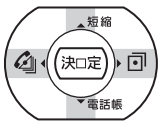
履歴を使って電話をかけるには（発信／着信履歴発信）

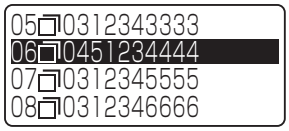
かけた電話番号やかけてきた方の電話番号などは、発信／着信履歴としてそれぞれ最新の20件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。

1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押し、発信／着信履歴の一覧画面を表示する。

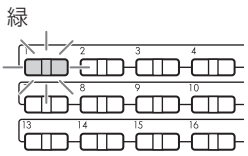


2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。



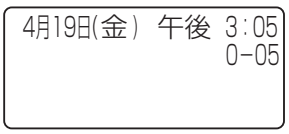


3 外線ボタンが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。



4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

○着信履歴ランプを点滅させるには

電話がかかってきたことをランプの点滅（周期的に2回点灯）でお知らせすることができます。（☛P4-17）

●着信履歴ランプが点灯しているときは

着信履歴を表示している間は点灯します。

●一覧画面に表示される情報は

＜発信履歴一覧画面＞

発信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」

発信先の情報：電話番号（最大16桁）、名称（名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合）

＜着信履歴一覧画面＞

着信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」

着信状態：「応（応答した）」、「不（応答しなかった）」、「他（他の内線電話機で応答した）」

発信者の情報：発信者の電話番号（最大16桁）／内線番号、名称（電話帳に登録されている名称）

ワンポイント

相手の方の電話番号が通知されない理由を表示するには

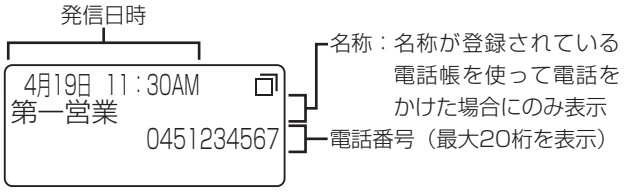
「システム設定」により、着信履歴に相手の方の電話番号が通知されない理由を次のように表示することができます。

ディスプレイ	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

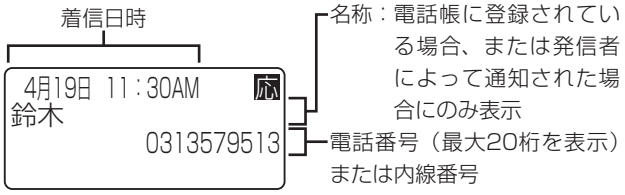
●発信／着信履歴の詳細を確認するには

一覧画面で 決定 を押すと、選択されている履歴の詳細が表示されます。一覧画面に戻るときは、クリア を押します。

＜発信履歴詳細画面＞



＜着信履歴詳細画面＞

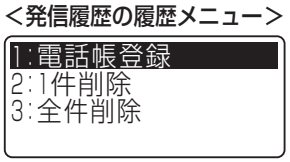


●履歴メニューを利用するには

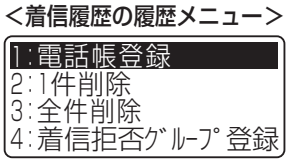
発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。また着信拒否のグループに登録するにも履歴メニューを利用します。

発信／着信履歴の一覧画面または詳細画面で メニュー を押すと、次のような履歴メニューが表示されます。

＜発信履歴の履歴メニュー＞



＜着信履歴の履歴メニュー＞



目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して 決定 を押します。

履歴メニューから一覧／詳細画面に戻るときは、クリア を押します。

時計・カレンダ表示に戻るときは、クリア を長く押します。

●最後にかけた相手の方に簡単にかけ直すには

①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す

②発信履歴ボタンを押す

③相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする

最後にかけた相手の方に自動的に再発信するには（簡易自動再発信）

相手の方がお話し中だったときや応答しなかったときに、自動的に再発信するようにセットすることができます。あらかじめ「システム設定」している必要があります。簡易自動再発信をセットすると、一定時間が経過したあと自動再発信し、設定された回数の再発信を一定時間ごとに繰り返します。ただし、PBX（構内交換機）に収容されているときは、PBXの種類によっては1度しか再発信しません。

＜簡易自動再発信をセットする＞

①相手の方がお話し中か、応答しないときに発信履歴ボタンを押す

②ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

＜簡易自動再発信を解除する＞

①時計・カレンダ表示で内線ボタンを押す

②発信履歴ボタンを押す

③ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

または

①自動再発信中にハンドセットを取りあげる

お知らせ

- 他の内線電話の発信／着信履歴を使って電話をかけることはできません。
- すでに発信／着信履歴が20件記憶されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴を表示中にかかってきた電話は、着信履歴に記憶されません。
- 他の内線電話機で保留または保留転送された電話に応答した場合は、相手先の情報が着信履歴に記録されます。

Q&A ▶ *迷惑電話を着信拒否するには（☛P6-7）*

空いている外線を選んで電話をかける には（空き外線自動発信）

空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。「システム設定」した自動発信可能な外線の中から選んでかける方法（空き外線自動発信）と、外線グループに属する自動発信可能な外線の中から選んでかける方法（外線群指定発信）があります。

自動発信可能な外線の中から選んでかける（空き外線自動発信）

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 外線発信番号（0わをん [　　]）をダイヤルボタンで押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

4月19日(金) 午後 3:05
外線

3 ハンドセットを取りあげる。

4月19日(金) 午後 3:05
外線

4 電話番号をダイヤルボタンで押す。

0312345678

5 相手の方が出たら、お話しする。

外線グループの中から選んでかける（外線群指定発信）

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 外線群指定発信番号（8 TUV 1 あ ～ 8 TUV 8 TUV [　　]）を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

4月19日(金) 午後 3:05
外線

3 ハンドセットを取りあげる。

4月19日(金) 午後 3:05
外線

4 電話番号をダイヤルボタンで押す。

0312345678

5 相手の方が出たら、お話しする。

ワンポイント

外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号または外線群指定発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

お知らせ

●オンフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
●手順2で「プープー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。

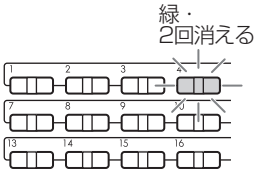
索線ボタンを使って電話をかけるには

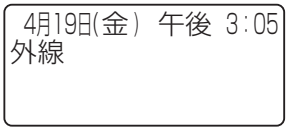
「システム設定」で複数の外線を索線グループに分け、電話機に「索線ボタン」を設定しておくと、索線グループ内の空き外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

索線ボタンを使ってかける

1 **索線ランプが消えていることを確認し、索線ボタンを押す。**

「ツー」という発信音を確認してください。



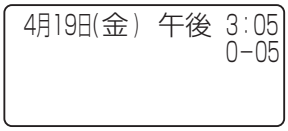


2 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

電話番号が表示されます。

3 **相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。**

通話時間が表示されます。



ワンポイント

●索線ランプが赤く点灯しているときは

「システム設定」された索線グループ内の外線が全部お話し中のため、電話をかけることはできません。

お知らせ

- オンフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、索線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 索線ボタンで通話モニタはできません。(☛P2-7)

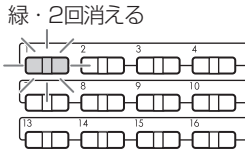
ハンズフリーで電話をかけるには（ハンズフリー通話）

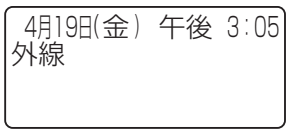
ハンドセットを置いたままで、外線通話、内線通話をすることができます。

ハンズフリーで電話をかける

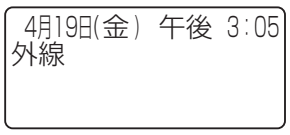
1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**

「ツー」という発信音を確認してください。





2 **マイクボタンを押す。**

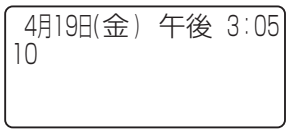


3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**

4 **相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しする。**

5 **お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。**

マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



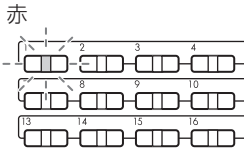
お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

ハンズフリーで電話を受ける

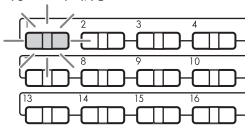
1 **着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。**

4月19日(金) 午後 3:05



2 **ランプが点滅している外線ボタンを押す。**

緑・2回消える



4月19日(金) 午後 3:05

3 **マイクボタンを押す。**

4月19日(金) 午後 3:05
0-05

4 **電話機のマイクに向かってお話しする。**

5 **お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。**

マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。

4月19日(金) 午後 3:05
11

ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●ハンズフリーで内線通話をするには

ハンドセットを置いたまま内線でお話しすることができます。

＜呼び出す方＞

①内線ボタンを押す
②マイクボタンを押す
③内線番号をダイヤルボタンで押す
④相手の方が応答したらお話しする

＜呼び出される方＞

①内線ボタンを押す
②マイクボタンを押す
③相手の方とお話しする

●ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには

ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。

●ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには

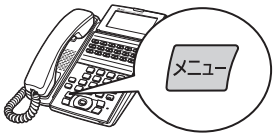
お話し中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押します。ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）

離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を登録する

1 メニュー を押す。



1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「7：ドアホン／内線」を選択し、決□定 を押す。
または 7 まPQRS を押します。

1:内線ホットライン設定
2:内線呼出音設定
3:不在着信転送設定
4:ﾄﾞｱﾎﾝ鳴動設定

4 上下ボタンで「3：不在着信転送設定」を選択し、決□定 を押す。
または 3 さDEF を押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号?

5 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す。

不在着信転送設定
転送先内線番号?
11

内線番号を押し間違えたときは、クリア を押します。

6 決□定 を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が登録されます。

7 クリア を長く押す。

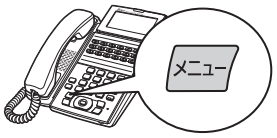
4月19日(金) 午後 3:05
10
不在着信転送

お知らせ

- 外線着信はダイヤルイン（個別着信）のみ転送することができます。
- ダイヤルイングループボタンへかかってきた電話を、不在着信転送することはできません。

不在着信転送を解除する

1 メニュー を押す。

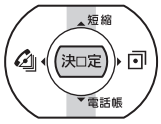



```
1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定
```

2 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

```
1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送
```

3 上下ボタンで「7：ドアホン／内線」を選択し、決□定 を押す。
または 7 まPQRS を押します。




```
1:内線ホットライン設定
2:内線呼出音設定
3:不在着信転送設定
4:ﾄﾞｱﾎﾝ鳴動設定
```

4 上下ボタンで「3：不在着信転送設定」を選択し、決□定 を押す。
または 3 さDEF を押します。

```
不在着信転送設定
転送先内線番号?
                11
```

5 クリア を押す。

```
不在着信転送設定
転送先内線番号?
```

6 決□定 を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が解除されます。

7 クリア を長く押す。

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
```

ワンポイント

●不在時の表示について

不在着信転送で着信したときは、呼び出した方と、転送元の内線番号が同時に表示されます。

例：内線12 → 内線10 → 内線11

‖ ‖

（呼び出し）（不在着信転送）

＜内線12での表示＞

（呼び出した方）

```
 4月19日(金) 午後 3:05
11
転送元
10
```

＜内線11での表示＞

（転送先）

```
 4月19日(金) 午後 3:05
12
転送元
10
```

お知らせ

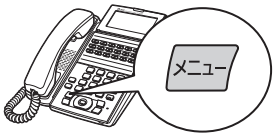
●留守番電話または転送電話が設定されている場合は、留守番電話が応答したり転送電話が起動するため、不在着信転送は行われません。

よく使う機能をワンタッチボタンで操作するには（サービスボタン）

「システム設定」によって特定の機能が登録されている回線ボタンを「サービスボタン」と呼びます。サービスボタンに登録されている機能は、使い勝手に合わせて内線電話機ごとに変更できます。

サービスボタンの機能を変更する

1 メニュー を押す。

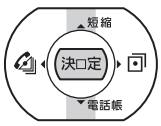


1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「5:ワンタッチ」を選択し、決□定を押す。
または 5・な を押します。

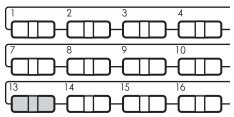


1:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2:ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
3:ﾜﾝﾀｯﾁﾒﾓﾘ全削除

4 上下ボタンで「2：ワンタッチ機能ボタン登録」を選択し、決□定 を押す。
または 2 か を押します。

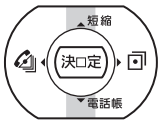
ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
ｻｰﾋﾞｽﾎﾞﾀﾝを押下して
ください

5 登録するサービスボタンを押す。



ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ切替
転送電話ﾎﾞﾀﾝ
留守番電話ﾎﾞﾀﾝ

6 上下ボタンで登録する機能を選択する。



ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ切替
転送電話ﾎﾞﾀﾝ
留守番電話ﾎﾞﾀﾝ

選択できる機能は（☛P3-13）

7 決□定 を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチ機能が登録されます。

ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録
ｻｰﾋﾞｽﾎﾞﾀﾝを押下して
ください

続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

○選択できるサービスボタン

下記の25種類のサービスボタンの中から選択してください。

選択できるサービスボタン	本書でのサービスボタンの表記	機能説明
システムモード切替	システムモード切替	システムモード（昼／夜／休憩／休日）を切り替える
転送電話ボタン	転送電話	☛P3-15
留守番電話ボタン	留守	☛P3-62
お待たせボタン	お待たせ	☛P3-71
VM通話録音モード切替	録音モード	通話録音モード（自動通話録音／手動通話録音）を切り替える
VM手動録音	録音	☛P3-70
VM終了	終了	☛P3-70
VMポーズ	ポーズ	☛P3-70
VMコメント	コメント	☛P3-70
VM録音取消	録音取消	☛P3-70
VM呼出取消	呼出取消	☛P3-70
INS3者通話	INS3者通話	☛P3-37
INS通信中転送	INS通信中転送	☛P3-38
INS着信転送モード	INS着信転送モード	☛P3-40
INS着信転送	INS着信転送	☛P3-39
INS発信専用	INS発信専用	☛P3-35
INS通信中着信停止	INS通信中着信停止	☛P3-36
受話音量増大	受話音量増大	☛P1-18
セキュリティ	セキュリティ	☛P5-20
送話カット	送話カット	☛P6-4
高音質通話	高音質通話	☛P2-28
サービスロック	サービスロック	☛P3-76
簡易留守番電話	留守（簡易）	☛P3-78
簡易留守再生	再生（簡易）	☛P3-78
着信拒否	着信拒否	☛P3-46

お知らせ

- ●サービスボタン登録の操作を行うには、あらかじめ「システム設定」によりサービスボタンが設定されている必要があります。
- ●メニュー設定で選択できる転送電話用と留守番電話用のサービスボタンは、一般着信用です。
- ●簡易留守番電話、簡易留守再生のサービスボタンは、簡易音声メール機能用です。

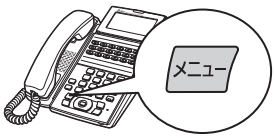
転送電話を利用するには

内線電話機ごとに転送先電話番号を登録しておき、かかってきた電話を自動的に転送させることができます（電話機起動転送）。電話機起動転送をセット／解除するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（転送電話）を設定しておく必要があります。

転送電話の転送先リストを登録する

転送先電話番号を3か所まで登録できます。登録は、各内線電話機でのメニュー設定で行えます。

1 メニュー を押す。



1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「4:留守／転送」を選択し、決□定 を押す。
または 4 た GHI を押します。

1:転送先ﾘｽﾄ登録
2:留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定
3:留守番電話応答操作
4:圏外時ｻｰﾋﾞｽ設定

4 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

転送先電話番号登録
1:電話番号1
2:電話番号2
3:電話番号3

5 上下ボタンで登録先を選択し、決□定 を押す。
または 1 あ ～ 3 さ DEF を押します。

電話番号入力:1

6 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号入力:1
0312345678

電話番号を押し間違えたときは、クリア を押します。

7 決□定 を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。

8 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

●**転送先リストの登録内容を消去するには**
手順5で内容を消去する転送先を表示させ、クリア を押して電話番号を消去して 決□定 を押します。

●**PBX/CES回線に接続されているときは**
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。

○**転送電話機能の設定を変更するには（☛P3-17）**

携帯電話への通話サービスを利用するには
「システム設定」により、転送先の携帯電話への発信時にもあらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P4-57）

お知らせ

●一般回線（アナログ回線）をご使用の場合、外線への転送を行うにはオプションの追装が必要です。

●転送先で電話に出たときに、音楽などの連続した音が聞こえたり、一定時間無音の状態が続く場合は、電話が切れることがあります。

転送電話の対象とする回線を設定する

電話がかかってきたときに転送電話を起動させる回線を設定します。

1 **内線ボタンを押す。**

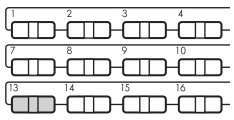
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 **決□定 を押す。**

「ツツツ…」という音を確認してください。

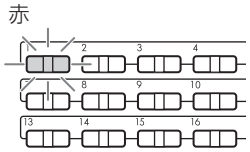
3 **サービスボタン（転送電話）を押す。**



転送電話回線設定

4 **転送電話の対象とする外線ボタンを押す。**

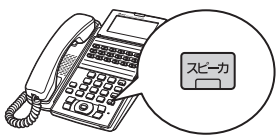
外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。
複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



5 **決□定 を押す。**

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送電話対象回線が設定されます。

6 **スピーカボタンを押す。**



4月19日(金) 午後 3:05
10

お知らせ

●手順4で、すでに留守番電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても無効となります。

転送電話を利用するには

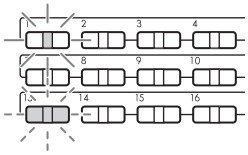
転送電話をセットする

外出時や退社時に内線電話機で転送をセットします。

1 **サービスボタン（転送電話）を押す。**

転送電話がセットされます。

赤・2回消える（例：転送電話対象回線の外線ランプ）



赤（例：サービスボタン（転送電話））

ワンポイント

●**転送を解除するには**

セット時と同様に、サービスボタン（転送電話）を押します。転送が解除され、サービスボタン（転送電話）ランプと転送電話対象回線ランプが消灯します。

○**転送電話機能の設定を変更するには（☛P3-17）**

転送発信時に特定の回線を利用するには

「システム設定」により、転送発信時に特定の回線を利用することができます。

お知らせ

●「システム設定」により、ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信だけを転送することもできます。

▶ *転送電話ができないときは？（☛P6-6）*

■転送電話機能の設定を変更する

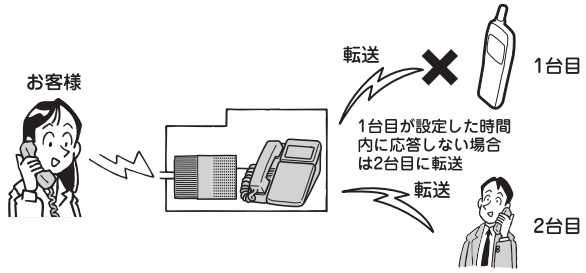
必要に応じて、転送電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定の「システム一括設定」やWeb設定、または「システム設定」で行います。

概　要	ご利用のヒント	参照ページ
転送開始のタイミングの設定 着信から転送開始までの秒数を設定します。	0 ～ 255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ転送電話を開始する「未応答転送」）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に転送を開始します（無条件転送）。	留守／転送開始タイマ （☛P4-30）
転送先へ転送方式の設定 転送先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リストの登録順に順次行うかを設定します。	お買い求め時は、「順次転送」に設定されています。 「同時転送」が行われると、一度に複数の回線を使用することになります。たとえば、転送先リストに3か所登録されている場合には、3回線を同時に使ってしまいます。	外線転送方式設定 （☛P4-30）
順次転送の間隔の設定 転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定します。	6 ～ 100秒の間で設定できます。 お買い求め時は、転送先を30秒ずつ時間をずらして順次呼び出すように設定されています。	外線転送先呼出タイマ （☛P4-30）
転送元の呼び出しの設定 転送電話起動後の、転送元の呼び出しについて設定します。	お買い求め時は、転送電話の起動と同時に転送元の呼び出しを停止する「設定しない」に設定されています。 「設定する」に変更すると、転送先で応答するか、電話をかけてきた方が呼び出しをやめるまで転送元の呼び出しが継続します。	転送元呼出継続設定 （☛P4-31）

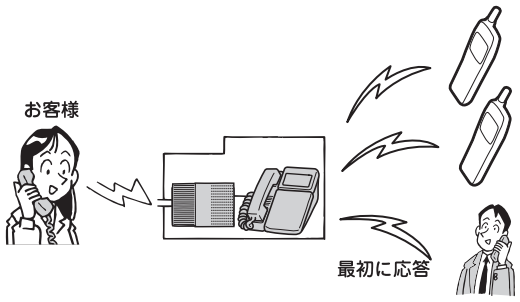
ワンポイント

●順次転送と同時転送の違いは

＜順次転送＞
かかってきた電話を、携帯電話などに順次転送します。
1台目の電話が設定した時間内に応答しなかった場合は、2台目に自動的に転送します。



＜同時転送＞
かかってきた電話を、携帯電話などに同時に最大3台まで転送します。最初に応答した電話につながります。



お知らせ

●転送開始のタイミングの設定を「0秒」（無条件転送）に設定している場合は、転送元は呼び出されずにただちに転送が行われます。

●かかってきた電話が携帯電話に転送された場合、圏外やドライブモード中だった場合でも、かけてきた方にその旨をお知らせするガイダンスは流れないことがあります。

転送電話を利用するには

その他の転送電話の活用

P3-14 ～ P3-17で説明した転送電話の他に、「電話帳グループ転送」、「システムモード転送」および「圏外時外線転送」の3種類の転送機能が用意されています。どの転送機能を利用する場合も、使い勝手に合わせた詳細設定の変更が行えます。

■特定の相手先からの電話を転送する（電話帳グループ転送）

あらかじめ「システム設定」により発番号ダイヤルインを設定しておけば、特定の電話帳グループに登録されている相手からの電話だけを転送することができます。次のような準備が必要です。

①「システム一括設定」の転送先リストを登録する（☛P4-30）
②「システム一括設定」でグループ着信先を設定し、使用する転送先リストを指定する（☛P4-19）
③必要に応じて設定を変更する（☛P3-17）

■システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じた転送を行う（システムモード転送）

システムモードが切り替わると、自動的に転送するように設定することができます。システムモード転送を行うには、「システム設定」が必要です。

■圏外になったときにかかってきた電話を転送させる（圏外時外線転送）

内線電話機（シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときに、外線に転送するように設定できます。
シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMAで設定を行うときは、次のように操作します。

＜電話機起動転送先リスト（最大3件）を登録するとき＞
①[6 MNO][7 PQRS][3 DEF][ ]＋[1 あ]～[3 DEF]（リスト番号）＋転送先電話番号[# 記号]を押す
②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

＜圏外時外線転送をセットするとき＞
①[6 MNO][7 PQRS][8 TUV][ ]＋[1 あ][# 記号]を押す
②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

＜圏外時外線転送を解除するとき＞
①[6 MNO][7 PQRS][8 TUV][ ]＋[0 わ][# 記号]を押す
②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

ワンポイント

●**転送先リストに登録できる件数は**
電話機起動転送の転送先リスト（☛P4-9）は最大3件、電話帳グループ転送やシステムモード転送の転送先リスト（☛P4-30）は20個のリストにそれぞれ最大3件登録できます。

携帯電話への通話サービスを利用するには
「システム設定」により、転送先の携帯電話への発信時にもあらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P4-57）

お知らせ

●回線の空き状況により転送電話機能が働かない場合があります。

3人でお話しするには　（会議通話）

外線でお話し中、または内線でお話し中に、他の人を入れて3人または4人でお話しすることができます。外線との会議通話、内線での会議通話は、そばにいる人に声をかける方法、内線で他の人を呼び出す方法があります。また、2外線と会議通話することもできます。

外線通話中に口頭で内線を呼び、3人でお話しする

呼び出す方

1 外の方とお話し中に 機能 を押す。

4月19日(金)　午後　3:05
0-05
機能

2 口頭招集会議の特番（2 か ABC [　　]）を押す。

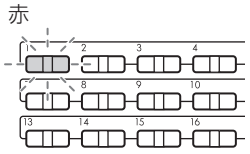
3 そばにいる人に声をかける。

4 3人でお話しする。

口頭招集会議中

呼び出される方

1 ランプがゆっくり点滅している外線ボタンを押す。
「呼び出す方」の内線番号が表示されます。



4月19日(金)　午後　3:05
10

2 ハンドセットを取りあげる。

4月19日(金)　午後　3:05
10

3 3人でお話しする。

ワンポイント

●4人でお話しするには

4人目の方は、呼び出される方の手順で、他の電話機から会議通話に割り込むことができます。

●他の人の割り込みを禁止するには

呼び出す方の手順2のあと ＊ を押すと、他の人の割り込みはできなくなります。

お知らせ

●会議通話（口頭招集）が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線の組み合わせが可能です。

●会議は最大4組まで可能です。それを超える場合は会議を始められません。

●通話録音、通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話はご利用できません。

3人でお話しするには　（会議通話）

外線通話中に内線を呼び、3人でお話しする

呼び出す方

1 外の方とお話し中に 機能 を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05
機能

2 会議（内／外線ダイヤルの招集）の特番（1 あ [　　]）を押す。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

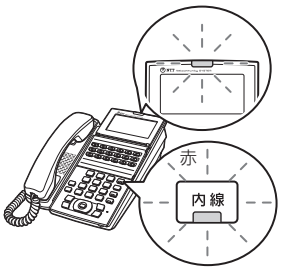
4 相手の方が応答したら、決□定 を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10 -L

5 3人でお話しする。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげてお話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
11

3 呼び出した方が 決□定 を押すと、外との電話がつながり、3人でお話しできる。

ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●4人でお話しするには

呼び出す方の手順で4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。

●内線で呼び、内線3人でお話しするには

＜呼び出す方＞

①内線でお話し中に 機能 を押す
②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（1 あ [　　]）を押す
「ツツツ…」という音を確認してください。
③呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
④相手の方が応答したら、決□定 を押す
⑤3人でお話しする

●2外線と3人でお話しするには

①外の方とお話し中に 機能 を押す
②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（1 あ [　　]）を押す
「ツツツ…」という音を確認してください。
③ランプの消えている外線ボタンを押す
「ツー」という発信音を確認してください。
④相手の方の電話番号を押す
⑤相手の方が出たら 決□定 を押す
※手順③で外線発信番号（0 わをん [　　]）または外線群指定発信の特番（8 や TUV 1 あ ～ 8 や TUV 8 や TUV [　　]）を押しても同じことが行えます。
※一般回線（アナログ回線）でこの機能を利用するにはオプションの追装が必要です。

お知らせ

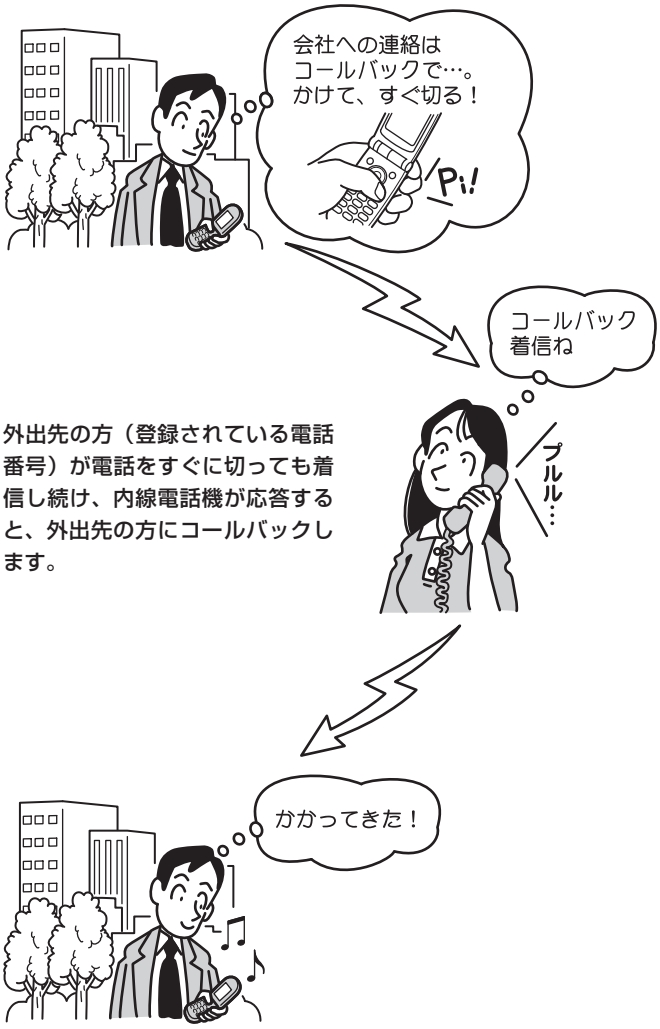
●会議通話が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線、2外線と2内線、4内線の組み合わせが可能です。
●2外線と3人でお話ししているときにハンドセットを置くと、外線の方どうしでお話しすることはできなくなります。
●通話録音、通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話はご利用できません。

発信元に自動コールバックするには

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能（コールバック）を利用できます。外出先からでも、事業所（システム設置所）の料金負担で通話することができます。
コールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

外出先からコールバックを利用して内線電話機と通話する（システム内線着信）

携帯電話で事業所（システム設置所）と通話したいときに、事業所の料金負担で通話できる機能です。携帯電話の通話料はかかりません。



外出先の方（登録されている電話番号）が電話をすぐに切っても着信し続け、内線電話機が応答すると、外出先の方にコールバックします。

ワンポイント

コールバック（システム内線着信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。また、「グループ毎コールバック設定」（☛P4-20）で特定の電話帳グループに「システム内線着信」を設定します。コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「システム内線着信」を設定したグループを選択してください。

コールバックの各動作のタイミングを変更するには

「システム設定」によって、次のタイミングを変更できます。

- 対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数（お買い求め時：6秒）
- 「外出先の方」が電話を切ったあと「社内の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：30秒）
- コールバックで「外出先の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：120秒）

Q&A ▶ *コールバックができないときは？（☛P6-7）*

外出先の方

1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　]以内）に切る。

2 電話がかかってきたら応答操作をし、お話しする。

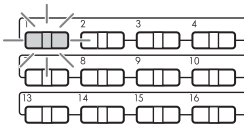
社内の方

着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅したら…

1 点滅している外線ボタンを押す。

「システム設定」により、着信音の音色を変えることができます。

緑・2回消える



2 ハンドセットを取りあげる。

着信に応答すると、コールバックが開始され、呼び出し状態になります。「プップップップッ」から「プルル…」という音になります。

外出先の方が電話に出るまでお待ちください。

3 相手の方が出たら、お話しする。

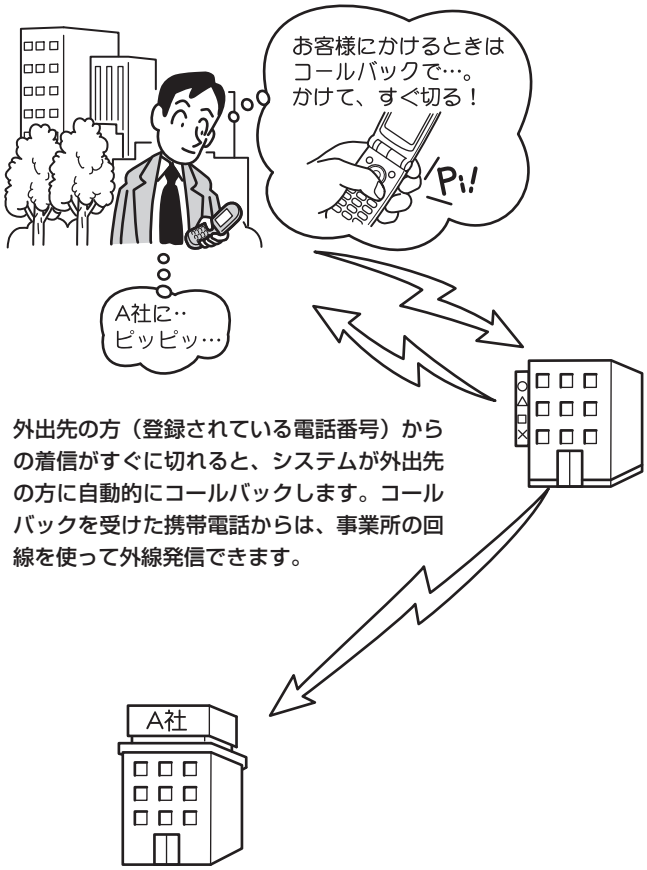
お知らせ

- コールバック着信と判定するまでの間（お買い求め時：6秒）、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。
- コールバック着信に応答した場合の着信履歴は、「不（応答しなかった）」となります。

発信元に自動コールバックするには

外出先からコールバックを利用して電話をかける（中継発信）

外出先で電話をかけたいときに、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できる機能です。事業所の外（外線）へも、内線電話機へも、携帯電話の通話料金を使わずに電話をかけられます。



外出先の方（登録されている電話番号）からの着信がすぐに切れると、システムが外出先の方に自動的にコールバックします。コールバックを受けた携帯電話からは、事業所の回線を使って外線発信できます。

ワンポイント

コールバック（中継発信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。また、「グループ毎コールバック設定」（☛P4-20）で特定の電話帳グループに「中継発信」を設定します。

コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「中継発信」を設定したグループを選択してください。

外出先から内線番号を指定して内線電話機を呼び出すには（コールバックからの自動応答サービス）

自動応答サービスのガイダンスに従ってリモコン操作することにより、特定の内線電話機を呼び出すことができます。同様に、リモコン操作で転送電話や留守番電話、システムモードの切り替え、セキュリティサービスなどの操作（☛P3-73）も行えます。

この機能を利用するには、「グループ毎コールバック設定」（☛P4-20）で特定の電話帳グループに「自動応答サービス」を設定します。この機能を利用する携帯電話などの電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「自動応答サービス」を設定したグループを選択してください。

コールバックを受け、自動応答サービスを使って内線電話を呼び出すには、次のように操作します。

①コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐに切る
②コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする
③ガイダンスに従って 1 を押す
④内線番号を押す

コールバックの各動作のタイミングを変更するには（☛P3-22）

中継発信できる相手先を限定するには

コールバック（中継発信）で外出先から外線発信できる相手先を、「システム設定」やメニュー設定により制限することができます。（☛P4-57）

携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、中継発信を利用して携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P4-57）

外出先から外線発信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら…

1 すぐ（6秒[　　]以内）に切る。

2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。

ガイダンスまたは「プップ」という音が聞こえます。

3 外線発信番号（0 [　　]）、電話番号の順に押す。

4 相手の方が出たら、お話しする。

お願い

●ガイダンスが聞こえている間に携帯電話を操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。

外出先からシステム内線着信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら…

1 すぐ（6秒[　　]以内）に切る。

2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。

ガイダンスまたは「プップ」という音が聞こえます。

3 システム内線着信の特番（＊ ＃ [　　]）を押す。

4 社内の方が出たら、お話しする。

お知らせ

●音声によるガイダンスをご利用になるには、オプションが必要です。

●「外出先から外線発信する」の手順3で、空いている外線がなかったときは、発信できません。

●コールバック（中継発信）で使用中の外線の外線ランプは、赤く点灯します。

●コールバック着信と判定するまでの間（お買い求め時：6秒）、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。

Q&A ▶ *コールバックができないときは？（☛P6-7）*

ご利用になれる各種ネットワークサービス

ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMは、アナログ回線でもISDN回線でもどちらでもご利用いただけます。それぞれ次のようなサービスがあります。

主なネットワークサービスの対応状況

アナログ回線をお使いの場合は、ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMに接続された内線電話機で当社のネットワークサービスを活用したさまざまな機能をご利用になることができます。各サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■アナログのネットワークサービスを利用した機能（2013年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	☛P3-41
キャッチホン・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。外の相手の方とお話し中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、電話をかけてきた方の電話番号（発信電話番号）や電話番号を通知できない理由を表示することができます。	×	—
ナンバー・リクエスト	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
でんわばん／でんわばんW（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
キャッチホン／キャッチホンⅡ（通話中着信）	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、フッキング操作で切り替えることができます。	○	☛P3-33
トリオホン（簡易会議電話）	外の相手の方とお話し中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。	×	—
ダイヤルイン（モデムダイヤルイン含む）	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から特定の電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P3-44
ボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、いったん応答した電話を簡単な操作で別の番号へ転送したり、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	—
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
マジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○	—

主なINSネット64の対応状況

ISDN回線をお使いの場合、ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMに接続された内線電話機では、INSネット64の基本サービスや付加サービス※を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

■INSネット64の基本サービスを利用した機能（2013年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
発信者番号通知	INSネット64を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号、サブアドレスを相手の方に通知する、または通知しないようにすることができます。	○	☛P3-43
サブアドレス通知	サブアドレスを登録しておくと、特定の内線電話機を指定して着信させることができます。	○	☛P3-45、P6-2
料金情報通知	INSネット64で電話をかけたとき、お話しを終えて電話を切ると、INSネット64の通信料を表示することができます。	○	☛P6-3
ユーザ間情報通知	通信の開始時などにDチャネルを通じて情報の送受信が行えます。送信された情報はそのまま相手へ送られます。	×	—
通信中機器移動	通信を一時中断して通信機器をコネクタから取り外し、同一のINSネット64上の他のコネクタに接続して、通信を再開することができます。同一種類の通信機器が複数あるときは、他の機器から通信を再開することができます。	×	—

（次ページへつづく）

ご利用になれる各種ネットワークサービス

■INSネット64の付加サービスを利用した機能（2013年9月現在）

	サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
フレックスホン	**通信中着信通知**	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。	○ 注1、注2	☛P3-36
	三者通話機能（ミキシングモード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で同時にお話しすることができます。	○ 注1	☛P3-37
	三者通話機能（切替モード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます。	×	—
	通信中転送機能	外からかかってきた電話を別の相手の方に転送することができます。	○ 注1	☛P3-38
	着信転送機能	外からかかってきた電話を、主装置にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。	○	☛P3-39

注1：単体電話機、シングルラインコードレス電話機ではご利用できません。
注2：回線の使用状況によっては、通信中着信通知サービスが利用できないことがあります。

※INSネット64の詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
通信中着信通知	お話し中にさらにINSネット64からの着信があると、「ピッピッ・ピッピッ…」という通知音が聞こえます。	○	☛P3-36
発信専用制御	電話機からの操作により、契約者回線番号単位に着信を受けないようにすることができます。	○	☛P3-35
INSダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P3-44
INSでんわばん（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	☛P3-41
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
INSボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	☛P3-49
転送元電話番号受信	ボイスワープなどにより、転送されてきた転送元の電話番号を着信者が受信できるようにするサービスです。どこの電話から転送されてきたのか、電話を受ける前に知ることができます。	○	—
INS迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
ｉ・ナンバー	契約している電話番号の他に番号（ｉ・ナンバー追加番号）を追加して、特定の電話機を呼び出せるサービスです。	○	☛P3-44
INSマジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○	—

ご利用になれる各種ネットワークサービス

ひかり電話サービスの対応状況

フレッツ 光ネクスト、Bフレッツ等をお使いの場合、ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS／typeMに接続された内線電話機では、ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）、ひかり電話ビジネスタイプを活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要な場合があります。

■ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）のサービスを利用した機能（2013年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
複数チャネル	ひかり電話オフィスタイプは、同時に最大8回線分までの通話ができるサービスです。基本契約の3チャネルに加え、最大5チャネルの追加が可能です。 ひかり電話オフィスA（エース）は、同時に最大100回線分までの通話ができるサービスです。基本契約の1チャネルに加え、最大99チャネルの追加が可能です。	○※1	—
追加番号	ひかり電話オフィスタイプは、「契約番号＋追加31電話番号」で最大32までの電話番号を利用できるサービスです。 ひかり電話オフィスA（エース）は、「契約番号＋追加299電話番号」で最大300までの電話番号を利用できるサービスです。	○※2	—
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	☛P3-41
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
ボイスワープ	かかってきた電話を別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	☛P3-49
迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
FAXお知らせメール	ファクスがあったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールへお知らせし、パソコンからファクス内容を確認することができるサービスです。	○※3	—
着信お知らせメール	電話があったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールで確認することができるサービスです。	○	—
フリーアクセス・ひかりワイド	「0120」または「0800」で始まる電話番号にかかってきた通話料を、着信側でご負担いただけるサービスです。	○	—
特定番号通知サービス	ナンバー・ディスプレイをご利用の方に対して、ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）の電話番号ではなく、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド番号を通知するサービスです。	○	—
テレビ電話	ひかり電話ご契約者間 およびNTTドコモのFOMAご契約者との間でテレビ電話ができる機能です。	○※4	☛P3-53
高音質電話	フレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話契約者どうしなら、高音質電話機能に対応した電話機を利用して、従来の固定電話よりも高音質で通話ができる機能です。	○※4	☛P2-28
データコネクト	0AB～J番号を利用して接続先を指定することで、帯域確保型のデータ通信が利用可能なサービスです。	○※4	☛P4-20
一括転送	利用中の電話番号を一括で登録済みの転送先へ着信させることができるサービスです。	○※5	—

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
故障回復通知機能	一括転送機能のオプションとして、災害や故障等による異常の発生および回復を自動的に検知し、メールにて通知および自動的に一括転送機能を起動することができるサービスです。	○※5	—

※1　ひかり電話オフィスA（エース）をご契約された場合でも、ご利用いただける回線数は、typeSでは8回線、typeMでは12回線までです
※2　ひかり電話オフィスA（エース）をご契約された場合でも、ご利用いただけるのは、typeS ／ typeMでは42番号までです
※3　ひかり電話オフィスタイプのみ対応
※4　フレッツ 光ネクストのひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスA（エース）のみ対応
※5　ひかり電話オフィスA（エース）のみ対応

■ひかり電話ビジネスタイプの基本サービスを利用した機能（2013年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
通話	市内、県内市外、県間、携帯電話、PHS、国際電話などへの通話を提供するサービスです。	○	—
発信電話番号通知	電話番号単位に通常通知または通常非通知の選択ができるサービスです。	○	☛P3-41
発信電話番号表示	発信者から電話番号が通知された場合、発信電話番号の表示ができるサービスです。	○	☛P3-41
一般代表	順次サーチ方式またはラウンドロビン方式による代表着信サービスです。	○	—
転送	電話番号単位に無条件転送、無応答時転送、話中時転送、指定転送、応答後転送を行うサービスです。	○	—
指定着信許可／拒否	着信許可（拒否）を登録している電話番号以外（電話番号）からの接続を拒否するサービスです。発信電話番号が非通知着信の場合も接続を拒否することが可能です。	○	—
電話帳掲載・104案内	ひかり電話ビジネスタイプの電話番号を、電話帳に掲載することや104で案内することができるサービスです。	○	—
サービス品質保証制御（SLA）	イーサ系アクセス回線などを用いて、ひかり電話ビジネスタイプをご利用される場合、「サービス品質保証制度（SLA）」が適用されるサービスです。	×	—

ご利用になれる各種ネットワークサービス

■ひかり電話ビジネスタイプの付加サービスを利用した機能（2013年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
IPセントレックス機能	IPセントレックス代表（外線/内線）、転送、（エンハンスド）コールピックアップ、グループ保留、着信鳴り分け、マルチラインなどの機能ができるサービスです。	×	—
一括転送	利用中の電話番号を一括で登録済みの転送先へ着信させることができるサービスです。	○	—
着信課金機能（フリーアクセス・ひかりワイド）	県内、県外を問わず、着信側がひかり電話ビジネスタイプの料金プランで、通話料を負担することが可能となるサービスです。着信課金番号として0120（または0800）で始まる番号を利用できるサービスです。	○	—
簡易IPセントレックス機能	ビジネスホン利用拠点で、内線番号による内線電話機どうしの発着信ができるサービスです。	○	—
メッセージ応答機能	ユーザの設定により、着信に対して選択したメッセージを流すサービスです。	○	—
特定番号通知機能	着信課金機能（フリーアクセス・ひかりワイド）を利用している場合、着信者に対してフリーアクセス番号（0120または0800）を通知するサービスです。	○	—
多重回線収容機能	お客様の同一契約者グループ内の拠点と本サービスを複数対1で接続することにより、アクセス回線をより効率的にご利用いただくことができるサービスです。	×	—
フォローミー機能	端末が圏外にある場合など、端末に付与された電話番号（0AB～J番号）や内線番号への着信ができない場合に、あらかじめお客様が登録した転送先に自動的に転送するサービスです。	○	—
メッセージ録音機能	着信に応答できない場合、発着信のメッセージを録音するとともに、メッセージが録音されたことを指定されたメールアドレスに通知するサービスです。また、録音されたメッセージを音声ファイル化してメール添付することができるサービスです。	○	—
故障回復通知機能	一括転送機能のオプションとして、災害や故障等による異常の発生および回復を自動的に検知し、メールにて通知および自動的に一括転送機能を起動することができるサービスです。	○	—
【東】アクセス回線自動切替機能	アクセス回線区間において予備系回線の重畳契約を可能とするとともに、ひかり電話ビジネスタイプの収容部を二重化し、運用系回線区間の故障発生時に、予備系回線への自動切換を行うサービスです（アクセス回線がBusinessEtherタイプSWL（オーダメイドタイプ）の場合）。	×	—

【東】NTT東日本が提供する付加サービス

キャッチホンサービスを利用するには

アナログ回線をお使いの場合にキャッチホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。
これらのサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

1 「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押す。

4月19日(金) 午後 3:05
0-30

2 2番目にかけてきた相手の方とお話しする。

もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話しすることができます。

4月19日(金) 午後 3:05
1-05

ワンポイント

フックボタンの操作方法には

「システム設定」により、フックボタンを押す操作を、機能、フックボタンの順に押す操作にすることができます。

お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用になるとき以外で、お話し中にフックボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。

プッシュホンサービスを利用するには（DP→PB切替）

ダイヤル回線をお使いの場合でも、電話で利用できる各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

1 ダイヤル回線をご使用の場合は、電話がつながったら [#記号] を押す。

プッシュ回線、およびINSネット64をご利用の場合は、[#記号] を押す必要はありません。

2 必要なダイヤルボタンを押す。

ワンポイント

●**プッシュホンサービスの種類**
- 銀行ANSERサービス
- 留守番電話へのリモコン操作　など

お知らせ

●PB信号が送出できるときは、ディスプレイに「PB」と表示されます。
●銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
●ダイヤル回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
●DP→PB切替後に保留操作を行う場合は、ディスプレイに「PB」が表示されてから行ってください。

発信専用制御サービスを利用するには

INSネット64の発信専用制御サービスを利用している場合は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）で、INSネット64からの着信を受けないように設定することができます。
このサービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

発信専用制御を設定／解除する

1 **内線ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。

```
4月19日(金) 午後 3:05
内線
```

2 **機能 を押す。**

```
4月19日(金) 午後 3:05
内線
機能
```

3 **発信専用制御設定／解除の特番（9 9 [　　]）を押す。**

```
発信専用ﾓｰﾄﾞ

INS発信専用
```

4 **スピーカボタンを押す。**
発信専用制御が設定されます。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
INS発信専用
```

発信専用制御が解除された場合は、次のような表示になります。

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
```

ワンポイント

●発信専用制御の設定と解除の操作は
同じ操作で行えます。

サービスボタンに「INS発信専用」の機能を割り当てると
「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS発信専用）を割り当てると、手順1 ～ 4の代わりにサービスボタン（INS発信専用）を押すだけで、発信専用制御の設定／解除が行えます。発信専用制御を設定するとサービスボタン（INS発信専用）ランプが赤く点灯し、解除すると消えます。（☛P3-12）

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

フレックスホンサービスを利用するには

フレックスホンサービスには、「通信中着信通知」、「三者通話機能」、「通信中転送機能」、「着信転送機能」の4つのサービスがあります。これらのサービスは、INSネット64をお使いの場合のみご利用になれます。これらのサービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

お話し中に別の相手の方とお話しする（通信中着信通知）

通信中着信通知をご利用になるには、通信中着信通知サービスのお申し込みが必要です。

1 外の相手の方とお話し中に「ピッピッ・ピッピッ…」という通信中着信通知音が聞こえる。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-35
INS ｷｬｯﾁﾎﾝ
ISDN  PB
```

2 外の相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押す。

最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
ISDN  PB
```

3 かけてきた相手の方とお話しする。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                1-05
ISDN  PB
```

4 もう一度フックボタンを押すと、最初にお話ししていた方とお話しできる。

お知らせ

- フレックスホン中は会議、通話モニタ、保留はご利用できません。また会議、通話モニタ、保留中はフレックスホンのご利用はできません。
- 通信中着信通知中に内線ボタンや外線ボタンを押す、またはハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、お話し中の相手の方との電話が切れ、保留中の相手からの呼返音が鳴ります。呼び返し中に外線ボタンを押すと保留中の相手の方とのお話しに戻ります。
- 会議通話中に通信中着信通知は利用できません。
- 「システム設定」により、フックボタンを押す代わりに［機能］とフックボタンを押して応答するようにすることができます。

ワンポイント

●最初にお話ししていた方の電話を切ってからお話しするには

手順2の代わりに、［機能］、フックボタンの順に押すと、前の相手の方の電話を切って、かけてきた相手の方とお話しすることができます。

●通信中着信通知から三者通話機能に移るには

手順4の代わりに、［機能］、三者通話機能の特番（［9 わ WXYZ］［3 さ DEF］［　　］）を押します。

●通信中着信通知の一時停止を設定／解除するには

①内線ボタンを押す

「ツーツー…」という音を確認してください。

②［機能］、通信中着信通知一時停止設定／解除の特番（［9 わ WXYZ］［8 や TUV］［　　］）を押す

③スピーカボタンを押す

通信中着信通知の一時停止が設定、または解除されます。

〈設定された場合〉

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
INS ｷｬｯﾁﾎﾝ一時停止
```

〈解除された場合〉

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
```

サービスボタンに「INS通信中着信停止」の機能を割り当てると

「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS通信中着信停止）を割り当てると、サービスボタン（INS通信中着信停止）を押すだけで、通信中着信通知の一時停止／一時停止解除が行えます。一時停止状態になっているときはサービスボタン（INS通信中着信停止）ランプが赤く点灯し、一時停止を解除すると消えます。（☛P3-12）

3人でお話しする
（三者通話機能：ミキシングモード）

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方に電話をかけ、3人同時にお話しすることができます。

1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、機能 を押す。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
機能
```

2 三者通話機能（ミキシングモード）の特番（9 3 [　　]）を押す。

「ツー」という発信音が聞こえます。

最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。

```
4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

3 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
                0312345678
ISDN
```

4 別の相手の方が出たらお話しができる。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-30
ISDN  PB
```

5 三者通話にすることを伝え、機能、三者通話機能（ミキシングモード）の特番（9 3 [　　]）を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

6 3人でお話しする。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                1-05
ISDN  PB
```

7 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

サービスボタンに「INS3者通話」の機能を割り当てると

「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS3者通話）を割り当てると、機能 と特番を押す手順1～2や手順5の代わりに、サービスボタン（INS3者通話）を押すだけで操作することができます。サービスボタン（INS3者通話）を押して三者通話機能（ミキシングモード）が起動すると、サービスボタン（INS3者通話）ランプが赤く点灯します。（☛P3-12）

●相手の方が出ないときに、保留中の相手の方とのお話しに戻るには

ハンドセットを置いてください。呼返音が鳴り、保留中の外線ボタンを押すと保留した相手の方とのお話しに戻ります。

お知らせ

- フレックスホン中は会議、通話モニタ、保留はご利用できません。また会議、通話モニタ、保留中はフレックスホンのご利用はできません。
- 三者通話中に内線ボタンや外線ボタンを押す、またはハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、お話し中の相手の方との電話が切れ、保留中の相手からの呼返音が鳴ります。呼び返し中に外線ボタンを押すと保留中の相手の方とのお話しに戻ります。
- 三者通話機能の料金は、それぞれ発信を行った方の支払いになります。
- ミキシングモードで三者通話中にハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、すべてのお話し中の相手の方との電話が切れます。
- 会議通話中に三者通話機能（ミキシングモード）は利用できません。
- 三者通話機能（切替モード）は利用できません。

通話中の電話を転送する（通信中転送機能）

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方に電話をかけて取りつぐことができます。

1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、機能 を押す。

```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-05
機能
```

2 通信中転送機能の特番（9 2 [　　]）を押す。

「ツー」という発信音が聞こえます。

最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。

```
4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

3 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
                0312345678
ISDN
```

4 別の相手の方が出たら、転送することを伝え、機能、通信中転送機能の特番（9 2 [　　]）を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。ゆっくり緑で点滅していた外線ランプが消えます。

5 ハンドセットを置く。

ワンポイント

サービスボタンに「INS通信中転送」の機能を割り当てると

「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS通信中転送）を割り当てると、機能 と特番を押す手順1 ～ 2や手順4の代わりに、サービスボタン（INS通信中転送）を押すだけで操作することができます。サービスボタン（INS通信中転送）を押して最初にお話ししていた方が保留状態になるとサービスボタン（INS通信中転送）ランプが赤く点滅し、再度サービスボタン（INS通信中転送）を押して別の相手の方への転送が完了するとランプが消えます。（☛P3-12）

お知らせ

- 通信中転送機能の料金は、外の相手の方と取りついだ方との間の料金は、発信を行った方の負担に、取りついだ方と転送先の方との間の料金は、取りついだ方の負担となります。
- 転送できるのは、着信した電話のみです。こちらから発信した電話は転送できません。
- 会議通話中に通信中転送機能は利用できません。

外からの電話を決められた相手の方に直接取りつぐ（着信転送機能）<システム一括設定>

INSネット64への着信を、決められた別の相手の方に自動的に転送するように設定することができます。

1 **内線ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 **決□定 を押す。**

4月19日(金) 午後 3:05
内線
設定

3 **着信転送（転送先番号）の特番（9 6 [ ]）を押す。**

着信転送先

すでに転送先が登録されているときは、下段に表示されます。

4 **転送先の電話番号をダイヤルボタンを押す。**

着信転送先
0312345678

5 **決□定 を押す。**
「ピーピー」という確認音が聞こえます。

着信転送先
0312345678

6 **スピーカボタンを押す。**
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

●**転送先の電話番号を消去するには**
手順4で電話番号を押さずに クリア を押します。

サービスボタンに「INS着信転送」の機能を割り当てると
「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS着信転送）を割り当てると、決□定 と特番を押す手順2～3の代わりに、サービスボタン（INS着信転送）を押すだけで操作することができます。（☛P3-12）

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
●転送先の電話番号を設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

フレックスホンサービスを利用するには

着信転送モードを設定する <システム一括設定>

着信転送モードを設定したり、解除することができます。

1 **内線ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。

```
4月19日(金) 午後 3:05
内線
```

2 **機能 を押す。**

```
4月19日(金) 午後 3:05
内線
機能
```

3 **着信転送機能起動／解除の特番（9 5 [ ]）を押す。**

```
着信転送ﾓｰﾄﾞ
```

4 **1 ～ 4 を押す。**
「ピーピー」という確認音が聞こえます。

```
着信転送ﾓｰﾄﾞ
INS着信転送
```

1 :「転送トーキなし」「転送元トーキなし」
2 :「転送トーキあり」「転送元トーキなし」
3 :「転送トーキなし」「転送元トーキあり」
4 :「転送トーキあり」「転送元トーキあり」

5 **スピーカボタンを押す。**
着信転送モードが設定されます。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

ワンポイント

●転送トーキ、転送元トーキのメッセージ内容は
INSネット64より送られる音声によるメッセージを「転送トーキ」「転送元トーキ」といいます。
- 転送トーキ……「ただいま電話を転送しますのでしばらくお待ちください」（電話をかけた方に流れます）
- 転送元トーキ…「電話が転送されてまいります」（転送先の相手の方に流れます）

●着信転送モードを解除するには
①「着信転送モードを設定する」の手順1 ～ 3の操作をする
②スピーカボタンを押す

サービスボタンに「INS着信転送モード」の機能を割り当てると
「システム設定」によって回線ボタンにサービスボタン（INS着信転送モード）を割り当てると、機能 と特番を押す手順2 ～ 3の代わりに、サービスボタン（INS着信転送モード）を押すだけで操作することができます。（☛P3-12）

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、かけてきた相手の方の電話番号を、応答する前に電話機等のディスプレイに表示するサービスです。アナログ回線、ISDN回線、ひかり電話のどちらをお使いの場合もご利用になれます。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用すると、さまざまな機能を活用できます。

■かけてきた方にこちらからかけ直す（着信履歴発信）

電話をかけてきた相手の方の電話番号（最大32桁）が、着信した内線電話機ごとに最新の20件分が保存されます（着信履歴）。応答しなかったときでも着信履歴は記憶され、この電話番号を使って簡単な操作で電話をかけ直すことができます。（☛P3-4）

■かけてきた方の電話番号や名前を電話帳に登録する（着信履歴）

着信履歴として記憶されている電話番号や発信者名（会社名や名前）を、電話帳に登録することができます。（☛P3-5）

■かけてきた方の電話番号によって着信を拒否する（着信拒否）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により着信を拒否する発番号着信拒否機能が利用できます。発番号着信拒否は、かけてきた電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定またはWeb設定により、次の設定を行ってください。

①「グループ着信先設定」（☛P4-19）を行って、グループごとの着信方法を「着信拒否」に設定する

②相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否グループに登録する（☛P2-12、P4-19）

登録は、通話中に相手の方の電話番号を登録する（☛P3-46）、またはお話しが終わってから、その着信履歴を登録することができます。（☛P3-46）

■非通知の方の着信を拒否する（非通知着信拒否）（☛P3-48）

■かけてきた方の電話番号によって着信先や着信方法を変える（発番号ダイヤルイン）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により特定の内線電話機に着信したり、他の電話機に転送するなどの発番号ダイヤルイン機能が利用できます。発番号ダイヤルインは、かけてきた方の電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定またはWeb設定により、次の設定を行ってください。

①「グループ着信先設定」（☛P4-19）を行ってグループごとの着信先や着信方法を設定する

②相手の方の電話番号を共通電話帳に登録する際に、目的のグループに登録する（☛P2-12、P4-19）

■かけてきた方の電話番号によって着信音を変える（電話帳鳴り分け）

着信音を聞くだけで、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信音で識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ毎鳴動設定」（☛P4-5）した電話帳グループに登録しておく必要があります。

■かけてきた方の電話番号によって着信ランプの点滅色を変える

着信ランプの点滅色で、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信ランプで識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ着信ランプ設定」（☛P4-5）した電話帳グループに登録しておく必要があります。

お知らせ

●停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はすべてご利用になれません。

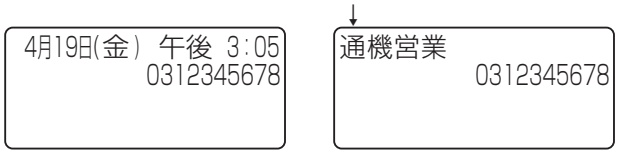
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには

相手の方の電話番号を確認する

■着信中に相手の方の電話番号を表示させる

機能 を押してから、着信中の外線ボタンを押すと、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。

電話帳に登録されている名称
↓



■通話中に相手の方の電話番号を表示させる

通話中に クリア を押すと、相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。通話中表示に戻るときは、再度 クリア を押します。

ワンポイント

●相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

送信側と受信側が利用している回線の種類や契約内容によって、相手の方の電話番号が表示されるかどうかが決まります。アナログ回線およびひかり電話オフィスタイプをお使いの場合は、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。ISDN回線をお使いの場合、ISDN回線およびひかり電話からの着信については、INSネット64の基本サービスの1つである「発信者番号通知サービス」により相手の方の電話番号の表示が可能です。ただし、アナログ回線からの相手の方の電話番号または電話番号が表示されない理由を表示するには、当社とのINSナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。

ひかり電話オフィスA（エース）およびひかり電話ビジネスタイプをお使いの場合は、基本サービスにより相手の方の電話番号の表示が可能です。

		着信側（ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeM）			
		アナログ回線	ISDN回線	ひかり電話オフィスA（エース）、ひかり電話ビジネスタイプ	ひかり電話オフィスタイプ
発信側	アナログ回線	△	△	○	△
	ISDN回線、携帯電話	△	○	○	△
	ひかり電話オフィスA（エース）、ひかり電話ビジネスタイプ	△	○	○	△
	ひかり電話オフィスタイプ	△	○	○	△

○：基本サービスで表示可能
△：表示するにはナンバー・ディスプレイの利用契約が必要

ワンポイント

●相手の方の電話番号が表示されないときは

相手の方の操作や契約などによって電話番号が表示されない場合には、その理由ごとに次のように表示します。

ディスプレイ	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

●相手の方がサブアドレスを設定しているときは

ISDN回線で着信したとき、相手の方がサブアドレスを設定している場合には、電話番号の後ろにサブアドレスが表示されます。

●発信者番号通知サービスを利用すると

自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。

本サービス契約に加え「システム設定」により、内線電話機ごと、またはダイヤルイングループボタンごとに、通知する／通知しない／省略（契約内容に従う）を設定することができます。

●自分の電話番号の通知する／通知しないを指定するには

電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。

発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
契約内容	**通常通知（通話ごと非通知）**	相手の方の電話番号	1 あ 8 や TUV 4 た GHI ＋ 相手の方の電話番号
	通常非通知（回線ごと非通知）	1 あ 8 や TUV 6 は MNO ＋ 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

お知らせ

- ●外線ランプが赤く点灯しているときは、電話に出ることもかけることもできません。
- ●同時に複数の着信があると、ディスプレイで確認した電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- ●PBX（構内交換機）や他の通信機器などに収容されているときは、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になれないことがあります。
- ●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかります。
- ●停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はご利用になれません。
- ●一般回線（アナログ回線）でナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になるには、オプションの追装が必要となる場合があります。
- ●「184（通知しない）」または「186（通知する）」による指定は、「システム設定」よりも優先されます。

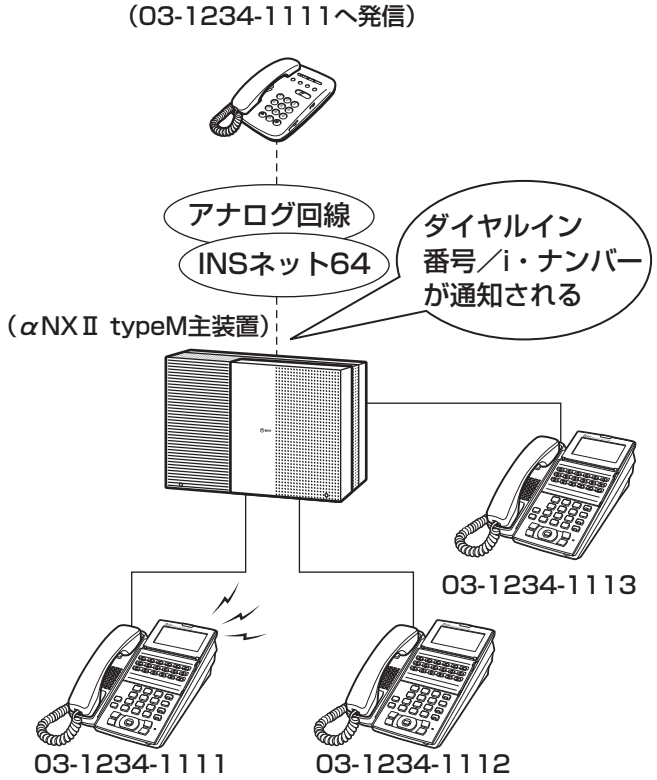
外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）

特定の電話機を呼び出すには、ダイヤルインサービス／i・ナンバー（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定する方法と、INSネット64の基本サービスの1つであるサブアドレス通知サービス（無料）を利用してサブアドレスを指定する方法があります。

■ダイヤルインサービス／i・ナンバーを利用する

ダイヤルインサービス／i・ナンバーをご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号／i･ナンバーを電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。また、ダイヤルイン番号／i･ナンバーを特定の外線ボタンに割り当てることもできます(ダイヤルイングループボタン)。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

●1つの回線に03-1234-1111、03-1234-1112、03-1234-1113のダイヤルイン番号／i・ナンバーを契約したとき



ワンポイント

●ダイヤルインサービスをご利用になるには

一般回線（アナログ回線）で当社のダイヤルイン回線を接続する場合は、typeMのみオプションの追装が必要となる場合があります。

●INSネット64への着信の場合には

相手の方の電話番号のあとに、「＊」と相手の方のサブアドレスが表示されます。

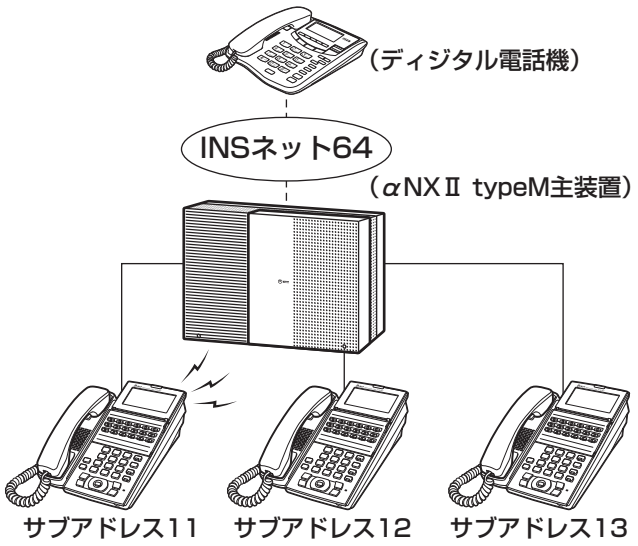
お知らせ

●ダイヤルイングループボタンでは、不在着信転送（☛P3-10）の機能を利用することはできません。

■サブアドレス通知サービスを利用する

サブアドレスは、INSネット64のサブアドレス通知サービスを利用するときに必要な番号です。電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすると、特定の電話機を呼び出すことができます。
ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMで電話機ごとにサブアドレスを登録しておく（☛P4-22）と、INSネット64を利用して電話をかけるとき、相手の方に自分のサブアドレスまで通知されます。
また、外の相手の方が、電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機で電話を受けることができます（サブアドレスダイヤルイン）。

●03-1234-1110の契約者回線番号にサブアドレス11、12、13を設定したとき

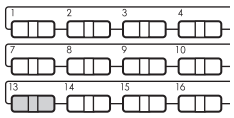


着信拒否サービスを利用するには

電話番号が通知されている場合は、電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録して着信を拒否することができます。登録はお話し中、またはお話しが終わった後に着信履歴から行うことができます。
着信拒否を設定するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（着信拒否）を設定しておく必要があります。

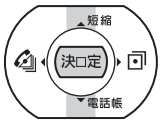
通話中に相手の方の電話番号を登録する

1 外の方とお話し中にサービスボタン（着信拒否）を押す。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

2 上下ボタンで「1:はい」を選択し、決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

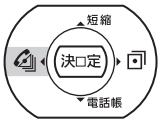


ｸﾞﾙｰﾌﾟ9
ﾒﾓﾘ番号000
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、相手の方の電話番号が着信拒否に登録されます。

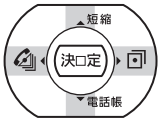
お話しが終わってから、着信履歴で登録する

1 着信履歴ボタンを押し、着信履歴の一覧画面を表示する。



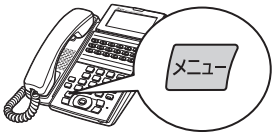
01応通機営業
02不0312345678
03他11
04応NTT太郎

2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。



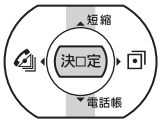
01応通機営業
02不0312345678
03他11
04応NTT太郎

3 メニュー を押す。



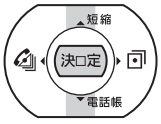
1:電話帳登録
2:1件削除
3:全件削除
4:着信拒否ｸﾞﾙｰﾌﾟ登録

4 上下ボタンで「4:着信拒否グループ登録」を選択し、決□定 を押す。
または 4 た GHI を押します。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

5 上下ボタンで「1:はい」を選択し、決□定 を押す。
または 1 あ を押します。



ｸﾞﾙｰﾌﾟ9
ﾒﾓﾘ番号000
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、相手の方の電話番号が着信拒否に登録されます。

ワンポイント

●着信拒否登録を削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。着信拒否は共通電話帳に登録されていますので着信拒否の登録削除は、特定の内線電話機でのみ行えます。

＜電話帳の一覧画面から削除する＞

①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）
②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
③メニュー を押す
④上下ボタンで「2：削除」を選択し、決□定 を押す または 2 カ ABC を押します。

＜電話帳の詳細画面から削除する＞

①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する（☛P2-16、P2-17、P2-19、P2-20）
②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、決□定 を押す
③メニュー を押す
④上下ボタンで「4：削除」を選択し、決□定 を押す または 4 タ GHI を押します。

●通話中に相手の方の電話番号を表示させるには（☛P3-42）

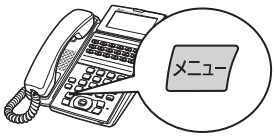
お知らせ

●「お話しが終わってから、着信履歴で登録する」手順3でサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できます。
●すでに共通電話帳に登録されている電話番号を、再度、着信拒否グループに登録して、共通電話帳に同じ電話番号が2つ登録された場合には、若いメモリ番号が有効となります。
●電話をかけた場合には、通話中にサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
●保留中や会議通話中の内線電話機からは登録できません。
●電話帳アクセスのサービスロックが起動している内線電話機からは登録できません。
●留守番電話や通話録音を利用中には登録できません。

非通知着信拒否サービスを利用するには

電話番号が通知されない場合、公衆電話からかかってきた場合、番号通知ができないエリアからかかってきた場合などは、着信を拒否するように設定することができます。電話番号が表示されない理由ごとに、着信を拒否するかどうかを設定できます。

1 メニューを押す。

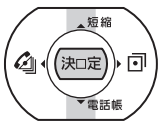


1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定を押す。
または 2 を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「3:外線着信」を選選択し、決定を押す。
または 3 を押します。



1:ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ設定
2:着信未応答警報ﾀｲﾏ
3:ｼｽﾃﾑ着信ﾒﾛﾃﾞｨ設定
4:非通知着信拒否

4 上下ボタンで「4：非通知着信拒否」を選択し、決定を押す。
または 4 を押します。

非通知着信拒否
0:非通知
1:公衆電話
2:表示圏外

非通知　：かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっている場合
公衆電話：公衆電話からかかってきた場合
表示圏外：番号通知ができないエリアからかかってきた場合

5 上下ボタンで着信拒否する種別を選択し、決定を押す。
または 0 ～ 2 を押します。

〈例〉「非通知」を選択した場合

非通知
0:拒否しない
1:拒否する

6 上下ボタンで「1:拒否する」を選択し、決定を押す。
または 1 を押します。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、着信拒否が登録されます。

非通知着信拒否
0:非通知
1:公衆電話
2:表示圏外

着信拒否をしない場合は、「0：拒否しない」を選択して決定を押すか、0 を押します。
続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

7 クリアを長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

○着信拒否時にガイダンスを流すには

オプションの追装により、着信を拒否する相手に対して以下のガイダンスを流すことができます。(☛P4-22)

非通知理由	ガイダンス
非通知	電話番号の前に「186」を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。
公衆電話、表示圏外	電話番号を通知できる電話機からおかけ直しください。

お知らせ

- 非通知着信拒否を利用するには、「システム設定」とナンバー・ディスプレイの契約が必要です。また、一般回線（アナログ回線）をご使用の場合は、typeMのみオプションの追装が必要です。
- ご利用のサービスや着信拒否ガイダンスの設定によって、着信を拒否する相手に流す音が異なります。

サービス	設　定	流す音
INSネット64 VoIP回線 アナログ回線（ダイヤルイン契約あり）	送出しない	話中音
	送出する	ガイダンス
アナログ回線（ダイヤルイン契約なし）	送出しない	呼出音
	送出する	ガイダンス

- ガイダンス送出中の通話料は、着信を拒否する相手（電話をかけてきた方）に課金されます。

ボイスワープを利用するには

ボイスワープは、かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号に転送するサービスです。設定により、次のような転送が行えます。
・転送元の電話を呼び出さずに即時に転送する（無条件転送）
・転送元を呼び出し、応答しないときにだけ転送する（無応答時転送）
・お話し中のときにだけ転送する（話中時転送）
ボイスワープサービスは、アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合でもご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
ここでは転送先の電話番号の登録操作と、転送の開始／停止操作について説明します。

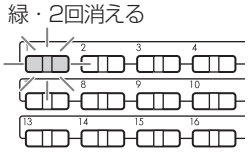
INSボイスワープの転送先電話番号を登録する

転送先リスト「0」に登録する

転送先電話番号を1つだけ登録するときは、次のように操作して転送先リスト「0」に登録します。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。




```
 4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

2 1 4 2 2 # を押す。

```
                    1422#
ISDN  PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

3 転送先電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
                    03123456
ISDN  PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

4 決□定 を押す。

```
                    1422#
ISDN  PB
```

5 スピーカボタンを押す。

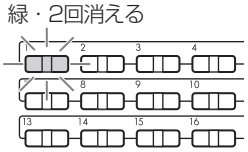
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

転送先リスト「1」～「4」に登録する

複数の電話番号を登録するときは、リスト番号を指定して登録を行います。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。




```
 4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

2 1 4 2 4 # を押す。

```
                    1424#
ISDN  PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

3 0 を押す。

4 転送先リスト番号 1 ～ 4 を押す。

5 転送先電話番号をダイヤルボタンで押す。

```
                    03123456
ISDN  PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

6 決□定 を押す。

```
                    1424#
ISDN  PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

（次ページへつづく）

ボイスワープを利用するには

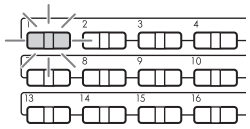
7 **スピーカボタンを押す。**
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

転送先リストを指定する

転送先を変更するときは、次のように操作してリスト番号を指定します。

1 **外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。**
「ツー」という発信音を確認してください。

緑・2回消える



```
 4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

2 **[1あ] [4たGHI] [2かABC] [4たGHI] [#記号] を押す。**

```
                    1424#
ISDN PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ
```

3 **[1あ] を押す。**

4 **転送先リスト番号 [0わをん] ～ [4たGHI] を押す。**

5 **スピーカボタンを押す。**
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 「INSボイスワープの転送先電話番号を登録する」の手順2の操作のあと、ディスプレイに「ISDN PB キーパッド」が表示されない場合は、[機能]、キーパッドモード切替の特番（[＊゛゜] [＊゛゜] [　　]）を押してください。
- 転送先電話番号の最後のボタンを押してから約6秒経過するか、32桁まで入力すると、入力したデータが送信されます。
  ※ただし、32桁以下の入力でも、約6秒の時間経過を待たずデータ送信する場合があります。
- 転送先電話番号を登録するときは、あらかじめワンタッチボタンに電話番号を登録しておき、ワンタッチボタンを押すことでも入力できます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。

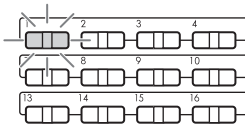
INSボイスワープの転送を開始／停止する

サービス番号をダイヤルボタンで押して、転送を開始／停止します。開始のサービス番号は、設定したい転送方法によって異なります。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

緑・2回消える



```
 4月19日(金) 午後 3:05
外線
ISDN
```

2 サービス番号、[#記号] の順にダイヤルボタンを押す。

無条件転送を設定する　：[1あ][4た GHI][2か ABC][1あ][1あ]
無応答時転送を設定する　：[1あ][4た GHI][2か ABC][1あ][2か ABC]
話中時転送を設定する　：[1あ][4た GHI][2か ABC][1あ][3さ DEF]
無応答時と話中時転送を設定する：[1あ][4た GHI][2か ABC][1あ][4た GHI]
転送を解除する　：[1あ][4た GHI][2か ABC][0わをん]

3 スピーカボタンを押す。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

アドバンスト電話機を利用するには IP

オプションのアドバンスト電話機を利用すると、IP電話機独自の機能を使ったり、タッチパネル式の大きなディスプレイを使って、さまざまな操作が行えます。
詳細は、アドバンスト電話機の取扱説明書を参照してください。

■テレビ電話通話

テレビ電話に対応した電話機同士で、映像を伴った通話ができます。

■外付けカメラの映像の確認や録画

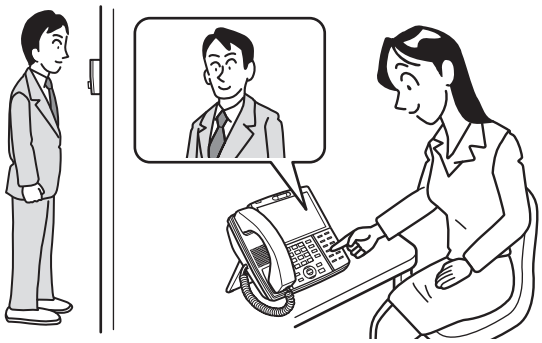
映像アダプタに接続して、外付けカメラの映像の確認、録画などが行えます。（☛P5-23）また、録画した映像の再生や削除なども行えます。（☛P5-14）

■簡易受付電話

無人の受付スペースや事務所の入り口などに設置し、来訪者に目的の内線を呼び出してもらうことができます。呼び出された内線では、映像で対応できます。

■カメラドアホンへの応答や録画した映像の確認

ディスプレイを使って、カメラドアホンの映像や録画した映像を確認できます。（☛P5-11）



■ホームページの閲覧

インターネットのホームページを見ることができます。

■高音質電話

他のIP電話機と同様に、高音質電話に対応した電話機同士での外線通話や内線通話ができます。（☛P2-28）

アドバンスト電話機でできる操作は、ソフトフォンでも行えます。ソフトフォンとは、パソコンに専用のソフトウェアをインストールし、ヘッドセットなどを付けてIP電話機として使えるようにしたものです。詳細は、ソフトフォンの取扱説明書を参照してください。

テレビ電話通話をする

■テレビ電話発信するための設定を行う（ビデオ）

アドバンスト電話機のビデオ状態表示エリアには、ビデオ通話形式（テレビ電話）のON／OFF状態および映像ミュートの設定状態が表示されています。
テレビ電話発信するには、ビデオ通話形式を「ON」にする必要があります。「OFF」状態のときは、音声での発信しかできません。ただし、「OFF」状態のときでも、かかってきたテレビ電話を受けると一時的に「ON」に切り替わり、テレビ電話通話が行えます。
ビデオ通話形式を切り替える以下の操作は、待機中にのみ行えます。

1 **待機中に、［ビデオメニュー］キーにタッチする。**
ビデオメニューが表示されます。

2 **［ビデオ］キーにタッチする。**
手順1 ～ 2の操作をするごとに、ビデオ通話形式のON／OFFが切り替わります。

ワンポイント

●自分の映像を送信しないでテレビ電話通話をするには（映像ミュート）
映像ミュートを「ON」にすると、自映像エリアに人型の絵が表示されます。設定は、待機中にもテレビ電話通話中にも行えます。
①［ビデオメニュー］キーにタッチする
②［映像ミュート］キーにタッチする

●全画面表示／通常表示を切り替えるには
全画面表示を「ON」にすると、映像の表示エリアが拡大し、相手映像が大きく表示されます。切替操作は、テレビ電話通話中にのみ行えます。
①［ビデオメニュー］キーにタッチする
②［全画面］キーにタッチする

お知らせ

●テレビ電話通話中は、通話モニタ（☛P2-7）、通話割り込みによる三者通話（☛P2-24）、会議通話（☛P3-19）、通話録音（☛P3-70）をご利用になれません。
●テレビ電話着信中は、お待たせメッセージ（☛P3-71）をご利用になれません。

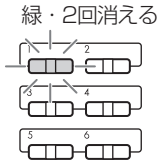
アドバンスト電話機を利用するには IP

■テレビ電話発信をする

「ビデオ」が「ON」に設定されているときに、テレビ電話に対応した電話機に電話をかけると、テレビ電話発信となります。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

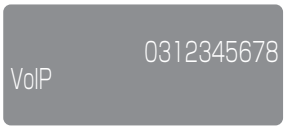
またはディスプレイの外線キーにタッチします。
「ツー」という発信音を確認してください。



2 ハンドセットを取りあげる。

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

または電話番号が登録されているワンタッチキーにタッチします。



4 相手の方が出たら、お話しする。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●ハンドセットを取りあげてからかけるには

ハンドセットを取りあげてから外線ボタンを押し、電話番号をダイヤルボタンで押します。

●電話番号を確認してからかけるには

①外線ボタンが消えていることを確認し、外線ボタンを押す（またはディスプレイの外線キーにタッチする）
②電話番号をダイヤルボタンで押す
③相手の方に接続したら、ハンドセットを取りあげてお話しする

●内線に発信するには

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
「ツーツー…」という音を確認してください。
②内線番号をダイヤルボタンで押す
または、内線番号が登録されているワンタッチキーにタッチします。
③相手の方が応答したら、ハンドセットを取りあげてお話しする

●全画面表示／通常表示を切り替えるには（☛P3-53）

お知らせ

●通話時間は、最大9時間59分59秒まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。

●手順1の操作をしないでハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときは、オフフック外線発信設定（☛P4-6）によって次のどちらかの状態になります。

- 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
- 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

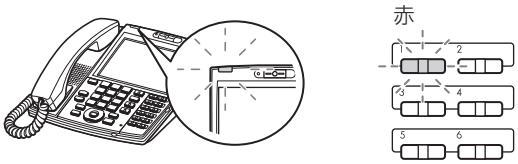
●オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。この取扱説明書では、さしつかえのない限り、オフフック内線捕捉の状態での説明をしています。

Q&A ▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

■テレビ電話を受ける

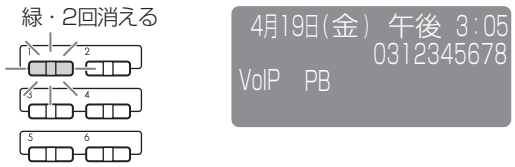
テレビ電話の着信を受けると、自動的にテレビ電話通話になります。

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅する。



2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

またはディスプレイの点滅している外線キーにタッチします。



3 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●**テレビ電話を他の内線電話機に転送するには（保留転送）**

外の相手の方とのお話しや内線通話を、他の内線電話機に取りつぐときは、次のように操作します。

①お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留を押す

②呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す

③呼び出された方が応答したら、取りつぐことを伝え、決定を押す

●**全画面表示／通常表示を切り替えるには（☛P3-53）**

お知らせ

●外の方とのお話し中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと電話が切れてしまいますのでご注意ください。

●他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプ／外線キーが赤く点灯したままになります。

●ナンバー・ディスプレイをご利用になると、かけてきた方の電話番号を表示させることができます。（☛P3-41）

●通話を保留している間は、映像が表示されません。

●外線とのテレビ電話通話は、テレビ電話に対応していない内線電話機へ保留転送できません。

●内線通話をテレビ電話に対応していない内線電話機へ保留転送した場合は音声通話となり、再度テレビ電話通話することはできません。

Q&A ▶ *一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☛P6-4）*

単体電話機を利用するには

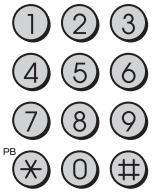
ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMに一般の単体電話機を接続してご利用いただくことができます。外へ電話をかけるときは、空いている外線を自動的に選んでかける方法（空き外線自動発信）と、「システム設定」した外線グループから空き外線を選んでかける方法（外線群指定発信）があります。単体電話機を接続するには、オプションが必要です。

電話をかける（外線発信）

空いている外線を自動的に選んで電話をかけます（空き外線自動発信）。

1 ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。

2 外線発信用の特番（⓪ [　　]）を押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

4 相手の方が出たら、お話しする。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 手順2で外線発信番号を押して、空いている外線がないときは、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。
- 手順1でハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときには、オフフック外線発信設定によって次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

  オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、 外線発信番号（⓪[　　]）を押す必要はありません。ハンドセットを取りあげるだけで外線に電話をかけることができます。
  このときに、ダイヤルボタンを押さないで、フッキング操作を行うと、内線の呼び出しができるようになります。
  フッキング操作とは（☛P3-57）
- すぐに次の電話をかけるときは、ハンドセットを確実に置き、電話が切れていることを確認してください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディ・クローバーホンSⅢを例に説明しています。**

電話を受ける（外線着信）

1 着信音が鳴る。

2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

相手の方に待っていただく（保留）

単体電話機で保留にした通話は、他の電話機でとることはできません（個別保留）。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

2 ⊘（フック）ボタンを押す。またはフッキング操作を行う。

「ツツツ…」という音を確認してください。
相手の方には保留メロディが流れます。

3 もう一度お話しするときは、⊘（フック）ボタンを押す。またはフッキング操作を行う。

4 相手の方とお話しする。

ワンポイント

●外線グループの中から選んでかけるには（外線群指定発信）

①ハンドセットを取りあげる
「ツーツー…」という音を確認してください。
②外線群指定発信番号（⑧ ① ～⑧ ⑧ [　　]）を押す
「ツー」という発信音を確認してください。
③電話番号をダイヤルボタンで押す
④相手の方が出たらお話しする

外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P4-57）

ワンポイント

●フッキング操作とは

単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

単体電話機を利用するには

電話帳を使って電話をかける

よくかける相手の方の電話番号をシステムの電話帳に登録しておく（☛P2-12）と、単体電話機でも、電話帳を使って簡単にダイヤルすることができます。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 電話帳ダイヤル発信用の特番（⑨ ⑨ [　　]）を押す。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
PB ✳ 0 #

3 メモリ番号をダイヤルボタンで押す。

2桁モード：⓪⓪～⑨⑨

3桁モード：⓪⓪⓪～⑨⑨⑨

4 相手の方が出たら、お話しする。

ワンポイント

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

お知らせ

●お使いの単体電話機個別の電話帳をご利用になるときは、単体電話機の取扱説明書を参照してください。

●空いている外線がない場合は、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。

●単体電話機からは電話帳を登録することはできません。

単体電話機でのいろいろな操作

■内線でお話しする（内線通話）

単体電話機から他の内線電話機を呼び出すときは、次のように操作します。

①ハンドセットを取りあげる
「ツーツー…」という音が聞こえないときは、(フック）ボタンを押します。
②呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
③呼び出された方が応答したら、お話しする

■他の内線電話機に取りつぐ

①相手の方に待っていただくように伝え、(フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P3-57）を行う
「ツツツ…」という音が聞こえないときは、もう一度(フック）ボタンを押します。
②呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
③呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く
応答されなかった場合には、再度 (フック）ボタンを押すと、待っていただいた方とお話しできます。

■キャッチホンサービスを利用する

単体電話機で、アナログ回線をお使いの場合には、次のように操作します。

①「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、(フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P3-57）を行う
②フッキング信号送出の特番（(8) (0) [　　]）を押す
③2番目にかけてきた相手の方とお話しする
④最初にお話ししていた方とのお話しに戻るときは、もう一度手順①～②を行う

■他の外線に転送する

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の外線に転送できるように「システム設定」している場合は、次のように操作します。

①「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順①を行う
②外線発信番号（(0) [　　]）を押す
③「ツー」という発信音を確認し、電話番号をダイヤルボタンで押す
④「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順③を行う

お知らせ

●オフフック外線発信設定を「設定する」にしているとき、または内線ホットラインを設定しているときは、「■内線でお話しする（内線通話）」の手順①でハンドセットを取りあげたあと、(フック）ボタンを押してください。ダイヤルボタンで内線の呼び出しができるようになります。
●一般回線（アナログ回線）をご使用の場合、外線への転送を行うにはオプションの追装が必要です。

ワンポイント

●相手の方の応答を待たずに保留転送するには
呼び出す内線電話機の内線番号を押したあと、ハンドセットを置きます。呼び出された内線電話機の呼出音が鳴り、ハンドセットを取りあげるとお話しできます。

●PBX/CES回線で、ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeM以外に接続された内線電話機に転送するには
フッキング信号送出の特番（(8) (0) [　　]）、内線番号の順に押します。

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）
「■内線でお話しする」の手順②で内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、グループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

○自動的に特定の相手の方を内線呼出するには（内線ホットライン）
内線ホットラインを設定すると、ハンドセットを取りあげるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。

●内線呼び出しに他の単体電話機で応答するには（代理応答）
プッシュホン式電話機であれば代理応答できます。ハンドセットを取りあげ、(#)、グループ番号の順に押すと、指定したグループに属する電話機への電話に応答できます。また、(#) (#) を押すと、かかってきたすべての電話に応答できます。

音声メールを利用するには

音声メールをご利用になると、留守番電話としての機能、通話内容の録音／再生、外の電話機からのリモコン操作など、便利な機能を活用できます。音声メールをご利用になるには、オプションが必要です。
音声メールの詳しい操作方法については、「αNX typeS/typeM 音声メールユニット取扱説明書」を参照してください。

音声メールを利用した便利な機能

音声メールでは次の機能を利用できます。

留守番電話を利用する（留守番電話）

不在時などにかかってきた電話に対して自動的に応答メッセージを流し、用件（メッセージ）を録音できます。ご用意している応答メッセージの他にも、お客さまがご自由に応答メッセージを録音することができます。（☛P3-64）

録音内容を再生する（メッセージ再生）

留守番電話や通話録音で録音された内容を再生することができます。（☛P3-66）
ボックス番号を指定して録音内容を再生することもできます。（☛P3-68）

お話しを録音する（通話録音）

お話ししている内容を録音できます。お話しを始めると同時に自動的に録音したり（自動通話録音）、録音したいときに操作して録音したりすること（手動通話録音）ができます。（☛P3-70）

他の人にメッセージを残す（メッセージ録音）

他の方の個人ボックスへメッセージを残すことができます。（☛P3-69）

メッセージが録音されたことを通知する（着信通知）

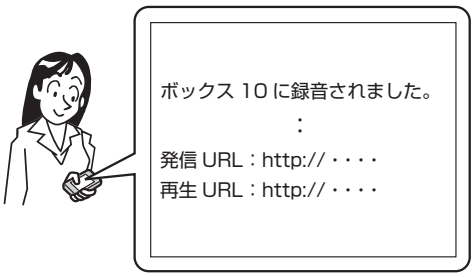
ボックスにメッセージが録音されたときに、通知先として登録した携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせすることができます。詳しくは、「αNX typeS/typeM音声メールユニット取扱説明書」を参照してください。

外の電話機から操作する（ダイヤリングサービス）

外出先から、または外のお客さまなどから音声メールへ電話をかけて、内線電話機を直接呼び出したり、録音内容を聞いたり、さまざまなリモコン操作をすることができます。（☛P3-72）

メッセージが録音されたことをE-Mailで通知する（E-Mail連動）

ボックスにメッセージが録音されたときに、通知先として登録したアドレスにE-Mailを送信してお知らせすることができます。E-Mail本文のURLにアクセスすることでワンタッチコールバック発信／再生を利用して通話／メッセージ再生することができます。
詳しくは、「αNX typeS ／ typeM音声メールユニット取扱説明書」を参照してください。



すぐに出られないときにお待たせメッセージを流す（お待たせメッセージ）

外からの電話にすぐに出られないときに、お待たせメッセージを流して、出られるようになるまで待ってもらったり、電話をかけ直してもらうように伝えることができます。（☛P3-71）

お知らせ

●音声メールを同時に利用できるのは4通話までです。

留守番電話を利用するには

外出しているときや席を外しているときにかかってきた電話に対して自動的に応答メッセージを流し、用件（メッセージ）を録音できます。留守番電話をご利用になるには、オプションが必要です。

留守番電話の対象となる回線を設定する

電話がかかってきたときに留守番電話を起動させる回線を設定します。

1 **内線ボタンを押す。**

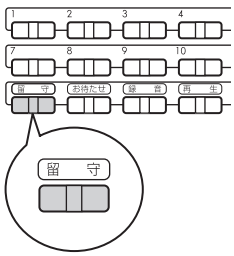
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 **決□定 を押す。**

「ツツツ…」という音を確認してください。

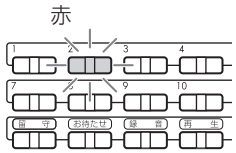
3 **サービスボタン（留守）を押す。**



留守番電話回線設定

4 **留守番電話の対象とする外線ボタンを押す。**

外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。
複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



5 **決□定 を押す。**

「ピーピー」という確認音が聞こえ、留守番電話対象回線が設定されます。

6 **スピーカボタンを押す。**

4月19日(金) 午後 3:05
10

お知らせ

●手順4で、すでに転送電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても無効となります。

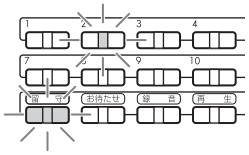
留守番電話をセットする

外出時や退社時に留守番電話をセットします。

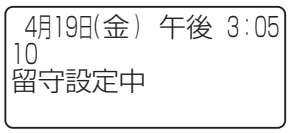
1 **サービスボタン（留守）を押す。**

留守番電話がセットされます。

赤・2回消える（例：留守番電話対象回線の外線ランプ）



赤・2回消える
（例：サービスボタン(留守)）



ワンポイント

●メッセージが録音されると

留守番電話などでメッセージが録音されると、ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。

●留守番電話を解除するには

もう一度、サービスボタン（留守）を押します。

●相手の方を確認してから電話に出るには（居留守応答）

留守番電話で応答中に、ランプが周期的に緑で2回点灯している外線ボタンを押してハンドセットを取りあげると、相手の方の声をモニタすることができます（「システム設定」により、自動的にスピーカで聞こえるように設定することもできます）。電話に出る場合は、もう一度同じ外線ボタンを押します。

お知らせ

●留守番電話の対象となる回線に着信しているときにサービスボタン（留守）を押すと、留守番電話が応答します。

留守番電話を利用するには

■留守番電話機能の設定を変更する

必要に応じて、留守番電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定やWeb設定で行います。

概　要	ご利用のヒント		参照ページ
留守番電話開始のタイミングの設定 着信から留守番電話開始までの秒数を設定します。	0 ～ 255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ留守番電話を開始する）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に留守番電話で応答します。		留守／転送開始タイマ （☛P4-30）
留守メッセージの設定 留守番電話の応答メッセージを設定します。	選択	応答専用／録音用メッセージは、「出荷時設定」または「録音メッセージ」を選択できます。 応答専用／録音用の「出荷時設定」の内容は以下のとおりです。 ＜録音用＞ ただいま留守にしております。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。 応答メッセージを流したあと、相手の方のメッセージを録音します。 ＜応答専用＞ ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。 応答メッセージを流したあと、電話を切ります。	留守メッセージ設定 （☛P4-9、P6-15）
	録音	「録音メッセージ」を選択すると、自分の声で録音した応答メッセージをガイダンスとして流すことができます。	
留守番電話応答動作の設定	留守番電話で応答したときの動作を、録音用または応答専用のどちらかに設定することができます。お買い求め時は、応答メッセージを流したあとに相手の方のメッセージを録音する「録音用」に設定されています。		留守番電話応答動作 （☛P4-9、P6-15）

Q&A ▶ *設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？（☛P6-6）*

その他の留守番電話の活用

■システムモードに応じて自動的にシステム留守番電話を利用する

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、システム留守番電話を利用することができます。サービスのご利用には「システム設定」が必要です。（☛P4-31、P6-15）
システム留守応答動作設定により、「録音用」と「応答専用」が選択できます。

＜録音用を選択した場合＞
録音用の応答メッセージを流したあと、相手の方のメッセージを録音します。

システムモードの種類	録音用の応答メッセージ（お買い求め時）
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
夜モード	本日の業務は終了しました。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
休日モード	本日は定休日です。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。

＜応答専用を選択した場合＞
応答専用の応答メッセージを流したあと、電話を切ります。

システムモードの種類	応答専用の応答メッセージ（お買い求め時）
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。
夜モード	本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。
休日モード	本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。

■圏外になったときに留守番電話での応答に切り替わるようにする（圏外時留守番電話）

内線電話機（シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときに、留守番電話で応答するように設定できます。
シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMAで設定を行うときは、次のように操作します。

＜圏外時留守番電話をセットするとき＞
①6 MNO 7 PQRS 8 TUV［　　］＋2 ABC #記号 を押す
②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

＜圏外時留守番電話を解除するとき＞
①6 MNO 7 PQRS 8 TUV［　　］＋0わ〜ん #記号 を押す
②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

お知らせ

- 応答メッセージは自分の声で録音することもできます。（☛P4-31、P6-15）
  ただし、シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMAでは応答メッセージを録音できません。
- システム留守応答動作設定の設定は、メニュー設定やWeb設定、特番を使って設定することができます。（☛P4-31、P4-38、P6-15）

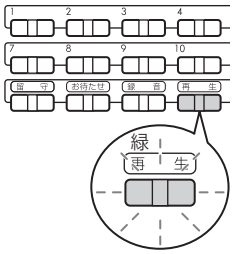
留守番電話を利用するには

録音内容を再生する

留守番電話や通話録音で録音されたメッセージを再生します。
ボックスにメッセージが録音されると、内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。

1 **ボックス（再生）ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。**

＜例＞暗証番号が登録されている場合



暗証番号入力

＜暗証番号が登録されているときは＞

暗証番号と＃をどうぞ。

手順2へ進みます。

＜暗証番号が登録されていないときは＞

新しいメッセージが××件あります。

手順3へ進みます。

2 **暗証番号（1 ～ 4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて [＊゛゜] を押す。**

お買い求め時は「0000」が設定されています。

暗証番号入力
＊＊＊＊

新しいメッセージが××件あります。

3 **メッセージの内容を確認する。**

メッセージが順番に再生されます。

4月18日 13:40 1/ 2
0312345678
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

メッセージ再生中にできる操作は（☛P3-67）

すべてのメッセージの再生が終了すると、

メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

4 **ハンドセットを置く。**

お知らせ

- 暗証番号は内線電話機ごとに設定することができます。（☛P4-16）
- 録音件数は2桁で表示されます。録音件数が100件を超える場合でも「99」と表示されます。
- メッセージ再生時、ディスプレイに相手先が表示されない場合があります。

ワンポイント

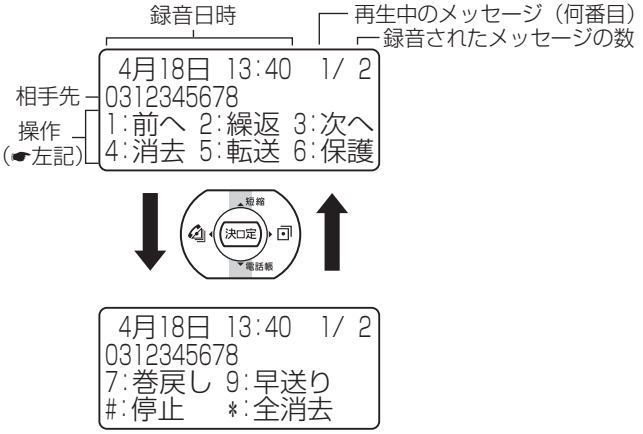
●メッセージ再生中にできる操作

次のボタン操作が行えます。

操　作	押すボタン	操作後の動作
前へ	1 あ	1つ前のメッセージを再生する
繰返	2 か ABC	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	3 さ DEF	次のメッセージを再生する
消去	4 た GHI	再生中のメッセージを消去する
転送	5 な JKL	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6 は MNO	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻戻し	7 ま PQRS	メッセージを巻き戻しする
早送り	9 ら WXYZ	メッセージを早送りする
停止	# 記号	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる ・新しいメッセージがある場合 「メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。 ・新しいメッセージがない場合 「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。
全消去	* ゛゜	ボックス内のメッセージをすべて消去する

●操作用のボタンを確認するには

上下ボタンを押すと、メッセージ再生中に使用するボタンを確認できます。



●保存メッセージを再生するには

お買い求め時は、新しいメッセージの再生終了後、再度操作をすることにより保存メッセージ（再生済み）を再生するように設定されています。新しいメッセージと保存メッセージを合わせて再生するには、新規メッセージ優先設定を「優先しない」に設定します。（☛P4-10）

このとき、メッセージの件数をお知らせするガイダンスは、次のようになります。

「新しいメッセージが××件、保存メッセージが××件あります。

また、メッセージの再生終了後のガイダンスは、次のようになります。

「メッセージの再生を終了しました。メッセージの再生は1を押してください。

●メッセージの再生順序を変更するには

お買い求め時は、古い順に再生するように設定されています。メッセージを新しい順に再生することもできます。（☛P4-10）

留守番電話を利用するには

ボックス番号を指定して録音内容を再生する

ボックスに録音されたメッセージを、ボックス番号（内線番号）を指定して再生することができます。

1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 音声メール用のアクセス番号（7 0 1 [　　]）を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
701 音声ﾒｰﾙ

録音は1、再生は2を押してください。

3 2 を押す。

BOX番号入力

ボックス番号と#をどうぞ。

4 確認したい相手のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。
＜例＞相手のボックス番号が11の場合

BOX番号入力
11

↓ #

暗証番号入力

＜暗証番号が登録されているときは＞
暗証番号と#をどうぞ。
手順5へ進みます。
＜暗証番号が登録されていないときは＞
新しいメッセージがある場合：
新しいメッセージが××件あります。
新しいメッセージがない場合：
保存メッセージが××件あります。
手順6へ進みます。

5 暗証番号（1 ～ 4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。
お買い求め時は「0000」が設定されています。

暗証番号入力
****

新しいメッセージがある場合：
新しいメッセージが××件あります。
新しいメッセージがない場合：
保存メッセージが××件あります。

6 メッセージの内容が聞こえる。
メッセージが順番に再生されます。

4月18日 13:40 1/ 2
0312345678
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

メッセージ再生中にできる操作は（☛P3-67）
すべてのメッセージの再生が終了すると、
メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

7 ハンドセットを置く。

ワンポイント

- 新しいメッセージと保存メッセージの両方を再生するには（☛P4-10）
- メッセージの再生順序を変更するには（☛P4-10）

お知らせ

- 他の人のボックスに録音されたメッセージを再生する場合は、そのボックスに設定されている暗証番号の入力が必要になります。

他の人にメッセージを残すには

他の方の個人ボックスへメッセージを残すことができます。本機能をご利用になるには、オプションが必要です。

1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 音声メール用のアクセス番号（7 0 1）[ ]）を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
701 音声ﾒｰﾙ

録音は1、再生は2を押してください。

3 1 を押す。

BOX番号入力

送信先ボックス番号と＃をどうぞ。

4 相手のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押す。
＜例＞送信先のボックス番号が11の場合

BOX番号入力
11

↓ #

4月19日(金) 午後 3:05
701 音声ﾒｰﾙ

ボックス番号11にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ。

5 メッセージをお話しする。

6 メッセージを話し終えたら、# を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
701 音声ﾒｰﾙ

メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

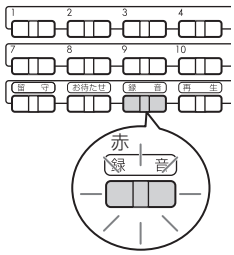
7 ハンドセットを置く。

手動で通話を録音するには

相手の方とお話し中に録音開始の操作をすると、お話しを録音することができます（手動通話録音）。内線どうしのお話しも録音することができます。通話録音をご利用になるには、オプションと「システム設定」でサービスボタン（録音）の設定が必要です。

1 **相手の方とお話し中に、サービスボタン（録音）を押す。**

お話しの内容が録音されます。




```
4月19日(金) 午後 3:05
                0-20
```

2 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

録音が終了し、サービスボタン(録音)ランプが消えます。ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
ﾒｯｾｰｼﾞ有り
```

お願い

- 相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、着信自動録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

お知らせ

- 通話録音中は、会議通話、通話モニタ、メニュー設定、料金表示、キーパッド送出、PB信号の送出はできません。
- 通話録音時間が最大録音時間を超えると、「ププププププ」という音が聞こえ、録音ランプが速く点滅します。

ワンポイント

- **お話し中にサービスボタン（録音）を押すと**
  サービスボタン（録音）ランプが赤く点灯します。送信先のボックスを指定すると、ランプの色が赤から緑に変わります。
- **通話録音中に使用できるボタン**

ボタン	機　能
サービスボタン（ポーズ）または [＊]	通話録音を一時停止／再開します。
サービスボタン（呼出取消）	録音を保存し、終了します。着信通知を行いません。
サービスボタン（録音取消）	録音内容を取り消します。
サービスボタン（コメント）	通話および通話録音を保存して終了し、コメントを録音します。
サービスボタン（終了）または [#]	通話録音を保存し、終了します。

お話しを自動的に録音するには（自動通話録音）

かかってきた電話に出ると同時に自動的に録音できるようにすることもできます。

また、録音開始時に録音することを伝えるメッセージを自動で流すようにすることもできます。なお、お買い求め時は、次のメッセージが設定されています。

この通話は、電話応対品質向上のため、録音しております。

自分の声でメッセージを録音することもできます。（☛P4-34）（自動通話録音開始前ガイダンス送出）

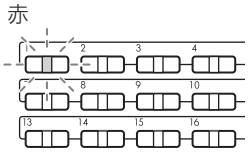
あらかじめ「システム設定」で設定しておく必要があります。

Q&A ▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*

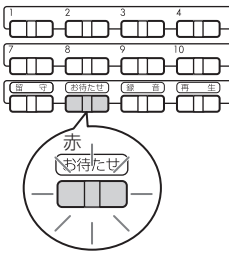
お待たせメッセージを利用するには

外からの電話にすぐに出られないときなどに、お待たせメッセージを流して出られるようになるまで待ってもらうことができます。お待たせメッセージをご利用になるには、オプションが必要です。

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。

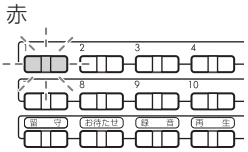


2 サービスボタン（お待たせ）を押す。



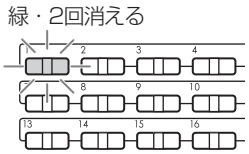
3 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押す。

相手の方にお待たせメッセージが流れます。



着信音が変わり、相手の方をお待たせしていることがわかります。

4 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押す。



5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを赤く点滅してお知らせするランプです。

●お待たせメッセージの内容

お買い求め時は、次のメッセージが流れます。

＜お待たせメッセージ＞

ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、しばらく時間をおいてからおかけ直しになるか、そのままお待ちください。

自分の声でメッセージを録音することもできます。（☛P4-32）

お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには

お待たせメッセージを流している間は、着信音が変わります。通常とは異なる着信音を流すことで、相手の方をお待たせしていることを忘れないようにすることができます。

お待たせメッセージを流している間の着信音は、「システム設定」により変更できます。

お知らせ

- 「システム設定」により、電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます（自動お待たせメッセージ）。
- 「システム設定」により、お待たせメッセージが流れる時間を設定し、設定した時間が経つと自動的に切断メッセージを流して電話を切ることもできます。
- 音声メールの回線がすべて使用中の場合は、お待たせメッセージを流す操作（手順2、3）をしてもお待たせメッセージは動作せず、着信音を変更している場合でも着信音は変わりません。
- 構内放送用のスピーカから流れる着信音は、着信音を変更している場合でも着信音は変わりません。
- 通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。

外出先からの操作について

外出先から、またはお客さまなどから音声メールに電話をかけて、内線電話機を直接呼び出したり、録音内容を聞いたり、さまざまなリモコン操作を行うことができます。本機能をご利用になるには、オプションが必要です。

1 外出先の電話機から音声メール用電話番号へ電話をかける。

ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 サービス番号をダイヤルボタンで押す。

(1あ)：特定の内線電話機を呼び出す
(2かABC)：外線へ電話をかける
(3さDEF)：留守番電話などの設定を行う
(4たGHI)：メールを録音、再生する

3 音声ガイダンスに従って操作する。

暗証番号の入力が必要となる場合があります。

ワンポイント

●音声メールに電話をかけるときは

携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。
ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます。

内線電話機の呼び出し操作を簡略化するには

「システム設定」により、手順2のサービス番号(1あ)を押す操作を省き、直接特定の内線電話機を呼び出すことができます。

携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、外線への転送の操作を行って携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。
(☛P4-57)

●音声メール再生中に録音した相手先に電話をかけるときは

①音声メール再生中にダイヤルボタン(8やTUV)を押す
「プップ」という音を確認してください。
②ダイヤルボタン(1あ)を押す
呼出音が聞こえます。
③相手の方が出たら、お話しする
※相手の方の電話番号が通知されていない場合や、外線発信で空いている外線がない場合、電話をかけることはできません。

STOP お願い

●外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
●携帯電話などでガイダンスやメッセージが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。
●ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。

サービス番号／リモート設定番号一覧

サービス番号	操　作		押すボタン
1 あ	内線電話機の呼び出し		内線番号
2 かABC	外線への転送（※1）		外線発信番号＋電話番号
3 さDEF	転送電話、留守番電話の操作	留守番電話のセット（※1）	6 はMNO 7 まPQRS 0 わをん記号 [　　] 留守番電話を設定しました。
		転送電話のセット（※1）	6 はMNO 7 まPQRS 1 あ [　　] 転送電話を設定しました。
		転送電話、留守番電話の解除（※1）（※4）	6 はMNO 7 まPQRS 2 かABC [　　] 留守番電話または転送電話を解除しました。
		電話機起動転送先リストの登録（※1）	6 はMNO 7 まPQRS 3 さDEF [　　] ＋ 1 あ ～ 3 さDEF ＃ ＋転送先電話番号 ＃ X番目の転送先に電話番号XXXX･･･を登録しました。
		電話機起動転送先リストの削除（※1）	6 はMNO 7 まPQRS 4 たGHI [　　] ＋ 1 あ ～ 3 さDEF ＃ X番目の転送先を削除しました。
		留守番電話の応答メッセージの選択（※1）	6 はMNO 7 まPQRS 5 なJKL [　　] ＋ 0 わをん記号（応答専用）または 1 あ（録音用） 留守番電話の応答メッセージをXに選択しました。
		システム共通の転送先リストの登録（※2）	6 はMNO 7 まPQRS 6 はMNO [　　] ＋ 0 わをん記号 1 あ ～ 2 かABC 0 わをん記号 ＃ ＋ 1 あ ～ 3 さDEF ＃ ＋転送先電話番号 ＃ リスト番号XXのX番目を電話番号XXXX･･･で登録しました。
		システム共通の転送先リストの削除（※2）	6 はMNO 7 まPQRS 7 まPQRS [　　] ＋ 0 わをん記号 1 あ ～ 2 かABC 0 わをん記号 ＃ ＋ 1 あ ～ 3 さDEF ＃ リスト番号XXのX番目を削除しました。
		圏外時サービス設定	6 はMNO 7 まPQRS 8 やTUV [　　] ＋ 0 わをん記号 ＃（解除）／ 1 あ ＃（転送電話）／ 2 かABC ＃（留守番電話） 圏外時サービス設定を行います。サービス番号とシャープをどうぞ。
	システムモードの切り替え（※2）	システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	9 わらXYZ 4 たGHI 0 わをん記号 [　　] システムモードの設定を解除しました。
		昼モードへの切り替え	9 わらXYZ 4 たGHI 1 あ [　　] システムモードを昼モードに設定しました。
		夜モードへの切り替え	9 わらXYZ 4 たGHI 2 かABC [　　] システムモードを夜モードに設定しました。
		休憩モードへの切り替え	9 わらXYZ 4 たGHI 3 さDEF [　　] システムモードを休憩モードに設定しました。
		休日モードへの切り替え	9 わらXYZ 4 たGHI 4 たGHI [　　] システムモードを休日モードに設定しました。
	セキュリティサービス	起動	6 はMNO 7 まPQRS 9 わらXYZ [　　] ＋ 1 あ ＃ セキュリティサービスを起動または解除します。サービス番号とシャープをどうぞ。→セキュリティサービスを起動しました。
		解除	6 はMNO 7 まPQRS 9 わらXYZ [　　] ＋ 0 わをん記号 ＃ ＋セキュリティ暗証番号＋ ＃ セキュリティサービスを起動または解除します。サービス番号とシャープをどうぞ。→セキュリティサービスを解除しました。
4 たGHI	メールの録音		1 あ ＋ボックス番号 ＃
	メールの再生（※3）		2 かABC ＋ボックス番号 ＃

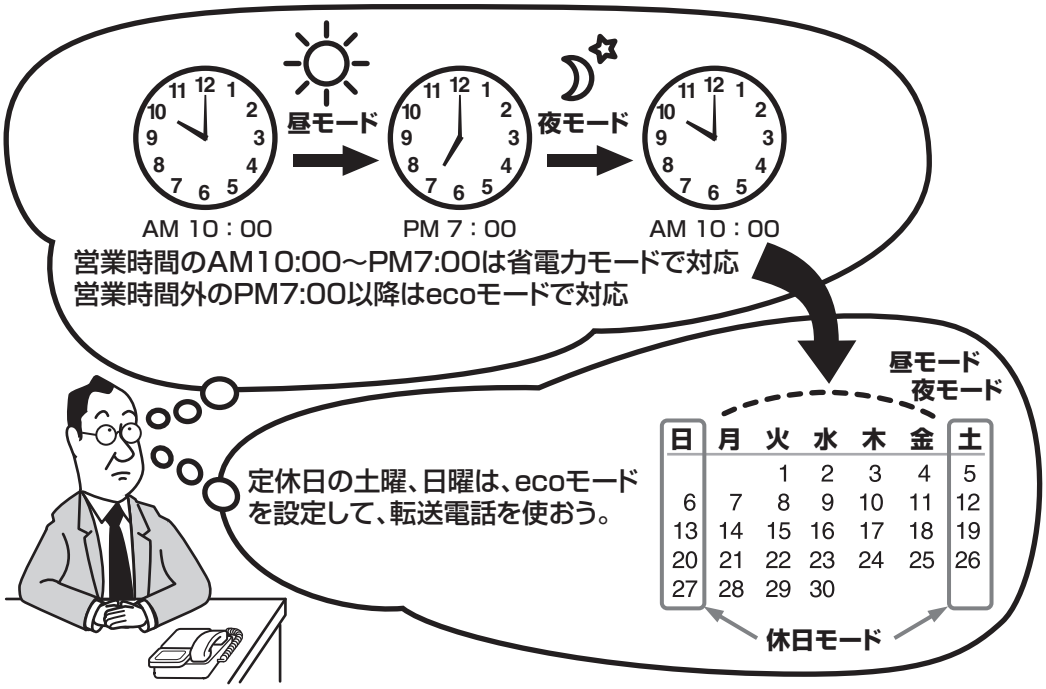
※1 内線番号と暗証番号が必要です。
※2「システム管理者」に設定された内線電話機の内線番号と暗証番号をダイヤルしたときのみ操作を行えます。
※3 暗証番号が必要です。
※4 転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

システムモードを利用するには

システムモードを利用すると、時間帯や曜日によってネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMの動作を変えることができます。

システムモードの利用

営業時間や定休日などに合わせて、システムモード（昼／夜／休憩／休日）を設定することができます。転送や留守番電話など、各種の機能をシステムモードごとに設定しておけば、システムモードが切り替わると同時に各種機能の動作も切り替わります。



□システムモードの切替時刻を設定するには

システムモード時刻設定（☛P4-24）で設定します。

□自動的にシステムモードを切り替えるには

システムモード設定（☛P4-25）を「自動」に設定します。

□手動でシステムモードを切り替えるには

システムモード設定（☛P4-25）で切り替えます。サービスボタン（システムモード切替）を設定しておくと、より簡単に切り替えられます（☛P3-12）。

□外出先からの操作でシステムモードを切り替えるには

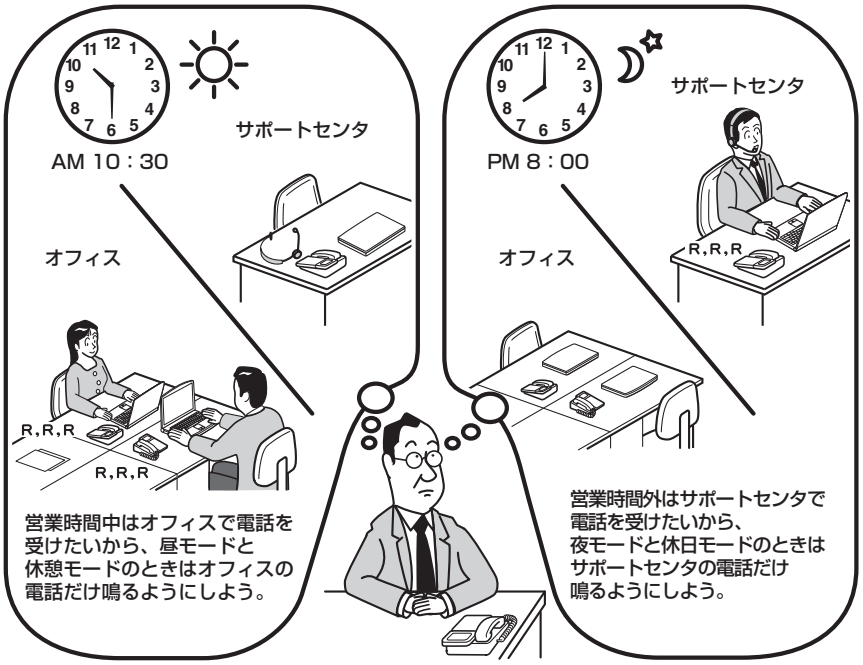
オプションの音声メールをご利用になっている場合、または「システム設定」により自動応答サービスを設定している場合は、外出先からのリモコン操作でシステムモードを切り替えることができます。（☛P3-72、P6-10）

□システムモードに連動する各種機能

- ●転送電話を利用する（☛P3-18）
- ●留守番電話を利用する（☛P3-65）
- ●ecoモードを利用する（☛P3-81）
- ●省電力を利用する（☛P4-59）
- ●発番号ダイヤルインを利用する（☛P4-59）

着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する

外からの電話を受ける内線電話機を、システムモードによって分けることができます。



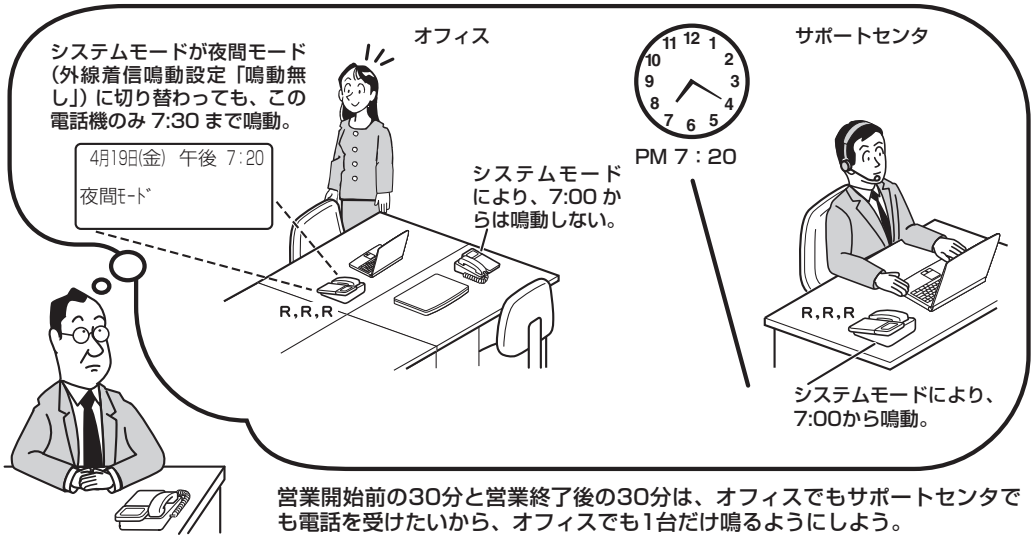
□ システムモード別に外線着信音を鳴らす／鳴らさないを設定するには

システムモード「昼·休憩」と「夜·休日」に分けて、外線着信音を鳴らすかどうかを設定できます。内線電話機ごとに、外線着信鳴動設定（☛P4-7）で設定します。

ワンポイント

●システムモードより優先する鳴動動作を電話機ごとに設定するには

曜日毎鳴動モード設定（☛P4-8）を利用することにより、外からの電話を受ける時間帯を電話機ごとに設定できます。この設定による鳴動動作は、システムモードごとの鳴動動作より優先されます。



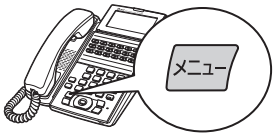
サービスをロックするには

内線電話機ごとに外線発信、電話帳アクセス、発着信履歴の読み出し、メニュー設定等の各機能を規制することができます。
サービスロックを利用するには、暗証番号の設定（☛P4-16）、サービスロック対象の設定が必要です。
「システム設定」でサービスボタン（サービスロック）を設定しておくと、サービスボタンを使ってサービスロックの起動／解除ができます。

サービスロック対象を設定する

内線電話機ごとにサービスロックの対象となる機能を設定します。

1 メニュー を押す。

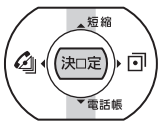


1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決□定 を押す。
または 1 あ を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「9：その他」を選択し、決□定 を押す。
または 9 wxyz を押します。



1:ｼｽﾃﾑ設定表示
2:ｾｷｭﾘﾃｨ設定
3:表示/ﾗﾝﾌﾟ/音設定
4:機能登録/設定

4 上下ボタンで「2：セキュリティ設定」を選択し、決□定 を押す。
または 2 か abc を押します。

1:暗証番号設定
2:ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定

5 上下ボタンで「2：サービスロック対象設定」を選択し、決□定 を押す。
または 2 か abc を押します。

ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定
暗証番号?

6 暗証番号をダイヤルボタンで押す。
お買い求め時は「0000」に設定されています。

ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定
暗証番号?
****

7 決□定 を押す。

ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定
1:外線発信
2:電話帳ｱｸｾｽ
3:発着信履歴読出

8 上下ボタンでサービスロックの対象にする機能を選択する。
または、次のいずれかのボタンを押します。
- 1 あ：外線発信
- 2 か abc：電話帳アクセス
- 3 さ def：発着信履歴の読み出し
- 4 た ghi：メニュー設定

9 決□定 を押す。

外線発信
0:対象にしない
1:対象にする

10 上下ボタンで「1：対象にする」を選択し、決□定 を押す。
または 1 あ を押します。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスロック対象の設定が登録されます。

ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定
1:外線発信
2:電話帳ｱｸｾｽ
3:発着信履歴読出

サービスロックの設定を解除するときは、「0：対象にしない」を選択します。
続けて登録するときは、手順8から繰り返します。

11 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

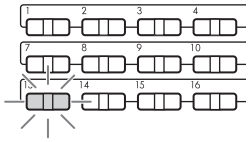
●サービスロックの設定状態を確認するには
手順1 ～ 8の操作を行い、手順9の画面で「対象にする」、「対象にしない」のどちらかが反転しているかを確認します。サービスロックが設定されている場合は、「対象にする」が反転しています。

●暗証番号を忘れてしまった場合は
Web設定や特番で暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻すことができます。（☛P4-39、P6-11）

サービスロックを起動する

1 **サービスボタン（サービスロック）を押す。**

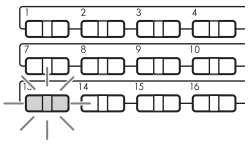
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。
サービスロック中は、サービスボタン（サービスロック）ランプが赤く点灯します。



赤

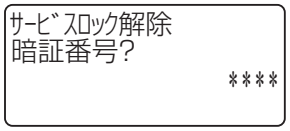
サービスロックを解除する

1 **サービスボタン（サービスロック）を押す。**



赤

2 **暗証番号をダイヤルボタンで押す。**



3 **決□定 を押す。**

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン（サービスロック）ランプが消え、サービスロックが解除されます。

お知らせ

●サービスロックが起動しているときは、サービスロック対象の設定はできません。

ワンポイント

●特番操作でサービスロックを起動するには

① 内線ボタンを押す
② サービスロック起動／解除の特番（6 9 0 [　　]）を押す
③ 1 を押す

●特番操作でサービスロックを解除するには

① 内線ボタンを押す
② サービスロック起動／解除の特番（6 9 0 [　　]）を押す
③ 0 を押す
④ 暗証番号を押し、決□定 を押す

●サービスロックを起動すると

外線発信：
緊急番号を除き、外線への発信ができません。電話をかけようとすると、話中音が聞こえます。ただし、自動応答サービスからの外線発信、転送電話、コールバック発信（システム内線発信／中継発信）は可能です。

電話帳アクセス：
電話帳の読み出し、登録、編集ができません。録音電話機／録音IP電話機からの赤外線電話帳登録もできません。

発着信履歴の読み出し：
発着信履歴の読み出し、発着信履歴からの発信ができません。

メニュー設定：
メニュー操作、設定特番と、以下のダイヤル中特番、機能特番の操作ができません。特番操作を行おうとすると、話中音が聞こえます。

- モード切替（自動、昼、夜、休憩、休日）
- TEN対応転送先リスト登録
- TEN対応転送先リスト削除
- 留守番電話応答メッセージ選択
- システム一括転送先リスト登録
- システム一括転送先リスト削除
- 圏外時サービス設定
- 暗証番号初期化
- ブロードバンドルータユニット暗証番号初期化
- 着信転送起動／解除

●暗証番号を設定するには（☛P4-16）

●暗証番号を忘れてしまった場合は

Web設定や特番で暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻すことができます。（☛P4-39、P6-11）

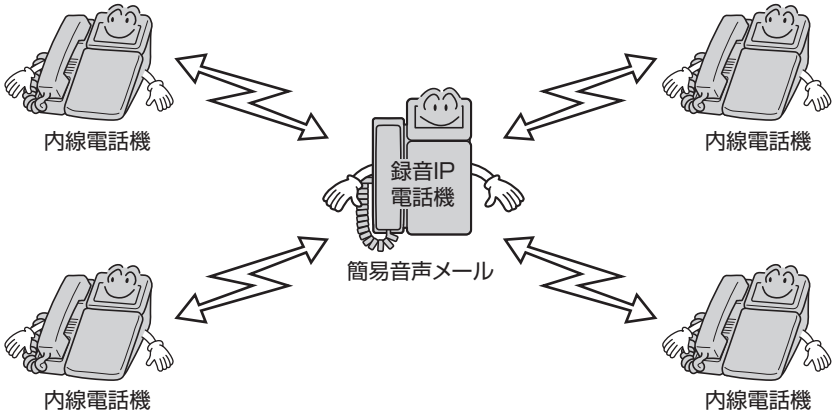
簡易音声メールを利用するには

システム設定で録音IP電話機1台を簡易音声メールとして登録すると、簡易音声メールをご利用になれます。
簡易音声メールは、録音IP電話機の留守番電話機能を利用して、他の内線電話機から簡易音声メールのセット／解除や録音された用件の再生を行う機能です。
録音IP電話機の詳しい操作方法については、「αNXⅡ録音IP電話機取扱説明書」を参照してください。

■簡易音声メールを利用した便利な機能

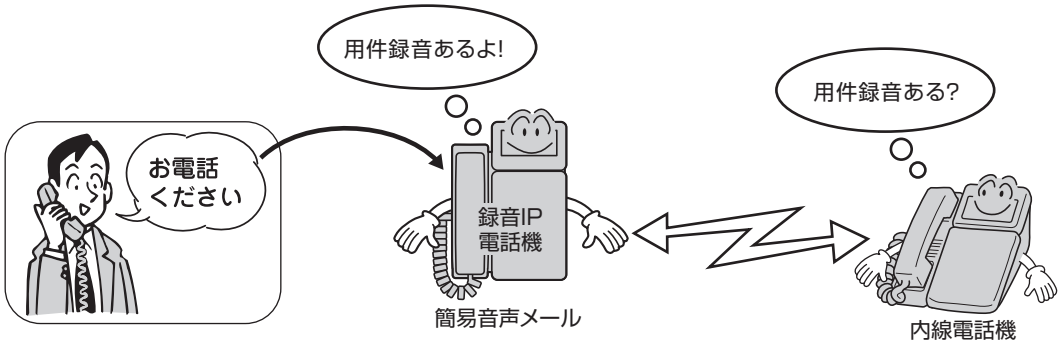
録音IP電話機を簡易音声メールとして利用

システムに接続した録音IP電話機を複数の内線電話機から共有利用することができます。



他の内線電話機から簡易音声メールを操作

他の内線電話機から簡易音声メールのセット／解除、録音された用件の再生などができます。



お知らせ

●システムで録音IP電話機を簡易音声メールとして利用できるのは1台です。

ワンポイント

●**簡易音声メールを利用できる電話機は**
標準電話機、標準IP電話機、録音電話機、簡易音声メールとして登録していない録音IP電話機、停電用電話機、停電用IP電話機、カールコードレス電話機、カールコードレスIP電話機、防水電話機、防水IP電話機です。

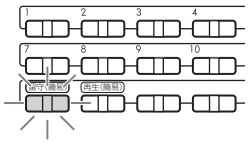
●**用件とは**
電話をかけてきた相手の方のメッセージを録音したものです。

簡易音声メールをセットする

他の内線電話機から簡易音声メールをセットします。サービスボタンを使って簡易音声メールをセットするには、あらかじめサービスボタン（留守（簡易））を設定しておく必要があります。

1 **サービスボタン（留守（簡易））を押す。**

簡易音声メールがセットされます。



赤・2回消える
（例：サービスボタン（留守（簡易）））

ワンポイント

●簡易音声メールをセット／解除できない場合は

簡易音声メール（録音IP電話機）が使用中などの理由で簡易音声メールをセット／解除できない場合は、「ピピピピピ」というエラー音が聞こえます。

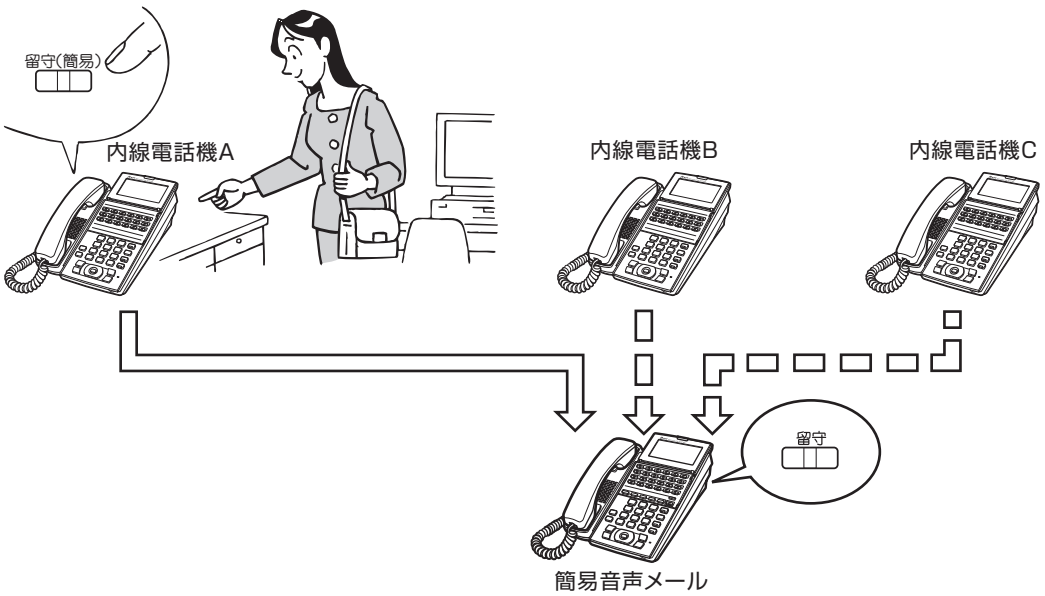
●簡易音声メールを解除するには

セット時と同様に、サービスボタン（留守（簡易））を押します。簡易音声メールが解除され、全ての内線電話機の留守（簡易）ランプが消灯します。

お知らせ

●サービスボタン（留守（簡易））の割り当てられているすべての内線電話機の留守（簡易）ランプ表示も変わります。

●簡易音声メールをセットすると、それまでに録音されていた用件がすべて再生済みになります。この時録音IP電話機でアキュムレート録音を「無し」に設定していると、それまでに録音されていた用件はすべて消去されます。設定については、「αNXⅡ録音IP電話機取扱説明書」を参照してください。

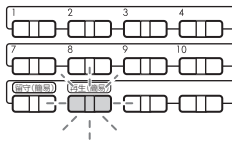


簡易音声メールを利用するには

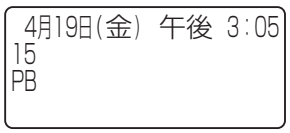
簡易音声メールを再生する

他の内線電話機から簡易音声メールに録音された用件を再生します。
サービスボタンを使って用件を再生するには、あらかじめサービスボタン（再生（簡易））を設定しておく必要があります。
簡易音声メールに用件が録音されていると、内線電話機の再生（簡易）ランプが緑でゆっくり点滅します。

1 **サービスボタン（再生（簡易））を押し、ハンドセットを取りあげる。**



緑・ゆっくり点滅
（例：サービスボタン（再生（簡易）））



××件です。

2 **用件を聞く。**
用件が順番に再生されます。

すべての用件の再生が終了すると、

対話形式でリモコンを行う場合は＃1＃を、直接リモコンを行う場合は＃4＃を、リモコンを終了する場合は＃0＃をどうぞ。

3 **操作を終了する場合は、手順4へ進みます。続けて、用件を聞きなおすまたは、消去するなどの操作をする場合は、以下のリモコン操作をします。**

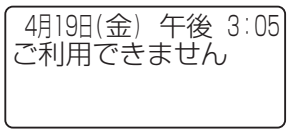
- ＃ 1 ＃：対話形式でリモコンを行う
- ＃ 4 ＃：ダイレクトリモコンを行う

詳しい操作方法については「αNXⅡ録音IP電話機取扱説明書」を参照してください。

4 **ハンドセットを置く。**

ワンポイント

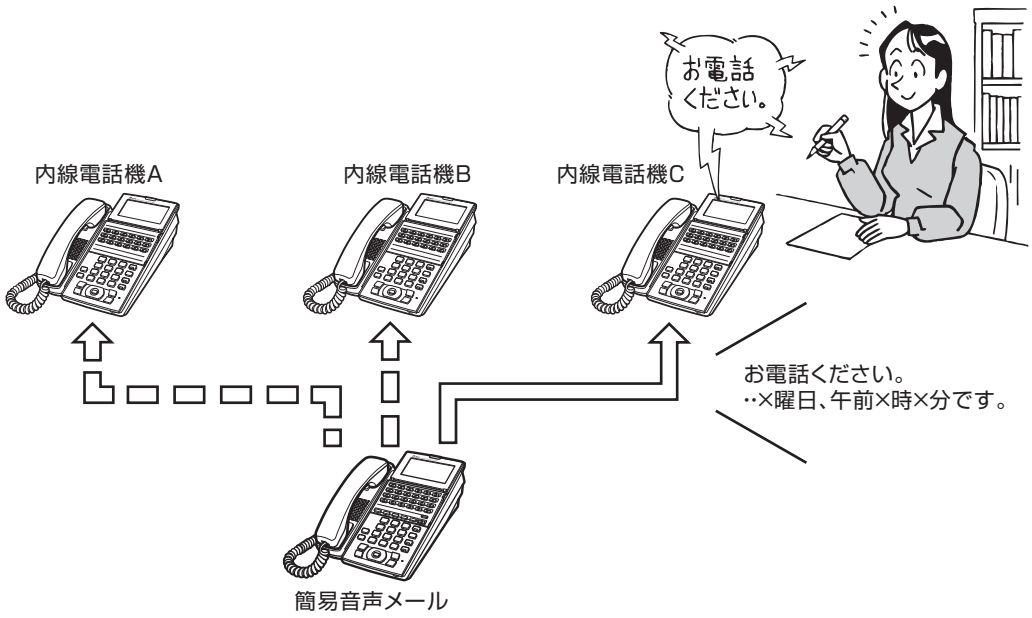
●用件が再生できない場合は
簡易音声メール（録音IP電話機）が使用中などの理由で用件が再生できない場合は、ディスプレイに「ご利用できません」と表示され、「プープー…」という話中音が聞こえます。



サービスボタン（再生（簡易））の消灯方式について
「システム設定」により、サービスボタン（再生（簡易））の消灯方式を用件メッセージ全聴取および、全消去時それぞれ選択できます。
全聴取時：
「全電話機消灯」、「操作電話機のみ消灯」、「消灯しない」
全削除時：
「全電話機消灯」、「操作電話機のみ消灯」

お願い

●リモコン操作におけるダイヤルボタンはゆっくりと確実に押してください。

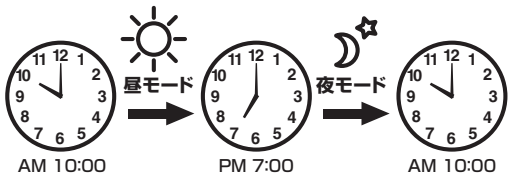


ecoモードを利用するには

ecoモードでは、電話機のディスプレイやランプの表示を消し、電力消費を制限します。なお、ディスプレイに「eco」と表示してecoモード起動中であることをお知らせします。

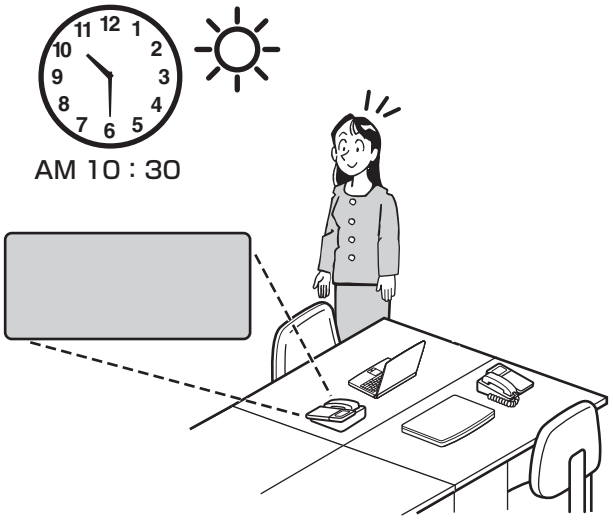
営業時間や定休日などにあわせて自動的にecoモードを起動／解除することができます。また、利用者が不在となるときなど、内線電話機ごとに手動で一時的に起動することもできます。

＜ecoモードと省電力モード＞
「システム設定」により、一定時間操作されないときにディスプレイやランプを消灯して節電をはかる省電力モード（☛P4-59）が利用できます。
ecoモードと省電力モードが同時に設定されている場合は、ecoモードが有効となります。



営業時間のAM10:00～PM7:00は省電力モードで運用
営業時間外のPM7:00以降はecoモードで運用

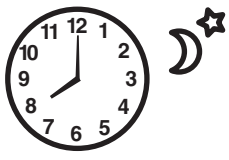
省電力モード

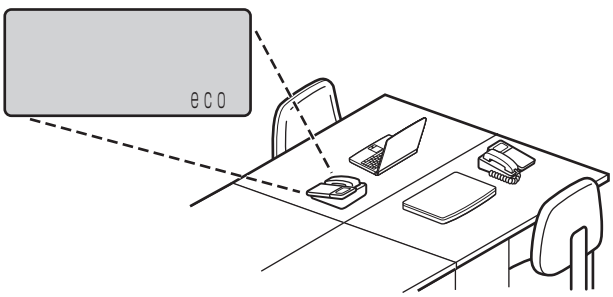


電話がかかると…

着信します。

eco モード





電話がかかると…

ecoモードのまま着信しません。

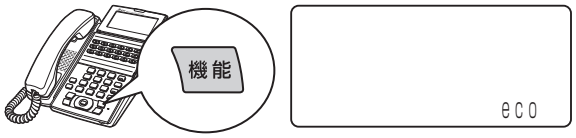
＜留守番電話が設定されている場合＞
自動的に応答メッセージが流れます。

＜転送電話が設定されている場合＞
自動転送します。

ecoモードを利用するには

ecoモードを手動で起動する

1 待機中に、機能 を長く（2秒以上）押します。



ecoモードが起動します。

ecoモードを自動で起動する

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、内線電話機ごとにecoモードを自動起動することができます。（システムモード別ECOモード設定（☛P4-18））

ecoモード起動中（自動起動）にecoモードを手動で解除した場合、待機状態となってから自動でecoモードに切り替えることができます。（ECOモード自動起動タイマ（☛P4-27））

ただし、ecoモード解除中にecoモード起動（手動起動）を行った場合、手動で解除するまでecoモードが継続します。

例）システムモードの夜モードで eco モード起動、
昼モードで解除される場合

ワンポイント

●ecoモードを手動で解除するには

ecoモード動作中に、機能 を長く（2秒以上）押します。またはハンドセットを取りあげます。

お知らせ

●転送電話または留守番電話が設定されている内線電話機がecoモードとなった場合は、外線着信に対し転送電話または留守番電話が動作します。

●不在着信が設定されている内線電話機がecoモードとなった場合は、不在着信転送設定は動作せず、話中となります。

お願い

●ecoモード動作中には、内線自動発報、威嚇音、遠隔音響モニタが動作しませんので、セキュリティサービスを利用する場合は、ecoモードの設定を解除してください。

4 いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定） 4-2

パソコンを使って登録・設定をするには（Web 設定） 4-35

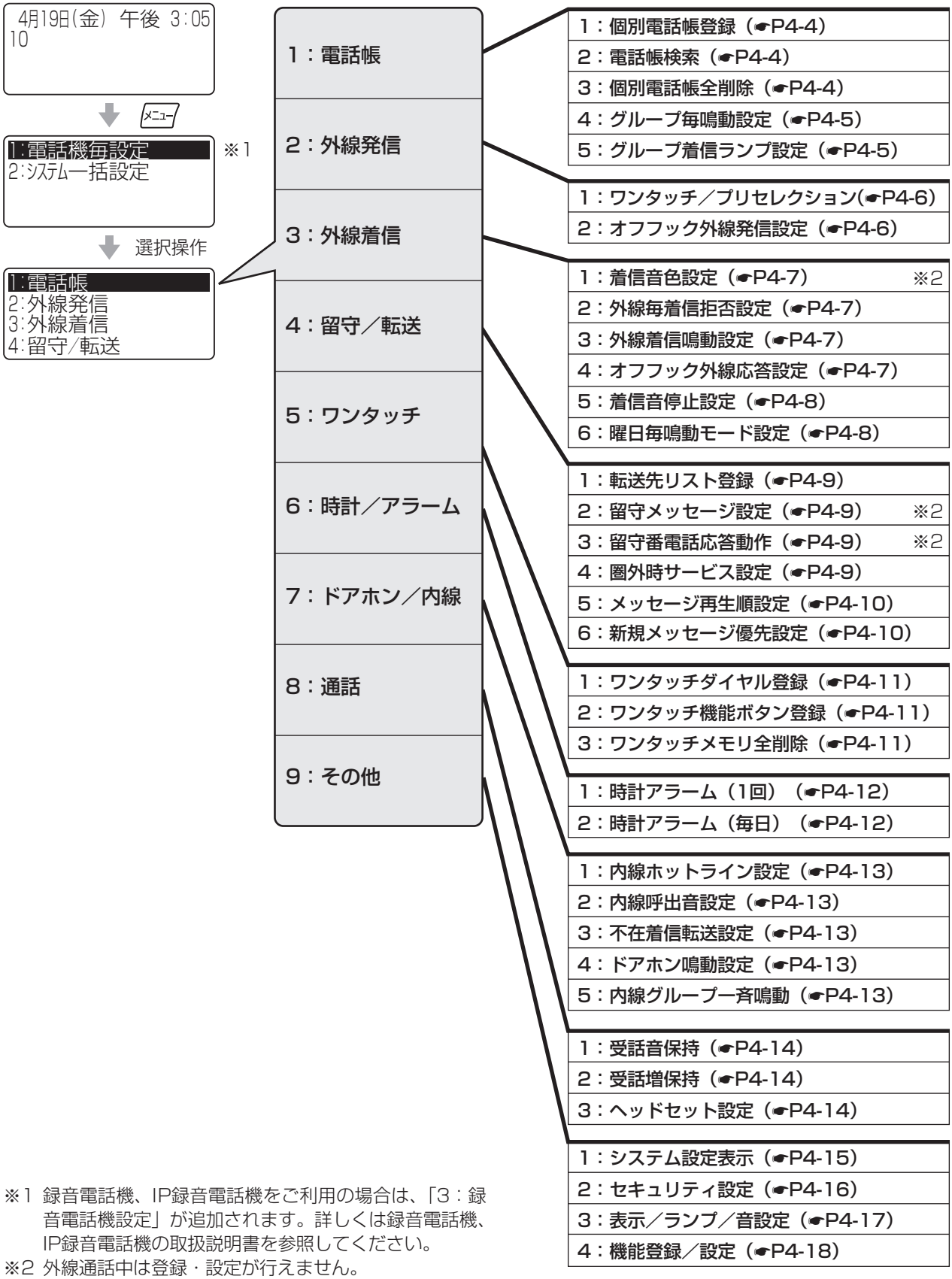
システム設定によりご利用になれる機能 4-57

主装置ソフトウェアを更新するには 4-60

遠隔保守を行うには 4-62

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

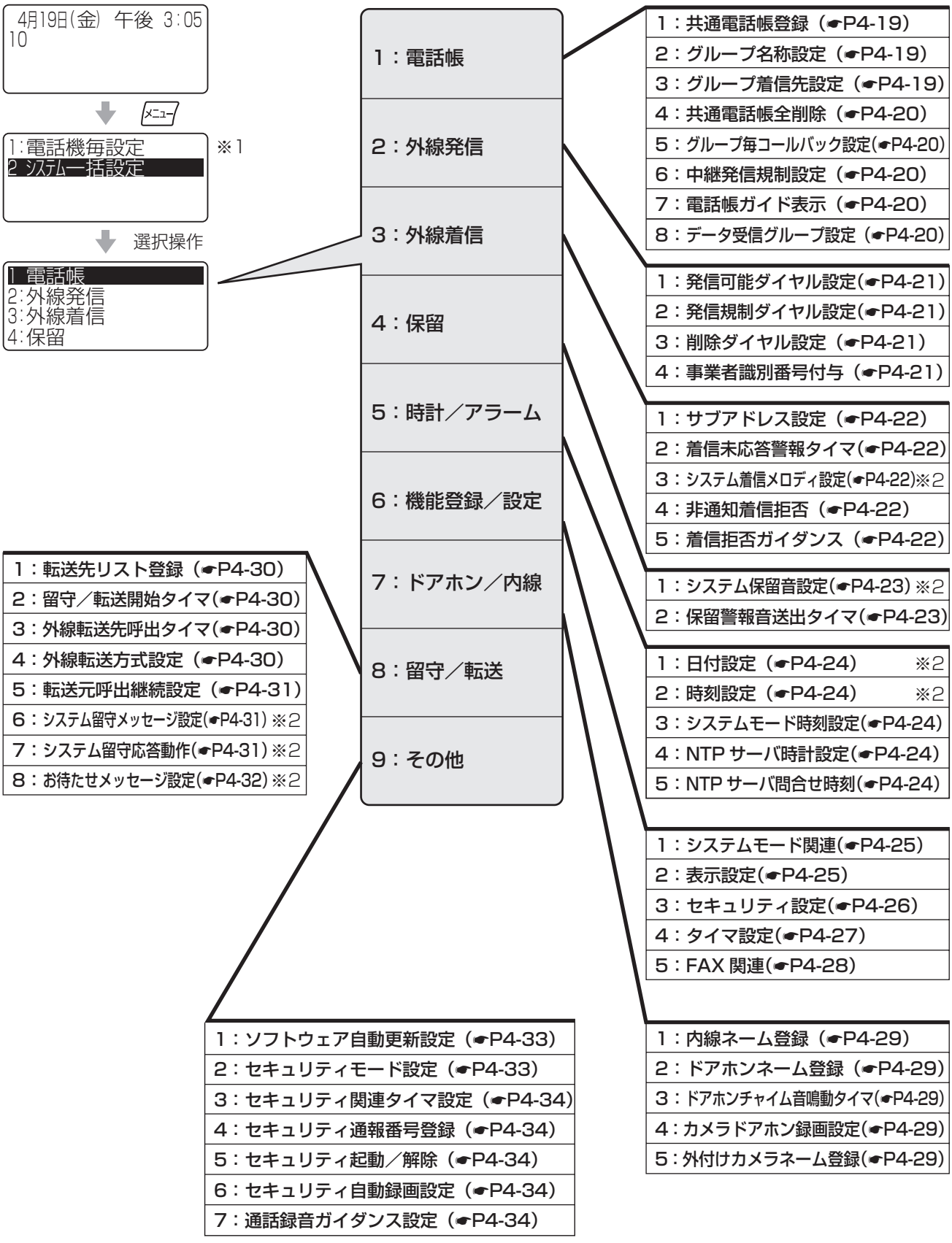
「1：電話機毎設定」から分岐するメニュー項目は、個々の内線電話機についての項目です。



※1 録音電話機、IP録音電話機をご利用の場合は、「3：録音電話機設定」が追加されます。詳しくは録音電話機、IP録音電話機の取扱説明書を参照してください。

※2 外線通話中は登録・設定が行えません。

「2：システム一括設定」から分岐するメニュー項目は、システム全体に関する項目です。



内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

電話機毎設定

各内線電話機で行うメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、P4-2を参照してください。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
個別電話帳登録 （1あ 1あ 1あ） 名称入力 [漢] 機能	個々の内線電話機で使用する電話帳を登録する。 （☛P2-12）	①名前を入力し、決□定 を押す ②必要に応じてフリガナを変更し、決□定 を押す ③ 決□定 を押す ④電話番号を入力し、決□定 を押す ⑤アイコンを選択し、決□定 を押す ⑥複数の電話番号を登録する場合は「（未登録）」を選択し、決□定 を押す（登録しない場合は手順⑧に進む） ⑦手順④～⑤を行う ⑧「GR 指定なし」を選択し、決□定 を押す ⑨グループを選択し、決□定 を押す ⑩ 保留 を押す ⑪必要に応じてメモリ番号を入力し、決□定 を押す ※電話番号登録の詳細は、P2-12を参照してください。
電話帳検索 （1あ 1あ 2か） 電話帳検索 1:ﾌﾘｶﾞﾅ検索 2:ﾒﾓﾘ番号検索 3:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索	検索方法を選択して、電話帳を検索する。 （☛P2-16）	**＜フリガナ検索する場合＞** ①検索方法（「1：フリガナ検索」）を選択する ②フリガナを入力し、上下ボタンを押す ③上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決□定 を押す ④左右ボタンで電話番号を選択する ※電話帳検索の詳細は、P2-16、P2-17、P2-19、P2-20を参照してください。
個別電話帳全削除 （1あ 1あ 3さ） 個別電話帳全削除 削除しない 削除する	操作中の内線電話機の個別電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ② 決□定 を押す

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
グループ毎鳴動設定 （1 1 4） ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎鳴動設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、IP電話機では8種類の内蔵メロディ（☛ワンポイント）または8種類のダウンロードメロディから選択できる。バス／スター電話機では、システム着信メロディ設定（☛P4-22）で設定されている内部音源メロディまたは2種類の外部音源から選択できる。	**＜特定の音色を設定しない場合＞** ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「0：設定しない」を選択する **＜トーンを設定する場合＞** ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「1：トーン」を選択する ③音色（1 ～ 8）を選択する **＜メロディを設定する場合＞** ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「2：メロディ」を選択する ③メロディを選択する **バス／スター電話機：** 「1：内部音源」／「2：外部音源1」／「3：外部音源2」 **IP電話機：** 8種類の内蔵メロディ（☛ワンポイント）または8種類のダウンロードメロディ ④IP電話機での操作時は、決定 を押す
グループ着信ランプ設定 （1 1 5） ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信ﾗﾝﾌﾟ設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに着信ランプの点滅色を設定する。7種類の色、または7色に点滅する「レインボー」から選択できる。	①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②点滅色（赤）を選択する

ワンポイント

●IP電話機で選択できる内蔵メロディは

「グリーンスリーブス」、「峠の我が家」、「カノン」、「春の歌」、「主よ人の望みの喜びよ」、「メヌエット」、「華麗なる大円舞曲」、「ハンガリア舞曲第5番」の8種類です。

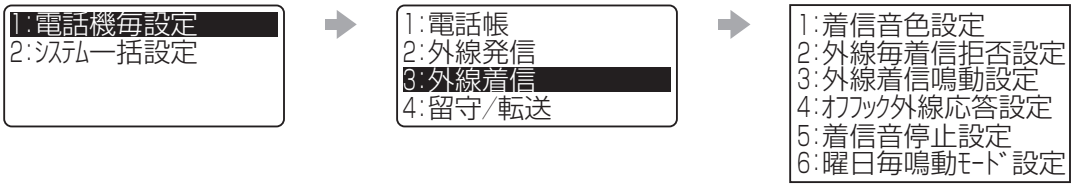
●メロディの選択操作時には

上下ボタンで曲を選択するごとにメロディがスピーカから流れます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ワンタッチ／プリセレクション （1 2 1） ワンタッチ/プリセレクション選択 0:プリセレクション捕捉 1:ワンタッチ捕捉	外線／内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線／内線ボタンのあとオフフックが必要なプリセレクション捕捉のどちらにするかを設定する。	①設定を選択する 0 …プリセレクション捕捉 1 …ワンタッチ捕捉
オフフック外線発信設定 （1 2 2） オフフック外線発信設定 0:設定しない 1:設定する	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線／外線を捕捉する機能を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
着信音色設定 （1 3 1） 着信音色設定 内/外線ﾎﾞﾀﾝを押下し てください	外線／内線の着信音を設定する。トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、IP電話機では8種類の内蔵メロディ（☛P4-5）または8種類のダウンロードメロディから選択できる。バス／スター電話機では、システム着信メロディ設定（☛P4-22）で設定されている内部音源メロディまたは2種類の外部音源から選択できる。	**＜トーンを設定する場合＞** ①外線／内線ボタンを押す ②「1：トーン」を選択する ③音色（外線：トーン1、内線：トーン2）を選択する **＜メロディを設定する場合＞** ①外線／内線ボタンを押す ②「2：メロディ」を選択する ③メロディを選択する **バス／スター電話機：** 「1：内部音源」／「2：外部音源1」／「3：外部音源2」 **IP電話機：** 8種類の内蔵メロディ（☛P4-5）または8種類のダウンロードメロディ ④IP電話機での操作時は、決定 を押す
外線毎着信拒否設定 （1 3 2） 外線毎着信拒否設定 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してく ださい	ダイヤルイングループボタンを、一時的に着信拒否する。	①外線ボタンを押す ②設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する
外線着信鳴動設定 （1 3 3） 外線着信鳴動設定 0:昼・休憩ﾓｰﾄﾞ 1:夜・休日ﾓｰﾄﾞ	システムモード「昼･休憩」／「夜・休日」別に、外線着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②外線ボタンを押す ③設定を選択する 0 …鳴動しない 1 …鳴動する
オフフック外線応答設定 （1 3 4） ｵﾌﾌｯｸ外線応答設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで外線に応答する機能の利用を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する

（次ページへつづく）

ワンポイント

●IP電話機で選択できる内蔵メロディは（☛P4-5）
●メロディの選択操作時には（☛P4-5）

お知らせ

●外線毎着信拒否設定をする場合は、「システム設定」で外線ボタンにダイヤルイングループボタンを割り当てておく必要があります。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
着信音停止設定 （1 3 5） 着信音停止設定 0:内線着信音停止 1:外線着信音停止	外線／内線の着信音を鳴らさないようにする。 ※外線個別着信は対象外です。	①設定する項目を選択する ②設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する
曜日毎鳴動モード設定 （1 3 6） 曜日毎鳴動ﾓｰﾄﾞ設定 0:毎日 1:月曜 2:火曜	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル（最大8つ）を設定する。 ※鳴動動作は外線着信鳴動設定に従います。たとえば「昼･休憩モード」が「鳴動無し」の場合、本設定で「昼／休憩」を設定した時間帯は外線着信音が鳴りません。	①設定する曜日を選択する （「0：毎日」を選択した場合は、このあと 決定 を押す） ②時間帯の登録先（1 ～ 8）を入力する ③時刻（24時間制）を入力する ④鳴動モードを選択する 0 …昼／休憩 1 …夜／休日 ⑤ 決定 を押す

ワンポイント

●着信音停止設定を「設定する」にすると

着信ランプも点滅しなくなります。ただし、外線／内線ランプの点滅によって着信を確認して電話に応答することができます。

●曜日毎鳴動モード設定の利用方法について

通常、内線電話機の鳴動動作は、システムモードに従って切り替わります。曜日毎鳴動モード設定を利用すると、システムモードより優先される鳴動動作を、電話機ごとに設定できます。登録は、曜日単位で行います。

たとえば、システムモード時刻設定（☛P4-24）と外線着信鳴動設定（☛P4-7）により、次のように設定されているとします。

- 毎日10：00→すべての内線電話機が昼モード（鳴動する）に切り替わる
- 毎日19：00→すべての内線電話機が夜モード（鳴動しない）に切り替わる

このとき、1台の内線電話機のみ、月曜日の12：00 ～ 13：00に着信音が鳴らないように設定したい場合は、曜日毎鳴動モード設定で「1：月曜」にタイムテーブルを以下のとおりに登録します。

①12：00→「夜／休日（鳴動しない）」
②13：00→「昼／休憩（鳴動する）」
③19：00→「夜／休日（鳴動しない）」

この場合に③の登録を行わないと、13：00からの「鳴動する」の状態が0：00（曜日が火曜日に変わる時刻）まで継続してしまいます。設定を行うときは、必ず翌日0：00までを含むタイムテーブルを登録するようご注意ください。

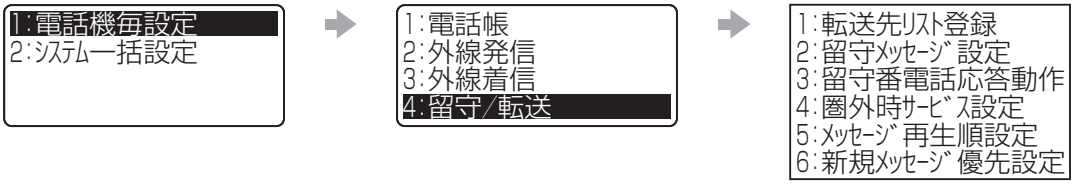
●曜日毎鳴動モード設定の設定操作について

「毎日」のタイムテーブルは、指定外のすべての曜日に適用されます。

たとえば土日以外（平日）に同じタイムテーブルを適用したいときは、「毎日」にタイムテーブル（平日用）を登録してから、「土曜」と「日曜」のタイムテーブルを変更してください。誤って「土曜」と「日曜」の登録のあと「毎日」の登録を行うと、「土曜」と「日曜」の登録内容が消去され、すべての曜日に「毎日」のタイムテーブルが適用されてしまいますのでご注意ください。また、手順①で「0：毎日」を選択して 決定 を押すと、それ以前に特定の曜日に登録していたタイムテーブルがあった場合、登録内容はすべて消去されます。

お知らせ

●曜日毎鳴動モード設定は、ご利用のしかたによってはどの内線電話機も外線着信音が鳴らない時間帯が生じてしまう可能性がありますのでご注意ください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
転送先リスト登録 （1 4 1） 転送先電話番号登録 **1:電話番号1** 2:電話番号2 3:電話番号3	転送電話を利用したときの、転送先電話番号を登録する。（☛P3-14）	①登録先を選択する ②転送先の電話番号を入力する ③ 決定 を押す
留守メッセージ設定 （1 4 2） 留守ﾒｯｾｰｼﾞ設定 **0:選択** 1:録音 2:確認	留守番電話で使用する応答メッセージ（応答専用／録音用）を選択／録音／確認する。（☛P3-64）	**＜使用するメッセージを選択する場合＞** ①「0：選択」を選択する ②メッセージの種類を選択する 0 わ…応答専用　1 あ…録音用 ③設定を選択する 0 わ…出荷時設定　1 あ…録音メッセージ **＜メッセージを録音する場合＞** ①「1：録音」を選択する ②メッセージの種類を選択する 0 わ…応答専用　1 あ…録音用 ③メッセージを録音する（☛P6-5） **＜現在のメッセージを確認する場合＞** ①「2：確認」を選択する ②メッセージの種類を選択する 0 わ…応答専用　1 あ…録音用 ③再生されるメッセージを確認する
留守番電話応答動作 （1 4 3） 留守番電話応答動作 0:応答専用 **1:録音用**	留守番電話で応答したときの動作を設定する。 （☛P3-64）	①設定を選択する 0 わ…応答専用　1 あ…録音用
圏外時サービス設定 （1 4 4） 圏外時ｻｰﾋﾞｽ設定 **0:設定しない** 1:転送電話 2:留守番電話	内線電話機（シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときの動作を設定する。（☛P3-18、P3-65）	①設定を選択する 0 わ…設定しない 1 あ…転送電話 2 か…留守番電話

（次ページへつづく）

ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには（☛P3-14）

Q&A
- ▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*
- ▶ *設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？（☛P6-6）*

お知らせ

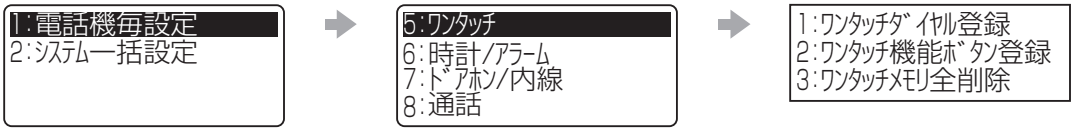
●新たに留守番電話の応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。

●留守番電話の応答メッセージの最大録音時間は約3分です。3分を超えると自動的に終了します。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
メッセージ再生順設定 （1 あ 4 た GHI 5 な JKL） ﾒｯｾｰｼﾞ再生順設定 0:古いﾒｯｾｰｼﾞ順 1:新しいﾒｯｾｰｼﾞ順	メッセージの再生順序を新しい順／古い順のどちらにするか設定する。	①設定を選択する 0 わ を ん …古いメッセージ順 1 あ …新しいメッセージ順
新規メッセージ優先設定 （1 あ 4 た GHI 6 は MNO） 新規ﾒｯｾｰｼﾞ優先設定 0:優先しない 1:優先する	新しいメッセージと保存メッセージの両方があるときに、新しいメッセージの再生を優先させるか、すべてのメッセージをまとめて再生するかを設定する。	①設定を選択する 0 わ を ん …優先しない（保存メッセージも同時に再生） 1 あ …優先する（新しいメッセージのみ先に再生）



メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ワンタッチダイヤル登録 （1 5 1） ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録 ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを押下して ください	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する。（☛P2-10）	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する電話番号を入力する ③手順①で押したワンタッチボタンを押す
ワンタッチ機能ボタン登録 （1 5 2） ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録 ｻｰﾋﾞｽﾎﾞﾀﾝを押下して ください	サービスボタンに登録する機能を選択する。 （☛P3-12）	①登録するサービスボタンを押す ②登録する機能を選択する
ワンタッチメモリ全削除 （1 5 3） ﾜﾝﾀｯﾁﾒﾓﾘ全削除 削除しない 削除する	ワンタッチボタンに登録されている機能をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ② 決□定 を押す

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
時計アラーム（1回） （ 1 あ 6 はMNO 1 あ ） 時計ｱﾗｰﾑ(1回) ▌：	電話機のアラーム（1回のみ）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ② 決□定 を押す
時計アラーム（毎日） （ 1 あ 6 はMNO 2 かABC ） 時計ｱﾗｰﾑ(毎日) ▌：	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ② 決□定 を押す

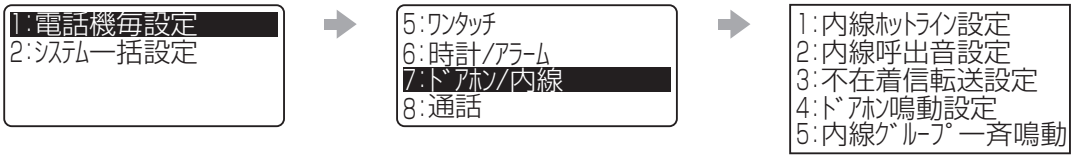
ワンポイント

●アラームを止めるには

アラームが鳴っているときに クリア またはスピーカボタンを押します。ハンドセットを取りあげても止めることができます。通話中にアラームが鳴ったときは、クリア を押してください。

●アラームを解除するには

メニュー項目を選択してアラームの設定内容を表示させ、クリア を長く押し、続けて 決□定 を押します。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
内線ホットライン設定 （1 7 1）	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線電話機を設定する。	**＜設定する場合＞** ①内線番号を入力する ②（決□定）を押す **＜設定を解除する場合＞** ①（クリア）を押して内線番号を消去する ②（決□定）を押す
内線呼出音設定 （1 7 2）	トーン（信号音）／音声のどちらで内線着信するかを設定する。	①設定を選択する 0 …トーン 1 …音声
不在着信転送設定 （1 7 3）	不在着信のときの転送先内線番号を設定する。	**＜設定する場合＞** ①転送先の内線番号を入力する ②（決□定）を押す **＜設定を解除する場合＞** ①（クリア）を押して内線番号を消去する ②（決□定）を押す
ドアホン鳴動設定 （1 7 4）	ドアホンからのチャイム音を鳴らすかどうかを、ドアホン（最大4台）ごとに設定する。	①ドアホン番号を入力する ②（決□定）を押す ③設定を選択する 0 …鳴動しない 1 …鳴動する
内線グループ一斉鳴動 （1 7 5）	システムモード「昼・休憩」／「夜・休日」別に、内線代表一斉呼出時、着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②設定を選択する 0 …鳴動しない 1 …鳴動する

お知らせ

●オフフック外線発信設定（☛P4-6）を「設定する」にしていると、内線ホットラインはご利用できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
受話音保持 （1 8 1） 受話音保持 0:設定しない 1:設定する	受話音量調節後の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（保持しない） 1 …設定する（保持する）
受話増保持 （1 8 2） 受話増保持 0:設定しない 1:設定する	明瞭モード中の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（保持しない） 1 …設定する（保持する）
ヘッドセット設定 （1 8 3） ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（使用しない） 1 …設定する（使用する）

お知らせ

- ヘッドセット設定を「設定する」にすると、録音電話機／録音IP電話機の留守番機能が正しく動作しないことがあります。
- ディジタルシステムコードレス電話機、アナログコードレス電話機は、ヘッドセット設定を「設定する」にすると、正しく動作しないことがあります。

1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

→

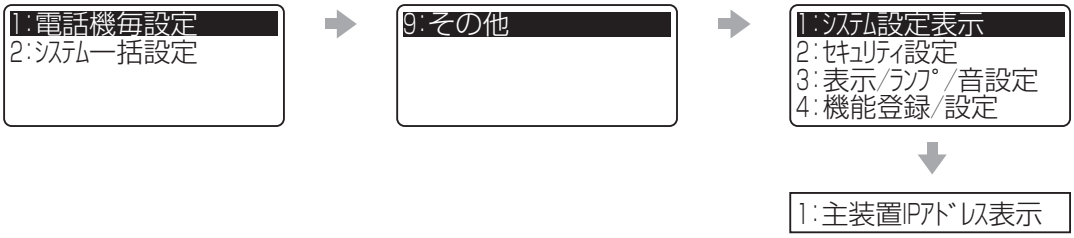
9:その他

→

1:ｼｽﾃﾑ設定表示
2:ｾｷｭﾘﾃｨ設定
3:表示/ﾗﾝﾌﾟ/音設定
4:機能登録/設定

↓

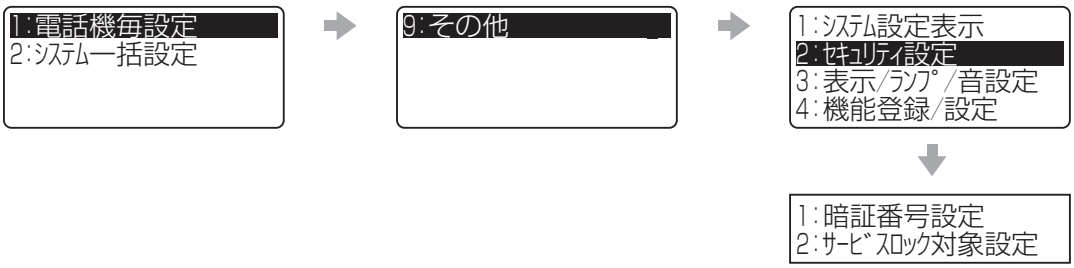
1:主装置IPｱﾄﾞﾚｽ表示



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定操作
主装置IPアドレス表示 （1 9 1 1） 主装置 IPｱﾄﾞﾚｽ表示 192.168.1.10 ﾎﾟｰﾄ:80	主装置のIPアドレスを確認する。	—

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 （1 9 2 1） 暗証番号設定 旧暗証番号?	自動応答サービス、Web設定、サービスロックを利用するときなどの、電話機ごとの暗証番号を登録する。	①現在の暗証番号（「0000」）を入力する ②（決定）を押す ③新しい暗証番号を入力する ④（決定）を押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥（決定）を押す
サービスロック対象設定 （1 9 2 2） ｻｰﾋﾞｽﾛｯｸ対象設定 暗証番号? ****	サービスロックの対象となる機能を設定する。	①電話機ごとの暗証番号を入力する ②機能を選択する ③設定を選択する 0 …対象にしない 1 …対象にする

お知らせ

●暗証番号は「なし」に設定できません。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ダイヤル押下音設定 （1 9 3 1） ﾀﾞｲﾔﾙ押下音設定 0:設定しない 1:設定する	ダイヤル押下音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（鳴らない） 1 …設定する（鳴る）
履歴ランプ表示設定 （1 9 3 2） 履歴ﾗﾝﾌﾟ表示設定 0:表示しない 1:表示する	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …表示しない 1 …表示する
バックライト設定 （1 9 3 3） ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ設定 0:常時消灯 1:常時点灯 2:動作時点灯	ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定する。操作時のみ点灯させる場合には、最後にボタンを押してから何秒後に消灯するかを設定する。	**＜常に点灯／消灯させる場合＞** ①「0：常時消灯」または「1：常時点灯」を選択する **＜操作時のみ点灯させる場合＞** ①「2：動作時点灯」を選択する ②秒数（1 ～ 99）を入力する ③ 決ロ定 を押す

お知らせ

●「システム設定」によって省電力モードの起動が設定されている場合は、個々の内線電話機のバックライト設定よりも優先されます。（☛P4-59）

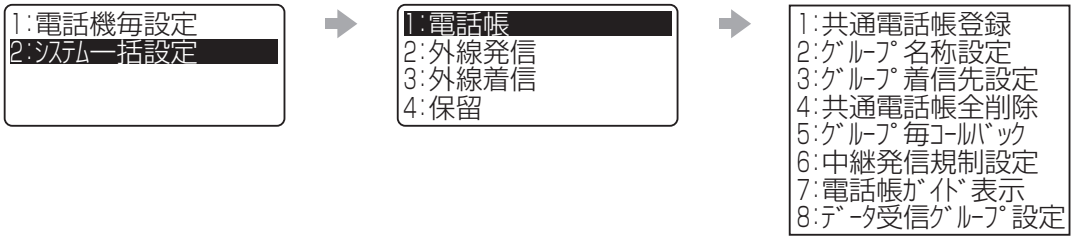
内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
通話録音モード設定 （1 9 4 1） 通話録音ﾓｰﾄﾞ設定 0:手動録音 1:自動録音	通話録音の開始を自動／手動のどちらにするかを設定する。	①設定を選択する 0 …手動録音 1 …自動録音
自動通話録音ガイダンス （1 9 4 2） 自動通話録音ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 0:ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ送出しない 1:ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ送出する	通話録音モード設定で「自動」を選択している場合に、通話録音の開始時に通話先に録音することを知らせるメッセージを自動で流す。	①設定を選択する 0 …ガイダンス送出しない 1 …ガイダンス送出する
着信履歴保存設定 （1 9 4 3） 着信履歴保存設定 内/外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	かけてきた方の電話番号や着信日時などの情報を保存するかどうかを設定する。	①外線／内線ボタンを押す ②設定を選択する 0 …保存しない 1 …保存する
システムモード別ECO設定 （1 9 4 4） ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ別ECOﾓｰﾄﾞ 0:昼 1:夜 2:休憩	システムモード（昼／夜／休憩／休日）別に、ecoモードを設定する。	①システムモードを選択する ②設定を選択する 0 …解除 1 …起動

システム一括設定

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えるメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、P4-3を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
共通電話帳登録 （2 1 1） 名称入力 [漢] 機能	すべての内線電話機で使用する電話帳を登録する。 （☛P2-12）	※操作手順は個別電話帳登録（☛P4-4）と同様です。また、詳細はP2-12を参照してください。
グループ名称設定 （2 1 2） ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループに名称を設定する。	①名称設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②名称を入力し、決定 を押す
グループ着信先設定 （2 1 3） ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信先設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに、着信先や応答方法を設定する。	**＜特に設定をしないとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「0：設定しない」を選択する **＜特定の内線電話機に着信させるとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「1：指定内線」を選択する ③内線番号を入力し、決定 を押す **＜モード指定着信を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「2：モード指定着信」を選択する ③モードを選択する **＜自動応答サービスを設定するとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「3：自動応答サービス」を選択する ③内線番号を入力し、決定 を押す **＜他の電話番号へ転送を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「4：転送電話」を選択する ③転送先リストのリスト番号を入力し、決定 を押す **＜着信拒否を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「5：着信拒否」を選択する **＜外部トーキでの応答を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「6：外部トーキ」を選択する ③指定する外部トーキを選択する

（次ページへつづく）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
共通電話帳全削除 （2 か 1 あ 4 た） 共通電話帳全削除 削除しない 削除する	登録されている共通電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ②（決□定）を押す
グループ毎コールバック設定 （2 か 1 あ 5 な） ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎ｺｰﾙﾊﾞｯｸ 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに、コールバック着信時の動作を設定する。（☛P3-22、P3-24）	①コールバックを設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②設定を選択する 0 わ ん …設定しない 1 あ …システム内線着信（発信元に自動コールバックして通話する） 2 か …中継発信（事業所（システム設置所）を使用して発信元から外線発信できるようにする） 3 さ …自動応答サービス（リモコン操作により、内線電話機の呼び出しや外線発信などを行う）
中継発信規制設定 （2 か 1 あ 6 は） 中継発信規制設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	中継発信（☛P6-27）の相手先として発信を許可するかどうかを、電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに設定する。	①設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②設定を選択する 0 わ ん …規制しない 1 あ …規制する
電話帳ガイド表示 （2 か 1 あ 7 ま） 電話帳ｶﾞｲﾄﾞ表示 0:ｶﾞｲﾄﾞ表示しない 1:ｶﾞｲﾄﾞ表示する	内線電話機で電話帳を利用するときに、画面にガイドを表示するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 わ ん …ガイド表示しない 1 あ …ガイド表示する
データ受信グループ設定 （2 か 1 あ 8 や） ﾃﾞｰﾀ受信ｸﾞﾙｰﾌﾟ設定 0 指定なし 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	データコネクト通信機能でのデータ受信について、電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに設定する。データコネクト通信機能については、アドバンスト電話機の取扱説明書を参照。	①設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②設定する受信先機器を選択する ③ストレージ機器番号（01 ～ 30）を入力する ④（決□定）を押す

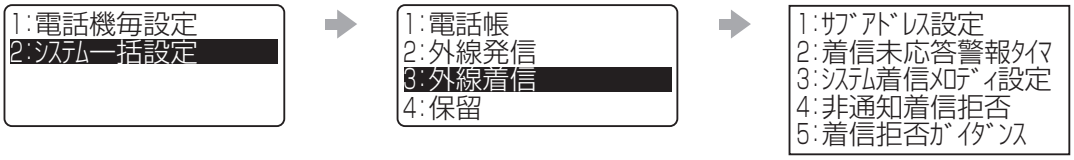
お知らせ

- グループ着信先設定で、外部トーキでの応答を設定するには、オプションの追装が必要です。オプションを追装せずに設定した場合は、トーキのメッセージが聞こえず、無音状態になります。
- 中継発信規制設定を有効にするには、中継発信できる相手先を限定するための「システム設定」が必要です。（☛P4-57）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
発信可能ダイヤル設定 （2 2 1） 発信可能ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-40)?	発信を許可する電話番号（最大10桁）を設定する。ダイヤルした電話番号に、登録されている番号と一致する部分がないと発信できない。	①登録番号（01 ～ 40）を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す
発信規制ダイヤル設定 （2 2 2） 発信規制ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-40)?	発信を禁止する電話番号（最大10桁）を設定する。ダイヤルした電話番号に、登録されている番号と一致する部分があると発信できない。	①登録番号（01 ～ 40）を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す
削除ダイヤル設定 （2 2 3） 削除ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-20)?	発信規制のチェック対象から除外する番号（最大6桁）を登録する。	①登録番号（01 ～ 20）を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す
事業者識別番号付与 （2 2 4） 事業者識別番号付与 0:自動付与しない 1:自動付与する	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …自動付与しない 1 …自動付与する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
サブアドレス設定 （2 3 1） ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ設定 内線　10 - 内線　11 - 内線　12 -	内線電話機にサブアドレスを設定する。	①設定する内線を選択する ②サブアドレスを入力する ③ 決ロ定 を押す
着信未応答警報タイマ （2 3 2） 着信未応答警報ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255) ×10秒? 0 0:警報なし	外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるように設定する。	①秒数を10で割った数字（0（警報なし）～ 255）を入力する ② 決ロ定 を押す
システム着信メロディ設定 （2 3 3） ｼｽﾃﾑ着信ﾒﾛﾃﾞｨ設定 0:ｸﾞﾘｰﾝｽﾘｰﾌﾞｽ 1:峠の我が家 2:ｶﾉﾝ	着信音に使用したいメロディを内部音源から選択する。	①着信メロディを選択する 0 …「グリーンスリーブス」 1 …「峠の我が家」 2 …「カノン」 3 …「春の歌」 4 …「主よ人の望みの喜びよ」 5 …「メヌエット」 6 …「SUPERCALIFRAGILISTICEXPIALIDOCIOUS」 7 …「TO LOVE YOU MORE」 ② 決ロ定 を押す
非通知着信拒否 （2 3 4） 非通知着信拒否 0:非通知 1:公衆電話 2:表示圏外	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する。 （☛P3-48）	①非通知着信拒否する項目を選択する ②設定を選択する 0 …拒否しない 1 …拒否する
着信拒否ガイダンス （2 3 5） 着信拒否ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 1:非通知着信拒否 2:発番号着信拒否	着信を拒否する相手に対して、音声ガイダンスを送出するかどうかを設定する。 （☛P3-48）	①ガイダンスを設定する項目を選択する ②設定を選択する 0 …ガイダンス送出しない 1 …ガイダンス送出する

ワンポイント

●**メロディの選択操作時には（☛P4-5）**

お知らせ

●システム着信メロディ設定の操作でメロディ試聴しているときに着信中の内線電話機があると、その着信メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
システム保留音設定 （2 4 1） ｼｽﾃﾑ保留音設定 0:ｸﾞﾘｰﾝｽﾘｰﾌﾞｽ 1:峠の我が家 2:カノン	保留メロディを選択する。	①保留メロディを選択する 0 …「グリーンスリーブス」 1 …「峠の我が家」 2 …「カノン」 3 …「春の歌」 4 …「主よ人の望みの喜びよ」 5 …「メヌエット」 6 …「SUPERCALIFRAGILISTICEXPIALIDOCIOUS」 7 …「TO LOVE YOU MORE」 8 …「外部音源1」 9 …「外部音源2」
保留警報音送出タイマ （2 4 2） 保留警報音送出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255) ×10秒? 0 0:警報なし	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。	①秒数を10で割った数字（0（警報なし）～255）を入力する ②（決□定）を押す

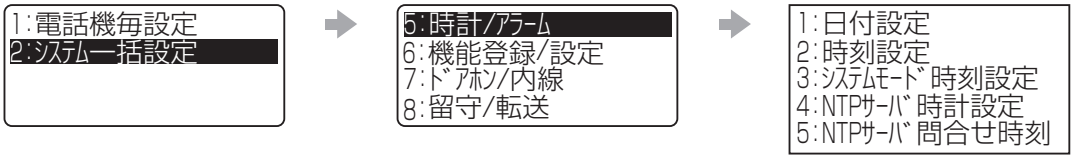
ワンポイント

●**メロディの選択操作時には（☛P4-5）**

お知らせ

●システム保留音設定の操作で、保留メロディを試聴しているときに保留中の内線電話機があると、その保留メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

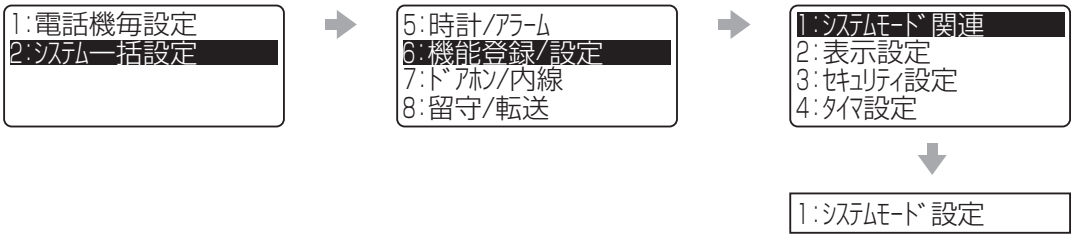


：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
日付設定 （2 5 1） 日付設定 ■ / /	時計機能の日付を設定する。（☛P1-15）	①西暦の下2桁、月、日を入力する ②（決定）を押す
時刻設定 （2 5 2） 時刻設定 ■ :	時計機能の時刻を設定する。（☛P1-16）	①時刻（24時間制）を入力する ②（決定）を押す
システムモード時刻設定 （2 5 3） ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ時刻設定 ﾃｰﾌﾞﾙ番号(1-8)?	システムモード切替時刻とモードをセットにしたタイムテーブル（最大8つ）を登録する。	①テーブル番号（1 ～ 8）を入力する ②（決定）を押す ③時間帯の登録先（1 ～ 8）を選択する ④時刻（24時間制）を入力する ⑤モードを選択する 0 …昼 1 …夜 2 …休憩 3 …休日 ⑥（決定）を押す
NTPサーバ時計設定 （2 5 4） NTPｻｰﾊﾞ時計設定 0:自動設定しない 1:自動設定する	NTPサーバを使って日付・時刻を自動設定する。（☛P1-16）	①設定を選択する 0 …自動設定しない 1 …自動設定する
NTPサーバ問合せ時刻 （2 5 5） NTPｻｰﾊﾞ問合せ時刻 ■0:00	NTPサーバへの問合せ時刻を設定する。	①時刻（24時間制）を入力する ②（決定）を押す

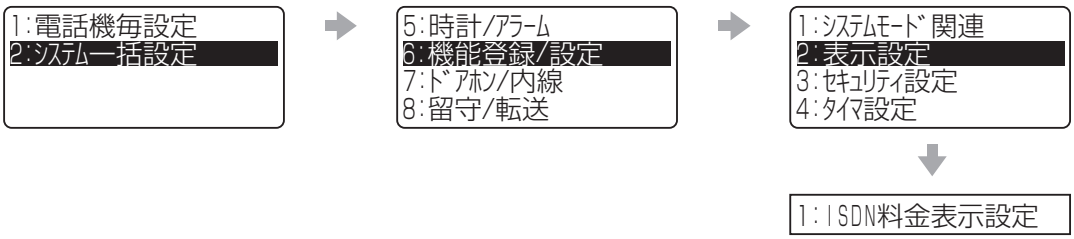
お知らせ

- 日付設定と時刻設定は、他の人が外線を使用しているときは、設定できません。
- NTPサーバ問合せ時刻は、本商品の設置工事時に設定した日付・時刻の設定により00:00 ～ 3:59の間に自動設定されます。
- NTPサーバの問合せ時刻に他の人が外線を使用しているときは、自動設定できません。翌日NTPサーバの問合せ時刻に改めて問合せが行われます。



：お買い求め時の設定

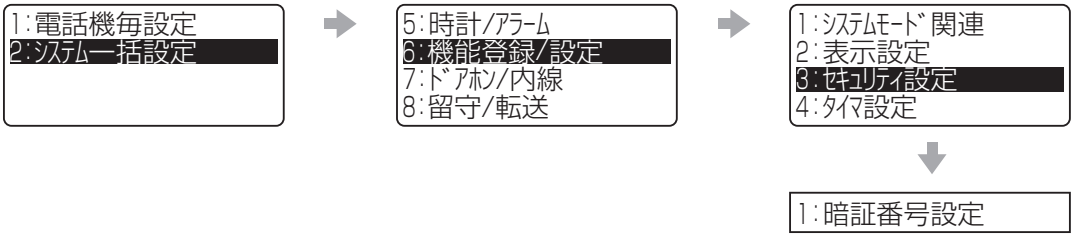
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
システムモード設定 （2 6 1 1） ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ設定 0:自動 1:昼ﾓｰﾄﾞ 2:夜ﾓｰﾄﾞ	システムモード（昼／夜／休憩／休日）を切り替える。	①システムモードを選択する 0 …自動 1 …昼モード 2 …夜モード 3 …休憩モード 4 …休日モード



：お買い求め時の設定

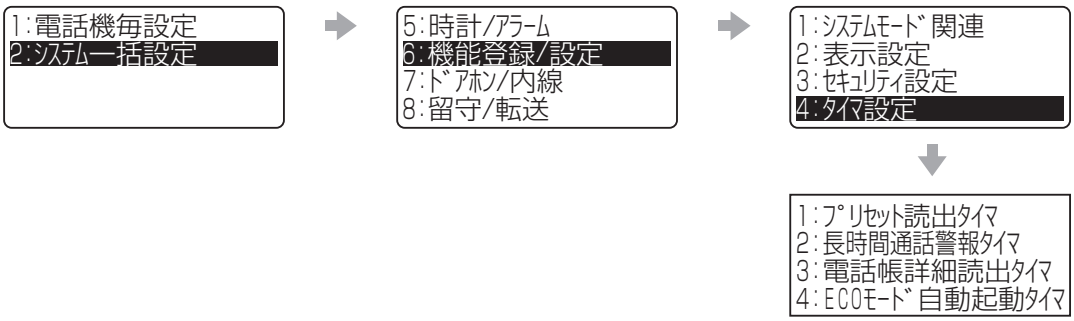
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ISDN料金表示設定 （2 6 2 1） ISDN料金表示設定 0:設定しない 1:設定する	INSネット64で電話をかけたときの料金表示の設定を行う。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

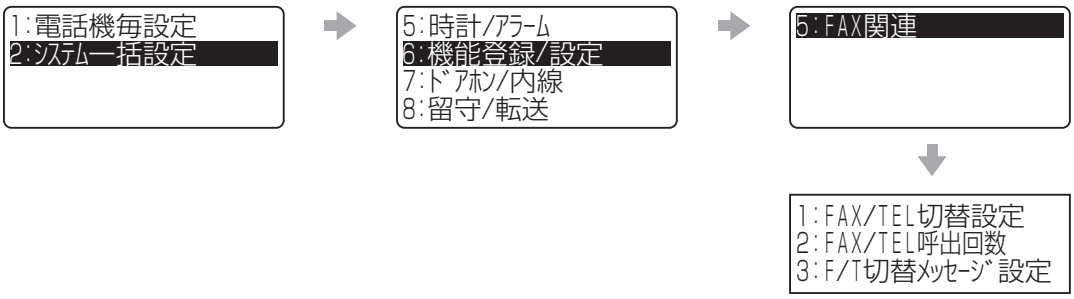
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
暗証番号設定 （2 6 3 1） 暗証番号設定 旧暗証番号?	外線転送時の暗証番号を設定する。	①現在の暗証番号（「0000」）を入力する ②（決定）を押す ③新しい暗証番号を入力する ④（決定）を押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥（決定）を押す



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
プリセット読出タイマ （2 6 4 1） ﾌﾟﾘｾｯﾄ読出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-30)秒? 6	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1 ～ 30）（6秒）を入力する ②（決□定）を押す
長時間通話警報タイマ （2 6 4 2） 長時間通話警報ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255) ×10秒? 0 0:警報なし	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。最初の警報音が鳴ったあとは、3分ごとに警報音が鳴る。	①秒数を10で割った数字（0（警報なし）～ 255）を入力する ②（決□定）を押す
電話帳詳細読出タイマ （2 6 4 3） 電話帳詳細読出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-30)秒? 30	電話帳詳細画面の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1 ～ 30 ）を入力する ②（決□定）を押す
ECOモード自動起動タイマ （2 6 4 4） ECOﾓｰﾄﾞ自動起動ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-60) ×10秒? 1	自動起動でecoモード起動中に手動でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する。	①時間（1 ～ 60［単位：×10秒］）を入力する ②（決□定）を押す

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
FAX/TEL切替設定 （2 6 5 1） FAX/TEL切替設定 0:設定しない 1:FAX/TEL切替 2:FAX自動転送	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的に行う機能を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …FAX/TEL切替 2 …FAX自動転送 3 …両サービス設定
FAX/TEL呼出回数 （2 6 5 2） FAX/TEL呼出回数 回数(3-30)？ 20	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する。	①呼び出し回数（3～30）（20回）を入力する ②（決ロ定）を押す
F/T切替メッセージ設定 （2 6 5 3） F/T切替ﾒｯｾｰｼﾞ設定 0:選択 1:録音 2:確認	FAX/TEL切替のときに使用するメッセージを選択／録音／確認する。	**＜使用するメッセージを選択する場合＞** ①「0：選択」を選択する ②設定を選択する 0 …出荷時設定 1 …録音メッセージ **＜メッセージを録音する場合＞** ①「1：録音」を選択する ②メッセージを録音する（☛P6-5） **＜現在のメッセージを確認する場合＞** ①「2：確認」を選択する ②再生されるメッセージを確認する

お知らせ

- 新たに切替メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- 切替メッセージの最大録音時間は約3分です。3分を超えると自動的に終了します。

Q&A ▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*

1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

→

5:時計/ｱﾗｰﾑ
6:機能登録/設定
7:ﾄﾞｱﾎﾝ/内線
8:留守/転送

→

1:内線ﾈｰﾑ登録
2:ﾄﾞｱﾎﾝﾈｰﾑ登録
3:ﾄﾞｱﾎﾝﾁｬｲﾑ音鳴動ﾀｲﾏ
4:ｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝ録画設定
5:外付けｶﾒﾗﾈｰﾑ登録

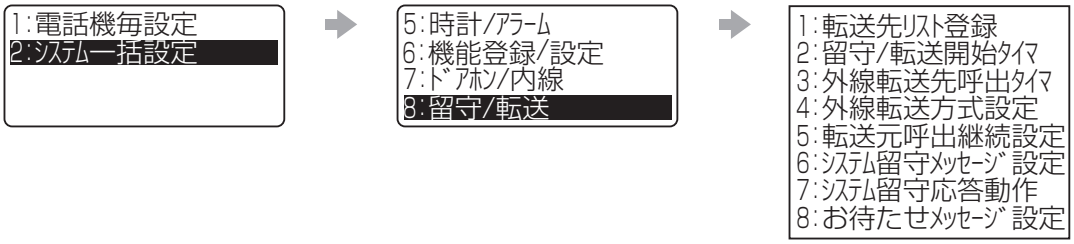
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
内線ネーム登録 （2 7 1） 内線ﾈｰﾑ登録 内線番号?	着信履歴などに表示させる内線電話機ごとの名称を登録する。	①内線番号を入力する ②（決定）を押す ③名称を入力する ④（決定）を押す
ドアホンネーム登録 （2 7 2） ﾄﾞｱﾎﾝﾈｰﾑ登録 ﾄﾞｱﾎﾝ番号(1-4)?	着信履歴や通話中のドアホン着信のときなどに表示させるドアホン名称を登録する。	①ドアホン番号（1 ～ 4）を入力する ②（決定）を押す ③名称（ドアホン1 ～ 4）を入力する ④（決定）を押す
ドアホンチャイム音鳴動タイマ （2 7 3） ﾄﾞｱﾎﾝﾁｬｲﾑ音鳴動ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-255)秒? 10	ドアホンのチャイム音が鳴動する時間を設定する。	①秒数（1 ～ 255）（10秒）を入力する ②（決定）を押す
カメラドアホン録画設定 （2 7 4） ｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝ録画設定 1:自動録画設定 2:自動録画時間 3:自動録画開始ﾀｲﾏ	カメラドアホンのボタンが押されたときに行う自動録画について設定する。 (☛P5-13)	**＜実施条件を設定するとき＞** ①「1：自動録画設定」を選択する ②カメラドアホン番号（1 ～ 4）を入力する ③設定を選択する 0 …自動録画しない　1 …常に自動録画する 2 …応答操作が行われないときのみ自動録画する **＜録画時間の長さを設定するとき＞** ①「2：自動録画時間」を選択する ②カメラドアホン番号（1 ～ 4）を入力する ③秒数（1 ～ 10）（5秒）を入力する ④（決定）を押す **＜録画開始のタイミングを設定するとき＞** ①「3：自動録画開始タイマ」を選択する ②カメラドアホン番号（1 ～ 4）を入力する ③秒数（0 ～ 5）（3秒）を入力する ④（決定）を押す
外付けカメラネーム登録 （2 7 5） 外付けｶﾒﾗﾈｰﾑ登録 ｶﾒﾗ番号(1-2)?	外付けカメラの映像を確認するときなどに表示させる外付けカメラ名称を設定する。	①カメラ番号（1 ～ 2）を入力する ②（決定）を押す ③名称（カメラ1 ～ 2）を入力する ④（決定）を押す

お知らせ

- ドアホンチャイム音鳴動タイマの設定は、カラーカメラドアホンをご利用の場合は変更しないでください。
- ドアホンネーム登録やドアホンチャイム音鳴動タイマの設定は、オプションのドアホンを接続していない場合は無効です。
- カメラドアホン録画設定や外付けカメラネーム登録の設定は、オプションの外付けカメラを接続していない場合は無効です。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
転送先リスト登録 （2 8 1） 転送先ﾘｽﾄ登録 ﾘｽﾄ番号(01-20)?	「電話帳グループ転送」や「システムモード転送」の転送先電話番号を登録する。	①リスト番号（01 ～ 20）を入力する ②（決□定）を押す ③登録先を選択する ④転送先の電話番号を入力する ⑤（決□定）を押す
留守／転送開始タイマ （2 8 2） 留守/転送開始ﾀｲﾏ 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	着信から転送、または留守番電話を開始するまでの秒数を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（0（即時転送／即時応答）～ 255）（ 5 秒 ）を入力する ③（決□定）を押す
外線転送先呼出タイマ （2 8 3） 外線転送先呼出ﾀｲﾏ 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（6 ～ 100）（ 30 秒 ）を入力する ③（決□定）を押す
外線転送方式設定 （2 8 4） 外線転送方式設定 0:同時転送 1:順次転送	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する。	①設定を選択する 0 …同時転送 1 …順次転送

ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには

転送先リスト登録の手順③で内容を消去する転送先リストを選択し、（クリア）を押して電話番号を消去して（決□定）を押します。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
転送元呼出継続設定 （2 8 5）	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（継続しない） 1 …設定する（継続する）
システム留守メッセージ設定 （2 8 6）	システム留守メッセージをシステムモード（昼／夜／休憩／休日）ごとに選択／録音／確認する。	**＜使用するメッセージを選択する場合＞** ①「0：選択」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する 0 …応答専用　1 …録音用 ④設定を選択する 0 …出荷時設定　1 …録音メッセージ **＜メッセージを録音する場合＞** ①「1：録音」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する 0 …応答専用　1 …録音用 ④メッセージを録音する（☛P6-5） **＜現在のメッセージを確認する場合＞** ①「2：確認」を選択する ②システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する ③メッセージの種類を選択する 0 …応答専用　1 …録音用 ④再生されるメッセージを確認する
システム留守応答動作 （2 8 7）	システム留守番電話で応答したときの動作を設定する。（☛P3-65）	①設定を選択する 0 …応答専用　1 …録音用

（次ページへつづく）

お知らせ

- 新たにシステム留守番電話の応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- システム留守番電話の応答メッセージの最大録音時間は約3分です。3分を超えると自動的に終了します。

Q&A
▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*
▶ *設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？（☛P6-6）*

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

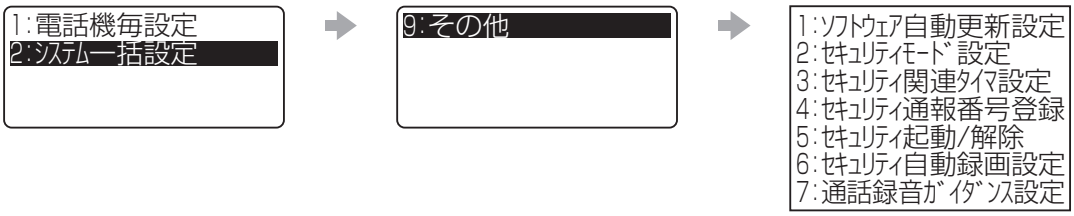
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
お待たせメッセージ設定 （2 8 8） お待たせﾒｯｾｰｼﾞ設定 0:選択 1:録音 2:確認	お待たせメッセージ、切断メッセージを選択／録音／確認する。	**＜使用するメッセージを選択する場合＞** ①「0：選択」を選択する ②メッセージの種類を選択する 1 …お待たせメッセージ　2 …切断メッセージ ③設定を選択する 0 …出荷時設定　1 …録音メッセージ **＜メッセージを録音する場合＞** ①「1：録音」を選択する ②メッセージの種類を選択する 1 …お待たせメッセージ　2 …切断メッセージ ③メッセージを録音する（☛P6-5） **＜現在のメッセージを確認する場合＞** ①「2：確認」を選択する ②メッセージの種類を選択する 1 …お待たせメッセージ　2 …切断メッセージ ③再生されるメッセージを確認する

お知らせ

- 新たにお待たせメッセージの応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- お待たせメッセージの応答メッセージの最大録音時間は約3分です。3分を超えると自動的に終了します。

Q&A ▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ソフトウェア自動更新設定 （2 9 1） ｿﾌﾄｳｪｱ自動更新設定 0:最新ｿﾌﾄを自動更新 1:重要ｿﾌﾄは自動更新 2:更新通知のみ	主装置ソフトウェア更新が必要かどうかのチェックや最新ソフトウェアのダウンロードを自動で行うかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 … 最新ソフトを自動更新（自動チェック+最新ソフトウェアおよび重要最新ソフトウェアをダウンロード） 1 … 重要ソフトは自動更新（自動チェック+重要最新ソフトウェアのみのダウンロード） 2 … 更新通知のみ（自動チェックのみ） 3 … 自動更新無効（自動では行わない）
セキュリティモード設定 （2 9 2） ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ設定 1:ｾｷｭﾘﾃｨ内線発報 2:ｾｷｭﾘﾃｨ外線発報 3:ｶﾗｰｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝ転送	セキュリティサービスの検知信号を受信したときや、カメラドアホンのボタンが押されたときの動作を設定する。（☛P5-15、P5-19）	**＜検知信号受信時の内線発報を設定する場合＞** ①「1：セキュリティ内線発報」を選択する ②設定を選択する 0 …しない 1 …する **＜検知信号受信時の外線発報を設定する場合＞** ①「2：セキュリティ外線発報」を選択する ②設定を選択する 0 …しない 1 …する **＜来客時の外線転送を設定する場合＞** ①「3：カラーカメラドアホン転送」を選択する ②設定を選択する 0 …しない 1 …する

（次ページへつづく）

ワンポイント

●ソフトウェアについて

主装置ソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

・最新ソフトウェア　　：機能・性能を向上した主装置ソフトウェア

・重要最新ソフトウェア：特に重要な機能・性能を向上した主装置ソフトウェア

お知らせ

●重要最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
セキュリティ関連タイマ設定 （2 9 3） セｷｭﾘﾃｨ関連ﾀｲﾏ設定 1:ｾﾝｻ監視開始ﾀｲﾏ 2:ｾｷｭﾘﾃｨ通報開始ﾀｲﾏ 3:自動威嚇音開始ﾀｲﾏ	セキュリティサービスの各種動作を起動するタイミングを設定する。	**＜起動から監視開始までの秒数を設定するとき＞** ①「1：センサ監視開始タイマ」を選択する ②秒数（1 ～ 255）（180 秒）を入力する ③ 決定 を押す **＜検知信号受信から通報開始までの秒数を設定するとき＞** ①「2：セキュリティ通報開始タイマ」を選択する ②秒数（1 ～ 255）（30 秒）を入力する ③ 決定 を押す **＜検知信号受信から自動威嚇音の送出開始までの秒数を設定するとき＞** ①「3：自動威嚇音開始タイマ」を選択する ②秒数（1 ～ 255）（30 秒）を入力する ③ 決定 を押す
セキュリティ通報番号登録 （2 9 4） ｾｷｭﾘﾃｨ通報番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	検知信号を受信したときの通報先電話番号を登録する。（☛P5-18）	①登録先を選択する ②通報先の電話番号を入力する ③ 決定 を押す
セキュリティ起動／解除 （2 9 5） ｾｷｭﾘﾃｨ起動/解除 0:ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ解除 1:ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ起動	セキュリティサービスを起動／解除する。 （☛P5-20）	**＜解除するとき＞** ①「0：セキュリティサービス解除」を選択する ②セキュリティ暗証番号を入力する ③ 決定 を押す **＜起動するとき＞** ①「1：セキュリティサービス起動」を選択する
セキュリティ自動録画設定 （2 9 6） ｾｷｭﾘﾃｨ自動録画設定 1:自動録画設定 2:自動録画時間 3:自動録画開始ﾀｲﾏ	検知信号を受信したときに行う自動録画について設定する。（☛P5-16）	**＜実施条件を設定する場合＞** ①「1：自動録画設定」を選択する ②設定を選択する 0 …自動録画しない 1 …自動録画する **＜録画時間の長さを設定する場合＞** ①「2：自動録画時間」を選択する ②秒数（1 ～10）を入力する ③ 決定 を押す **＜録画開始のタイミングを設定する場合＞** ①「3：自動録画開始タイマ」を選択する ②秒数（0～ 5）を入力する ③ 決定 を押す
通話録音ガイダンス設定 （2 9 7） 通話録音ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 0:選択 1:録音 2:確認	通話録音ガイダンスを選択／録音／確認する。	**＜メッセージを選択する場合＞** ①「0：選択」を選択する ②メッセージを選択する 0 …出荷時設定 1 …録音ガイダンス **＜メッセージを録音する＞** ①「1：録音」を選択する ②メッセージを録音する（☛P6-5） **＜現在のメッセージを確認する＞** ①「2：確認」を選択する ②再生されるメッセージを確認する

Q&A ▶ *メッセージを録音するには？（☛P6-5）*

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

主装置にLAN接続したパソコンでWWWブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながらさまざまな項目を登録・設定する「Web設定」が行えます。
Web設定を行うパソコンは、次の条件を満たす必要があります。
条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項　目	条　件
OS	Windows®XP ／ Windows Vista® ／ Windows® 7
CPU	Pentium®Ⅲ 500MHz以上　1GHz以上推奨
表示	SVGA（800×600ドット）以上
LAN	10BASE-T ／ 100BASE-TX対応のLANカード／ボード
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 6.0X、7.0X、8.0X
RAM	128MB以上（256MB以上推奨）
HDD	100MB以上の空き領域

（注）Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、
その他の国における商標または登録商標です。

お知らせ

- パソコンを主装置とLAN接続するには、接続工事が別途必要になります。
- お買い求め時の主装置のIPアドレス、サブネットマスクは、下記のように設定されています。
  IPアドレス　　：192.168.1.10
  サブネットマスク：255.255.255.0
  「システム設定」によりお客さまのネットワーク環境に合わせて変更することができます。
- ネットワークの状態などにより、ページの読み込みがうまくいかない場合があります。その場合は、もう一度同じ操作をするか、再度ログインし直して作業を続けてください。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

Web設定で行える登録・設定

■電話機毎ユーザデータ設定

個々の電話機について設定します。

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分　類		
電話帳 （☛P4-41、P4-42）	個別電話帳編集	−	△（☛P4-4）
	電話帳設定	グループ鳴動設定	△（☛P4-5） ◎（☛P6-13）
		グループ着信ランプ設定	△（☛P4-5） ◎（☛P6-13）
外線発信 （☛P4-42）	−	ワンタッチ／プリセレクション選択	△（☛P4-6） ◎（☛P6-14）
		優先捕捉回線キー設定	−
		自動捕捉回線キー設定	−
		オフフック外線発信設定	△（☛P4-6） ◎（☛P6-14）
外線着信 （☛P4-43、P4-44）	外線着信設定	着信音停止設定	△（☛P4-8） ◎（☛P6-14）
		自動捕捉回線キー設定	−
		オフフック外線応答設定	△（☛P4-7） ◎（☛P6-14）
		履歴ランプ表示設定	△（☛P4-17） ◎（☛P6-15）
		着信履歴保存設定	△（☛P4-18）
		外線毎着信拒否設定	△（☛P4-7） ◎（☛P6-15）
	鳴動設定	外線着信鳴動設定	△（☛P4-7）
		着信音色設定	△（☛P4-7） ◎（☛P6-13）
	曜日毎鳴動モード設定	曜日毎鳴動モード設定	△（☛P4-8）
留守／転送／音声メール （☛P4-44、P4-45）	留守/転送/音声メール設定	転送先リスト登録	△（☛P4-9）
		留守番電話割込時録音保存設定	−
		通話録音モード設定	△（☛P4-18） ◎（☛P6-15）
		留守番電話応答動作設定／メッセージ設定	△（☛P4-9） ◎（☛P6-15）
		音声メール着信通知起動設定	◎（☛P6-15）
		音声メール着信通知先設定	◎（☛P6-15）
		音声メール終話時保存設定	−
		音声メール登録通知音	−
		音声メールメッセージ再生順設定	△（☛P4-10）
		音声メール新規メッセージ優先設定	△（☛P4-10）
		圏外時サービス設定	△（☛P4-9）
		音声メール再生時暗証番号入力設定	−
		自動通話録音開始前ガイダンス送出設定	△（☛P4-18）
	留守転送対象回線設定	放送留守転送対象回線設定	−
		個別留守転送対象回線設定	−

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分　類		
ワンタッチ （☛P4-45、P4-46）	ワンタッチダイヤル編集	−	△（☛P4-11）
	コンソールワンタッチダイヤル編集	−	−
	ワンタッチ機能ボタン登録	−	△（☛P4-11）
ドアホン／内線 （☛P4-46）	−	内線ホットライン設定	△（☛P4-13） ◎（☛P6-14）
		内線呼出音設定	△（☛P4-13） ◎（☛P6-14）
		ドアホン鳴動設定	△（☛P4-13） ◎（☛P6-13）
		不在着信転送設定	△（☛P4-13） ◎（☛P6-15）
		内線グループ一斉鳴動	△（☛P4-13）
通話 （☛P4-46）	−	受話音保持	△（☛P4-14）
		受話増保持	△（☛P4-14）
		ヘッドセット設定	△（☛P4-14） ◎（☛P6-15）
メンテナンス （☛P4-46）	−	暗証番号設定	△（☛P4-16） ◎（☛P6-13）
その他 （☛P4-47）	−	時計アラーム	△（☛P4-12） ◎（☛P6-15）
		ダイヤル押下音設定	△（☛P4-17） ◎（☛P6-13）
		バックライト設定	△（☛P4-17）
		サービスロック対象設定	△（☛P4-16） ◎（☛P6-13）
		システムモード別ECOモード設定	△（☛P4-18）

■ システム一括ユーザデータ設定

システムで共通のデータを設定します。

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分　類		
電話帳 （☛P4-48、P4-49）	共通電話帳編集	−	△（☛P4-19）
	電話帳グループ設定	グループ名称	△（☛P4-19）
		グループ着信先	△（☛P4-19）
		コールバック設定	△（☛P4-20） ◎（☛P6-14）
		中継発信規制	△（☛P4-20）
		データ受信グループ設定	△（☛P4-20）
	電話帳設定	電話帳ガイド設定	△（☛P4-20） ◎（☛P6-13）
外線発信 （☛P4-49、P4-50）	発信可能ダイヤル設定	−	△（☛P4-21）
	発信規制ダイヤル設定	−	△（☛P4-21）
	削除ダイヤル設定	−	△（☛P4-21）
	事業者識別番号付与設定	−	△（☛P4-21） ◎（☛P6-13）

（次ページへつづく）

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分　類		
外線着信 （☛P4-50）	−	自動応答サービス外線発信用暗証番号	−
		着信未応答警報タイマ	△（☛P4-22）
		システム着信メロディ設定	△（☛P4-22） ◎（☛P6-13）
		着信拒否ガイダンス送出設定	△（☛P4-22）
		非通知着信拒否設定	△（☛P4-22） ◎（☛P6-13）
		サブアドレス設定	△（☛P4-22） ◎（☛P6-15）
保留 （☛P4-51）	−	システム保留音設定	△（☛P4-23） ◎（☛P6-14）
		保留警報音送出タイマ	△（☛P4-23） ◎（☛P6-14）
留守／転送／音声メール （☛P4-51、P4-52）	システム一括転送設定	転送先リスト登録	△（☛P4-30）
	電話機毎転送設定	外線転送方式設定	△（☛P4-30） ◎（☛P6-14）
		転送元呼出継続設定	△（☛P4-31） ◎（☛P6-14）
		留守／転送開始タイマ	△（☛P4-30） ◎（☛P6-14）
		外線転送先呼出タイマ	△（☛P4-30） ◎（☛P6-14）
	音声メール設定	話中／不応答時音声メール動作設定	◎（☛P6-15）
		自動留守番電話モニタ設定	−
		FAX/TEL切替メッセージ設定	△（☛P4-28） ◎（☛P6-15）
		お待たせメッセージ設定	△（☛P4-32） ◎（☛P6-15）
		システムモード別留守番電話応答動作設定	△（☛P4-31） ◎（☛P6-15）
		システムモード別留守番電話メッセージ設定	△（☛P4-31） ◎（☛P6-15）
ドアホン／内線 （☛P4-52）	−	ドアホンチャイム音鳴動タイマ	△（☛P4-29） ◎（☛P6-14）
		自動録画動作	△（☛P4-29） ◎（☛P6-14）
		自動録画時間	△（☛P4-29）
		自動録画開始タイマ	△（☛P4-29）
通話 （☛P4-53）	−	ISDN料金表示設定	△（☛P4-25） ◎（☛P6-13）
		長時間通話警報タイマ	△（☛P4-27） ◎（☛P6-14）
時計・カレンダ （☛P4-53）	日付・時計設定	日付設定	△（☛P4-24） ◎（☛P6-13）
		時計設定	△（☛P4-24） ◎（☛P6-13）
	NTP設定	NTPサーバ時計データ自動設定	△（☛P4-24） ◎（☛P6-15）
		NTPサーバ問合せ時刻設定	△（☛P4-24） ◎（☛P6-15）
		NTPサーバURL設定	−

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分　類		
システムモード （☛P4-53、P4-54）	システムモード設定	−	△（☛P4-25）
	システムモード切替時刻設定	−	△（☛P4-24） ◎（☛P6-13）
	曜日毎システムモードテーブル設定	−	−
	特定日システムモードテーブル設定	−	−
名称登録 （☛P4-54）	内線ネーム登録	−	△（☛P4-29）
	ドアホンネーム登録	−	△（☛P4-29）
	回線ネーム登録	−	−
	外付けカメラネーム登録	−	△（☛P4-29） ◎（☛P6-14）
メンテナンス （☛P4-55）	−	IPアドレス自動取得設定	−
		自IPアドレス設定	−
		サブネットマスク設定	−
		ゲートウェイIPアドレス設定（LAN）	−
		DNSサーバIPアドレス設定	−
		Web設定用ポート番号設定	−
		ソフトウェア自動更新設定	△（☛P4-33）
		電話機暗証番号初期化	◎（☛P6-11）
センサ起動履歴 （☛P4-55）	−	センサ起動履歴	−
E-mail設定 （☛P4-56）	−	メールアドレス設定	−
		SMTPサーバ名	−
		SMTPポート番号	−
		SMTPサーバ認証方式	−
		メールサーバユーザID設定	−
		メールサーバパスワード設定	−
その他 （☛P4-56）	−	FAX/TEL 切替設定	△（☛P4-28） ◎（☛P6-14）
		FAX/TEL 呼出回数	△（☛P4-28） ◎（☛P6-14）
		プリセット読出タイマ	△（☛P4-27） ◎（☛P6-14）
		電話帳詳細読出タイマ	△（☛P4-27）
		セキュリティモード設定	△（☛P4-33） ◎（☛P6-13）
		センサ監視開始タイマ	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		セキュリティ通報開始タイマ	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		自動威嚇音開始タイマ	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		セキュリティ暗証番号	−
		セキュリティ通報番号登録	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		自動録画設定	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		自動録画時間	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		自動録画開始タイマ	△（☛P4-34） ◎（☛P6-13）
		ECOモード自動起動タイマ設定	△（☛P4-27）

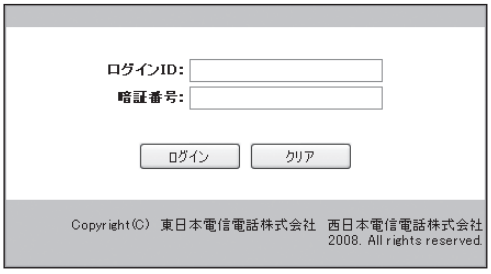
パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

主装置と接続してWeb設定を行う

パソコンでブラウザを起動し、ユーザID（内線番号）と暗証番号を入力してログインします。
「システム管理者」に設定されている内線電話機の内線番号と暗証番号を入力すると、システム全体についてのWeb設定が行えます。

①パソコンでインターネットエクスプローラ（6.0以上）を起動する。

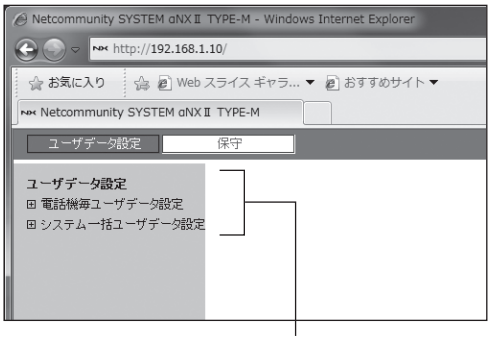
②［アドレス］ボックスに主装置のIPアドレスを入力し［　　］、［移動］ボタンをクリックする。
お買い求め時の主装置のIPアドレスは「192.168.1.10」です。
ログイン画面が表示されます。タイトルには、主装置のタイプによって「typeS」または「typeM」が表示されます。



③ユーザID（内線番号）を入力する。
一般ユーザのユーザIDを入力すると、個々の電話機についての設定項目のみが表示されます。「システム管理者」用のユーザIDを入力すると、個々の電話機についての設定項目と、システム一括の設定項目が表示されます。

④暗証番号を入力する。
お買い求め時の暗証番号は、「0000」です。

⑤［ログイン］ボタンをクリックする。
画面の左側のエリアに、設定項目のメニューが表示されます。



一般ユーザIDでログインした場合は「電話機毎ユーザデータ設定」のみが表示される

⑥設定項目の左側の「＋」をクリックする。
「＋」をクリックするとメニューツリーが展開し、設定区分の項目が表示されます。「－」をクリックすると元に戻ります。

⑦目的の設定メニューツリーを表示し、項目をクリックする。
クリックした項目の設定画面が表示されます。

⑧設定を行う。
設定操作については、各データ項目のページを参照してください。

ワンポイント

○暗証番号を変更するには
Web設定で変更できます。

●データの編集が終了したら
［設定］ボタンをクリックします。この操作を行うことにより、設定内容が主装置に保存されます。この操作の前に次の操作を行った場合は、編集操作が反映されません。
- 他のページへ移動
- ［元に戻す］ボタンをクリック
- インターネットエクスプローラを終了

●設定操作開始時の状態に戻すには
［元に戻す］ボタンをクリックします。この操作を行うと、編集前の設定状態に戻ります。

●Web設定を終了するには
インターネットエクスプローラを終了します。

●「保守」の項目について
Web設定には「ユーザデータ設定」のほかに、機器接続確認（PING送信）およびソフトウェア更新を行うための「保守」の操作があります。

お知らせ

●システム管理者の方は、主装置のIPアドレス/CallHist.html（初期値：192.168.1.10/CallHist.html）を入力してログインするとWeb通話履歴を表示できます。

電話機毎ユーザデータ項目の登録・設定

個々の電話機について登録･設定します。「システム管理者」のユーザIDでログインしたときにも操作できます。

■個別電話帳を編集したりパソコンへの読み出しを行う

次のように操作すると、主装置に保存されている電話帳データをテキスト(CSV)ファイルとしてパソコンに保存できる。読み出した電話帳データは、Excelで編集できる。(☛P6-23)
①[主装置から読み出す]ボタンをクリックする
②[読み出す]ボタンをクリックする
③表示されたダイアログボックスで保存先を指定し、[保存]ボタンをクリックする

電話帳データをパソコンから主装置にコピーするときは、このボタンをクリックし、次のように操作する。
①[主装置へ書き込む]ボタンをクリックする
②[参照]ボタンをクリックする
③表示されたダイアログボックスでコピーするファイルを指定し、ファイル名を入力する
④[送信]ボタンをクリックする

クリックし、表示された画面で[削除実行]ボタンをクリックすると、登録されている個別電話帳がすべて削除される。

新たな電話帳の登録を開始する。

表示する電話帳の範囲をドロップダウンリストから選択する。

設定画面エリア（※1）の表示／非表示を切り替える。

すでに登録されている電話帳が表示される。内容を修正する場合は[編集]ボタンをクリックする。削除する場合は[削除]ボタンをクリックし、表示された画面で[削除実行]ボタンをクリックする。

チェックマークをつけて[設定]ボタンをクリックすると、電話番号を1件単位で削除できる。

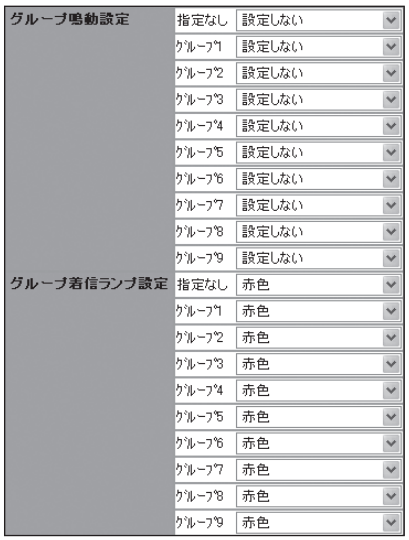
電話帳の新規作成／編集が終了したら、[設定]ボタンをクリックする（作成／編集が完了し、上部エリア（※3）に内容が表示される)。

「新規作成」または上部エリアの[編集]ボタン(※2)をクリックすると表示される設定画面エリア。次のようにして電話帳を登録する。
①空いている最も若いメモリ番号が表示されている「メモリ番号」欄に、必要に応じてメモリ番号を入力する
②「名前」欄に名前を入力する
③「フリガナ」欄にフリガナを入力する
④「グループ名」のドロップダウンリストから登録先のグループを選択する
⑤「ダイヤル」欄に電話番号（最大4件）を入力する
⑥「アイコン」欄のドロップダウンリストからアイコンを選択する
⑦「発信番号属性」のドロップダウンリストから「一般外線番号」または「PBX内線番号」を選択する

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■電話帳グループごとの着信音／着信色を設定する

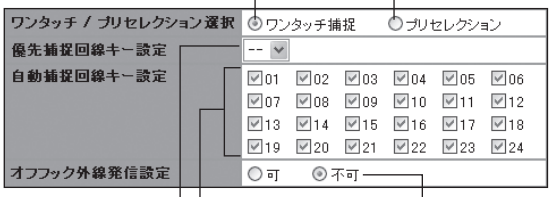
着信音をドロップダウンリストから選択する。



着信ランプの点滅色をドロップダウンリストから選択する。

■外線発信について設定する

「ワンタッチ捕捉」（外線／内線ボタンを押すだけで回線を捕捉）、または「プリセレクション」（外線／内線ボタンのあとオフフックが必要）を選択する。



ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押しただけで、自動的に外線を捕捉することができるようにするかどうかを選択する。

ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押したときに、自動捕捉する外線にチェックマークをつける。

ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押したときに、最優先して自動捕捉する外線ボタンを設定する。

■外線着信について設定する

内線着信時の呼出音鳴動について、「有」（鳴らす）または「無」（鳴らさない）を選択する。

外線着信時の着信音鳴動について、「有」（鳴らす）または「無」（鳴らさない）を選択する。

自動捕捉の対象とする回線にチェックマークをつける。

外線着信時の応答動作について、「可」（ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで応答できる）または「不可」（着信中の外線ボタンも押す必要がある）を選択する。

着信履歴を保存する外線ボタン、または「内線」にチェックマークをつける。

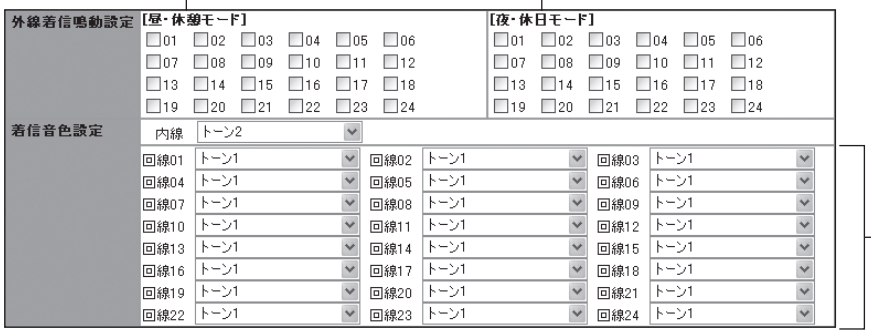
着信を拒否する外線ボタンにチェックマークをつける。

かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプの点滅で表示するかどうかを選択する。

■外線着信音について設定する

システムモードが「昼」または「休憩」のときに着信音を鳴らす外線ボタンにチェックマークをつける。

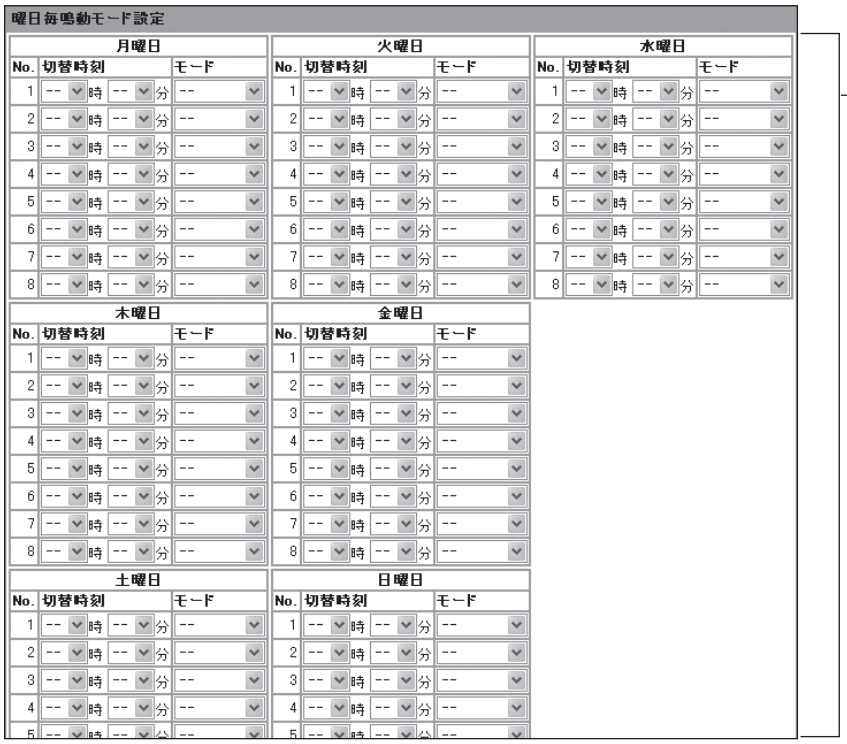
システムモードが「夜」または「休日」のときに着信音を鳴らす外線ボタンにチェックマークをつける。



内線の呼出音、および外線ごとの着信音を選択する。

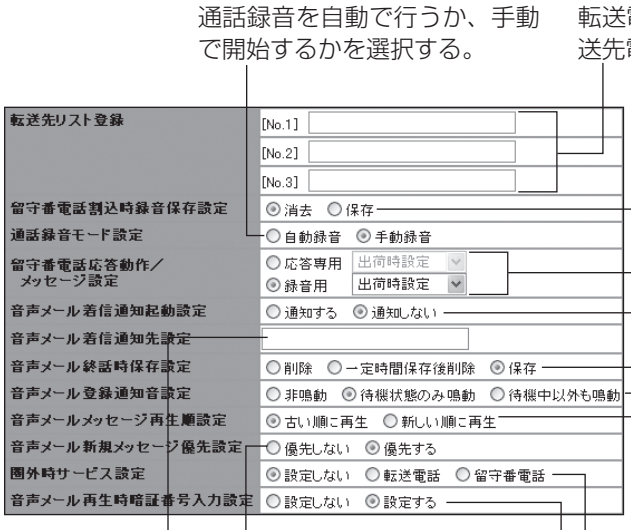
パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■曜日毎鳴動モードを設定する



鳴動動作のタイムテーブル（曜日ごとに最大8つ）を設定する。「切替時刻」を24時間制で設定し、「モード」で「昼／休憩」または「夜／休日」を選択する。

■留守／転送／音声メールについて設定する



通話録音を自動で行うか、手動で開始するかを選択する。

転送電話を利用したときの、転送先電話番号を入力する。

留守番電話での応答を中断して電話に出たときに、それまでの録音内容を保存するか消去するかを選択する。

留守番電話を応答専用にするか録音用にするかを選択し、「録音用」の場合は留守メッセージを選択する。

音声メールを着信したときに通知するかどうかを選択する。

保存操作をしないで自動通話録音を終了した場合の、録音内容の保存／削除について、設定を選択する。

音声メールを録音したことを通知する音の鳴動について、設定を選択する。

メッセージの再生順序を、新しい順／古い順のどちらにするか選択する。

新しいメッセージの再生を優先させるか、すべてのメッセージをまとめて再生するかを選択する。

内線電話機（シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときの動作を選択する。

音声メールを着信したときに通知する電話番号を入力する。

音声メール再生時に暗証番号を利用する場合は、「設定する」を選択する。

■留守転送対象回線を設定する

放送着信時の動作を外線ボタンごとに設定する。「設定しない」、「転送電話設定する」、「留守番電話設定する」のいずれかから選択する。

放送留守転送対象回線設定	
回線ボタン	留守転送設定
1	-
2	-
3	-
4	-
5	設定しない
6	設定しない
7	設定しない
8	設定しない
9	設定しない
10	設定しない
11	設定しない
12	設定しない
13	-
14	-
15	-
16	-
17	-
18	-

個別留守転送対象回線設定	
回線ボタン	留守転送設定
1	-
2	-
3	-
4	-
5	設定しない
6	設定しない
7	設定しない
8	設定しない
9	設定しない
10	設定しない
11	設定しない
12	設定しない
13	-
14	-
15	-
16	-
17	-
18	-

個別着信時の動作を外線ボタンごとに設定する。

■ワンタッチダイヤルを編集する

オプションのコンソールを接続している場合は、同様の操作でコンソールのワンタッチダイヤルを編集できます。

登録されているワンタッチダイヤルをすべて削除する。

新たなワンタッチダイヤルの登録を開始する。

設定画面（☛下記）に切り替える。

すでに登録されているワンタッチダイヤル（ボタン操作）が表示されている。内容を修正する場合は［編集］ボタンを、削除する場合は［削除］ボタンをクリックする。

「新規作成」または［編集］ボタン（☛上記）をクリックすると、下記の設定画面が表示される。
次のようにしてボタン操作を登録する。

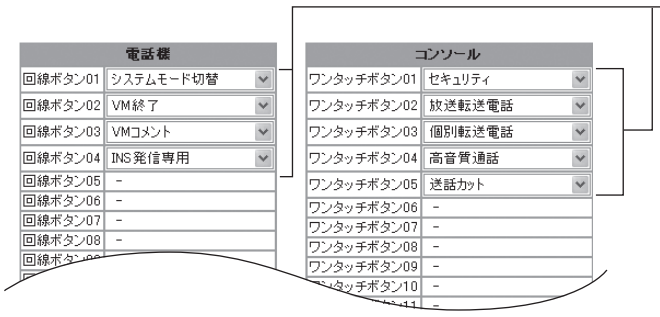
①「ワンタッチキー」欄（※1）にワンタッチキー番号を入力する
②操作パネル（※2）上のボタンを次々にクリックする（最大32操作）。電話番号を登録する場合は、数字を直接入力することもできる（「ダイヤルキー」欄（※3）にボタン操作の内容が入力される）
③ボタン操作の入力が終了したら、［設定］ボタンをクリックする（登録が完了し、続けて登録が行える。上記画面の［一覧表示］ボタンをクリックすると※4に内容が表示される）

電話機の操作パネル（ボタン部分）が表示される。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■ワンタッチ機能ボタンを登録する

機能ボタンは、あらかじめ「システム設定」によりサービスボタンが設定されている回線ボタンに対してのみ登録できます。

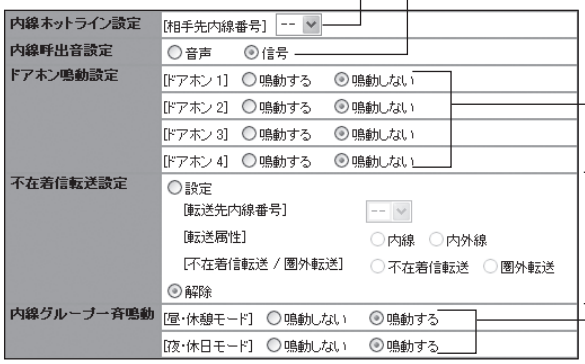


登録する機能をドロップダウンリストから選択する。

■ドアホン／内線について設定する

ハンドセットを取りあげるだけで呼び出す内線番号を選択する。

「音声」または「信号（音）」のどちらで内線着信するかを選択する。



ドアホンからのチャイム音を鳴らすかどうかを、ドアホンごとに設定する。

不在着信のときに特定の内線番号に転送する機能を「設定」または「解除」する。「設定」を選択する場合は、転送先を設定する。

システムモード「昼・休憩」／「夜・休日」別に、内線代表一斉呼出時、着信音を鳴らすかどうかを設定する。

■通話中の受話音量、ヘッドセットの利用について設定する

調節した受話音量の通話終了後の保持について、「有」（保持する）または「無」（保持しない）を選択する。

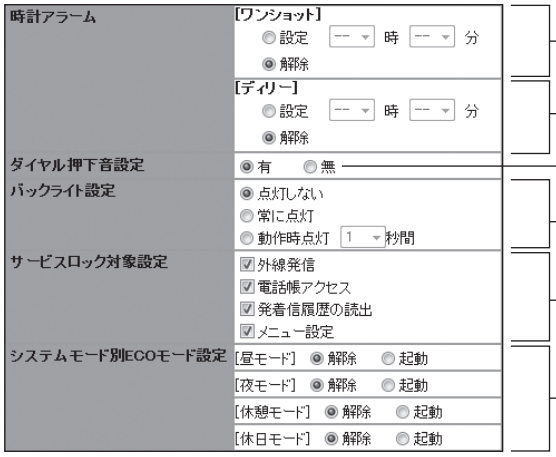
明瞭モード中における音量設定状態を通話終了後に保持するかどうかについて、「有」（保持する）または「無」（保持しない）を選択する。

ヘッドセットを使用するかどうかを選択する。

■電話機ごとの暗証番号を登録する

内線電話機に登録する暗証番号（最大4桁）を入力する。

■ その他の設定をする



1回限りのアラームを「設定」または「解除」する。「設定」を選択する場合は、時刻を設定する。

毎日同時刻に繰り返すアラームを「設定」または「解除」する。「設定」を選択する場合は、時刻を設定する。

ダイヤル押下音について、「有」（鳴る）または「無」（鳴らない）を選択する。

ディスプレイの照明について、「点灯しない」、「常に点灯」、「動作時点灯」のいずれかを選択する。「動作時点灯」の場合は、ボタン押下後何秒間点灯させておくかを設定する。

サービスロックの対象となる機能を選択する。

システムモードごとに、ecoモードになる電話機を指定する

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

システム一括ユーザデータ項目の登録・設定

内線電話機に共通の登録・設定を行います。一般ユーザのユーザIDでログインしたときは操作できません。

■共通電話帳を編集したりパソコンへの読み出しを行う

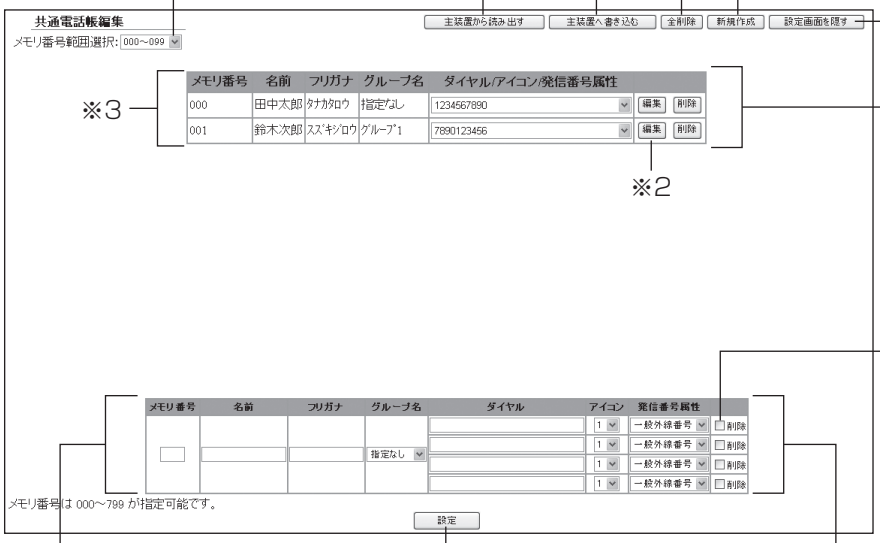
次のように操作すると、主装置に保存されている電話帳データをテキスト（CSV）ファイルとしてパソコンに保存できる。読み出した電話帳データは、Excelで編集できる。（☛P6-23）
①［主装置から読み出す］ボタンをクリックする
②［読み出す］ボタンをクリックする
③表示されたダイアログボックスで保存先を指定し、［保存］ボタンをクリックする

電話帳データをパソコンから主装置にコピーするときは、このボタンをクリックし、次のように操作する。
①［主装置へ書き込む］ボタンをクリックする
②［参照］ボタンをクリックする
③表示されたダイアログボックスでコピーするファイルを指定し、ファイル名を入力する
④［送信］ボタンをクリックする

クリックし、表示された画面で［削除実行］ボタンをクリックすると、登録されている個別電話帳がすべて削除される。

新たな電話帳の登録を開始する。

表示する電話帳の範囲をドロップダウンリストから選択する。



設定画面エリア（※1）を非表示にする。

すでに登録されている電話帳が表示される。内容を修正する場合は［編集］ボタンをクリックする。削除する場合は［削除］ボタンをクリックし、表示された画面で［削除実行］ボタンをクリックする。

チェックマークをつけて［設定］ボタンをクリックすると、電話番号を1件単位で削除できる。

電話帳の新規作成／編集が終了したら、［設定］ボタンをクリックする（作成／編集が完了し、上部エリア（※3）に内容が表示される）。

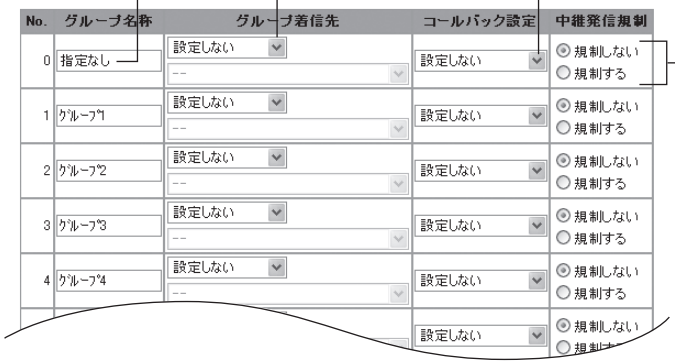
「新規作成」または上部エリア（※2）の［編集］ボタンをクリックすると表示される設定画面エリア。次のようにして電話帳を登録する。
①「メモリ番号」欄にメモリ番号を入力する
②「名前」欄に名前を入力する
③「フリガナ」欄にフリガナを入力する
④「グループ名」のドロップダウンリストから登録先のグループを選択する
⑤「ダイヤル」欄に電話番号（最大4件）を入力する
⑥「アイコン」欄のドロップダウンリストからアイコンを選択する
⑦「発信番号属性」のドロップダウンリストから「一般外線番号」または「PBX内線番号」を選択する

■ 電話帳グループについて設定する

グループの名称を入力する。

電話帳グループの電話番号からかかってきたときの動作を選択する。
「設定しない」　：特に設定をしない
「指定内線」　：指定する内線電話機に着信させる
「モード指定着信」　：指定するシステムモードでの応答を行う
「自動応答サービス」：指定する内線番号に着信させ、自動応答サービスでの応答を行う
「転送電話」　：転送先リストのリスト番号を指定し、その電話番号に転送する
「着信拒否」　：着信拒否メッセージを流して電話を切る
「外部トーキ」　：指定する外部トーキでの応答を行う

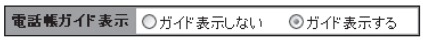
コールバック着信時の動作を選択する。
「設定しない」　：特に設定をしない
「システム内線着信」：発信元に自動コールバックして通話する
「中継発信」　：事業所（システム設定所）を使用して発信元から外線発信できるようにする
「自動応答サービス」：リモコン操作により、内線電話機の呼び出しや外線発信などを行う



中継発信の相手先として、「規制しない」（許可する）または「規制する」（許可しない）を選択する。

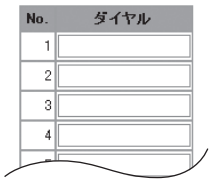
■ 電話帳ガイドの表示について設定する

電話帳利用時のガイド表示について、設定を選択する。



■ 発信可能ダイヤルを設定する

発信を許可するダイヤル（電話番号の一部。最大10桁）を入力する。最大40件登録できる。



■ 発信規制ダイヤルを設定する

発信を禁止するダイヤル（電話番号の一部。最大10桁）を入力する。最大40件登録できる。

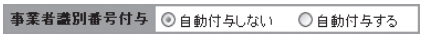
パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■削除ダイヤルを設定する

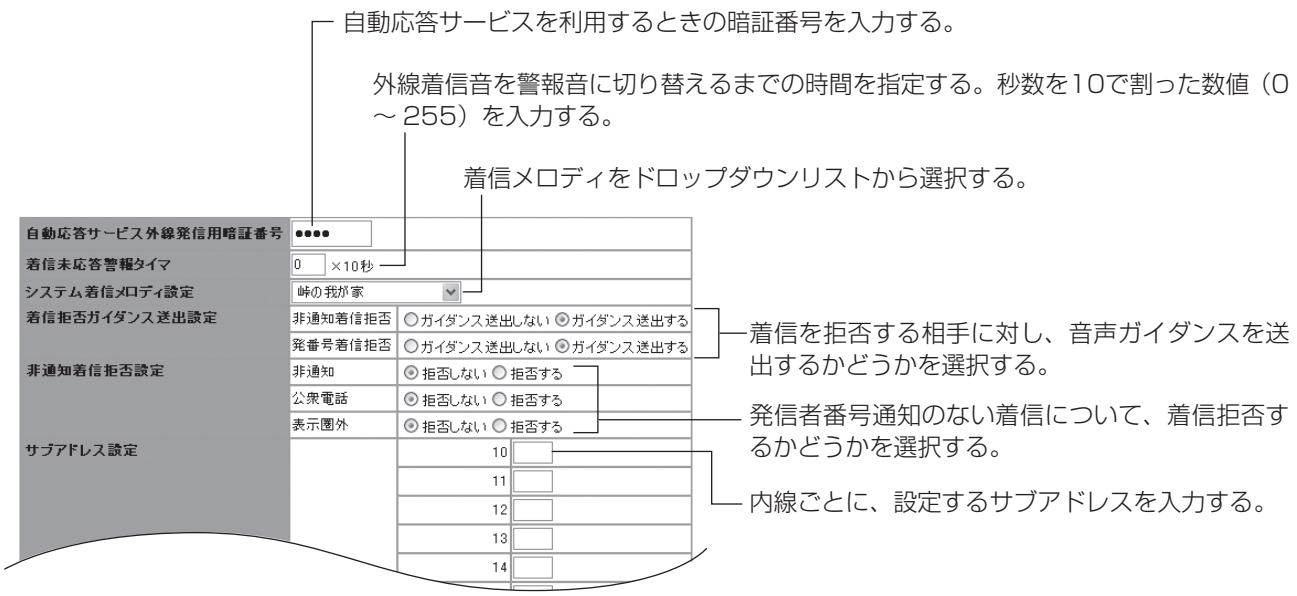
発信規制のチェックを行うときに、チェック対象から除外するダイヤル(電話番号の一部。最大6桁)を入力する。最大20件登録できる。

■事業者識別番号付与を設定する

携帯電話に発信するときに、あらかじめ設定された事業者識別番号を自動付与するかどうかを選択する。



■外線着信について設定する



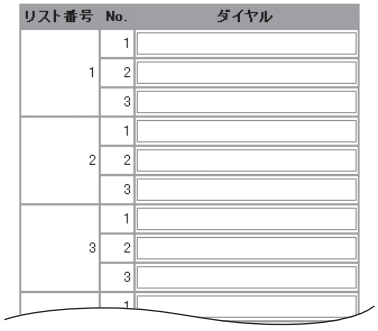
■保留について設定する

保留メロディをドロップダウンリストから選択する。

保留警報音を鳴らすまでの時間を指定する。秒数を10で割った数値（0～255）を入力する。

■転送先リストを登録する

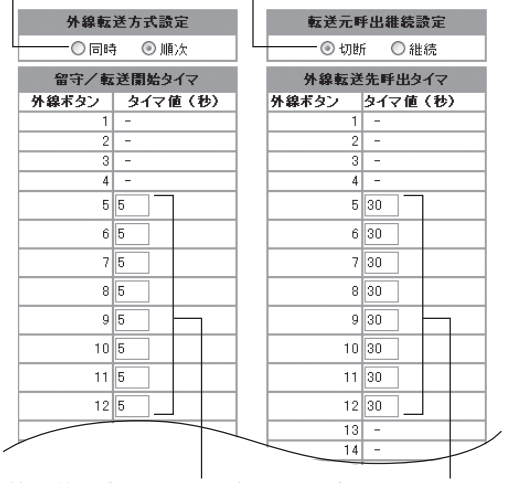
登録したいリスト番号（1～20）の「ダイヤル」欄に、電話番号（最大3件）を入力する。



■外線転送について設定する

転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらで行うかを選択する。

転送元の呼び出しを外線転送後も継続するかどうかについて、「切断」（継続しない）または「継続」を選択する。



着信後、転送または留守番電話を開始するまでのタイミングを、外線ボタンごとに秒数（0～255）で設定する。

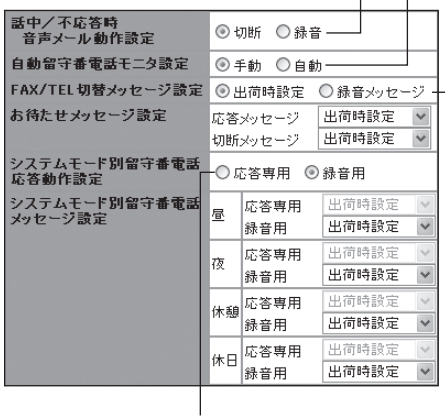
転送リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を、外線ボタンごとに秒数（6～100）で設定する。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■留守／音声メールについて設定する

呼び出された内線電話機が一定時間応答しなかった場合やお話し中だった場合の動作について、「切断」（電話を切る）または「録音」（音声メールでメッセージを録音する）を選択する。

留守番電話で応答したときに相手の声をモニタする機能について、「自動」（自動でスピーカ受話状態に切り替える）または「手動」を選択する。



FAX/TEL切替のときに使用するメッセージを、「出荷時設定」（内蔵メッセージ）または「録音メッセージ」から選択する。

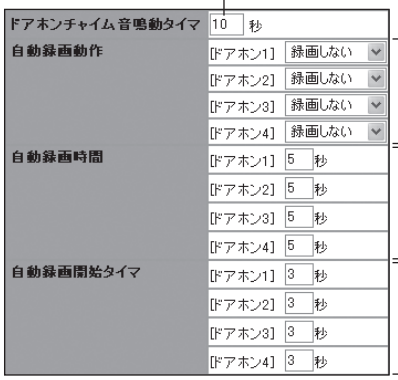
お待たせメッセージ（応答メッセージ）と、一定時間が経過したあとで流す切断メッセージを、「出荷時設定」（内蔵メッセージ）または「録音メッセージ」から選択する。

応答専用および録音用の各システム留守メッセージを、システムモードごとに「出荷時設定」（内蔵メッセージ）または「録音メッセージ」から選択する。

システム留守番電話で応答したときの動作について、「応答専用」（メッセージを録音しない）または「録音用」を選択する。

■ドアホンについて設定する

ドアホンのチャイム音が鳴動する秒数（1 ～ 255）を入力する。



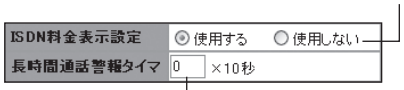
カメラドアホンのボタンが押されたときに、自動録画を行うかどうかを選択する。

映像の自動録画について、録画する秒数（1 ～ 10）をカメラドアホンごとに設定する。

映像の自動録画について、カメラドアホンのボタンが押されてから何秒後（0 ～ 5）に録画を開始するかをカメラドアホンごとに設定する。

■通話料金／長時間通話警報について設定する

INSネット64で電話をかけたときに料金を表示する機能を使用するかどうかを選択する。



通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を指定する。秒数を10で割った数値（0～255）を入力する。

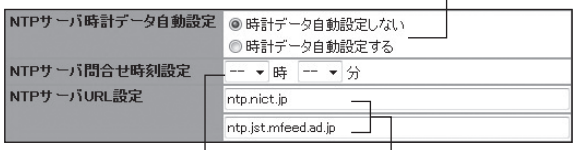
■日付・時刻を設定する

日付（西暦）を設定する。

時刻を設定する。

■NTPサーバを使って日付・時刻を自動設定する

NTPサーバを使って、日付・時刻を自動的に設定するかどうかを選択する。



NTPサーバへの問合せ時刻を設定する。

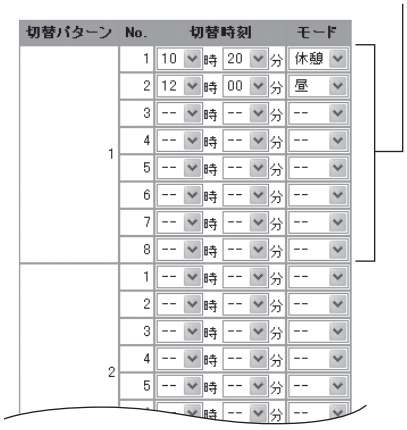
使用するNTPサーバのURLを設定する。
（お買い求め時の設定）
NTPサーバ1：ntp.nict.jp
NTPサーバ2：ntp.jst.mfeed.ad.jp

■システムモードを切り替える

システムモードを、「自動」または「昼」／「夜」／「休憩」／「休日」に切り替える。

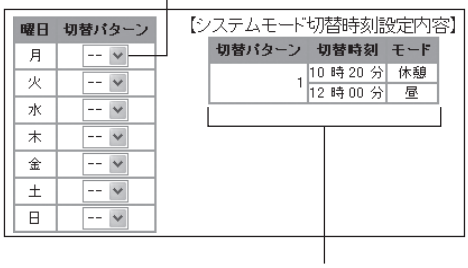
■システムモード切り替え時刻を設定する

システムモード切替時刻とモードをセットにした切替パターン（最大8つ）を設定する。各切替パターンにつき最大8回の切替を設定できる。「切替時刻」を24時間制で設定し、「モード」で「昼」／「夜」／「休憩」／「休日」を選択する。



■曜日ごとのシステムモードテーブルを設定する

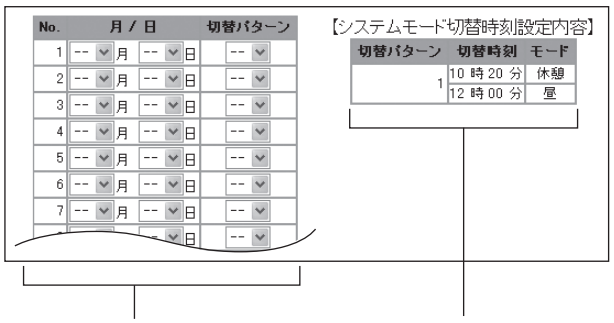
ドロップダウンリストから、システムモードの切替パターンの番号を選択する。



設定されている切替パターンの内容が表示され、内容を確認できる。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■特定の日のシステムモードテーブルを設定する



通常の曜日と異なる切替パターンを適用する特定日（最大50日）を登録できる。日付を設定し、「切替パターン」ドロップダウンリストから、システムモードの切替パターンの番号を選択する。

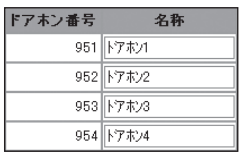
設定されている切替パターンの内容が表示され、内容を確認できる。

■内線電話機の名称を設定する

内線電話機の名称（全角最大8文字、半角16文字）を入力する。

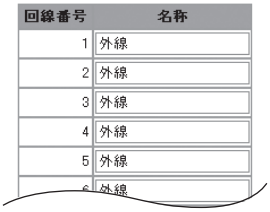
■ドアホンの名称を設定する

ドアホンの名称（全角最大8文字、半角16文字）を入力する。



■回線の名称を設定する

回線の名称(全角最大10文字、半角20文字)を入力する。

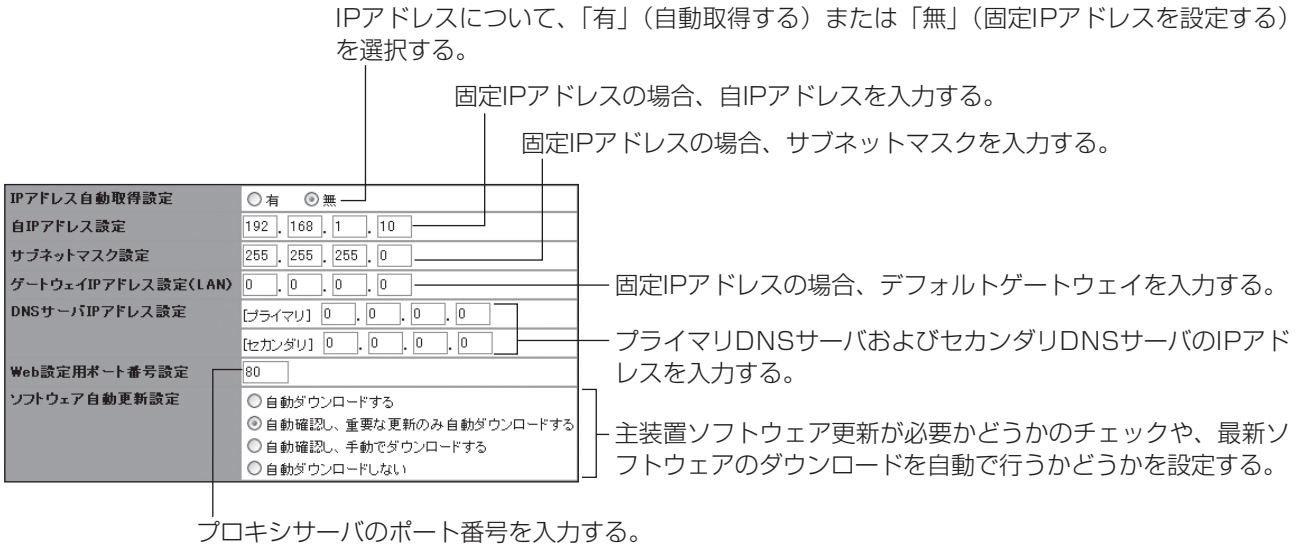


■外付けカメラの名称を設定する

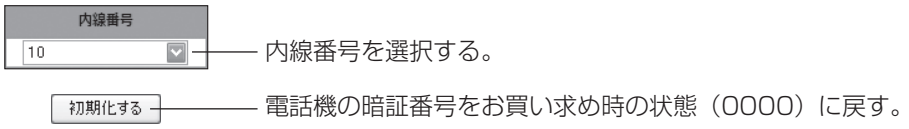
外付けカメラの名称（全角最大8文字、半角16文字）を入入力する。

■ ネットワーク設定とソフトウェアの自動更新設定をする

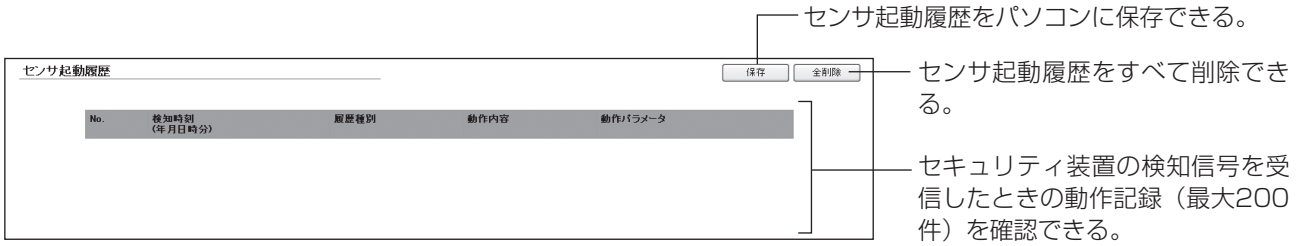
この画面でデータを編集した場合は、［設定］ボタンをクリックしたあと、主装置の電源を入れ直してください。



■ 電話機暗証番号を初期化する

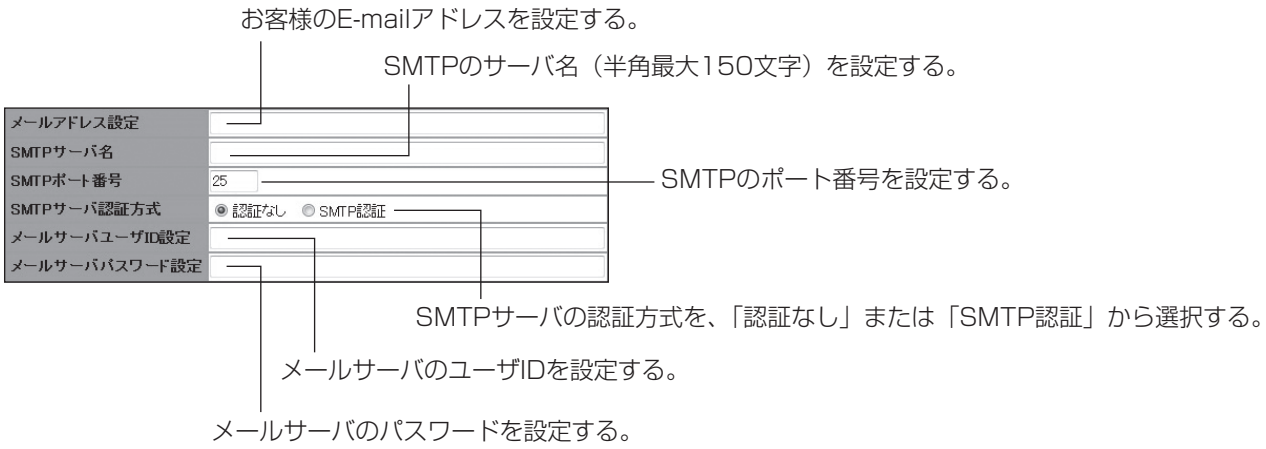


■ センサ起動履歴を確認する

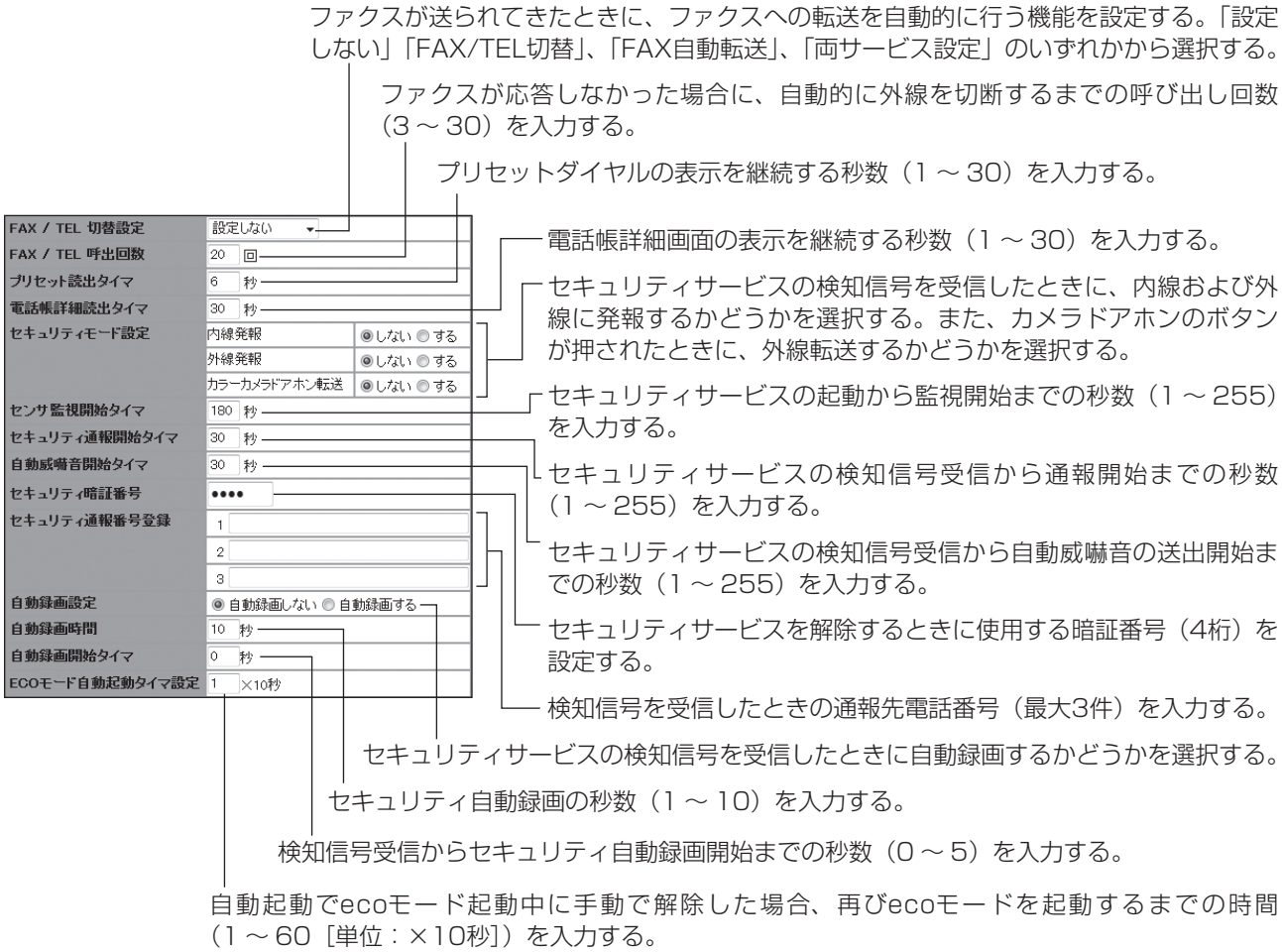


パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■アラーム情報通知機能のE-mail設定をする



■その他の設定をする



システム設定によりご利用になれる機能

ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMの機能には、お客さまが登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」すると、次の機能をご利用になることができます。
「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

発　　信

■外線への発信を規制する

内線電話機ごとに外線への発信を規制することができます。ただし、発信を規制する個々の電話番号の設定は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機であれば、メニュー操作でも行えます。

■ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）

回線ボタンを「ダイレクトボタン」に設定することにより、特定の内線電話機をダイレクトボタン１つで呼び出すことができます。たとえば、外線通話中にダイレクトボタンを押すと、通話の保留と特定の内線電話機の呼び出しが一度に行えます。また、ダイレクトボタンのランプの点灯により、相手の内線電話機が使用中であることを確認できます。

お話し中	点灯
着信中	点灯
待機状態	消灯

■中継発信できる相手先を限定する

「システム設定」により、中継発信（☛P6-27）できる相手先を共通電話帳に登録されている電話番号のみに限定することができます。
さらにメニュー設定の中継発信規制設定（☛P4-20）を利用して、限定する相手先を電話帳グループごとに分けることができます。

■外線と内線電話機をグループ分けする（テナント）

外線と内線電話機を組み合わせてグループに分け、グループに割り当てられた外線以外は使用できないように設定することができます。部門別に外線を割り当ててコスト管理をしたり、特定部門に電話を集中させたくないときなどに便利です。
外からかかってきた電話を他のグループに保留転送する機能も設定できます。グループ間の内線通話は可能です。

■携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。
事業者識別番号は、中継発信（☛P6-27）のときも自動付与されます。また、転送電話（☛P3-14）、セキュリティサービスの自動通報（☛P5-17）、音声メール利用時の着信通知（☛P3-61）などで携帯電話に自動的に発信するときにも自動付与されます。
ご利用はすべての携帯電話会社（着信側）に有効で、PHSへの通話は対象外です。また一部ご利用になれない携帯電話番号があります。
事業者識別番号を自動付与するかどうかの切り替えは、メニュー設定の事業者識別番号付与でも行えます。（☛P4-21）
一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号自動付与解除用の特番（0わをん 0わをん 0わをん 0わをん[　　]）を押します。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

システム設定によりご利用になれる機能

着信・応答

■着信音がすぐに鳴る内線電話機を設定する（着信即時表示）

外から電話がかかってきたとき、すぐに着信音が鳴るかどうかを内線電話機ごとに設定することができます。

■電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらを優先するか設定する（着信音優先順位）

複数の着信があったとき、外線、内線のどちらの着信を優先するかを設定できます。

保留・転送

■グループ内のどの内線電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる（パーク保留）

あらかじめ複数の内線電話機に「パーク保留ボタン」を設定しておくと、同じパーク保留グループのどの電話機でも、パーク保留ボタンを押して、保留中の内線／外線に再応答することができます。

■保留メロディを電話機のスピーカから鳴らす（保留音受話）

相手の方に流す保留メロディを、保留操作を行った電話機のスピーカからも流すことができます。電話機を特定して設定できます。

セキュリティサービス

■内線電話機を通報先に設定する（セキュリティ通報内線呼出先TEN）

警戒センサが侵入者を検知したときに自動的に通報する内線電話機を設定します。

■外線自動発報の方式を設定する（セキュリティ通報外線呼出方式）

外線の通報先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リスト登録順に行うかを設定します。

■威嚇音を送出する内線電話機を設定する（センサ検出時自動威嚇音送出TEN）

警戒センサが侵入者を検知したときに、自動的に威嚇音を送出する内線電話機を設定します。

その他

■特定の内線電話機を「システム管理者」に設定する（システム管理者電話機設定）

システム管理メニューを操作できる内線電話機を設定します。
「システム管理者」に設定した内線電話機の内線番号を、右の表に記入してお使いください。

内線番号	
システム	
フレックスホンサービス	

■バックアップ電池の劣化警告を表示する内線電話機を設定する（電池劣化警告表示KT設定）

バックアップ電池の交換時期（☛P6-19）が近づいたときに、電池交換を行うまで警告表示が消えないようにする内線電話機を設定します。
設定した内線電話機の内線番号を、右の表に記入してお使いください。

内線番号

■省電力モードを設定する（省電力モード設定、省電力モード開始タイマ設定、省電力モード電話機設定）

一定時間待機状態が続いた電話機のディスプレイやランプの表示を消す省電力モードを設定できます。「省電力モード設定」で省電力モードを起動するシステムモードを選択し、省電力モードに切り替わる時間を「省電力モード開始タイマ設定」で設定します。「省電力モード電話機設定」でこの機能を利用する電話機を指定します。

■FAX／電話を自動的に切り替える機能を設定する（F/T切替送出音源設定、F/T切替サービス外線設定、F/T切替ダイヤルイン設定）

FAX／電話の切り替えや、FAX自動転送が行えるように設定できます。
FAX／電話の切り替えやFAX自動転送は、回線ごと、またはダイヤルイン番号ごとに提供できます。回線ごとに行う場合は「F/T切替サービス外線設定」で、ダイヤルイン番号ごとに行う場合は「F/T切替ダイヤルイン設定」で設定します。
「F/T切替送出音源設定」では、FAX／電話切り替え応答時に流す信号音または音声ガイダンスを選択できます。

お知らせ

●FAX／電話切替サービスに関する上記の機能をtypeMでご利用になる場合は、オプションの追装が必要です。

■システムモードごとに発番号ダイヤルインを設定する（発番号ダイヤルイン）

かけてきた方の電話番号によって着信先や応答方法を変える「発番号ダイヤルイン」を利用する回線を設定します。設定はシステムモード別に行います。発番号ダイヤルインの着信先は電話帳のグループごとに設定しておく必要があります。

■ファクスの受信が確認できる内線電話機を設定する（FAX受信表示）

ファクスを受信したことをディスプレイに表示させる内線電話機を設定できます。機能、クリア の順に押すと、FAX受信表示を消すことができます。

■内線電話機にPB信号を送る（内線PB信号送出）

録音電話機などに内線電話をかけ、プッシュ信号を送ることによりリモコン操作することができます。

主装置ソフトウェアを更新するには

ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMのソフトウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして更新する機能を利用できます。このサービスをご利用になるには、オプションとシステム設定が必要です。

最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする

手動でチェックするには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）で次のように操作します。

1 機能 を押す。

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
機能
```

2 最新バージョン問合せの特番（✱ 1 0わをん [　　]）を押す。

チェックが行われたあと、結果により「重要最新主装置ソフト有」または「最新主装置ソフト有」が表示されます。

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
機能
```

↓

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
最新主装置ｿﾌﾄ有
```

または

```
4月19日(金) 午後 3:05
10
重要最新主装置ｿﾌﾄ有
```

自動ダウンロードするように設定されている場合、自動ダウンロードの時刻になるとダウンロードが開始されます。「主装置ソフトダウンロード済」が表示されたら、主装置の電源を入れ直してください。

自動ダウンロードしないように設定されている場合は、必要に応じて「最新ソフトウェアを手動でダウンロードする」（☛P4-61）の操作を行ってください。

ワンポイント

●チェック結果やダウンロード失敗の表示をクリアするには

チェックの結果や「ソフトダウンロード失敗」などのお知らせは、「システム管理者」に設定されている内線電話機すべてに表示されます。表示を消すには、機能、クリアの順に押します。ただし、「主装置ソフトダウンロード中」および「主装置ソフトダウンロード済」の表示を手動で消すことはできません。

お知らせ

- 最新ソフトウェアの有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。（☛P4-33、P4-39）
- ソフトウェアのダウンロード中には、CTIサービスの操作を行わないでください。

最新ソフトウェアを手動でダウンロードする

手動または自動でチェックを行った結果、ディスプレイに「重要最新主装置ソフト有」または「最新主装置ソフト有」と表示されたときは、ソフトウェアのダウンロードおよび更新ができます。「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）で次のように操作します。

1 機能 を押す。

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
機能
```

2 ソフトウェアダウンロード実行の特番（＊ 1 1 [　　]）を押す。

ダウンロードが実行されます。

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
機能
```

↓

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
主装置ｿﾌﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中
電源ｵﾌしないで下さい
```

↓

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10
主装置ｿﾌﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ済
電源ｵﾌ/ｵﾝして下さい
```

3 主装置の電源を一度切ってから入れ直す。

ソフトウェアの更新が完了します。

ワンポイント

●ソフトウェアについて

主装置ソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

- 最新ソフトウェア　：機能・性能を向上した主装置ソフトウェア
- 重要最新ソフトウェア：特に重要な機能・性能を向上した主装置ソフトウェア

お知らせ

●最新ソフトウェアの有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。（☛P4-33、P4-39）

●ソフトウェアのダウンロード中は、主装置の電源を切らないでください。

●重要最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

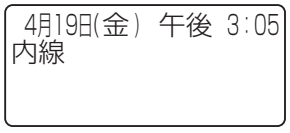
遠隔保守を行うには

保守センタからのパソコン操作で、電話回線を通じてネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMの遠隔保守を行うことができます。保守センタから遠隔保守のための電話がかかってきたときは、次のように操作してください。リモート接続後、自動的にシステムデータのアップロードやダウンロードが行われます。

1 **保守センタからの電話を受けたら、保留 を押す。**

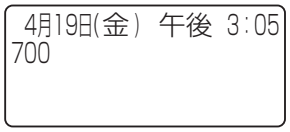
「ツツツ…」という音を確認してください。

外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



2 **遠隔保守の特番（7 0 0 [ ]）を押す。**

「ピピピ」という音を確認してください。



3 **決□定 を押す。**

「ピーピー」という確認音が聞こえ、遠隔保守を開始します。

外線ランプが赤で点灯します。

4 **ハンドセットを置く。**

5 **遠隔保守が終わると、自動的に電話が切れる。**

お知らせ

●ダイヤルインやi・ナンバーで直接遠隔保守を行う場合は、操作の必要はありません。

5 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置／
オプションユニット 5-2

ドアホンを利用するには 5-9

カメラドアホンを利用するには 5-11

セキュリティサービスを利用するには 5-16

外付けカメラを利用するには 5-23

外部スピーカで一斉放送するには 5-25

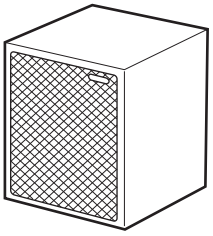
専用線をご利用になるには 5-26

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMには、オプション装置／オプションユニットとして次のものが用意されています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。

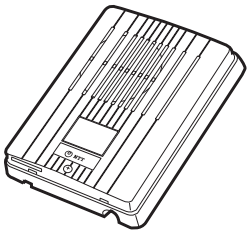
●構内放送用設備

構内放送用設備を主装置に接続すると、「システム設定」した内線電話機から構内放送ができます。



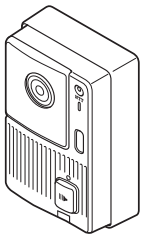
○ドアホン

ドアホンを主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えたり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。



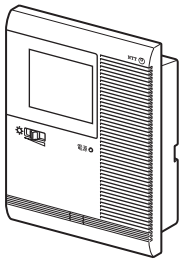
○カラーカメラドアホン

設置したカラーカメラドアホンの周囲の映像をアドバンスト電話機、ソフトフォン、またはカラーカメラドアホン用モニタに映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは4台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホン用モニタや映像アダプタが必要です。



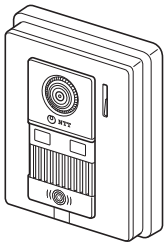
○カラーカメラドアホン用モニタ

カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。



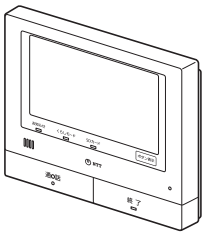
○カラーカメラドアホン-PV

設置したカラーカメラドアホン-PVの周囲の映像をカラーカメラドアホンモニタ-PVに映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。
カラーカメラドアホン-PVは4台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホンモニタ-PVが必要です。



○カラーカメラドアホンモニタ-PV

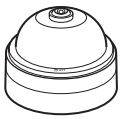
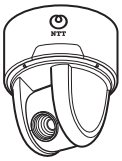
カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながらお話しをすることができます。

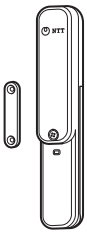


○セキュリティ装置

■セキュリティ受信機
・センサ受信機
・画像IP制御装置
■外付けカメラ
・360度カメラ
・ネットワークカメラ
■警戒センサ
・ドーム型送信機
・ドア窓送信機

警戒センサが侵入者を検知したときに、外出先などへ自動的に通報できます。詳細はサービス取扱所へご相談ください。



○入退室管理装置

主装置にICカードリーダを備えた入退室管理装置を接続することにより、入退室に合わせて次の機能のON／OFFや切り替えができます。
・留守番電話
・不在着信転送
・転送電話
・サービスロック
・システムモード切替
詳しくは「SecureFrontia X 管理プログラム取扱説明書」を参照してください。
なお、接続可能な入退室管理装置については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

●電気錠

電気錠操作盤、電気錠とドアホンを接続すると、電気錠の施錠／解錠ができます。

◎外部アンプスピーカ

アンプ内蔵スピーカ、または、アンプとスピーカを接続すると、外線の着信音を外部のスピーカで聞くことができます。電話機のある場所から離れることが多い場合、周囲に騒音がある場合などに便利です。また、録音ジャックユニットへ接続すると、外線・内線の着信音などを拡声することができます。外部アンプスピーカは2台まで接続できます。

◎外部音源

外部の保留音源装置、トーキ装置、音源を接続できます。接続した音源は、「システム設定」により選択します。外部の保留音源を主装置に接続すると、お好みのメロディやアナウンスを保留音や着信音として使用することができます。

ワンポイント

●オプションについて
○：当社で用意しています。
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
●：お客さまでご用意していただきます。

お知らせ

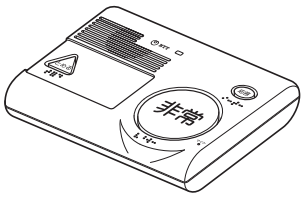
●お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

○地震速報対応装置

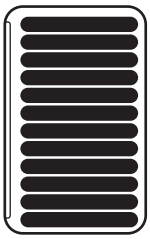
■あんしんSV

地震を検知したときに、各内線電話機へ自動的に通報できます。詳細はサービス取扱所へご相談ください。



○外線表示盤

外線表示盤を接続すると、外線使用状況を表示することができます。



ランプ表示は次のようになります。
外線着信中　　：点滅
外線とお話し中：点灯
外線を保留中　：遅い点滅

○録音ジャックユニット

内線電話機に録音ジャックユニットを接続すると、次のような装置を接続することができます。

- **通話録音装置やテープレコーダなどの録音装置を接続**
  電話でのお話しを録音することができます。重要な用件を録音するときや、メモを必要とするときに便利です。
- **外部アンプスピーカなどの放送装置を接続**
  アンプ内蔵スピーカ、またはアンプとスピーカを電話機に接続すると、外線・内線の着信音や音声呼出の声を外部スピーカで聞くことができます。電話機がある場所から離れることが多い場合や、周囲に騒音がある場合などに便利です。

○ヘッドセット

内線電話機にヘッドセットを接続すると、ハンドセットを取りあげなくてもお話しすることができます。詳しくはヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

○IP電話会議装置　MEETINGBOX

内線電話機として接続することにより、多地点による会議通話ができます。詳しくはIP電話会議装置MEETINGBOXの取扱説明書を参照してください。

ワンポイント

●**オプションについて**

○：当社で用意しています。
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
●：お客さまでご用意していただきます。

お知らせ

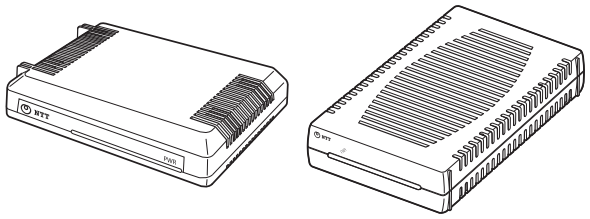
●お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

◎単体電話機

現在お使いの電話機を接続することができます。種類によっては接続できないものもありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。接続した単体電話機の機能・操作については、単体電話機の取扱説明書を参照してください。(☛P3-56)

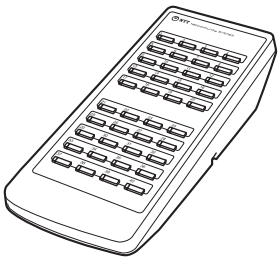
○単体電話機アダプタ
○IP単体電話機アダプタ

単体電話機アダプタ／IP単体電話機アダプタを接続すると、現在お使いの単体電話機やファクスを内線電話機としてお使いいただけます。詳しくは単体電話機アダプタ／IP単体電話機アダプタの取扱説明書を参照してください。



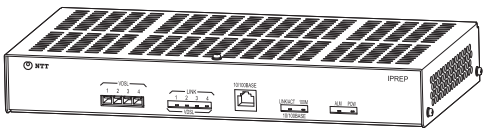
○コンソール
○IPコンソール

内線電話機にコンソール／IPコンソールを接続すると、コンソール／IPコンソールのボタンを内線電話機のワンタッチボタンまたはサービスボタンとして使用することができます。(☛P1-10)



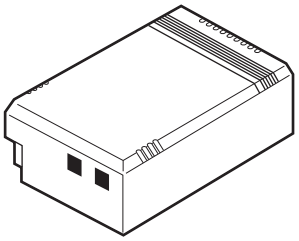
○IP内線延長装置

IP内線延長装置を接続すると、内線を延長して広い範囲で内線電話機を使うことができます。



○内線延長装置

内線延長装置を接続すると、内線を延長して広い範囲で内線電話機を使うことができます。



◎ファクス接続

本装置とビジー表示機能のあるファクスを共用されている場合は、ファクス使用中表示装置を接続すると、ファクス使用中は内線電話機の外線ランプが赤く点灯します。
ファクスを内線電話機として接続すると、ファクス受信を電話機のディスプレイに表示できます。詳しくは当社のサービス取扱所へご相談ください。

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

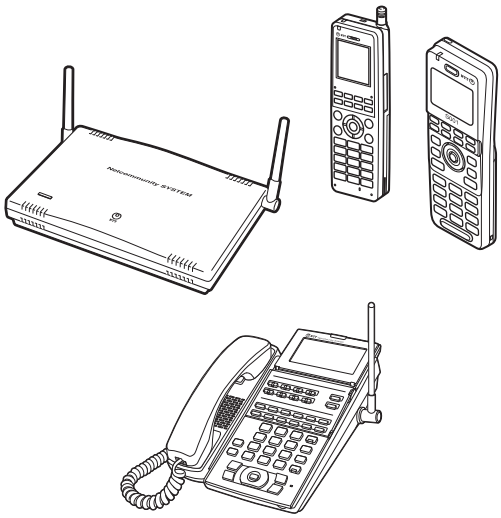
○ディジタルシステムコードレス接続装置

○ディジタルシステムコードレス電話機

○ディジタルシステムKT形コードレス電話機

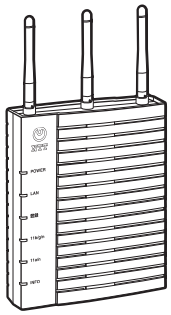
○シングルラインコードレス電話機

ディジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、ディジタルシステムコードレス電話機、ディジタルシステムKT形コードレス電話機、シングルラインコードレス電話機を収容することができます。詳しくは各取扱説明書を参照してください。



○ワイヤレスアクセスポイント

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、無線LAN対応FOMAをSIP端末として内線収容することができます。また、IPコードレス電話機、ビジネスフォンαクライアントを内線電話機として収容することができます。詳しくはワイヤレスアクセスポイントや携帯電話の取扱説明書を参照してください。



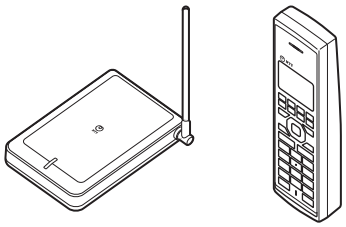
○IPコードレス電話機

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、内線電話機として収容することができます。詳しくはIPコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。

○DECT方式コードレス接続装置

○DECT方式コードレス電話機

DECT方式コードレス接続装置を収容することにより、DECT方式コードレス電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはDECT方式コードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



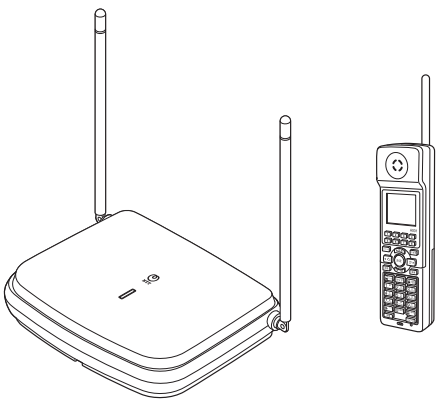
○ビジネスフォンαクライアント

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、内線電話機として収容することができます。
詳しくはビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。

○アナログコードレスホン接続装置

○アナログコードレス電話機

アナログコードレスホン接続装置を収容することにより、アナログコードレス電話機を収容することができます。詳しくは各取扱説明書を参照してください。

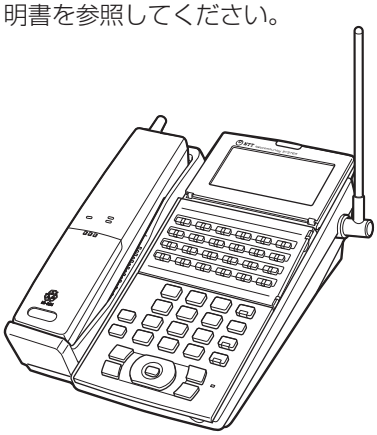


○防水電話機

内線電話機として、防水電話機を増設することができます。防水電話機は、電気機械器具および配線材料の防水試験（JIS C 0920）の保護等級4（防まつ形）の規格に適合した電話機です。水の飛まつを受けてもご使用になれます。詳しくは防水電話機の取扱説明書を参照してください。

○カールコードレス電話機

内線電話機として、カールコードレス電話機を増設することができます。ベースセットから半径約80 mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



○録音電話機

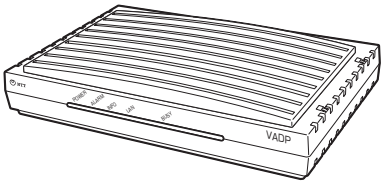
内線電話機として、録音電話機を増設することができます。αNXⅡ標準電話機の機能とともに、ディスプレイを見ながら簡単な操作で留守・録音機能をご利用になれます。詳しくは録音電話機の取扱説明書を参照してください。

○αCTベーシックシステム

主装置に接続されたパソコンにインストールして、パソコンと電話機を一組にしたCTIサービスを可能とするアプリケーション用品です。

○映像アダプタ

映像アダプタを接続すると、カラーカメラドアホンからの映像や外付けカメラの映像をアドバンスト電話機やソフトフォンに映し出すことができます。詳しくは映像アダプタの取扱説明書を参照してください。



ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。

◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

●：お客さまでご用意していただきます。

お知らせ

●お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

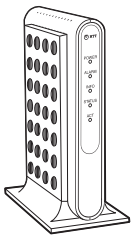
ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

○WEBアドレス帳

電話帳をWeb上から操作することができるアプリケーションです。LANネットワーク上のパソコンにインストールします。
WEBアドレス帳で内線電話機ユーザのプレゼンス状態を確認することができます。また、WEBアドレス帳に表示された相手をクリックし自席の内線電話機からの発信やワンタッチコールバック発信を行うことができます。さらに、主装置の電話帳のダウンロード、アップロード、発着信履歴の取得を行うことができます。
外出時にはスマートフォンからWEBアドレス帳を使用することができます。詳しくはWEBアドレス帳の取扱説明書を参照してください。

○WEBアドレス帳ボックス

電話帳をWeb上から操作することができる装置です。LANネットワーク上にサーバとして接続します。
WEBアドレス帳で内線電話機ユーザのプレゼンス状態を確認することができます。また、WEBアドレス帳に表示された相手をクリックし自席の内線電話機からの発信やワンタッチコールバック発信を行うことができます。さらに、主装置の電話帳のダウンロード、アップロード、発着信履歴の取得を行うことができます。
外出時にはスマートフォンからWEBアドレス帳を使用することができます。詳しくはWEBアドレス帳ボックスの取扱説明書を参照してください。

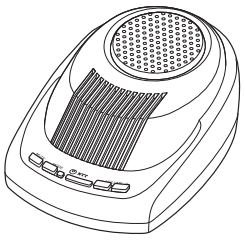


○ソフトフォン

LANネットワーク上のパソコンにインストールすることにより、内線電話機と同等の操作やテレビ電話通話、高音質での通話などがパソコンで行えます。詳しくはソフトフォンの取扱説明書を参照してください。

○ハンズフリー装置

標準電話機等のボタン電話機、またはディジタルシステムコードレス電話機に接続し、ハンズフリーで通話することができます。詳しくはハンズフリー装置の取扱説明書を参照してください。

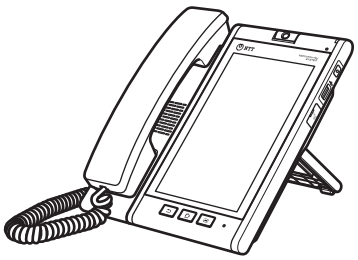


○アドバンスト電話機

LANネットワーク上に、内線電話機として増設できます。標準電話機の機能に加え、テレビ電話通話や高音質での通話、インターネットの閲覧などが可能です。詳しくはアドバンスト電話機の取扱説明書を参照してください。

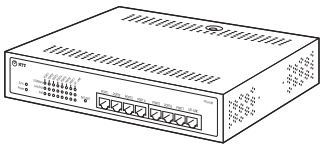
○メディアIP電話機

LANネットワーク上に、内線電話機として増設できます。標準電話機の機能に加え、テレビ電話通話などが可能です。詳しくはメディアIP電話機の取扱説明書を参照してください。



○給電HUB

HUBとしての機能に加え、電源供給するかどうかを使用するポートごとに制御することができます。詳しくは給電HUBの取扱説明書を参照してください。



ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
●：お客さまでご用意していただきます。

お知らせ

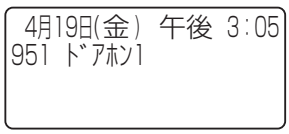
●お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

ドアホンを利用するには

ドアホンを接続しているときは、ドアホンからの呼び出しに応答したり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。

ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴り、内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- チャイム音が鳴る時間は「システム設定」することができます。
  設定時間を過ぎると、チャイム音が鳴りやみ、内線ランプのみ点滅し続けます。ただし、単体電話機、ディジタルシステムコードレス電話機、アナログコードレス電話機では、設定時間を過ぎても鳴り続けます。
- 応答は、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答できません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- 「システム設定」でチャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、「プププ」という確認音でドアホンからの呼び出しをお知らせするようにできます。ただし、単体電話機、シングルラインコードレス電話機では、「プププ」という確認音が鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は「システム設定」で変更できます。
- ドアホンに応答したときの確認音の有無を「システム設定」することができます。
- 単体電話機やシングルラインコードレス電話機が鳴動しているときは、ドアホンから呼び出されません。
- お客さまの構成によっては、ドアホンを2台同時に使用できません。

ドアホンを利用するには

ドアホンの周囲の音を聞く（ドアホンを呼び出す）

1 **内線ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 **ドアホン番号（9 5 1 ～ 9 5 4 [ ]）を押す。**
ドアホンの周囲の音が聞こえます。ドアホン側の方とお話しすることもできます。

4月19日(金) 午後 3:05
951 ﾄﾞｱﾎﾝ1

ドアホン1：9 5 1　ドアホン3：9 5 3
ドアホン2：9 5 2　ドアホン4：9 5 4

3 **聞き終わったら、スピーカボタンを押す。**
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

●チャイム音が鳴らない電話機で応答するには
ハンドセットを取りあげて、ドアホン応答1 ～ 4の特番（# 9 5 1 ～ # 9 5 4 [ ]）を押すと応答できます。

●他グループの電話機で応答するには（代理応答）
内線ボタン、代理応答（統合）の特番（# #[ ]）の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。

●ドアホン／カメラドアホンを複数接続しているときは
1つのドアホンのチャイム音が有効な秒数を変更することができます。設定された秒数が経過しないと、2つ目のドアホンからの呼出音は鳴りません。

●電気錠を接続しているときは
次の手順で施錠／解錠することができます。ただし、電気錠操作盤によって操作が異なることもあります。

＜施錠する＞
ドアホンとお話し中に決定ランプが点灯していることを確認し、決/□定 を押します。施錠されると決定ランプが消灯します。

＜解錠する＞
ドアホンとお話し中に決定ランプが消えていることを確認し、決/□定 を押します。解錠されると決定ランプが点灯します。

●ドアホンから呼び出されるときは
単体電話機には、内線着信音で知らされます。

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

カメラドアホンを利用するには

IP

カメラドアホンを接続してご利用になれます。アドバンスト電話機やソフトフォンでは、来訪者の映像を確認してから応答したり、カメラドアホンを使って外の様子を確認したりすることができます。映像を録画し、再生することもできます。（※本書では、アドバンスト電話機の操作方法を説明します。ソフトフォンでの操作についてはソフトフォンの取扱説明書を参照してください。）
また、カメラドアホン着信をFOMAに転送し、テレビ電話で応答することができます（カラーカメラドアホン転送）。

映像を録画してあとから見直すこともできます。呼び出しに応答しなかったときや、外出中の来訪者の映像を自動的に保存することもできます。

カラーカメラドアホン転送を行うには、テレビ電話ができるフレッツ 光ネクストの契約が必要です。
また、あらかじめ転送の設定や、転送先のFOMAの電話番号の登録などをしておく必要があります。（☛P4-30、P4-31）

ワンポイント

○**内線電話機で映像を確認するには**
映像に対応した内線電話機と映像アダプタ（オプション）が必要です。

●**チャイム音が鳴らない電話機で応答するには**
ハンドセットを取りあげて、ドアホン応答1 ～ 4の特番（[#記号] [9わ WXYZ] [5な JKL] [1あ] ～ [#記号] [9わ WXYZ] [5な JKL] [4た GHI] [　　]）を押すと応答できます。

●**他グループの電話機で応答するには**（☛P5-10）

●**ドアホン／カメラドアホンを複数接続しているときは**（☛P5-10）

お知らせ

●カメラドアホンを複数台接続する場合、カラーカメラドアホンとカラーカメラドアホン-PVを混在させての接続はできません。

●カラーカメラドアホン-PVをお使いの場合は、内線電話機で映像を確認することはできません。

カメラドアホンを利用するには

IP

カメラドアホンからの呼び出しに応答する

アドバンスト電話機では、音声のみのドアホンからの呼び出し時と同様に操作できます。

1 カメラドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴って内線ランプが点滅し、画面に映像が映る。

2 ハンドセットを取りあげてお話しする。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

待機中画面に戻ります。

ワンポイント

○内線電話機で映像を確認するには

映像に対応した内線電話機と映像アダプタ（オプション）が必要です。

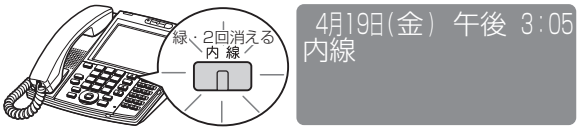
お知らせ

- ●標準電話機など、映像に対応していない内線電話機でも、音声のみで応答できます。
- ●カラーカメラドアホン-PVをお使いの場合は、内線電話機で映像を確認することはできません。
- ●ご使用のカメラドアホンによっては、夜間などカメラドアホン側が暗いときは白黒映像になります。
- ●お使いのカメラドアホンによって、カメラドアホンと通話できる時間は異なります。
  - • カラーカメラドアホンの場合は約8分で切れます。
  - • カラーカメラドアホン-PVの場合は約1分30秒で切れます。
- ●ドアホンまたはカメラドアホンとの通話中は、他の音声ドアホンまたはカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。
- ●同一映像アダプタで他の機能が動作していた場合は、カメラドアホンからの呼び出しができません。
- ●応答は、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答できません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- ●「システム設定」でチャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、「プププ」という確認音でカメラドアホンからの呼び出しをお知らせするようにできます。ただし、単体電話機、シングルラインコードレス電話機では、「プププ」という確認音が鳴りません。
- ●チャイム音が鳴る電話機は「システム設定」で変更できます。
- ●カメラドアホンに応答したときの確認音の有無を「システム設定」することができます。
- ●単体電話機やシングルラインコードレス電話機が鳴動しているときは、ドアホンから呼び出されません。

外の様子を確認する
（カメラドアホンを呼び出す）

1 **内線ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。



2 **ドアホン番号（9 5 1 ～ 9 5 4 [　　]）を押す。**

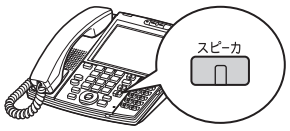
カメラドアホンの周囲の映像が映り、音が聞こえます。ハンドセットを取りあげると、カメラドアホン側の方とお話しすることもできます。

ドアホン1：9 5 1
ドアホン2：9 5 2
ドアホン3：9 5 3
ドアホン4：9 5 4

3 **確認が終わったら、スピーカボタンを押す。**

または、ハンドセットを置きます。

待機中画面に戻ります。



ワンポイント

○内線電話機で映像を確認するには

映像に対応した内線電話機と映像アダプタ（オプション）が必要です。

お知らせ

- ●標準電話機など、映像に対応していない内線電話機でも、同様に操作することにより音声のみ確認できます。
- ●カラーカメラドアホン-PVをお使いの場合は、内線電話機で映像を確認することはできません。
- ●お使いのカメラドアホンによって、カメラドアホンと通話できる時間は異なります。
  - カラーカメラドアホンの場合は約8分で切れます。
  - カラーカメラドアホン-PVの場合は約1分30秒で切れます。
- ●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- ●同一映像アダプタで他の機能が動作していた場合は、カメラドアホンを呼び出せません。

映像を録画する

カメラドアホンでお話し中の相手の映像や、確認中の外の様子を録画できます。

※この機能をご利用になるには、映像アダプタ（オプション）が必要です。

1 **カメラドアホン通話中に 1 を押す。**

「ピーッピーッ」という確認音が鳴り、録画が開始されます。

2 **録画を手動で終了するときは、3 を押す。**

「ピーッピーッ」という確認音が鳴り、録画が停止します。

手動で操作しなくても、通話を終了するか録画時間がいっぱいになると、自動的に録画が終了します。

ワンポイント

●「ピピピピピピ」という音がしたときは

無効な操作を行ったことを示します。録画中に 1 （録画）を押したり、録画をしていないときに 3 （録画停止）を押したりしたことをお知らせする音です。

●来客の映像を自動録画するには

カメラドアホンのボタンが押されると、自動的に映像の録画が開始されるように設定することができます。録画時間の長さや、録画開始のタイミングも設定できます。（☛P4-29）

カメラドアホンを利用するには

IP

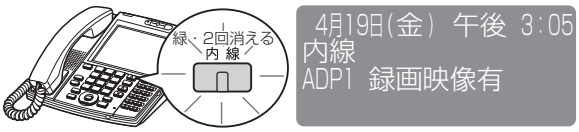
映像を再生／削除／保護する

映像アダプタに保存されている映像を再生できます。映像を削除したり、削除できないように保護を設定したりすることもできます。

※この機能をご利用になるには、映像アダプタ（オプション）が必要です。

1 **ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。



2 **映像再生用の特番（☛ワンポイント）をダイヤルボタンで押す。**

再生メニューが表示されます。

3 **1 ～ 4 を押して再生対象を指定する。**

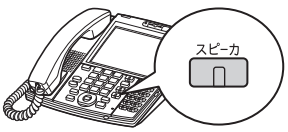
手順2の画面に戻るときは 0 を押します。

4 **1 または 2 を押して再生対象を指定する。**

映像が再生されます。必要に応じて以下の操作番号をダイヤルボタンで押します。

1つ前の映像を再生する	: 1
次の映像を再生する	: 3
再生中の映像を保護／保護解除する	: 5
再生中の映像を削除する	: ＊

5 **操作が終わったら、スピーカボタンを押す。**



ワンポイント

●映像再生用の特番は

再生用の特番は、再生する録画映像および再生サイズ（QCIF：小／QVGA：大）によって異なります。

映　像	再生サイズ	特　番
映像アダプタ1	QCIF	9 7 1 1 [　]
	QVGA	9 7 1 2 [　]
映像アダプタ2	QCIF	9 7 2 1 [　]
	QVGA	9 7 2 2 [　]

●映像アダプタの状態表示について

映像アダプタに保存されている映像があるときや、メモリ容量が不足しているときに、特定の内線電話機に映像アダプタの番号（「ADP1」や「ADP1/2」など）および「録画映像有」や「メモリ容量不足」などを表示させることができます。これらを表示させる内線電話機は、「システム設定」により設定できます。

●映像アダプタの状態表示を消すには

状態表示は、映像を再生したり削除したりしても消えません。表示を消すには、待機中に 機能、クリア の順に押します。この操作により、メモリ容量不足などの状態が解消されていなくても、その内線電話機での表示が一時的に消えます。

お知らせ

- 映像再生中は、音声がスピーカから聞こえます。
- 同一の映像アダプタで他の機能が動作している場合、映像の再生や削除、保護の操作は行えません。

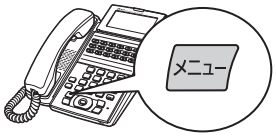
カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで応答する

カラーカメラドアホン転送を設定すると、カメラドアホンのボタンが押されたときに、「セキュリティ通報番号登録」（☛P4-34、P5-18）に登録されている通報先にテレビ電話が発信されます。

※この機能をご利用になるには、映像アダプタ（オプション）が必要です。

■カラーカメラドアホン転送を設定する<システム一括設定>

1 メニュー を押す。



1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決□定 を押す。

または 2 を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「9：その他」を選択し、決□定 を押す。

または 9 を押します。

1:ｿﾌﾄｳｪｱ自動更新設定
2:ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ設定
3:ｾｷｭﾘﾃｨ関連ﾀｲﾏ設定
4:ｾｷｭﾘﾃｨ通報番号登録

4 上下ボタンで「2：セキュリティモード設定」を選択し、決□定 を押す。

または 2 を押します。

ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ設定
1:ｾｷｭﾘﾃｨ内線発報
2:ｾｷｭﾘﾃｨ外線発報
3:ｶﾗｰｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝ転送

5 上下ボタンで「3：カラーカメラドアホン転送」を選択し、決□定 を押す。

または 3 を押します。

ｶﾗｰｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝ転送
0:しない
1:する

6 上下ボタンで「1：する」を選択し、決□定 を押す。

または 1 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、設定が完了します。

■カメラドアホン転送にFOMAで応答する

カメラドアホンの映像を確認したあと、ボタン操作を行うことにより、通話できる状態になります。

詳しくは、映像アダプタの取扱説明書を参照してください。

1 カメラドアホンのボタンが押されると、転送先のFOMAにテレビ電話がかかってくる。

2 テレビ電話応答の操作をする。

カメラドアホンの映像が表示されます。こちら側の声は相手に聞こえません。

3 音声ガイダンスに従って 0 を押す。

「ピーッピーッ」という音が聞こえたら、テレビ電話で通話できる状態になります。

4 お話しが終わったら電話を切る。

ワンポイント

●カメラドアホンの映像を確認後、お話しせずに電話を切るには

通常と同じように、電話を切る操作をします。

お知らせ

●カメラドアホンからの呼び出しに応答しなかった場合、ドアホンチャイム音鳴動タイマ（☛P4-29）で設定されている秒数（お買い求め時：10秒）で呼び出しが止まります。

●通話できる状態に切り替えなかった場合は、約60秒で切れます。

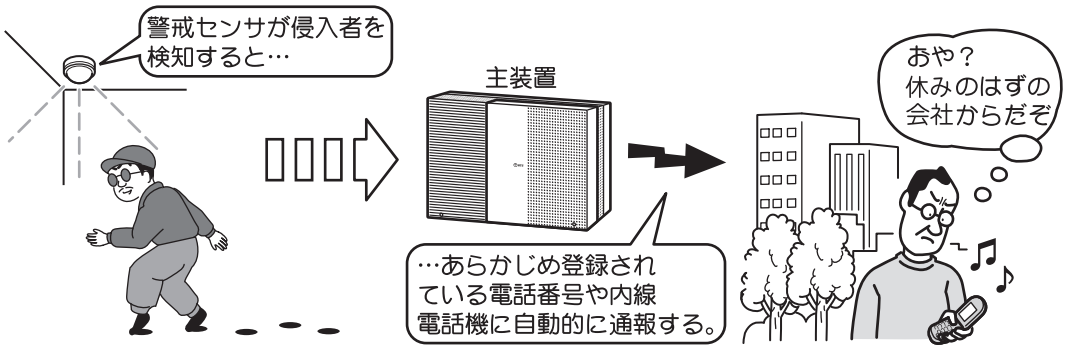
●カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。

●カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。

セキュリティサービスを利用するには

セキュリティ装置（警戒センサ+セキュリティ受信機）を接続することにより、警戒センサが侵入者を検知したときに通報が行われるセキュリティサービスを利用することができます。

セキュリティサービスを起動しておくと、自動的に通報が行われます。



内線電話機からは、自動的に威嚇音を流すことができます。
また、通報に応答した内線や外線からのリモコン操作により、次の操作が行えます。
- 電話機のマイクを使って室内の音をモニタする
- モニタする内線電話機を切り替える
- 手動で威嚇音を流す
- 内線電話機をハンズフリー通話状態にし、スピーカから声を流す

オプションの映像アダプタに外付けカメラを接続してご利用になると、セキュリティ装置の検知信号受信時に、外付けカメラの映像を自動録画するように設定できます。（☛P4-34）

お知らせ

- 本商品のセキュリティサービスは、セキュリティ装置からのセンサ検知信号を受信して電話機から威嚇音を流したり通報先への発信を行ったりする機能であり、災害を防止する機能ではありません。万一、事故・災害等が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 警戒センサの設置状態によっては、侵入者などを検知できない場合があります。いざというときに正しく機能させるために、日常点検や定期点検による設備の維持管理を行ってください。詳しくはセキュリティ装置の取扱説明書を参照してください。
- 通報先の携帯電話がサービスエリア外や電波の弱いところにある場合などは、電話がつながらず、自動通報によるセンサ検知確認やリモコン操作ができないことがあります。
- 外線への通報時に、通報先が応答しなかった場合や応答信号がない場合（フリーダイヤルなど）は、自動通報によるセンサ検知確認やリモコン操作ができません。
- 自動通報の電話を切ってしまった場合、自動通報のやり直しは行われません。応答するときや遠隔音響モニタ中、リモコン操作中に誤って電話を切らないようにご注意ください。
- 外付けカメラモニタ機能および、セキュリティ自動録画機能は鮮明な映像の取得を保証するものではありません。ご要望を満たす画像が得られなかった場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティサービスの動作の流れ

あらかじめ行われている設定や自動通報を受けた方の操作により、次のように動作します。

セキュリティ装置の検知信号を主装置が受信する

↓

内線電話機から自動威嚇音を流す

・自動的に威嚇音を流す内線電話機は、「システム設定」により設定できます。(☛P4-58)
・検知信号を受信してから自動威嚇音の送出を開始するまでの時間（お買い求め時：30秒）を、1 ～ 255秒の間で変更できます。(☛P4-34)

あらかじめ設定されている通報先に自動通報する

・外線の電話番号を最大3か所登録できます。(☛P5-18)
・特定の内線電話機を通報先に設定するときは、「システム設定」が必要です。(☛P4-58)
・通報先は、内線、外線、内線と外線の両方の3通りから選択できます。(☛P5-19)
・外線（最大3か所）への自動通報を同時に行うか、リスト登録順に行うかを、「システム設定」で設定できます。(☛P4-58)
・通報先がお話し中などの場合でも、「システム設定」で設定されたセキュリティ継続タイマの時間中は、繰り返し自動通報が行われます。
・検知信号を受信してから自動通報を開始するまでの時間（お買い求め時:30秒）を、1 ～ 255秒の間で変更できます。(☛P4-34)

↓

通報先の方が自動通報に応答すると、内線電話機周辺のモニタ状態（遠隔音響モニタ）になる

・物音などを確認してください。(☛P5-21)

↓

リモコン操作する（☛P5-21）

・モニタする内線電話機の切り替え
・威嚇音の手動送出
・スピーカで通話できる状態への切り替え（周辺に呼びかけたり、通話したりできる）

ワンポイント

●セキュリティサービスの記録を確認するには

セキュリティ装置の検知信号を受信したときの動作記録（センサ起動履歴）は、最大200件が保存され、Web設定画面で確認したり、削除したりできます。(☛P4-55)

携帯電話への通話サービスを利用するには

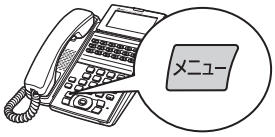
「システム設定」により、外線の通報先として登録されている携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。(☛P4-57)

セキュリティサービスを利用するには

外線の通報先を登録する

外線の通報先電話番号を3か所まで登録できます。

1 メニュー を押す。



1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

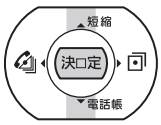
2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決□定 を押す。

または 2 か ABC を押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留

3 上下ボタンで「9：その他」を選択し、決□定 を押す。

または 9 ら WXYZ を押します。



1:ｿﾌﾄｳｪｱ自動更新設定
2:ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ設定
3:ｾｷｭﾘﾃｨ関連ﾀｲﾏ設定
4:ｾｷｭﾘﾃｨ通報番号登録

4 上下ボタンで「4：セキュリティ通報番号登録」を選択し、決□定 を押す。

または 4 た GHI を押します。

ｾｷｭﾘﾃｨ通報番号登録
1:電話番号1
2:電話番号2
3:電話番号3

5 登録先をダイヤルボタン（1 あ ～ 3 さ DEF）で押す。

電話番号入力:1

6 通報先の電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号入力:1
0312345678

電話番号を押し間違えたときは、クリア を押します。

7 決□定 を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、通報先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。

8 クリア を長く押す。

4月19日(金) 午後 3:05
10

ワンポイント

●通報先リストの登録内容を消去するには

手順5で内容を消去する通報先リストの番号をダイヤルボタン（1 あ ～ 3 さ DEF）で押し、クリア を押して電話番号を消去して 決□定 を押します。

●PBX/CES回線に接続されているときは

相手先の電話番号のみを登録してください。外線発信番号は自動的に付けて発信されるので、電話番号の前に付ける必要はありません。

内線の通報先を設定するには（☛P4-58）

通報先を内線／外線に設定するには（セキュリティモード設定）

①メニュー を押す
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決□定 を押す
　または 2 か ABC を押します。
③上下ボタンで「9：その他」を選択し、決□定 を押す
　または 9 ら WXYZ を押します。
④上下ボタンで「2:セキュリティモード設定」を選択し、決□定 を押す
　または 2 か ABC を押します。
⑤1 あ または 2 か ABC を押して内線／外線を選択する
⑥手順8の操作をする

外線への自動発報の方式を設定するには

外線の通報先として登録した電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、1 ～ 3の順に順次発信するかを「システム設定」により設定できます。（☛P4-58）

お知らせ

●通報先には、緊急時に迅速な対応が確実にとれる相手先をお選びください。
●通報先として110番、119番、118番を登録することはできません。
●外線の3つの通報先に同時に発信するためには、3回線以上の契約が必要です。

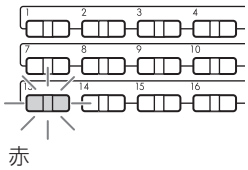
セキュリティサービスを利用するには

セキュリティサービスを起動する

外出時などにセキュリティサービスを起動します。サービスボタンを使ってセキュリティサービスを起動するには、あらかじめサービスボタン（セキュリティ）を設定しておく必要があります。

1 **サービスボタン（セキュリティ）を押す。**

「ピッピッ」という確認音が聞こえます。



赤

180秒後（お買い求め時の設定）に警戒センサによる監視が開始されます。

ワンポイント

●サービス起動から監視開始までの時間を変更するには

セキュリティサービスを起動してから警戒センサでの監視を開始するまでの時間（お買い求め時：180秒）を、1～255秒の間で変更できます。（☛P4-34）

●サービス起動中に検知が行われると

サービスボタン（セキュリティ）ランプが赤くゆっくり点滅し、ディスプレイには「セキュリティ警報」と表示されます。Web設定画面でセンサ起動履歴を確認してください。（☛P4-55）

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10  経理部
ｾｷｭﾘﾃｨ警報
```

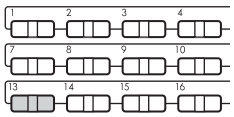
セキュリティサービスを解除すると、ランプが消灯し、ディスプレイの表示も消えます。

▶ *セキュリティサービス機能が動作しないときは？（☛P6-7）*

セキュリティサービスを解除する

セキュリティ暗証番号は、お買い求め時は「2580」に設定されています。

1 **サービスボタン（セキュリティ）を押す。**



```
ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ解除
暗証番号?
```

2 **ダイヤルボタンでセキュリティ暗証番号を押す。**

```
ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ解除
暗証番号?
          ＊＊＊＊
```

3 **決□定 を押す。**

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン（セキュリティ）ランプが消灯します。

ワンポイント

セキュリティ暗証番号を変更するには

「システム設定」で変更します。

●セキュリティサービス動作中に解除を行うと

自動威嚇音の送出や通報が停止します。

お知らせ

●セキュリティサービスの解除には、ここで説明している操作のほかに、セキュリティ装置側での解除操作も必要な場合があります。セキュリティ装置の取扱説明書をご確認ください。

自動通報を受けたときは

内線電話機の場合は、セキュリティ通報専用の着信音が最大音量で鳴るので、自動通報であることがすぐにわかります。自動通報に応答すると、「ピーッピーッ」※という音が聞こえたあと、内線電話機周辺の音をモニタできる状態になります（遠隔音響モニタ）。この状態からリモコン操作を行うことにより、モニタする電話機を切り替えたり、モニタ中の電話機から威嚇音を流したり、スピーカを使ってモニタ中の電話機の周囲に話しかけたりすることができます。

※「ピッピッピッピッピッピッピッ」という音が聞こえた場合は、遠隔音響モニタ状態にはなりますがリモコン操作はできません。しばらくたって「ピーッピーッ」という音が聞こえたら、リモコン操作ができます。

自宅やお店（システム設置所）

通報先

1 自動通報の電話が着信する。

2 様子をモニタする。

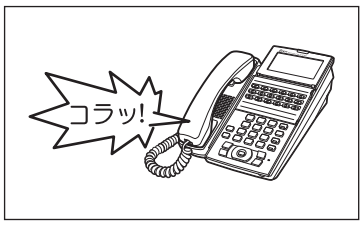
必要に応じてダイヤルボタンを押して、リモコン操作を行います。

5 0

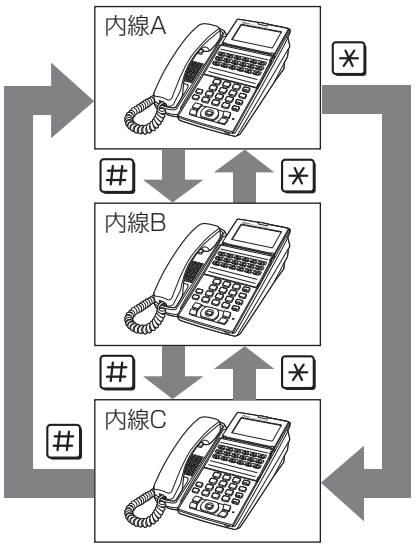
威嚇音を流す

※ソフトフォンからは威嚇音を流せません。

スピーカで通話できる状態にする



モニタする内線電話を切り替える



●威嚇音送出中やスピーカオンの状態のときに＃や＊を押したり、モニタする内線電話機を切り替えてから0や5を押すこともできます。

（次ページへつづく）

セキュリティサービスを利用するには

ワンポイント

●最初にモニタされる内線電話機は

自動通報に応答したときにモニタ状態になるのは、「システム設定」でモニタが設定されている内線電話機のうち、最も若い内線番号の内線電話機です。ただし、モニタされる内線電話機のハンドセットが外れていたり使用されていたりした場合は、保留音が聞こえます。

●モニタする内線電話機を切り替えると

モニタする電話機が切り替わるときに、「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

●モニタされている内線電話機の表示は

通報を受けた電話機により周囲の音がモニタされている状態の内線電話機では、マイクランプが赤く点灯し、次のような表示になります。

```
 4月19日(金) 午後 3:05
10   経理部
ｾｷｭﾘﾃｨﾓﾆﾀ
```

●内線電話機からできるリモコン操作は

ボタン操作により、音声をモニタする内線電話機を切り替えたり、威嚇音を送出したりすることができます。
内線電話機で通報に応答した場合は、モニタ中の電話機の内線番号や現在の状態（モニタ中、スピーカ通話状態、威嚇音送出中）をディスプレイで確認できます。

ダイヤル操作	操作内容	通報先内線電話機での表示例
#記号	モニタする電話機を、次の内線電話機に切り替える	ｾｷｭﾘﾃｨ ﾓﾆﾀ 11　第一営業] 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次 ——次の内線電話機に切り替わる
*゛゜	モニタする電話機を、前の内線電話機に切り替える	ｾｷｭﾘﾃｨ ﾓﾆﾀ 11　第一営業] 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次 ——次の内線電話機に切り替わる
5・な JKL	威嚇音を流す 	ｾｷｭﾘﾃｨ 威嚇] 10　経理部 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次 ——威嚇音送出状態になる
0わをん	スピーカで通話できる状態にする 	ｾｷｭﾘﾃｨ ｽﾋﾟｰｶ] 10　経理部 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次 ——スピーカで通話できる状態になる

外付けカメラを利用するには

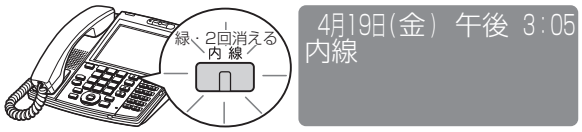
IP

オプションの映像アダプタに外付けカメラを接続してご利用になると、アドバンスト電話機やソフトフォンからの操作で、カメラ映像の確認や録画が行えます。

外付けカメラの映像を確認する

1 **内線ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。



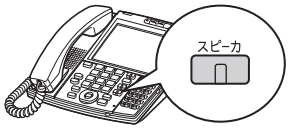
2 **外付けカメラ番号（9 6 1 ～ 9 6 2 [ ]）を押す。**

外付けカメラの映像が映ります。

外付けカメラ1：9 6 1
外付けカメラ2：9 6 2

3 **確認が終わったら、スピーカボタンを押す。**

待機中画面に戻ります。



お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 同一映像アダプタで他の機能が動作していた場合は、外付けカメラを呼び出せません。

外付けカメラを利用するには

IP

外付けカメラの映像を録画する

1 **外付けカメラの映像を確認中に 1 あ を押す。**

「ピーッピーッ」という確認音が鳴り、録画が開始されます。

2 **録画を手動で終了するときは、3 さ DEF を押す。**

「ピーッピーッ」という確認音が鳴り、録画が停止します。手動で操作しなくても、通話を終了するか録画時間がいっぱいになると、自動的に録画が終了します。

ワンポイント

●「ピピピピピピ」という音がしたときは

無効な操作を行ったことを示します。録画中に 1 あ（録画）を押したり、録画をしていないときに 3 さ DEF（録画停止）を押したりしたことをお知らせする音です。

● 外付けカメラの映像を自動で録画するには

セキュリティ装置の検知信号を受信したときに、外付けカメラの映像を自動的に録画するように設定することができます。（☛P4-34）

● 映像を再生／削除／保護するには（☛P5-14）

外部スピーカで一斉放送するには

「システム設定」した特定の内線電話機から、構内放送用スピーカで一斉放送ができます。
内線の一斉呼び出しと同時に一斉放送することもできます。

外部スピーカで一斉放送する

1 **内線ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。

```
4月19日(金) 午後 3:05
内線
```

2 **一斉放送（スピーカ）の特番（9 1 ～ 9 3 [　　]）を押す。**

```
一斉放送
#91
```

スピーカ1：9 1
スピーカ2：9 2
スピーカ3：9 3

3 **ハンドセットを取りあげて、お話しする。**

ワンポイント

●電話機で応答するには

内線ボタン、外部スピーカ応答の特番（# 9 1 ～ # 9 3 [　　]）の順に押し、ハンドセットを取りあげます。

●他グループの電話機で応答するには（代理応答）

内線ボタン、代理応答（統合）の特番（# #[　　]）の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。

電話がかかってきたときは

「システム設定」により、収容している外線のうち、特定の外線にかかってきた着信音を構内放送用のスピーカから確認音として聞けるように設定できます。昼･休憩モード、夜・休日モードで別々に設定できます。

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

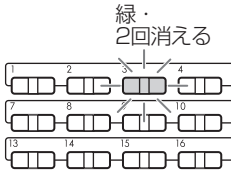
専用線をご利用になるには

専用線でネットコミュニティシステムどうしを接続すると、システム間で外線ボタンと相手の内線番号だけで、別のネットコミュニティシステムの管理下の電話機でありながら、内線感覚で使うことができます。さらに、外線通話を転送することもできます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

システム間で内線通話する

呼び出す方

1 外線ランプが消えていることを確認し、専用線用の外線ボタンを押す。



4月19日(金) 午後 3:05
外線

2 ハンドセットを取りあげる。

4月19日(金) 午後 3:05
外線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

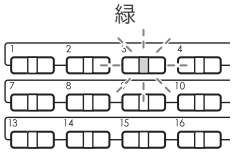
20

4 呼び出された方が応答したら、お話しする。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05

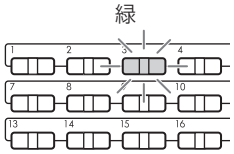
呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、専用線用の外線ランプが点滅する。



4月19日(金) 午後 3:05

2 外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しする。



4月19日(金) 午後 3:05
0-05

お知らせ

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

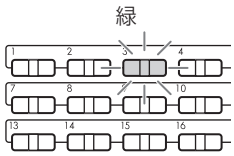
別のシステムに外線通話を転送する

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝え、保留 を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
内線

2 専用線用の外線ボタンを押す。
「ツーツー」という音を確認してください。



4月19日(金) 午後 3:05
外線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

20

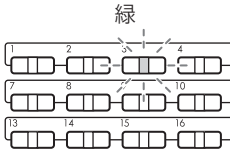
4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決□定 を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05

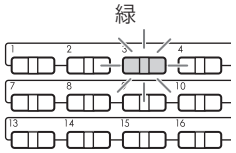
5 ハンドセットを置く。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、専用線用の外線ランプが点滅する。



2 専用線用の外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげて、お話しする。



4月19日(金) 午後 3:05
0-05

3 呼び出した方が 決□定 を押すと、外からの電話とつながり、相手の方とお話しできる。

4月19日(金) 午後 3:05
0-05

MEMO

ご参考に

6

Q&A 6-2

特番を使って操作するには 6-8

付属品などをご利用になるには 6-17

停電になったときは 6-18

電池交換が必要になったときは 6-19

バックアップ電池警告表示をクリアするには 6-20

こんな音がしたら 6-21

故障かな？と思ったら 6-22

パソコンを使って電話帳を編集するには 6-23

用語の説明 6-26

索　引 6-29

仕　様 6-35

保守サービスのご案内 6-36

Q&A

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

登録・設定

Q 登録・設定操作を中止するときは？

A 時計・カレンダ表示に戻るには、[クリア] を長く押します。オフフックなどによっても操作が中止されます。

登録・設定操作を中止するときは、[クリア] を長く押すと時計・カレンダ表示に戻れます（文字や数字の入力中を除く）。また、操作の途中でボタン操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的に時計・カレンダ表示に戻ります。

また、操作の途中でハンドセットを取りあげたり、回線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンのいずれかを押すと、登録・設定が中止されます。

通話中にメニュー設定を行っていた場合は、操作の途中で通話を終了すると、登録・設定が中止されます。

Q 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？

A ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。

ワンタッチボタンや電話帳に登録する電話番号にポーズを入れたいときは、フックボタンを押します。フックボタンを1回押すごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「 - (ハイフン)」と表示されます。

電話帳

Q 電話帳を登録するには？

A 電話帳ボタンを使う方法の他にも、いろいろな登録方法があります。

共通電話帳や個別電話帳を登録するには、次のような方法があります。

- 電話帳ボタンを長く押して登録操作を開始する（☛P2-12）
- メニュー設定で登録する（☛P4-4、P4-19）
- Web設定で登録する（☛P4-36）
- 発信履歴や着信履歴を利用して登録する（☛P3-5）

※共通電話帳は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でしか登録できません。また、Web設定で登録する場合は、ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインする必要があります。

Q 共通電話帳を登録するには？

A 「システム管理者」に設定されている内線電話機で操作します。

共通電話帳の登録は、「システム設定」によって「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P4-59）で行います。また、Web設定で登録する場合には、ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインする必要があります。（☛P4-40）

Q 電話帳を登録するときの必須項目は？

A 電話番号とメモリ番号です。

電話帳には名称、フリガナ、電話番号（最大32桁）、グループ、アイコン、PBX情報の各項目とメモリ番号が登録できます。電話番号とメモリ番号を登録すれば、名称やグループなどは省略することもできます。

Q 電話番号にサブアドレスを登録するには？

A 電話番号のあとに [＊] を押し、サブアドレスの番号を入力します。

ISDN回線を利用している相手の方の電話番号を登録するときに、電話番号にサブアドレスを付けて登録することができます。電話番号とサブアドレスは合わせて32桁まで登録できます。

＜例＞

0312345678＊1234

↑ ↑

電話番号　サブアドレス

Q 電話帳が登録できないときは？

A 共通電話帳の登録を行うには、「システム管理者」に設定されている必要があります。また、すでに登録がいっぱいのときには、不要な電話帳を削除してください。

- ディスプレイに「共通電話帳登録は　許可されていません」と表示されたとき
  共通電話帳の登録は、「システム設定」によって「システム管理者」に設定されている内線電話機（☛P4-59）で行ってください。
- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されたとき
  すでに登録件数がいっぱいで、登録できません。不要な電話帳を削除してください。
- Web設定の項目に「共通電話帳編集」／「共通電話帳削除」が表示されないとき
  ユーザIDとして「システム管理者」の内線番号と暗証番号を入力してログインしたとき以外、「共通電話帳編集」／「共通電話帳削除」は表示されません。
- Web設定の項目に「電話帳編集」／「電話帳削除」が表示されないとき
  個々の電話機の個別電話帳を登録するには、ユーザIDとして目的の電話機の内線番号を入力し、電話機ごとの電話機暗証番号を入力してログインする必要があります。

回　線

Q INSネット64をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が、次のように異なります。

＜電話をかけるとき＞

- 外に電話をかけるときは、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。
- サブアドレスを指定して電話をかける場合は、電話番号、[＊゛]、サブアドレスの順に押します。
- ISDN料金表示設定（☛P4-25）が「設定する」のときには、通話終了後、ディスプレイに通話料金が表示されます。
- サブアドレス通知サービスを利用するときは、内線電話機にサブアドレスを設定してください。（☛P4-22）
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、[#記号] を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。

＜電話がかかってきたとき＞

- 電話番号やサブアドレスの通知があるときは、ランプが点滅している外線ボタンを押したときに、相手の方の電話番号とサブアドレス（最大40桁）が表示されます。21桁以上のときは、[クリア] を押すと残りの桁が確認できます。
- 応答後、一定時間が経過すると、電話番号表示が通話時間表示に切り替わりますが、通話中（会議通話中を除く）にも [クリア] を押すことにより、表示の切替が行えます。
- 相手の方の電話番号が表示されずに、その理由を示す表示が表示される場合があります。（☛P3-43）

Q VoIP回線をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が、次のように異なります。

＜電話をかけるとき＞

- VoIP回線が割り当てられている外線ボタンを押して外に電話をかけるときは、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。
- IP電話をご利用時、110番や、118番、119番などに電話をかけるときは、自動的に一般加入電話回線に切り替えて発信されることがあります。また、このときには通常の通話料金が発生します。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、[#記号] を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。
- VoIP回線でご利用できない電話番号に電話をかけると、「ププッ、ププッ…」という音が聞こえる場合があります。このときは他の外線でかけ直してください。

＜電話がかかってきたとき＞

- 通常どおりに電話を受けることができます。通話中はディスプレイに「VoIP」と表示されます。

Q&A

保留／内線通話／保留転送

Q ***保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら？***

A **保留状態が長時間続いていることをお知らせする警報音です。保留中の電話に出ると、警報音が止まります。**
保留にしてから保留警報音を鳴らすまでの秒数や、保留警報音が鳴らないようにする設定は、メニュー設定やWeb設定、「システム設定」で変更できます。（☛P4-23、P4-38）また、保留警報音を一定時間鳴らしたあと、自動的に電話を切るように設定することもできます。

Q ***内線呼び出しのときに、トーン（信号音）でなく、音声で呼ぶようにするには？***

A **内線呼び出し中に 0わをん を押します。**
0わをん を押すごとに、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

通　　話

Q ***お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）***

A **ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押します。**
ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

Q ***一時的にこちらの音声が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）***

A **サービスボタン（送話カット）を押します。**
あらかじめサービスボタンに「送話カット」の機能を割り当てておきます。（☛P3-12）通話中にこのボタンを押すと、サービスボタン（送話カット）のランプが赤く点灯し、一方的に相手の音声だけが聞こえる状態になります。お話しできる状態に戻すときは、もう一度このボタンを押します。
通話中だけでなく、待機中でも送話カットの設定／解除が行えます。また、送話カット状態で通話を終了した場合は、送話カットが設定されたままとなりますのでご注意ください。ただし、録音電話機では、留守応答が起動すると自動的に送話カットが解除され、応答終了後も解除されたままとなります。

Q ***内線または外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには？***

A **内線または外線のお話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると応答できます。**
お買い求め時には、通話中はドアホンの呼出音が聞こえないように設定されています。「システム設定」によって、通話中でもドアホンからの呼び出しを確認できるようにすることができます。通話中にハンドセットまたはスピーカから確認音が聞こえたら、内線または外線のお話しを終え、いったんハンドセットを置き（ハンズフリー通話のときはスピーカボタンを押す）、もう一度ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、ドアホンに応答できます。

表　示

Q 「夜間モード」／「休憩モード」／「休日モード」と表示されているときは？

A システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替えられています。

システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替わっているときには、それぞれのモードがディスプレイに表示されます。昼モードのときにはモードは表示されません。システムモードは、メニュー設定またはWeb設定により切り替えることができます。（☛P4-25、P4-39）
また、時間帯によって自動的に切り替わるように設定することもできます。（☛P4-24、P4-39）

Q 「FAX受信しました」と表示されているときは？

A 内線に接続されているファクス端末でファクスを受信したことをお知らせしています。

機能、クリア の順に押すと、表示を消すことができます。

Q ディスプレイの表示やランプ表示が消えているときは？

A 省電力モードが設定されています。

「システム設定」によって省電力モードの起動が設定されていると、一定時間時計・カレンダ表示が続いたときに自動的に省電力モードに切り替わります。省電力モードに切り替わると、ディスプレイの時計・カレンダなどの表示は消えます。また、他の内線電話機の使用状況を示す外線ランプや不在着信をお知らせする履歴ランプも消灯します。ディスプレイのバックライトを点灯させている場合には、バックライトも消灯します。
ハンドセットを取りあげたりボタン操作を行ったりすると、省電力モードは解除されます。また、着信があったときにも解除されます。

音声メール機能

Q メッセージを録音するには？

A 留守メッセージ、FAX/TEL切替メッセージ、システム留守メッセージ、お待たせメッセージ、通話録音ガイダンスを自分の声でメッセージ録音することができます。

下記の画面が表示されたら、各メッセージを録音します。（☛P4-9、P4-28、P4-31、P4-32、P4-34）

留守ﾒｯｾｰｼﾞ録音 ｵﾌﾌｯｸしてﾀﾞｲﾔﾙ#で 録音を開始します	F/T切替ﾒｯｾｰｼﾞ録音 ｵﾌﾌｯｸしてﾀﾞｲﾔﾙ#で 録音を開始します
＜留守メッセージを録音する場合＞	＜FAX/TEL切替メッセージを録音する場合＞
ｼｽﾃﾑ留守ﾒｯｾｰｼﾞ録音 ｵﾌﾌｯｸしてﾀﾞｲﾔﾙ#で 録音を開始します	お待たせﾒｯｾｰｼﾞ録音 ｵﾌﾌｯｸしてﾀﾞｲﾔﾙ#で 録音を開始します
＜システム留守メッセージを録音する場合＞	＜お待たせメッセージを録音する場合＞
通話録音ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ録音 ｵﾌﾌｯｸしてﾀﾞｲﾔﾙ#で 録音を開始します	
＜通話録音ガイダンスを録音する場合＞	

①ハンドセットを取りあげる

② # を押す
「ピーッ」という音が鳴って、録音が開始されます。メッセージをお話しください。

録音中
ﾀﾞｲﾔﾙ#で録音を終了します

③メッセージを話し終えたら # を押す

録音終了
ｵﾝﾌｯｸしてください

④ハンドセットを置く

お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音したときは、前のメッセージが自動的に消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は約3分です。3分を超えると自動的に終了します。

（次ページへつづく）

Q&A

Q 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？

A **留守番電話の応答メッセージの設定は、留守番電話またはシステム留守番電話の応答動作設定とメッセージ選択をすることにより有効となります。利用しているのが留守番電話かシステム留守番電話かをご確認のうえ、下記の設定を確認してください。**

＜留守番電話の場合＞

「留守番電話応答動作」（☛P4-9）と、「留守メッセージ設定」（☛P4-9）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

＜システム留守番電話の場合＞

「システム留守応答動作」（☛P4-31）と、「システム留守メッセージ設定」（☛P4-31）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

例）留守番電話応答動作を「応答専用」として、自分で録音したメッセージが流れるようにします。

①留守番電話の応答動作を「応答専用」に設定する
「留守番電話応答動作」（☛P4-9）で「0：応答専用」を選択します。

②応答専用のメッセージを自分で録音する
「留守メッセージ設定」（☛P4-9）で「1:録音」→「0:応答専用」→メッセージを録音（☛P6-5）します。

③自分で録音した応答専用のメッセージを選択する
「留守メッセージ設定」（☛P4-9）で「0:選択」→「0:応答専用」→「1：録音メッセージ」を選択します。

その他

Q 長い電話番号をかけるときには？（追加ダイヤル）

A **追加ダイヤルでかけると便利です。**

電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴、メモダイヤルにダイヤルを追加して電話をかけることができます。たとえば、登録されている電話番号のあとにサブアドレスを付けてダイヤルできます。

- **登録／記録されている内容のあとにダイヤルを追加するとき**
  登録／記録されている電話番号を使った発信操作に続けてダイヤルボタンを押します。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①外線ボタンを押す
  ②短縮ボタンを押す
  ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す
  ④追加する番号をダイヤルボタンで押す
  - **ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順②～③の代わりにワンタッチボタンを押す
  - **最後に電話をかけた相手の方にかけ直すとき**：手順②～③の代わりに発信履歴ボタンを押す
- **登録／記録されている内容の前にダイヤルを追加するとき**
  追加する番号をダイヤルボタンで押してから、登録／記録されている電話番号を使った発信操作を行います。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①外線ボタンを押す
  ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
  ③短縮ボタンを押す
  ④メモリ番号をダイヤルボタンで押す
  - **ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順③～④の代わりにワンタッチボタンを押す
    ただし、手順③～④の代わりに発信／着信履歴を用いてダイヤルすることはできません。
- **プリセットダイヤルで電話をかけるとき**
  目的の電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴、メモダイヤルを表示させてからダイヤルボタンで番号を追加し、発信操作を行うことができます。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①目的の電話帳を検索する（一覧画面で目的の電話帳を選択、または詳細画面を表示）
  ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
  ③外線ボタンを押す
  - **発信／着信履歴を使うとき**：手順①の代わりに目的の発信／着信履歴を検索する
  - **ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順①の代わりにワンタッチボタンを押す
  - **メモダイヤルを使うとき**：手順①の代わりに 機能、発信履歴ボタンを押す

Q 転送電話ができないときは？

A **登録や設定に間違いがないかを確認してください。**

- **転送先リストに電話番号が登録されていますか？**
  転送電話をセットしても、転送先リストに正しく電話番号が登録されていないと転送できません。転送先リストを登録してください。（☛P3-14）
- **転送電話に必要な操作はすべて完了していますか？**
  転送電話に必要な登録やセット操作が正しく行われているかどうかを確認してください。（☛P3-14～P3-18）
- **転送先リストに登録した電話からかけていませんか？**
  転送先リストに登録した電話番号からの電話は、転送電話の対象になりません。

Q コールバックができないときは？

A 次のことを確認してください。

- アナログ回線をご利用ではありませんか？
  アナログ回線では、コールバックを利用できません。
- コールバックの対象としたい電話番号は、正しく登録されていますか？
  コールバックの対象としたい電話番号は、あらかじめ共通電話帳に登録しておく必要があります。個別電話帳に登録しても無効となります。
  また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようにご注意ください。重複していると、コールバックが行われない場合があります。
- 外出先の方は、呼出音が聞こえたあとすぐに電話を切りましたか？
  「コールバック着信」と判定されるのは、着信後すぐ（お買い求め時：6秒）に切れた着信のみです。この時間を経過してから電話を切った場合、コールバックは行われません。
- 社内の方は、設定されている時間内に応答しましたか？（システム内線着信の場合）
  外出先の方が電話を切ったあと、社内の方が呼び出されている間（お買い求め時：30秒）に応答しなかったときや、社内に人がいなかったときは、システム内線着信のコールバックが行われません。
- 外出先の方は、事業所からかかってきた電話にすぐに応答しましたか？
  事業所（システム設置所）からのコールバックが正しく行われても、設定されている時間内（お買い求め時：120秒）に外出先の方が圏外であったり、応答操作をしなかったときは、電話が切れます。

Q テレビ電話発信ができないときは？

A **通話形式の設定を確認してください。**
テレビ電話に対応しているアドバンスト電話機やソフトフォンでも、通話形式を「ビデオ」に設定していないときは、音声のみの発信となります。詳しくは、アドバンスト電話機またはソフトフォンの取扱説明書を参照してください。

Q 高音質発信ができないときは？

A **電話機を確認してください。**
高音質電話に対応している電話機は、IP電話機、アドバンスト電話機、およびソフトフォンです。高音質発信しても、相手が高音質に対応していない場合は、通常音質の通話になります。
また、外線通話で高音質通話をするには、フレッツ 光ネクスト等のブロードバンド回線の利用契約が必要です。

Q セキュリティサービス機能が動作しないときは？

A **セキュリティ装置が作動しているかどうかを確認してください。**
本商品のセキュリティサービスを起動しても、セキュリティ装置が作動していないと機能を利用できません。また、センサによる検知が行われた場合、セキュリティ装置によっては、一度無効にしてからセットし直す必要のあるものがあります。詳しくはセキュリティ装置の取扱説明書をご確認ください。

Q 迷惑電話を着信拒否するには

A **通話中にサービスボタン（着信拒否）を押します。**
通話中にこのボタンを押すと、通話相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録することができます。（☛P3-46）
あらかじめサービスボタンに「着信拒否」の機能を割り当てておきます。（☛P3-12）
また、通話終了後でも着信履歴から着信拒否登録することができます。（☛P3-46）
着信拒否の登録を削除するには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で共通電話帳に登録された電話番号を削除します。（☛P2-18）

特番を使って操作するには

特番一覧

■ダイヤル中特番

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合は[　]に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
外線発信番号	空いている外線を選んで発信する	0わをん [　]	☛P3-6、P3-25、P3-59
パーク保留応答	パーク保留に応答する	5・な JKL 0わをん [　]	−
パーク保留	通話をパーク保留する	5・な JKL 1あ [　]	−
TEN対応転送先リスト登録	電話機起動転送先リストを登録する	6は MNO 7ま PQRS 3さ DEF [　]	☛P3-18
圏外時サービス設定	シングルラインコードレス電話機や無線LAN対応FOMAが圏外になったときの動作を設定する	6は MNO 7ま PQRS 8や TUV [　]	☛P3-18、P3-65
セキュリティサービス起動／解除	セキュリティサービスを起動／解除する	6は MNO 7ま PQRS 9ら WXYZ [　]	☛P5-20
サービスロック起動／解除	サービスロックを起動／解除する	6は MNO 9ら WXYZ 0わをん [　]	☛P3-77
フッキング信号送出番号	フッキング信号を送出する（※単体電話機、シングルラインコードレス電話機、無線LAN対応FOMAのみで有効）	8や TUV 0わをん [　]	☛P3-59
外線群指定発信	外線グループ（1 ～ 8）の中から空き外線を選んで発信する	8や TUV 1あ ～ 8や TUV 8や TUV [　]	☛P3-6、P3-57
一斉放送／呼出	スピーカ1、2と電話機を同時に呼び出す	9ら WXYZ 0わをん [　]	−
一斉放送（スピーカ1）	スピーカ1で一斉放送する	9ら WXYZ 1あ [　]	☛P5-25
一斉放送（スピーカ2）	スピーカ2で一斉放送する	9ら WXYZ 2か ABC [　]	☛P5-25
一斉放送（スピーカ1、2）	スピーカ1、2で一斉放送する	9ら WXYZ 3さ DEF [　]	☛P5-25
モード切替（自動）	システムモードの設定を解除する	9ら WXYZ 4た GHI 0わをん [　]	−
モード切替（昼）	システムモードを昼モードに設定する	9ら WXYZ 4た GHI 1あ [　]	−
モード切替（夜）	システムモードを夜モードに設定する	9ら WXYZ 4た GHI 2か ABC [　]	−
モード切替（休憩）	システムモードを休憩モードに設定する	9ら WXYZ 4た GHI 3さ DEF [　]	−
モード切替（休日）	システムモードを休日モードに設定する	9ら WXYZ 4た GHI 4た GHI [　]	−
ドアホン／カメラドアホン	ドアホン／カメラドアホンを呼び出す	9ら WXYZ 5・な JKL 1あ ～ 9ら WXYZ 5・な JKL 4た GHI [　]	☛P5-13
電話帳発信	電話帳を使って電話をかける	9ら WXYZ 9ら WXYZ [　]	☛P3-58

名　称	機　能	特　番	参照先
グループ呼出	グループの全電話機を一斉に呼び出す	＊ 0わをん ～ ＊ 9らWXYZ [　　]	☛P2-26
コールバックシステム内線着信	コールバック中継発信時に、システム内線着信させる	＊ #記号 [　　]	☛P3-25
代理応答	自グループの電話機への着信に代理応答する	#記号 0わをん [　　]	☛P2-23、P2-26
	指定した他グループの電話機への着信に代理応答する	#記号 1あ ～ #記号 6はMNO [　　]	☛P2-23、P2-26、P3-59
	全グループの電話機への着信に代理応答する	#記号 #記号 [　　]	☛P2-23、P2-26、P3-59、P5-10、P5-25
一斉放送応答	外部スピーカでの一斉放送に応答する	#記号 9らWXYZ 1あ ～ #記号 9らWXYZ 3さDEF [　　]	☛P5-25
ドアホン応答	チャイム音の鳴らない電話機でドアホン1 ～ 4に応答する	#記号 9らWXYZ 5・なJKL 1あ ～ #記号 9らWXYZ 5・なJKL 4たGHI [　　]	☛P5-10、P5-11
外付けカメラ	外付けカメラに接続する	9らWXYZ 6はMNO 1あ ～ 9らWXYZ 6はMNO 2かABC [　　]	☛P5-23
蓄積映像再生	映像アダプタ1の録画映像をQCIFサイズで再生する	9らWXYZ 7まPQRS 1あ 1あ [　　]	☛P5-14
	映像アダプタ1の録画映像をQVGAサイズで再生する	9らWXYZ 7まPQRS 1あ 2かABC [　　]	☛P5-14
	映像アダプタ2の録画映像をQCIFサイズで再生する	9らWXYZ 7まPQRS 2かABC 1あ [　　]	☛P5-14
	映像アダプタ2の録画映像をQVGAサイズで再生する	9らWXYZ 7まPQRS 2かABC 2かABC [　　]	☛P5-14

特番を使って操作するには

ワンポイント

外出先からリモコン操作を行うには

「システム設定」により自動応答サービスを設定している場合は、外出先から特番（PB信号）を使ってリモコン操作が行えます。

	操　作	使用する特番操作例
転送電話、留守番電話の操作	留守番電話のセット	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 0 [　　]
	転送電話のセット	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 1 [　　]
	転送電話、留守番電話の解除	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 2 [　　]
	電話機起動転送先リストの登録	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 3 [　　] ＋ 1 ～ 3 # ＋転送先電話番号 #
	電話機起動転送先リストの削除	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 4 [　　] ＋ 1 ～ 3 #
	留守番電話の応答メッセージの選択	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 5 [　　] ＋ 0 または 1 #
	システム共通の転送先リストの登録	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 6 [　　] ＋ 0 1 ～ 2 0 # ＋ 1 ～ 3 # ＋転送先電話番号 #
	システム共通の転送先リストの削除	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 7 [　　] ＋ 0 1 ～ 2 0 # ＋ 1 ～ 3 #
	圏外時外線転送、留守番電話のセット／解除	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 8 [　　] 0 #（解除） ＋ 1 #（転送電話） 2 #（留守番電話）
システムモードの切り替え	システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 9 4 0 [　　]
	昼モードへの切り替え	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 9 4 1 [　　]
	夜モードへの切り替え	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 9 4 2 [　　]
	休憩モードへの切り替え	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 9 4 3 [　　]
	休日モードへの切り替え	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 9 4 4 [　　]
セキュリティサービスの操作	起動	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 9 [　　] ＋ 1 #
	解除	3 ＋内線番号＋暗証番号 # ＋ 6 7 9 [　　] ＋ 0 # ＋セキュリティ暗証番号＋ #

■機能特番

機能 を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。
特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には［　　］に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
会議（内／外線ダイヤル招集）	通話中に他の内線／外線を呼び出して会議通話を行う	1 あ［　　］	☛P3-20
口頭招集会議	通話中に口頭で他の内線を呼び、会議通話を行う	2 か ABC［　　］	☛P3-19
外線転送割込み	外の方との通話を他の外線に転送したあとで、通話に割り込む	5 な JKL 2 か ABC［　　］	☛P2-24
主装置ソフトバージョン表示	主装置ソフトのタイプ（typeSはNXS、typeMはNXM）とバージョンを表示する	7 ま PQRS 0 わをん［　　］	－
ブロードバンドルータユニットIPアドレス表示	IPアドレスとサブネットマスクを表示する（※一部の電話機ではサブネットマスクが表示できません）	7 ま PQRS 1 あ［　　］	－
ブロードバンドルータユニットランプ状態確認（1枚目）	主装置に実装されているユニットの各ランプ（POW、VOIP、PPPoE、CONF、LAN1、LAN2、LAN3、WAN）の状態を電話機のディスプレイに表示する	7 ま PQRS 2 か ABC 1 あ［　　］	－
ブロードバンドルータユニットランプ状態確認（2枚目）		7 ま PQRS 2 か ABC 2 か ABC［　　］	－
秘話解除（通話モニタ）	通話中に、他の内線電話機に通話モニタを許可する	7 ま PQRS 7 ま PQRS［　　］	☛P2-7
暗証番号初期化	暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻す	8 や TUV 1 あ［　　］※	－
ブロードバンドルータユニットのパスワード初期化	ブロードバンドルータユニットの設定アカウント、パスワード等を初期化する	8 や TUV 2 か ABC［　　］※	－
通信中転送機能	フレックスホンの通信中転送機能を利用する	9 ら WXYZ 2 か ABC［　　］	☛P3-38
三者通話機能（ミキシングモード）	フレックスホンの三者通話機能（ミキシングモード）を利用する	9 ら WXYZ 3 さ DEF［　　］	☛P3-37
音声メールコメント付加	通話録音の内容にコメントを付けて録音する	9 ら WXYZ 4 た GHI［　　］	－
着信転送機能起動／解除	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、着信転送モードを設定／解除する	9 ら WXYZ 5 な JKL［　　］	☛P3-40

※スピーカボタンを押したあと、機能 を押し、特番を押して操作してください。

（次ページへつづく）

ワンポイント

●ブロードバンドルータユニットランプ状態の表示について

電話機のディスプレイに次のように表示されます。

VOIP :XXXXX CNF:XXXXX
LAN1:XXXXX PPP:XXXXX
LAN2:XXXXX POW:XXXXX
LAN3:XXXXX WAN:XXXXX

XXXXX：消灯、点灯、点滅、F点滅（速い点滅）
※LAN3ランプのないブロードバンドルータユニットでは、「LAN3:XXXXX」が表示されません。

特番を使って操作するには

名　称	機　能	特　番	参照先
音声メール手動通話録音	外線または内線とお話し中に通話録音を開始する	9 7 [　　]	－
通信中着信通知一時停止設定／解除	通信中着信通知の機能を一時的に停止／一時停止を解除する	9 8 [　　]	☛P3-36
発信専用制御設定／解除	発信専用制御を設定／解除する	9 9 [　　]	☛P3-35
最新バージョン問合せ	ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックする	＊ 1 0 [　　]	☛P4-60
ソフトウェアダウンロード実行	最新のソフトウェアをダウンロードする	＊ 1 1 [　　]	☛P4-61
通話中PB信号送出停止	外線通話中、一時的にダイヤル送出を停止する	＊ 9 [　　]	☛P3-2
キーパッドモード切替	キーパッドの送出モードを切り替える	＊ ＊ [　　]	☛P3-50

■設定特番

内線ボタンを押して、決□定 を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。
特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には［　　］に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
日付設定	日付を設定する	0わをん 1あ［　　］	☛P1-15
時刻設定	時刻を設定する	0わをん 2かABC［　　］	☛P1-16
システムモード時刻設定	システムモードを自動的に切り替える時刻を設定する	0わをん 3さDEF［　　］	☛P4-24
音声メール機能初期化	音声メール機能で使用する応答メッセージなどの設定をお買い求め時の状態に戻す	0わをん 4たGHI［　　］	–
セキュリティモード設定	セキュリティサービスの通報先を、内線、外線、またはその両方に設定する	0わをん 5・なJKL［　　］	☛P4-33
セキュリティ関連タイマ設定	セキュリティサービスの各種動作のタイミングを設定する	0わをん 6はMNO［　　］	☛P4-34
セキュリティ通報番号登録	セキュリティサービスの通報先電話番号を登録する	0わをん 7まPQRS［　　］	☛P5-18
セキュリティ自動録画設定	検知信号受信時の自動録画について設定する	0わをん 8やTUV［　　］	☛P4-34
電話帳ガイド表示設定	電話帳画面のガイド表示を設定する	1あ 0わをん［　　］	☛P4-20
電話帳グループ毎着信ランプ色設定	電話帳グループごとの着信ランプの点滅色を設定する	1あ 1あ［　　］	☛P4-5
暗証番号設定	電話機ごとの暗証番号を登録する	1あ 2かABC［　　］	☛P4-16
着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する	2かABC 1あ［　　］	☛P4-7
非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する	2かABC 2かABC［　　］	☛P3-48
サービスロック対象設定	サービスロックの対象を設定する	2かABC 3さDEF［　　］	☛P3-76
グループ毎鳴動設定電話帳	電話帳グループごとの着信音を設定する	2かABC 4たGHI［　　］	☛P4-19
着信メロディ選択	着信音に使用するメロディを選択する	2かABC 5・なJKL［　　］	☛P4-22
ドアホン鳴動設定	ドアホンごとに呼出音を鳴らすかを設定する	2かABC 6はMNO［　　］	☛P4-13
ISDN料金表示設定	INSネット64で電話をかけたときの料金表示を行うかどうかを設定する	2かABC 7まPQRS［　　］	☛P4-25
ダイヤル押下音設定	ダイヤルボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する	2かABC 8やTUV［　　］	☛P4-17
事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうか設定する	2かABC 9らWXYZ［　　］	☛P4-21

（次ページへつづく）

特番を使って操作するには

名　称	機　能	特　番	参照先
留守／転送開始タイマ	着信から転送、または留守番電話を開始するまでの秒数を設定する	3 0 [　　]	☛P4-30
外線転送先呼出タイマ	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する	3 1 [　　]	☛P4-30
グループ毎コールバック設定	電話帳グループごとに、コールバック着信があったときの動作を設定する	3 2 [　　]	☛P4-20
外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する	3 4 [　　]	☛P4-30
転送元呼出継続設定	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する	3 5 [　　]	☛P4-31
FAX/TEL呼出回数	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する	3 6 [　　]	☛P4-28
FAX/TEL切替設定	ファクスが送られてきたときにファクスへの切り替えを行う機能を設定する	3 7 [　　]	☛P4-28
プリセット読出タイマ	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する	4 0 [　　]	☛P4-27
保留警報音送出タイマ	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	4 1 [　　]	☛P4-23
長時間通話警報タイマ	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	4 2 [　　]	☛P4-27
ドアホンチャイム音鳴動タイマ	ドアホンからの呼び出しに鳴動する時間を設定する	4 3 [　　]	☛P4-29
カメラドアホン録画設定	カメラドアホン映像の自動録画について設定する	4 4 [　　]	☛P4-29
外付けカメラネーム登録	外付けカメラの名称を登録する	4 5 [　　]	☛P4-29
ワンタッチ／プリセレクション選択	発信時の動作をワンタッチ／プリセレクションのどちらにするかを設定する	5 0 [　　]	☛P4-6
オフフック外線発信設定	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線／外線を捕捉する機能を設定する	5 1 [　　]	☛P4-6
オフフック外線応答設定	外線ボタンを押さなくても、ハンドセットを取りあげるだけで着信に応答できる機能を設定する	5 2 [　　]	☛P4-7
着信音停止設定	着信音を鳴らさないようにする	5 3 [　　]	☛P4-8
内線呼出音設定	内線からの呼び出しをトーン（信号音）呼出とするか音声呼出とするかを設定する	5 4 [　　]	☛P4-13
内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線番号を登録する	5 5 [　　]	☛P4-13
保留音設定	保留メロディを設定する	5 6 [　　]	☛P4-23

名　称	機　能	特　番	参照先
不在着信転送設定	不在着信転送を設定／解除する	5・な JKL 7 ま PQRS [　　]	☛P4-13
外線毎着信拒否設定	ダイヤルイングループボタンを、一時的に着信拒否する	5・な JKL 8 や TUV [　　]	☛P4-7
履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する	5・な JKL 9 ら WXYZ [　　]	☛P4-17
時計アラーム（1回）	電話機のアラーム（1回のみ）をセットする	6 は MNO 0 わを ん [　　]	☛P4-12
時計アラーム（毎日）	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセットする	6 は MNO 1 あ [　　]	☛P4-12
留守メッセージ設定	留守番電話で使用するメッセージを選択／録音／確認する	7 ま PQRS 0 わを ん [　　]	☛P4-9
システム留守メッセージ設定	システムモードにより留守番電話をするときに、システム留守メッセージを選択／録音／確認する	7 ま PQRS 1 あ [　　]	☛P4-31
通話録音ガイダンス設定	通話録音ガイダンスを選択／録音／確認する	7 ま PQRS 2 か ABC [　　]	☛P4-34
お待たせメッセージ設定	お待たせメッセージを選択／録音／確認する	7 ま PQRS 3 さ DEF [　　]	☛P4-32
FAX/TEL切替メッセージ設定	ファクスと電話を切り替えるときのメッセージを選択／録音／確認する	7 ま PQRS 4 た GHI [　　]	☛P4-28
留守番電話応答動作設定	留守番電話の応答動作を応答専用にするか、録音用にするかを設定する	7 ま PQRS 6 は MNO [　　]	☛P4-9
話中／不応答時音声メール動作設定	通話中や不在時に内線呼び出しがあったときに流すメッセージを応答専用にするか、録音用にするかを設定する	7 ま PQRS 7 ま PQRS [　　]	－
システム留守応答動作設定	システムモードにより留守番電話をするときに、システム留守メッセージを応答専用にするか、録音用にするかを設定する	7 ま PQRS 8 や TUV [　　]	☛P4-31
通話録音内容保持設定	自動通話録音のときに、保存操作をしないで録音終了したメッセージを保存メッセージとして自ボックスへ保存する	8 や TUV 0 わを ん [　　]	－
ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用するかどうかを設定する	8 や TUV 1 あ [　　]	☛P4-14
NTPサーバ時計データ自動設定	NTPサーバを使って、日付・時刻を自動的に設定するかどうかを設定する	8 や TUV 8 や TUV [　　]	☛P4-24
NTPサーバ問合せ時刻設定	NTPサーバへの問合せ時刻を設定する	8 や TUV 9 ら WXYZ [　　]	☛P4-24
サブアドレス設定	内線電話機にサブアドレスを設定する	9 ら WXYZ 1 あ [　　]	☛P4-22
通話録音モード設定	通話録音モードを手動録音または自動録音に設定する	9 ら WXYZ 2 か ABC [　　]	☛P4-18
音声メール着信通知先設定	音声メールを着信したときの通知先を設定する	9 ら WXYZ 3 さ DEF [　　]	－
音声メール着信通知起動設定	音声メールを着信したときに通知するかどうかを設定する	9 ら WXYZ 4 た GHI [　　]	－

（次ページへつづく）

特番を使って操作するには

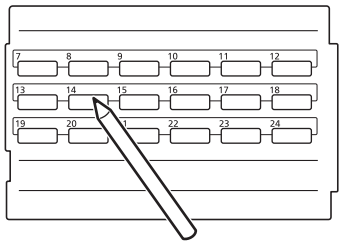
名　称	機　能	特　番	参照先
自動通話録音開始前 メッセージ送出設定	通話録音モード設定時に、通話先に通話を録音するメッセージを流す。	9 5 [　　]	☛P4-18
着信転送（転送先番号の登録）	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、転送先電話番号を登録する。	9 6 [　　]	☛P3-39
システムモード別 ECOモード設定	システムモード（昼／夜／休憩／休日）別に、ecoモードを設定する。	9 7 [　　]	☛P4-18
ECOモード自動起動 タイマ設定	自動起動でecoモード起動中に手動でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する。	9 8 [　　]	☛P4-27

付属品などをご利用になるには

■ワンタッチダイヤルカードを使う

1 電話機パネルの右上のくぼみに指をかけ、上に引き上げる。

2 ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入する。

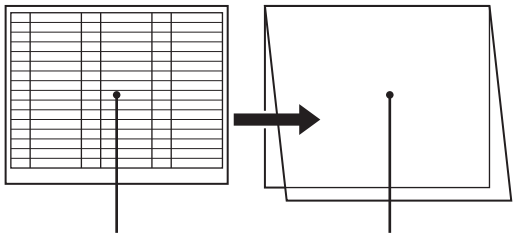


3 ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込む。

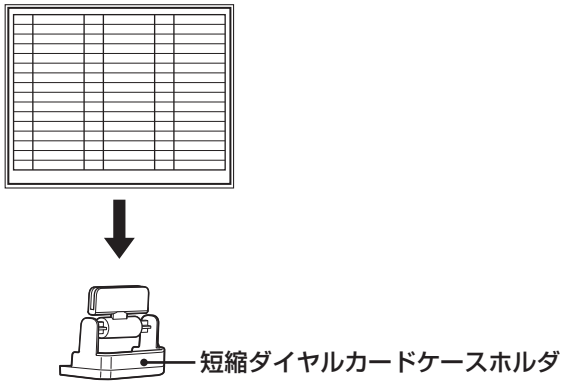
4 電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込む。

■短縮ダイヤルカード（オプション）を使う

1 短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れる。

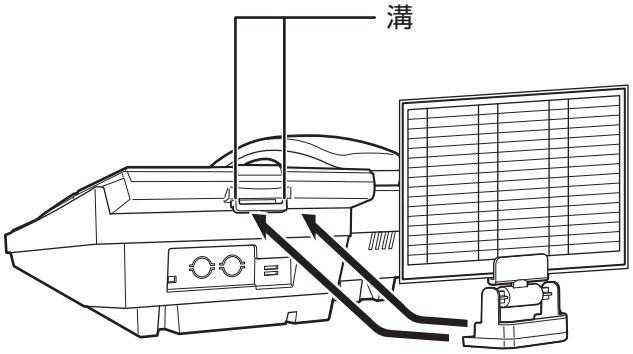


2 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れる。



3 **短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れる。**

短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



停電になったときは

お話し中に停電になっても、バックアップ電池により、そのままお話しを続けることができます。できるだけ早くお話しを終わらせてください。
停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、停電用電話機をお使いください。停電用電話機には、停電用シールが添付されています。
停電中に停電用電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

●停電時には以下の点にご注意ください

バックアップ電池による動作中	すべての内線電話機	外の相手の方とお話し中	そのままお話しができます
		保留中	保留は継続されます 保留を解除すると、引き続きお話しができます
		スピーカ受話中	そのままお話しができます
		内線やドアホンとのお話し中	そのままお話しができます
バックアップ電池による動作ができなくなったとき	停電用電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
	停電用電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません

お知らせ

●停電時、バックアップ電池による動作ができなくなったときは
- 時計・カレンダ表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 着信音は、通常時とは異なります。
- 停電用電話機がISDN電話機の場合は、プッシュホンサービスは利用できません（通話中PB送出はできません）。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用したすべての機能は利用できません。応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます。

●停電が復旧すると自動的に通常の状態に戻ります。停電用電話機でお話し中の通話は切れてしまいます。いったん電話を切って、再度おかけ直しください。アナログ停電電話機でお話し中の通話は切れない場合があります。この場合、お話しを継続することができ、お話しが終わってから通常の状態に戻ります。

●通常の状態で停電用電話機によるお話し中のとき、停電になった場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。

●停電状態になった直後や停電が復旧した直後は、ISDN停電電話機およびISDN 回線がすぐには使用できないことがあります。この場合はハンドセットを戻し、数分間お待ちください。

ワンポイント

●ダイヤルインサービスをご利用のときは
停電時に外から電話がかかってきたとき、ダイヤルイン着信では正常に電話を受けることができません。

●長時間の停電対策のために
バックアップ電源装置を主装置に接続すると、停電になったときでも長時間にわたりお話しすることができます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●メモリ保持電池の交換について（☛P6-19）
●バックアップ電池の交換について（☛P6-19）

電池交換が必要になったときは

メモリ保持電池やバックアップ電池の交換が必要になったときは、下記のようにお知らせします。すみやかに交換を依頼してください。

メモリ保持電池の交換について

電話帳などのメモリを保持するために、リチウム電池が使用されています。
電池の交換時期がくると、メモリ内容が保持できずにお買い求め時の値に戻ります。
すべての内線電話機のディスプレイに次のように表示されたあとは、お早めに電池交換をお願いいたします。
交換時期の目安は約5年です。電池の交換は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。

〈電池交換が必要になった場合〉

```
4月19日(金) 午後 3:05
ﾘﾁｳﾑ電池無し
```

バックアップ電池の交換について

停電になったとき、お話しを続けたり、かかってきた電話に応答するためにシール鉛蓄電池が使用されています。
正常にバックアップを行うためには、定期的なシール鉛蓄電池の交換が必要です。
電池の交換時期の目安は、常温で使用した場合では約5年です。
電池の劣化によって電池交換の時期が近づくと、主装置内蔵の電池劣化ユニットが検知し、電話機のディスプレイに次のように表示してお知らせします。

〈電池交換が必要になった場合〉

```
4月19日(金) 午後 3:05
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電池無し
```

なお、この警告が表示されたあと、電池の交換を行わずに通電総時間（主装置の電源スイッチがOFFの間の時間は含みません）が30日を過ぎた時点で、安全確保のため主装置がバックアップ電池を自動的に切り離します。これ以降は停電になってもバックアップ電池による動作はできなくなります。警告が表示された場合は、バックアップ電池による動作が可能な期間内に電池の交換をしてください。電池の交換は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

■鉛蓄電池回収のお願い

この製品には密閉型蓄電池（小型シール鉛蓄電池）を使用しています。密閉型蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった密閉型蓄電池、および使用済み製品から取り外した密閉型蓄電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

バックアップ電池警告表示をクリアするには

バックアップ電池警告表示をクリアする

「システム設定」でバックアップ電池警告として指定されている特定電話機（☛P4-59）以外の電話機のディスプレイに表示された警告表示は、クリアすることができます。（特定電話機では、バックアップ電池を交換するまで表示は消えません。バックアップ電池を交換すると自動的に消えます。）

1 バックアップ電池警告表示が表示されている状態で［クリア］を押す。

4月19日(金) 午後 3:05
11
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電池無し

警告表示がクリアされます（特定電話機を除きます）。

4月19日(金) 午後 3:05
11

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー…（内線発信音）	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー（外線発信音）	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	プルルル…（呼出音）	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー…（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ピッピッ・ピッピッ…（通信中着信通知音）	INSネット64の通信中着信通知サービスをご利用時、外線でお話し中に、さらに別の相手の方からの電話がかかってきたとき	別の相手の方から電話がかかってきました
登録設定	ツツツ…（設定登録音）	決定 を押したとき	設定を開始します
	ピッピッ（登録確認音）	設定・登録の操作が終わったとき	正しく設定・登録されました
	ピーピー（登録確認音）		
	ピピピピピピ（登録拒否音）	無効な入力やボタン操作を行ったとき	正しく設定・登録できません
その他	ピピ・ピピ（アラーム音）	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ（キータッチトーン）	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ（保留音）※	電話を保留したとき	電話が保留されています
	ピンポーン（チャイム音）	ドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています
	プププ（確認音）	通話中にドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています

※ 設定により保留メロディを切り替えることができます。（☛P4-23）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P4-8
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P1-17
	システムモードが夜／休日モードになっている	故障ではありません	☛P4-25
「ツー」という発信音が聞こえない	決定ランプが点滅している	しばらく待ってからかけ直してください	—
	ハンドセットのコードが抜けている	ハンドセットのコードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
こちらの声が相手に聞こえない	送話カットが設定されている	サービスボタン（送話カット）を押して赤いランプを消灯し、送話カットを解除してください	☛P6-4
電話帳が登録できない	「システム管理者」に設定された電話機で登録していない	共通電話帳は、「システム管理者」に設定された電話機から登録してください	☛P6-2
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☛P2-13
ワンタッチボタンに登録できない	33桁以上登録しようとしている	32桁まで登録してください	☛P2-10
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	電話機の位置を変えている	電話機を元の位置に戻してください	—
	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	—
ドアホンからのチャイム音が鳴らない	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P1-17
	ドアホンのチャイム音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P4-13
ダイヤルが終わっても呼出音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用の場合は、呼出音が聞こえるまでの時間が長くなることがある	故障ではありません	—
「プツプツ」と小さな音がする	ナンバー·ディスプレイやお待たせメッセージをご利用時、着信音を鳴動しない設定にしている場合に「プツプツ」と小さな音がすることがある	故障ではありませんが、気になる場合は音量を小さくするか、着信音が鳴るように設定してください	☛P1-17、P4-8
ディスプレイに「リチウム電池無し」と表示される	メモリ保持電池の交換が必要な時期が近づいた	リチウム電池を交換してください	☛P6-19
ディスプレイに「バックアップ電池無し」と表示される	バックアップ電池の交換が必要な時期が近づいた	バックアップ電池を交換してください	☛P6-19
通話開始時にプッなどの音が入る	IP電話機を使用した通話開始時にパケットロス等により、相手の方に一瞬プッなどの音が聞こえる場合がある	故障ではありません	☛P2-2、P2-6、P2-25
ワンタッチボタン、電話帳が使用できない場合がある	Web設定等工事中には使用できない場合がある	故障ではありません、工事が終了してから使用してください	☛P2-10、P2-12

パソコンを使って電話帳を編集するには

主装置から読み出した電話帳データは、テキスト（CSV）ファイルとしてパソコンに保存されます。データの参照や追加、修正などは、Excelを使って行います。

※ここでは、Windows VistaでExcel2007を使って操作する場合について説明しています。その他のバージョンでは、画面表示や操作方法などが異なる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■電話帳データをExcelに取り込む

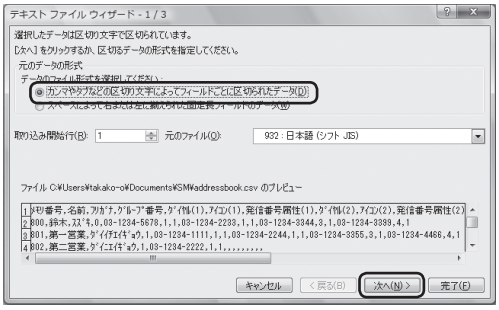
1 Excelを起動する。

2 [データ] タブ [外部データの取り込み] の [テキストファイル] ボタンをクリックする。

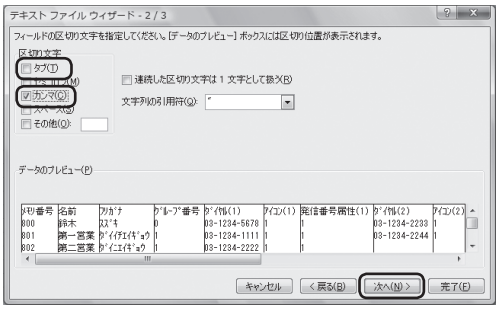
3 [テキストファイルのインポート] ダイアログボックスで、読み出した電話帳データを選択し、[インポート] をクリックする。

電話帳データは、お客さまが指定しない限り「addressbook.csv」で保存されています。

4 [元のデータの形式] の [カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ] をクリックし、[次へ] をクリックする。

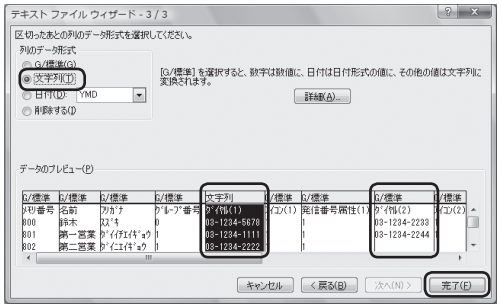


5 [区切り文字] の [タブ] のチェックを外し、[カンマ] のみにチェックをつけて [次へ] をクリックする。



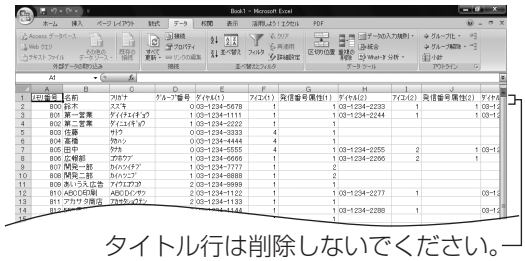
6 [データのプレビュー] で「ダイヤル（1）」が表示されている列をクリックし、[列のデータ形式] の [文字列] をクリックする。

7 「ダイヤル（2）」～「ダイヤル（4）」の列についても手順6と同様の操作をし、[完了] をクリックする。



8 [データの取り込み] ダイアログボックスで、[既存のワークシート] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする。

Excelのシートに、電話帳データが表示されます。



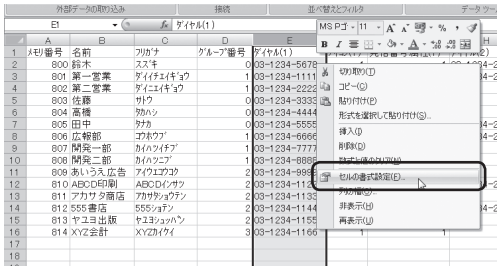
タイトル行は削除しないでください。

パソコンを使って電話帳を編集するには

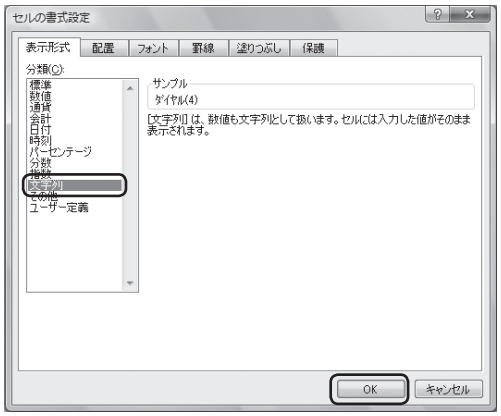
■電話帳データを編集するときは

Excelに取り込んだ電話帳データを編集する場合は、必ず最初に以下の操作を行ってください。この操作を行わないと、電話番号の最初の「0」がExcelで正しく認識されません。

1 **「ダイヤル（1）」が入力されている列を選択し、マウスを右クリックし、ショートカットメニューの［セルの書式設定］をクリックする。**



2 **［表示形式］タブの［分類］で［文字列］をクリックし、［OK］をクリックする。**



3 **「ダイヤル（2）」～「ダイヤル（4）」の列についても手順1 ～ 2と同様の操作をする。**

このあと、電話帳データの編集を行ってください。

ワンポイント

●電話帳データを編集するときの注意点

「メモリ番号」、「名前」などのタイトル行は、削除しないでください。また、列を削除したり挿入したりしないでください。

●電話帳データ編集上の規定

各項目に使用できる文字や文字数などは以下の通りです。

項　目	規　定
メモリ番号	0 ～ 999（半角）が有効。（☛P2-13）
名前	全角最大10文字。 漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）が有効。
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が有効。
グループ番号	0 ～ 9（半角）
ダイヤル	電話帳1件につき「ダイヤル（1）」～「ダイヤル（4）」の4つ。 半角最大32桁。0 ～ 9、＊、＃、－（ポーズ）が有効。
アイコン	電話帳1件につき「アイコン（1）」～「アイコン（4）」の4つ。 1 ～ 8（半角）のみ有効。（☛P2-13）
発信番号属性	電話帳1件につき「発信番号属性（1）」～「発信番号属性（4）」の4つ。1 ～ 2（半角）のみ有効。 1：一般の電話番号　　2：PBXの内線番号

■電話帳データを保存する

Excelで編集したデータを、主装置から読み出したデータと同じ形式で保存します。

1 **[Office] ボタンをクリックし、[名前を付けて保存] を選択する。**

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

2 **保存先を指定する。**

ファイル名を変更して保存する場合は、[ファイル名] に新しいファイル名を入力します。

3 **[ファイルの種類] ドロップダウンリストから「CSV (カンマ区切り)」を選択する。**

4 **[保存] をクリックする。**

すでに同じファイル名のファイルが保存されている場合は、既存のファイルを置き換えるかどうかのメッセージが表示されます。
上書きする場合は[はい]をクリックします。別のファイルとして保存する場合は［いいえ］をクリックしてファイル名を変更し、[保存] をクリックします。

5 **「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」というメッセージが表示されたら［OK］をクリックする。**

6 **「XXX (ファイル名) .csvには、CSV (カンマ区切り) と互換性のない機能が含まれている可能性があります。」というメッセージが表示されたら［はい］をクリックする。**

指定した場所に電話帳データが保存されます。
保存したデータは、電話帳編集画面（☛P4-41、P4-48）の［主装置へ書き込む］ボタンを使って主装置にコピーすることができます。

ワンポイント

●電話帳データをパソコンから主装置に書き込むと

メモリ番号が同じ電話帳データは、パソコンから書き込んだ電話帳データに書き換わります。パソコンから書き込んだ電話帳データに含まれないメモリ番号の電話帳が主装置にあった場合、その電話帳は削除されずに残ります。

●主装置の電話帳データを削除するには

電話帳編集画面（☛P4-41、P4-48）を使うと、電話帳データを簡単に削除できます。1件単位で削除するときは、[削除] ボタンを使います。全件削除するときは［全削除］ボタンを使います。

用語の説明

アルファベット

DP回線 …… ダイヤル回線（パルス回線）のことです。
FAX/TEL切替 …… 外線からの着信に主装置が応答し、FAX信号を検出すると自動的にファクスを呼び出すことができる機能のことです。
FAX自動転送 …… 電話機が外線着信に応答したとき、相手がファクスであった場合は自動的にファクスに転送する機能のことです。
INSネット64 …… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャネル（B）2本、信号チャネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
PB回線 …… プッシュ回線（トーン回線）のことです。
VoIP …… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
Web設定 …… LANで主装置と接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステムについての登録・設定を行うことです。

五十音

【ア行】

空き外線 …… 使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。
遠隔保守 …… 電話回線を使って、保守センタからネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMの設定を行うことです。
オフフック …… ハンドセットを取りあげることです。
オンフック …… ハンドセットを置くことです。
オンフックダイヤル … ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

外線グループ …… 「システム設定」により、収容されている外線をいくつかのグループに分けたものです。
外線捕捉 …… 「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
簡易自動再発信 …… 外線発信時に、相手の方がお話し中や応答しないときにセットすると、相手の方が応答するまで自動的に再ダイヤルする機能のことです。
キーパッド …… INSネット64に送出するデータのことです。

【サ行】

索線ボタン …… 指定された外線グループ中の空き外線を捕捉し、着信表示・応答、個別保留ができるように割り付けられた回線ボタンのことです。
サブアドレス …… INSネット64を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことです。
システム管理者 …… 「システム設定」によって、システムに関する一部の設定を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー操作による「システム一括設定」が行えます。
システム設定 …… ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMの設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。（☛P4-57）
システムモード …… ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMを、時間帯に応じて動作させるための動作形態区分です。昼、夜、休憩、休日の4つに区分できます。

主装置ソフトウェア … ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMを動作させるプログラムのことです。ソフトウェアを最新のものに更新することにより、快適に動作させることができます。
ステップコール …… 内線個別呼び出しをしたとき、相手がお話し中などの場合、代わりに自グループ内の他の電話機を呼び出すことです。
スピーカ受話 …… スピーカで相手の声を聞くことです。

【タ行】

ダイヤルイングループボタン…ダイヤルイン番号または、ｉ・ナンバーを割り当てて、当該ボタンのあるすべての電話機に着信させるためのボタンです。複数の電話機で、着信グループなどを運用する場合に利用します。
ダイヤルインサービス… 外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。
代理応答 …… 他の端末への着信に応答できる機能のことです。
着信音 …… 電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。
着信音識別 ……「システム設定」することで、着信種別ごとに異なる着信音が鳴るように設定する機能です。
中継発信 …… 外出先から主装置を経由して他の相手へ発信することです。ネットコミュニティシステムαNXⅡ typeS/typeMでは、コールバック（中継発信、自動応答サービス）、リモコン操作（自動応答サービスを利用した外線への転送）、専用線利用時の外線転送など、いろいろな中継発信が行えます。
追加ダイヤル …… 再ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳などにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。
テナント …… 電話機グループと外線グループから構成されるグループのことです。
転送電話 …… かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に転送させる機能です。外出するときなどに手動でセットする転送電話（「電話機起動転送」）のほか、常時セットしておく「電話帳グループ転送」「システムモード転送」があります。
電話機グループ …… 電話機（端末など）から構成されるグループのことです。

【ナ行】

内線代表呼出 …… 内線番号の代わりに「システム設定」した代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機を1台呼び出す機能です。
内線ダイレクトコール… 電話機の回線ボタンに内線番号を設定し、回線ボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。
内線ホットライン …… 電話機ごとに呼出先の内線番号を設定し、ハンドセットを取りあげるだけで内線を呼び出すことです。

【ハ行】

パーク保留 …… 通話中にパーク保留ボタンを押すことにより、通話相手を保留し、同じパーク保留グループとして設定した電話機のみから保留解除できるようにする機能です。
ハンズフリー …… ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。
不在着信転送 …… かかってきた電話を他の内線電話機に自動的に転送させる機能です。席を離れるときなどに便利です。
プリセットダイヤル … オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。
プリセレクション …… ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

用語の説明

【マ行】

メニュー設定 …… 電話機のディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは個々の内線電話機についての「電話機毎設定」と、システム全体に関する「システム一括設定」に分かれています。

メモダイヤル …… 内線電話機に、電話番号を一時的に登録し、あとで簡単に電話をかけられるようにした機能です。

【ラ行】

リモコン操作 …… 外出先からの操作で電話機ごとの設定やシステム全体の設定を行うことです。

【ワ行】

ワンタッチオンフックサービス …… 空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

索　引

アルファベット

αCTベーシックシステム …… 5-7
DECT方式コードレス接続装置 …… 5-6
DECT方式コードレス電話機 …… 5-6
DP→PB切替 …… 3-34
DP/PB切替スイッチ …… 1-8
DP回線 …… 1-12、6-26
ecoモード …… 3-81
ECOモード自動起動タイマ設定 …… 4-27
E-Mail連動 …… 3-61
FAX/TEL切替 …… 6-26
FAX/TEL切替設定 …… 4-28
FAX/TEL呼出回数 …… 4-28
FAX自動転送 …… 6-26
FAX受信表示 …… 4-59
F/T切替サービス外線設定 …… 4-59
F/T切替送出音源設定 …… 4-59
F/T切替ダイヤルイン設定 …… 4-59
F/T切替メッセージ設定 …… 4-28
INSネット64 …… 3-27、6-3、6-26
INSボイスワープ …… 3-49
IPコードレス電話機 …… 5-6
IPコンソール …… 1-10、5-5
IP単体電話機アダプタ …… 5-5
IP電話会議装置 MEETINGBOX …… 5-4
IP内線延長装置 …… 5-5
IP標準電話機 …… 1-8
ISDN回線 …… 1-12
ISDN料金表示設定 …… 4-25
i・ナンバー …… 3-44
LANケーブル固定用溝 …… 1-8
LANケーブル固定用溝（IPコンソール） …… 1-10
LANポート …… 1-8
LANポート（IPコンソール） …… 1-10
NTPサーバ時計設定 …… 4-24
NTPサーバ問合せ時刻 …… 4-24
PB回線 …… 1-12、6-26
PCポート …… 1-8
PCポート（IPコンソール） …… 1-10
POWERランプ …… 1-14
VoIP …… 6-26
VoIP回線 …… 1-12、6-3
WEBアドレス帳 …… 5-8
WEBアドレス帳ボックス …… 5-8
Web設定 …… 4-35、6-26
　システム一括ユーザデータ設定 …… 4-37、4-48
　電話機毎ユーザデータ設定 … 4-36、4-41

五十音

【ア行】

空き外線 …… 6-26
空き外線自動発信 …… 3-6
アドバンスト電話機 …… 3-52、5-8
アナログコードレス電話機 …… 5-6
アナログコードレスホン接続装置 …… 5-6
暗証番号設定 …… 4-16、4-26
一斉・グループ呼出 …… 2-26
一斉放送 …… 5-25
居留守応答 …… 3-63
映像アダプタ …… 5-7
映像ミュート …… 3-53
遠隔保守 …… 4-62、6-26
音
　こんな音がしたら …… 6-21
オプション装置／オプションユニット …… 5-2
オフフック …… 6-26
オフフック外線応答設定 …… 4-7
オフフック外線発信設定 …… 4-6
お待たせメッセージ …… 3-61、3-71
お待たせメッセージ設定 …… 4-32
音声メール …… 3-60、6-5
オンフック …… 6-26
オンフックダイヤル …… 2-4、6-26
音量調節ボタン …… 1-6
音量の調節
　スピーカ音量 …… 1-17
　着信音量 …… 1-17
　ハンドセット受話音量 …… 1-18

【カ行】

カールコードレス電話機 …… 5-7
会議通話 …… 3-19
外線グループ …… 3-6、3-57、6-26
外線群指定発信 …… 3-6、3-57
外線毎着信拒否設定 …… 4-7
外線着信 …… 2-6

索　引

外線着信鳴動設定 …… 4-7
外線通話 …… 1-12
外線転送先呼出タイマ …… 3-17、4-30
外線転送方式設定 …… 3-17、4-30
外線発信 …… 1-12、2-2
外線発信（高音質） …… 2-28
外線表示盤 …… 5-4
外線捕捉 …… 6-26
回線ボタン …… 1-6、1-9
外線ランプ …… 1-9
外部アンプスピーカ …… 5-3
外部アンプ接続用コード通し口 …… 1-7
外部音源 …… 5-3
外部スピーカ …… 5-25
角度調節足 …… 1-7
角度調節足（コンソール／IPコンソール） … 1-10
カメラドアホン …… 5-11
　FOMAで応答する …… 5-15
　映像を再生／削除／保護する …… 5-14
　映像を録画する …… 5-13
　外の様子を確認する …… 5-13
　呼び出しに応答する …… 5-12
カメラドアホン録画設定 …… 4-29
カラーカメラドアホン …… 5-2
カラーカメラドアホン-PV …… 5-2
カラーカメラドアホン転送 …… 5-11
カラーカメラドアホンモニタ-PV …… 5-2
カラーカメラドアホン用モニタ …… 5-2
簡易音声メール …… 3-78
簡易自動再発信 …… 3-5、6-26
キーパッド …… 6-26
キーパッド送出 …… 1-12
機能特番 …… 6-11
機能ボタン …… 1-6
キャッチホンサービス …… 3-33、3-59
休憩モード …… 6-5
休日モード …… 6-5
給電HUB …… 5-8
行検索 …… 2-19
共通電話帳全削除 …… 4-20
共通電話帳登録 …… 4-19
共通保留 …… 2-8
クリアボタン …… 1-6
グループ検索 …… 2-17
グループ毎コールバック設定 …… 4-20
グループ毎鳴動設定 …… 4-5
グループ着信先設定 …… 3-41、4-19
グループ着信ランプ設定 …… 3-41、4-5
グループ名称設定 …… 4-19
決定ボタン …… 1-6
決定ランプ …… 1-9
圏外時外線転送 …… 3-18
圏外時サービス設定 …… 4-9
圏外時留守番電話 …… 3-65
高音質通話 …… 2-28
　できないとき …… 6-7
高音質モード …… 2-28
工事者設定用スイッチ …… 1-7
工事者設定用スイッチ（コンソール） …… 1-10
構成図 …… 1-4
口頭招集 …… 3-19
口頭転送 …… 2-23
構内放送用設備 …… 5-2
コールバック …… 3-22
　できないとき …… 6-7
個別電話帳全削除 …… 4-4
個別電話帳登録 …… 4-4
個別保留 …… 2-8
コンソール …… 1-10、5-5

【サ行】

サービス番号／リモート設定番号 …… 3-73
サービスボタン …… 3-12
　INS3者通話 …… 3-37
　INS着信転送 …… 3-39
　INS着信転送モード …… 3-40
　INS通信中着信停止 …… 3-36
　INS通信中転送 …… 3-38
　INS発信専用 …… 3-35
　お待たせ …… 3-71
　高音質通話 …… 2-28
　サービスロック …… 3-77
　システムモード切替 …… 3-74
　受話音量増大 …… 1-18
　セキュリティ …… 5-20
　送話カット …… 6-4
　転送電話 …… 3-15、3-16
　留守 …… 3-63
　録音 …… 3-70
サービスロック …… 3-76

サービスロック対象設定 …… 4-16
削除ダイヤル設定 …… 4-21
索線ボタン …… 3-7、6-26
サブアドレス …… 3-43、6-26
サブアドレス設定 …… 4-22
サブアドレス通知サービス …… 3-44
三者会議通話 …… 2-24
三者通話機能 …… 3-37
事業者識別番号付与 …… 4-21、4-57
時刻設定 …… 1-16、4-24
システム一括設定 …… 4-3、4-19
システム一括ユーザデータ設定 …… 4-37、4-48
システム管理者 …… 6-26
システム管理者電話機設定 …… 4-59
システム設定 …… 4-57、6-26
システム着信メロディ設定 …… 4-22
システム内線着信 …… 3-22、3-25
システム保留音設定 …… 4-23
システムモード …… 3-65、3-74、6-26
システムモード時刻設定 …… 4-24
システムモード設定 …… 3-74、4-25
システムモード転送 …… 3-18
システムモード別ECOモード設定 …… 4-18
システム留守応答動作 …… 4-31
システム留守メッセージ設定 …… 4-31
自動応答サービス …… 3-24
自動通話録音 …… 3-70
自動通話録音開始前ガイダンス送出設定 …… 4-18
主装置（typeM） …… 1-14
主装置（typeS） …… 1-14
主装置IPアドレス表示 …… 4-15
主装置キャビネット …… 1-14
主装置ソフトウェア …… 6-27
　手動でダウンロードする …… 4-61
　手動でチェックする …… 4-60
出力端子差込口 …… 1-7
手動通話録音 …… 3-70
受話音保持 …… 4-14
受話口 …… 1-6
受話増保持 …… 4-14
順次転送 …… 3-17
上下左右ボタン …… 1-6
省電力モード …… 6-5
省電力モード開始タイマ設定 …… 4-59
省電力モード設定 …… 4-59
省電力モード電話機設定 …… 4-59
新規メッセージ優先設定 …… 4-10
シングルラインコードレス電話機 …… 5-6
ステップコール …… 2-23、2-26、6-27
スピーカ …… 1-6
スピーカ音量 …… 1-17
スピーカ受話 …… 2-2、6-4、6-27
スピーカボタン …… 1-6
スピーカランプ …… 1-9
セキュリティ関連タイマ設定 …… 4-34
セキュリティ起動／解除 …… 4-34
セキュリティサービス …… 5-16
　起動／解除する …… 5-20
　自動通報を受けたとき …… 5-21
　通報先を登録する …… 5-18
　動作しないとき …… 6-7
セキュリティ自動録画設定 …… 4-34
セキュリティ装置 …… 5-3
セキュリティ通報外線呼出方式 …… 4-58
セキュリティ通報内線呼出先TEN …… 4-58
セキュリティ通報番号登録 …… 4-34
セキュリティモード設定 …… 4-33
設定特番 …… 6-13
全画面表示 …… 3-53
センサ検出時自動威嚇音送出TEN …… 4-58
専用線 …… 5-26
送話カット …… 6-4
送話口 …… 1-6
外付けカメラ …… 5-23
外付けカメラネーム登録 …… 4-29
ソフトウェア自動更新設定 …… 4-33
ソフトフォン …… 5-8

【タ行】

待機中画面 …… 1-12
ダイヤリングサービス …… 3-61、3-72
ダイヤルインサービス …… 3-44、6-27
ダイヤル押下音設定 …… 4-17
ダイヤル中特番 …… 6-8
ダイヤルボタン …… 1-6
代理応答 ……2-23、2-26、3-59、5-10、6-27
短縮ダイヤルカード …… 6-17
短縮ボタン …… 1-6
単体電話機 …… 3-56、5-5
単体電話機アダプタ …… 5-5

索　引

着信音 …… 6-27
着信音識別 …… 6-27
着信音停止設定 …… 4-8
着信音優先順位 …… 4-58
着信音量 …… 1-17
着信拒否 …… 3-46
着信拒否ガイダンス …… 4-22
着信即時表示 …… 4-58
着信通知 …… 3-61
着信転送機能 …… 3-39
着信転送モード …… 3-40
着信音色設定 …… 4-7
着信未応答警報タイマ …… 4-22
着信ランプ …… 1-9
着信履歴 …… 3-4、3-41
　一覧画面 …… 3-4
　詳細画面 …… 3-5
　履歴を検索して電話をかける …… 3-4
着信履歴発信 …… 3-4、3-41
着信履歴保存設定 …… 4-18
着信履歴ボタン …… 1-6
着信履歴ランプ …… 1-9、3-4
注意シール …… 1-14
中継発信 …… 3-24、4-57、6-27
中継発信規制設定 …… 4-20
長時間通話警報タイマ …… 4-27
追加ダイヤル …… 6-6、6-27
通信中着信通知 …… 3-36
通風孔 …… 1-14
通話時間 …… 1-12
通話時間表示 …… 1-12
通話中転送機能 …… 3-38
通話モニタ …… 2-7
通話録音 …… 3-60
通話録音ガイダンス設定 …… 4-34
通話録音モード設定 …… 4-18
データ受信グループ設定 …… 4-20
ディジタルシステムKT形コードレス電話機 … 5-6
ディジタルシステムコードレス接続装置 …… 5-6
ディジタルシステムコードレス電話機 …… 5-6
ディスプレイ …… 1-6
　バックライトを点灯させる …… 1-13
　表示の見かた …… 1-12
　表示をクリアする …… 1-13
停電 …… 6-18
停電用電話機 …… 1-8
テナント …… 4-57、6-27
テレビ電話 …… 3-53
　できないとき …… 6-7
電気錠 …… 5-3、5-10
電源コード …… 1-14
電源スイッチ …… 1-14
電源プラグ …… 1-14
転送 …… 3-14
　システムモードに応じた転送を行う … 3-18
　順次転送と同時転送の違い …… 3-17
　転送電話ができないとき …… 6-6
　転送電話の設定を変更する …… 3-17
　転送電話の対象とする回線を設定する 3-15
　転送電話の転送先リストを登録する … 3-14
　転送電話をセットする …… 3-16
　特定の相手先からの電話を転送する … 3-18
　不在時の電話を他の内線電話機に
　　転送する …… 3-10
　別のシステムに外線通話を転送する … 5-27
転送先リスト登録 ……3-14、4-9、4-30
転送電話 …… 6-27
転送元呼出継続設定 …… 3-17、4-31
電池交換 …… 6-19
電池劣化警告表示KT設定 …… 4-59
電話機グループ …… 6-27
電話機コード差込口 …… 1-7
電話機コード差込口（コンソール） …… 1-10
電話機毎設定 …… 4-2、4-4
電話機毎ユーザデータ設定 …… 4-36、4-41
電話帳 …… 2-12
　行で検索する …… 2-19
　検索画面を表示する …… 2-16
　削除する …… 2-13、2-18
　サブアドレスを登録する …… 6-2
　電話をかける …… 2-16
　登録する …… 2-12
　登録できないとき …… 6-3
　登録できる内容 …… 2-13
　登録方法 …… 6-2
　パソコンで編集する …… 6-23
　フリガナまたはグループで検索する … 2-17
　編集する …… 2-18
　メモリ番号で検索する …… 2-20
電話帳ガイド表示 …… 4-20

電話帳グループ転送 …… 3-18
電話帳検索 …… 4-4
電話帳詳細読出タイマ …… 4-27
電話帳ダイヤル …… 2-12、2-16
電話帳鳴り分け …… 3-41
電話帳ボタン …… 1-6
電話を受ける …… 2-6
　高音質で受ける …… 2-28
　単体電話機で受ける …… 3-57
　ハンズフリーで受ける …… 3-9
　ハンドセットを取りあげずに応答する …… 2-27
電話をかける
　空いている外線を選んでかける …… 3-6
　高音質モードでかける …… 2-28
　最後にかけた相手の方にかけ直す …… 3-5
　単体電話機でかける …… 3-56
　単体電話機で電話帳を使ってかける … 3-58
　電話帳ダイヤルでかける …… 2-16
　電話番号を確認してからかける …… 2-5
　内線番号で呼び出す …… 2-25
　ハンズフリーでかける …… 3-8
　ハンズフリーで内線通話をする …… 3-9
　ハンドセットを置いたままかける …… 2-4
　ハンドセットを取りあげてかける …… 2-2
　メモダイヤルでかける …… 3-3
　ワンタッチボタンでかける …… 2-11
ドアホン …… 5-2、5-9
　通話中にドアホンからの呼び出しに応答する …… 6-4
ドアホンチャイム音鳴動タイマ …… 4-29
ドアホンネーム登録 …… 4-29
ドアホン鳴動設定 …… 4-13
同時転送 …… 3-17
特番 …… 6-8
時計アラーム（1回） …… 4-12
時計アラーム（毎日） …… 4-12
時計・カレンダ表示 …… 1-12

【ナ行】

内線PB信号送出 …… 4-59
内線延長装置 …… 5-5
内線グループ一斉鳴動 …… 4-13
内線代表呼出 …… 2-26、3-59、6-27
内線ダイレクトコール …… 4-57、6-27
内線通話 …… 2-25、3-59
　専用線を使いシステム間で内線通話する …… 5-26
　ハンドセットを取りあげずに応答する …… 2-27
内線ネーム登録 …… 4-29
内線番号 …… 1-12
内線ハンズフリー応答 …… 2-27
内線ボタン …… 1-6
内線ホットライン …… 3-59、6-27
内線ホットライン設定 …… 4-13
内線呼出音設定 …… 4-13
内線ランプ …… 1-9
ナンバー・ディスプレイ …… 3-41
入退室管理装置 …… 5-3
入力切替スイッチ …… 1-7
入力端子差込口 …… 1-7
入力モード …… 2-14
ネットワークサービス …… 3-26

【ハ行】

パーク保留 …… 2-9、4-58、6-27
バックアップ電池 …… 6-19、6-20
バックライト …… 1-13
バックライト設定 …… 4-17
発信可能ダイヤル設定 …… 4-21
発信規制ダイヤル設定 …… 4-21
発信者番号表示 …… 3-41
発信専用制御サービス …… 3-35
発信／着信履歴発信 …… 3-4
発信履歴
　一覧画面 …… 3-4
　詳細画面 …… 3-5
　履歴を検索して電話をかける …… 3-4
発信履歴ボタン …… 1-6
発番号ダイヤルイン …… 3-41、4-59
ハンズフリー …… 6-27
ハンズフリー装置 …… 5-8
ハンズフリー通話 …… 3-8
ハンドセット …… 1-6
ハンドセットコード …… 1-6
ハンドセットコード差込口 …… 1-7
ハンドセット受話音量 …… 1-18
非通知着信拒否 …… 3-41、3-48、4-22
非通知着信拒否サービス …… 3-48

索　引

日付設定 …… 1-15、4-24
表示クリア …… 1-13
標準電話機 …… 1-6、1-8
ファクス接続 …… 5-5
不在着信転送 …… 3-10、6-27
不在着信転送設定 …… 4-13
付属品 …… 6-17
フッキング操作 …… 3-57
フッキングパルス …… 2-23
フックスイッチ …… 1-6
フックボタン …… 1-6、3-33
プッシュホンサービス …… 3-34
フリガナ検索 …… 2-17
プリセットダイヤル …… 2-5、6-27
プリセット読出タイマ …… 4-27
プリセレクション …… 6-27
フレックスホンサービス …… 3-36
ペア電話機 …… 1-10
ヘッドセット …… 4-14、5-4
ボイスワープ …… 3-49
防水電話機 …… 5-7
ポーズ（待ち時間） …… 6-2
保留 …… 2-8、3-57
保留音受話 …… 4-58
保留警報音 …… 6-4
保留警報音送出タイマ …… 4-23
保留転送 …… 2-22
　他の外線に転送する …… 2-24
　他の内線電話機に転送する … 2-22、3-55
保留ボタン …… 1-6

【マ行】

マイク …… 1-6
マイクボタン …… 1-6
マイクランプ …… 1-9
ミキシングモード …… 3-37
明瞭モード …… 1-18
メディアIP電話機 …… 5-8
メッセージ再生 …… 3-60、3-66、3-68
メッセージ再生順設定 …… 4-10
メッセージ録音 …… 3-60、3-69
メニュー設定 …… 4-2、6-28
メニューボタン …… 1-6
メモダイヤル …… 6-28
　電話をかける …… 3-3
　登録する …… 3-2
メモリ番号 …… 2-21
メモリ番号検索 …… 2-20
メモリ保持電池 …… 6-19
文字入力 …… 2-14

【ヤ行】

夜間モード …… 6-5
用語の説明 …… 6-26
曜日毎鳴動モード設定 …… 3-75、4-8
呼出状態転送 …… 2-23

【ラ行】

ランプ表示 …… 1-9
リモコン操作 …… 6-10、6-28
履歴メニュー …… 3-5
履歴ランプ表示設定 …… 4-17
留守／転送開始タイマ …… 3-17、3-64、4-30
留守番電話 …… 3-60、3-62
留守番電話応答動作 …… 3-64、4-9
留守メッセージ設定 …… 3-64、4-9
録音ジャックユニット …… 5-4
録音電話機 …… 5-7

【ワ行】

ワイヤレスアクセスポイント …… 5-6
ワンタッチオンフックサービス …… 6-28
ワンタッチ機能ボタン登録 …… 4-11
ワンタッチダイヤルカード …… 6-17
ワンタッチダイヤル登録 …… 4-11
ワンタッチ／プリセレクション …… 4-6
ワンタッチボタン
　電話をかける …… 2-11
　登録する …… 2-10
　登録できるボタン操作 …… 2-11
　内線番号を登録する …… 2-11
　ワンタッチボタンが割り当てられている
　　ボタン …… 2-11
ワンタッチボタン（コンソール） …… 1-10
ワンタッチメモリ全削除 …… 4-11

仕　様

■仕　様

		αNXⅡ typeS	αNXⅡ typeM
使用回線		電話回線、CES回線、PBXの内線、専用線、INSネット64、VoIP回線など	
選択信号種別		PB回線またはDP回線（10 PPS、20 PPS）	
外線容量		最大4回線	最大12回線
最大内線端末数		10台	30台
配線方式		バス配線・スター配線・LAN配線	
呼出方式		トーンリングおよびランプ	
内線線路長		バス配線：最大300 m　レピータ装着時：最大900 m スター配線：最大800 m	
寸法・質量	主装置	幅約389 mm×奥行き約312 mm× 高さ約124 mm・約3.4 kg	幅約445 mm×奥行き約312 mm× 高さ約124 mm・約3.5 kg
	標準電話機	幅約188 mm×奥行き約261 mm×高さ約93mm・約1.0 kg	
使用電源		商用電源AC100±10 V、50/60 Hz	
消費電力		最大時約190 VA	最大時約300 VA
電磁波妨害		VCCI基準クラスAに適合	
バックアップ電池		12 V 0.7 AHシール鉛蓄電池×4個	
使用環境		温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：45 %～ 85 %（結露のないこと）	
時間精度		平均月差±30秒以内	

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。
※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。
受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-970413
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00 ～ 17：00
※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-248995
受付時間　9：00 ～ 17：00
※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

MEMO

MEMO

環境基準ラベル
「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞
- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞
- ●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞
- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞
- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00 ～ 17：00

※ 年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-248995

受付時間　9：00 ～ 17：00

※ 年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2013 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本 3244-2(2013.9)
NX2SM- トリセツ -〈1〉